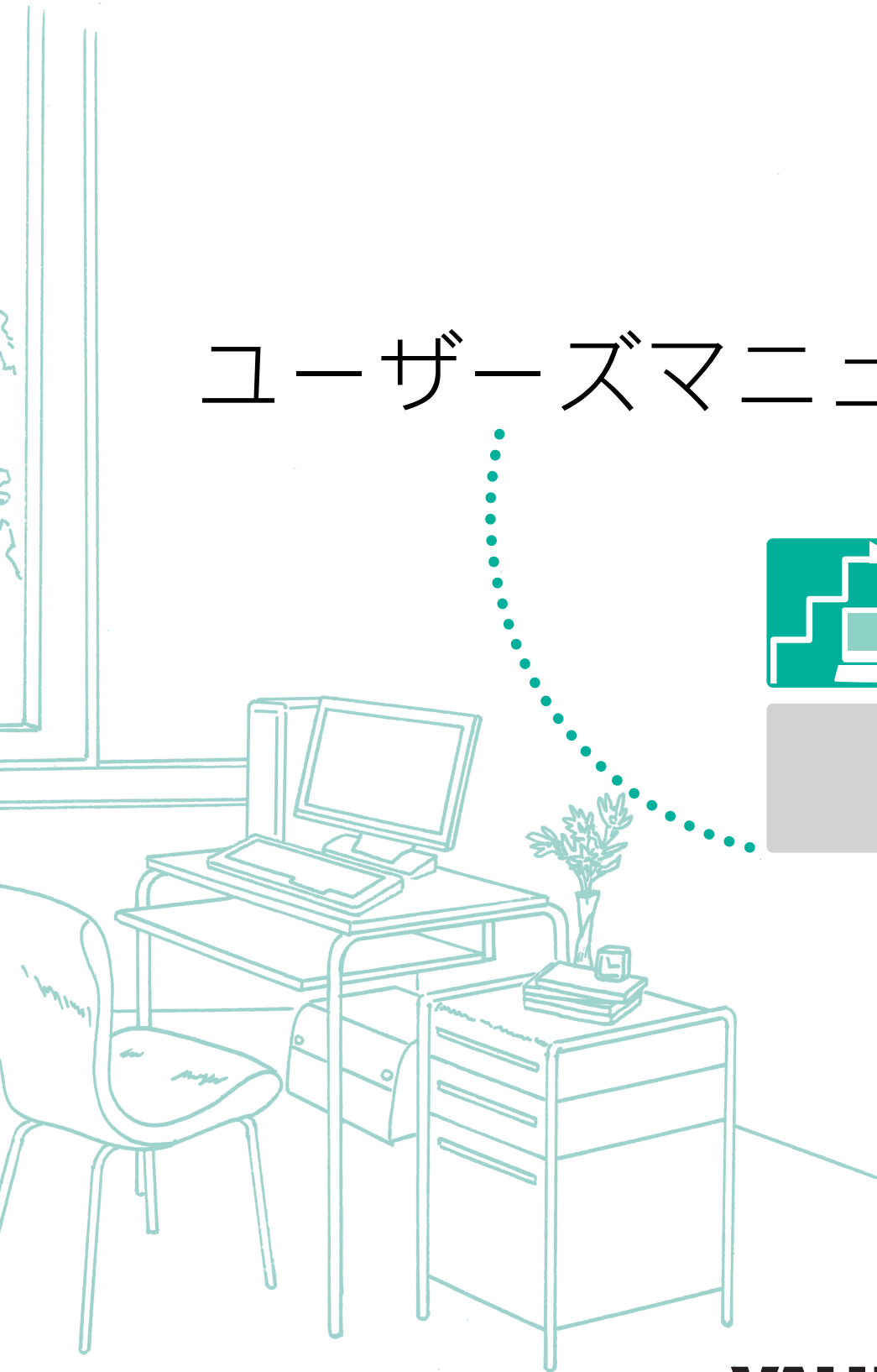
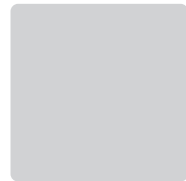
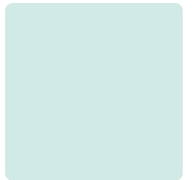


ユーザーズマニュアル

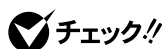


このマニュアルの表記について

手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でむやみにマウスを操作すると、思わぬ画面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。また、ページの右側の注意には、操作に関連する補足説明や用語解説などが記載されています。はじめてパソコンを扱う方は、右側の説明もよく読んでください。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



そこまでに説明した手順の中でとくに大切なポイントがまとめられています。後から応用するときのヒントとして利用してください。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。



パソコンで起きている問題点に対して対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものを探してください。



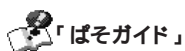
参考になる事柄です。


このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

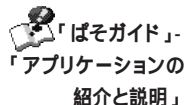
【 】 【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

CD/DVDドライブ

DVD-RAM/R/RWモデルでは、DVD-RAM/R/RWDドライブのことを指します。DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWモデルでは、DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWDドライブのことを指します。



電子マニュアル「ばそガイド」を起動して、各項目を参照することを示します。「ばそガイド」は、デスクトップのをダブルクリックして起動します。



「ばそガイド」を起動して、アプリケーションの操作方法などを参照することを示します。アプリケーションの名称などがわかっている場合は、続けて「50音別目次」をクリックして該当する項目をご覧ください。

このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

このページの表をご覧になり、購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン	表の各モデル(機種)を指します。
液晶ディスプレイ セットモデル	液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。
DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW モデル	DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブを搭載しているモデルのこと です。
DVD-RAM/R/RW モデル	DVD-RAM/R/RWドライブを搭載しているモデルのことです。
TVモデル	テレビ/地上波データ放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。
ワイヤレスLANモデル	ワイヤレスLAN機能を搭載しているモデルのことです。
Windows XP Professional モデル	Microsoft® Windows® XP Professionalがあらかじめインストールされて いるモデルのことです。
Office XP モデル	Microsoft® Office XP Personalがあらかじめインストールされているモデル のことです。

型名	型番	表記の区分			
		CD/DVDドライブ	ディスプレイ	TV機能	ワイヤレスLAN
VX900/6F	PC-VX9006F	DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW モデル	液晶ディスプレイセットモデル (17型液晶)	TVモデル (リモコン添付)	5GHz/2.4GHz デュアル対応 ワイヤレスLAN
VX100/6F	PC-VX1006F		なし		-
VZ700/6F	PC-VZ7006F	DVD-RAM/R/RW モデル	液晶ディスプレイセットモデル (17型液晶)		

本文中の画面やイラスト、ホームページについて

本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。

記載しているホームページの内容やアドレスは、本冊子制作時点のものです。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、 Windows XP、 Windows XP Home Edition	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system日本語版 Service Pack 1
Windows、 Windows XP、 Windows XP Professional	Microsoft® Windows® XP Professional operating system日本語版 Service Pack 1
Office XP Personal	Microsoft® Office XP Personal (Microsoft Word、Microsoft Excel、 Microsoft Outlook®、Microsoft Bookshelf® Basic 3.0、Microsoft Outlook Plus! 2.0)
Word	Microsoft® Word
Excel	Microsoft® Excel
Windows Media Player	Microsoft® Windows Media™ Player9.0
Windows Messenger、 Windowsメッセンジャー	Microsoft® Windows® Messenger Version4.7
Outlook Express	Microsoft® Outlook® Express 6.0
Microsoft Outlook Plus、 Outlook Plus!	Microsoft® Outlook® Plus! Version 2.0
Office XP Service Pack 1	Microsoft® Office XP Service Pack 1
Office XP Service Pack 2	Microsoft® Office XP Service Pack 2
IME	Microsoft® IME 2002
インターネットエクスプローラ、 Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 6.0 Service Pack 1
Bookshelf Basic	Microsoft® Bookshelf® Basic 3.0
Office XP ステップバイ ステップ インタラクティブ	Microsoft® Office XP Personal Step By Step Interactive
@niftyでインターネット	@niftyでインターネット for Windows® Version5.00
OCN スタートパック	OCNスタートパック
ODN(Open DATA Network)	ODN(Open Data Network)
かるがるネット	かるがるネット接続ソフト
So-net簡単スターター	So-net簡単スターター Ver.2.3
DIONサインアップ	DIONサインアッププログラム

東京電話インターネット サインアップナビ	東京電話インターネット オンラインサインアップナビ Ver200109
BIGLOBEでインターネット i-フィルター WinDVD 4	BIGLOBEインターネット接続ツール i-フィルター Personal Edition InterVideo® WinDVD® 4 for NEC
オンラインラボ工房 家庭の医学 クイズマスター	コニカオンラインラボ工房 時事通信社「家庭の医学」デジタル版 クイズマスター for Windows
蔵衛門デジブック Super Mapple Digital Ver.3 for NEC	蔵衛門9デジブック for NEC Super Mapple Digital Ver.3 for NEC
DVD MovieWriter	Ulead® DVD MovieWriter™ for NEC Ver.2
DVD-MovieAlbum	DVD-MovieAlbumSE Ver.3
バックアップ-NX VideoStudio	バックアップ-NX(パソコン乗換機能付) Ulead® VideoStudio® 6 SE Basic
PCGATE Personal BeatJam	PCGATE Personal Ver2.0 BeatJam for NEC
ポケットレシピ	お料理マム2 ポケットレシピ
ホームページミックス 翻訳アダプタ CROSSROAD	ホームページミックス /R.2 翻訳アダプタ CROSSROAD(Ver3.0)
RecordNow DX	VERITAS RecordNow DX
Norton AntiVirus	Norton AntiVirus™ 2003

技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータには電気通信事業法第50条第1項の規定に基づき技術基準認証済みのいずれかの通信機器が搭載されています。認証番号は次の通りです。

通信機器	モデム	デュアルバンドワイヤレスLAN(5GHz/2.4GHz)
認証番号	A02-0606JP	D02-1010JP

本機の内蔵モデムは、諸外国で使用できる機能を有していますが、日本国内で使用する際は、他国のモードに設定してご使用になりますと電気通信事業法(技術基準)に違反する行為となります。なお、ご購入時の使用国モード(初期値)は「日本モード」となっておりますので、設定を変更しないでそのままご使用ください。

高調波電流規制について

この装置の本体は、高調波ガイドライン適合品です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、社団法人電子情報技術産業協会のパソコン基準(PC-11-1988)に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

レーザ安全基準について

この装置には、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825)クラス1適合のCD/DVDドライブが搭載されています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® XP Professional、および本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft、MS、Windows、Outlook、Bookshelf、Office ロゴ、Windows Media および Windows のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

画面の使用に際して、米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

Bookshelf Basic は、次の書籍を基に制作されました。『新英和中辞典』第6版(C) 研究社 1967, 1994, 1998、『新和英中辞典』第4版(C) 研究社 1933, 1995, 1998、『新明解国語辞典』第5版(C) 三省堂 1972, 1974, 1981, 1989, 1997。

@nifty はニフティ(株)の商標です。

OCN は NTT コミュニケーションズ株式会社の商標です。

ODN(Open Data Network) は日本テレコム(株)の登録商標です。

かるがるネットは株式会社アイコムジャパンの登録商標です。

So-net、ソネット、So-net のロゴはソニー株式会社の商標または登録商標です。

DION は KDDI 株式会社の登録商標です。

東京電話インターネットは東京通信ネットワーク株式会社の登録商標です。

Fresh Voice はエイネット株式会社の登録商標です。

アドレスステーションは、システムポート株式会社の登録商標です。

InterVideo、InterVideo ロゴ、WinDVD は InterVideo, Inc. の登録商標です。

駅ずばあとは株式会社ヴァル研究所の登録商標です。

時事通信社「家庭の医学」デジタル版 は、時事通信社の商標です。

蔵衛門および「デジブック」は株式会社トリワークスの登録商標です。

「BeatJam」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「BeatJam」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「BeatJam」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

てきばき家計簿マム、お料理マム 2 ポケットレシビはテクニカルソフト株式会社の商標です。

Ulead、VideoStudio、DVD MovieWriter は、Ulead Systems, Inc. の商標または登録商標です。

筆王は株式会社アイフォーの登録商標です。

VERITAS RecordNow は、米国 VERITAS Software Corp. の米国における登録商標です。

Symantec、Symantec ロゴは、Symantec Corporation の登録商標であり、各製品名は Symantec Corporation の商標または登録商標です。

BIGLOBE、PCGATE は、日本電気株式会社の登録商標です。

Intel、インテル、Pentium、Intel Inside ロゴは、Intel Corporation の商標または登録商標です。

PS/2 は IBM 社が所有している商標です。

K56flex は、Lucent Technologies と CONEXANT SYSTEMS の商標です。

MNP は、Microcom, Inc. の登録商標です。

 ロゴは商標です。

「メモリスティック」は、ソニー株式会社の商標です。

Ulead、VideoStudio、DVD MovieWriterは、Ulead Systems, Inc.の登録商標です。
Hayesは、米国 Hayes Microcomputer Productsの登録商標です。
VERITAS RecordNow DXは、米国 VERITAS Software Corp.の米国における登録商標です。
InterVideo、InterVideo ロゴ、WinDVDはInterVideo, Inc.の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation, NEC CustomTechnica, Ltd. 2003

日本電気株式会社、NEC カスタムテクニカ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っていません。

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1: NEC Corporation, NEC CustomTechnica, Ltd.



目次
CONTENTS

PART

1

パソコンを接続する前に	1
箱を開けた後で	2
置き場所を決める	3
電源の取り方	6

PART

2

パソコンの接続をする	7
パソコンを接続する手順	8
パソコン本体にスタビライザを取り付ける	9
キーボードを接続する	11
マウスを接続する	13
ディスプレイを接続する	14
アースを接続する	23
電源ケーブルを接続する	24

PART

3

電源を入れてパソコンを使えるようにする	27
パソコンをセットアップする	28
Office XP を使う準備をする (Office XP モデルのみ)	42
お客様登録を行う	46
電源の入れ方と切り方	48
これからの進め方	52

PART

4

パソコンを使いはじめよう	53
デスクトップについて	54
「ソフトナビゲーター」と「ばそガイド」を使う	58
各部の名称と役割を覚えよう	60
CD-ROM などの扱い方	62
音量を調節する	66

PART

5

パソコンにつなぐ.....	67
周辺機器を取りつけるときのポイント.....	68
取り外すときのポイント.....	70
USB コネクタ.....	71
IEEE1394 コネクタ.....	77
PC カード.....	80
デュアルメモリスロット.....	86
光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子.....	90
音声出力/入力端子、映像入力端子.....	92
マイクロフォン端子/ヘッドフォン端子.....	94
LAN コネクタ.....	96
ワイヤレスLAN(ワイヤレスLANモデルのみ).....	98
モジュラーコネクタ.....	103
シリアルコネクタ/パラレルコネクタ.....	104

PART

6

パソコン内部に取り付ける.....	107
本体の開け方と閉め方.....	108
PCI ボード.....	112
AGP ボード.....	116
メモリ.....	120
内蔵ハードディスク.....	127

PART

7

ちょっと詳しいパソコン情報.....	131
本体の各部の名称.....	132
キーボード.....	137
CD/DVD ドライブ.....	141
省電力機能.....	145
BIOS セットアップメニュー.....	149

PART

8

トラブル解決 Q & A	151
トラブル解決への道	152
NEC のサポートメニューを活用しましょう	154
トラブル事例の探し方	156
パソコンの様子がおかしい	158
マウス、キーボード	161
電源のオン / オフ	163
省電力機能	169
アプリケーション	173
周辺機器	176
パスワード	178
その他	180

PART

9

再セットアップ	183
再セットアップ、はじめる前に	184
セーフモードで起動してみる	186
データのバックアップを取る	187
システムを修復してみる	189
2 種類の再セットアップ方法	191
再セットアップする	193
C ドライブの領域を変更して再セットアップする	204
再セットアップ用 CD/DVD-ROM から再セットアップする ...	205

付 録

パソコンのお手入れ	212
アフターケアについて	214
譲渡、廃棄、改造について	215
アプリケーションのサポート窓口一覧	218
仕様一覧	223
ここからはじめるインターネット&メール	234

索 引

.....	245
-------	-----

P A R T

1

パソコンを接続する前に

梱包箱を開けたら、まず添付品などを確認しましょう。確認できたら、パソコンを置く場所を決めましょう。パソコンは精密機械ですから、置き場所についてはいくつか気をつけなければいけないことがあります。

箱を開けた後で

梱包箱を開けたら、まず添付品、型名(型番)、製造番号を確認します。

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず最初に『スタートシート』をご覧になり、添付品が揃っているかどうか確認してください。万一、添付品が足りなかったり、破損していた場合は、すぐにご購入元にお申し出ください。

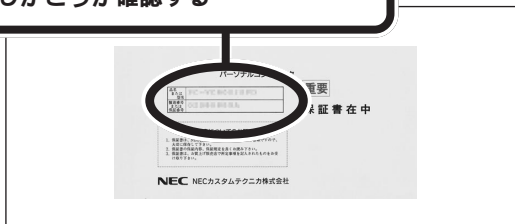
型名(型番)と製造番号を確認する

1

本体背面の型名(型番)と製造番号を確認する

2

保証書の記載と で確認した番号と同じかどうか確認する



3

ディスプレイ本体とディスプレイの保証書を同様に確認する(ディスプレイセットモデルのみ)
ディスプレイの製造番号は背面に記載されています。

✓チェック!!

本体背面と保証書の記載が異なっていた場合は、ご購入元に連絡してください。

保証書は、ご購入元で所定事項をご記入のうえ、お受け取りになり、保管しておいてください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元または、NECにお問い合わせください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

📖参照

NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』

置き場所を決める

パソコンを置く場所を決めましょう。パソコンには、置くのに適した場所、適さない場所があります。また、パソコンの近くに置いてはいけないものもあります。

パソコンを置くのに適した場所

屋内

パソコンは必ず屋内に置いてください。

平らで十分な強度がある台の上

(パソコンが落ちるおそれがないこと)

パソコンを置くのに適切な台がない場合は、市販のパソコンラックなどを使うこともできます。使いやすさをよく考えて選びましょう。また、本体の転倒防止のために、添付のスタビライザを取り付けてください。

温度 10℃ ~ 35℃ (結露しないこと)、湿度 20% ~ 80%

ホコリが少ない

パソコンにホコリは大敵です。ホコリの少ない場所を選んでください。

電話回線の近く

アナログモデムやISDN(アイ・エス・ディー・エヌ)、ADSL(エー・ディー・エス・エル)でインターネットに接続する場合は、電話回線の接続口(モジュラーコンセント)の近くにパソコンを設置しましょう。なお、インターネットに接続するための機器が近くにある場合は、これらの機器の近くにパソコンを設置します。パソコンの電話回線への接続のしかたは、PART5の「モジュラーコネクタ」で説明しています。

アンテナ線の先が届く場所(TVモデルのみ)

本体にアンテナ線をつなぐと、パソコンでテレビを見ることができます。あらかじめアンテナ線の長さや配置を考慮してパソコンを設置することをおすすめします。また、TVモデルには、ビデオデッキなども接続できます。これらの機器を接続する場合には、ケーブルの長さを考慮して置き場所を決めましょう。アンテナ線の接続は、『TVモデルガイド』の「PART1 接続と準備をする」で説明しています。

用語

結露

空気中の水分が金属板などの表面に触れて水滴となる現象です。寒い屋外から暖かい室内に入るとメガネが曇ったりするのも、結露の一例です。パソコンを温度の低い場所から暖かい部屋に持ち込んだりすると、機械の外側や内部に結露することがあります。このようなときは、電源を入れずに1時間以上置いておき、結露が収まるのを待ってから使ってください。

パソコンを置くのに必要な広さ

パソコンを設置するときには、キーボードやマウスを置く場所や、配線のためのスペースが必要です。

パソコン本体の前側
→ 約 30cm ~ 40cm

キーボードを置くためには、約 20cm 必要です。マウスを動かしたり、ゆったりとキーを打つためには、さらに約 10cm ~ 20cm の余裕があったほうがよいでしょう。

パソコン本体の後ろ側
→ 約 50cm (最低 15cm 以上)

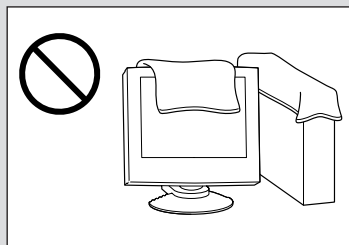
本体の後ろ側には通風孔があるので、壁などから最低でも 15cm 離す必要があります。しかし、それだけではあとで配線をするときに大変です。50cm 程度の余裕があれば、パソコンの後ろ側がよく見えるので、接続の作業が楽になります。

パソコン本体の天面、左右側面、ディスプレイの背面
→ 最低 15cm 以上

パソコン本体の天面、左右側面、ディスプレイの背面にも通風孔があるので、通風孔と棚などとの間を最低でも 15cm あけてください。また、布などをかけて通風孔をふさがないようにしてください。

✓チェック!!

パソコン本体、ディスプレイの通風孔をふさいでしまうと、内部の温度が上昇し、動作不良や故障の原因になります。



パソコンを置くのに適さない場所

- ・ケーブル類が引っかかる
- ・ドアがあたる
- ・人がぶつかりやすい
- ・直射日光があたる
- ・水などの液体がかかる
- ・ほこりの多いところ

パソコンを接続したときに、ケーブル類が人の通る床をはっていると、足に引っかけるなどしてけがやパソコンの故障の原因となり危険です。また、小さなお子さんがいる場合は、キーボードやマウスなどをお子様が引っ張って落としてしまうこともあるので、十分に注意してください。

パソコンの近くに置いてはいけないもの

・扇風機や大型のスピーカ、温風式こたつなど

(磁気を発生するもの、磁気を帯びているもの)

パソコンは磁気の影響を受けやすいので、強い磁気が近くにあるとディスプレイの表示が揺れたり、色が乱れたりすることがあります。

パソコン用スピーカなど、磁気をもらさない(防磁設計)スピーカは近くに置いて構いません。

温風式こたつも磁気を発生するので、パソコンを温風式こたつの上に置かないでください。

・ストーブなどの暖房器具

暖房器具の近くにパソコンを置くと、熱でパソコンが変形したり、異常な動作をすることがあります。

・薬品

薬品によっては、付着するとパソコンが溶けたり、変形したりすることがあります。

・他のディスプレイ

他のディスプレイの表示が揺れたり、色が乱れたりすることがあります。

・テレビ、ラジオ

テレビやラジオにノイズが入ることがあります。

・コードレス電話、携帯電話

コードレス電話や携帯電話などで通話中のときにノイズが入ることがあります。また、パソコンも電波の影響を受けてスピーカにノイズが入ることがあります。

電源の取り方

パソコンの電源の取り方はとても大切です。コンセントの位置や数をよく確認しておきましょう。

パソコンに必要な電源

アース端子

本体のアース線を接続します。コンセントにアース線がない場合は、他の方法でアースを取っても構いません。その場合、必ずお近くの電器店など、電気工事士の資格を持った人にアース端子付きコンセントの取り付けを相談してください。

コンセント

- ・ **テレビ、ラジオなどとは別のコンセントを使う**
テレビ、ラジオなどと同じコンセントを使うと、テレビ、ラジオなどに雑音が入ることがあります。
- ・ **電源はコンセントから直接取る**
コンセントが不足、パソコン用のテーブルタップなどを使う場合は、テーブルタップの合計電力を必ず守ってください。
- ・ **必要なコンセントの個数を確認する**
モデルによって必要なコンセントの個数は異なります。次の機器にコンセントが必要です。
 - パソコン本体
 - ディスプレイ

P A R T

2

パソコンの接続をする

パソコンは精密機器ですから、倒れたりしないように設置することが大切です。また、ケーブル類のつなぎ方を間違えると、パソコンは正しく動いてくれません。このあとの説明や安全上の注意事項を必ず読んで、慎重に作業を進めましょう。

パソコンを接続する手順

これから始めるパソコンの接続は、次の手順で行います。
接続をはじめる前に、よく確認しておいてください。

パソコン本体にスタビライザを取り付ける

取り付けにはプラスドライバー（ねじ回し）が必要です。

キーボードを接続する


マウスを接続する

ディスプレイを接続する

アースを接続する

接続にはプラスドライバー（ねじ回し）が必要です。

電源ケーブルを接続する

次ページから記載されている手順にしたがって、接続を行ってください。疲れたら途中で休憩しても構いません。接続するときは、パソコン本体のコネクタにあるマーク( など)の色と、ケーブルのプラグの色を合わせて接続してください。

チェック!!

接続の途中で電源スイッチを押さないように注意してください。

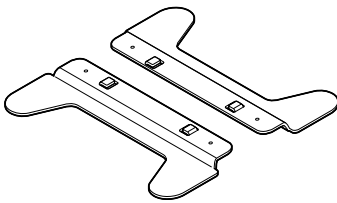
プリンタなど、周辺機器の接続は、あとから

プリンタや別売の周辺機器がある場合、まだ接続しないでください。このマニュアルの「PART3 電源を入れてパソコンを使うようにする」の操作を先に完了させる必要があります。そのあとでPART5、6をご覧ください、接続と設定を行ってください。

パソコン本体に スタビライザを取り付ける

本体を安定させるためにスタビライザ(縦置き用の台)を取り付けましょう。

用意するもの



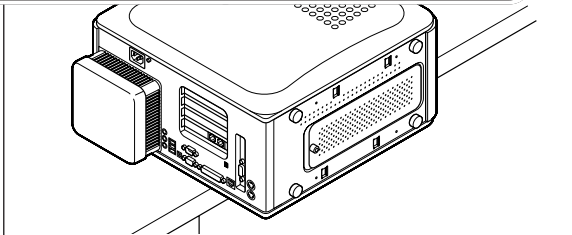
スタビライザ



スタビライザ
取付け用ネジ(4個)

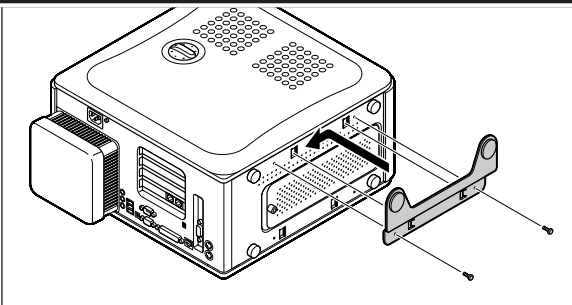
1

パソコン本体を、スタビライザの高さの分くらい底面がはみ出るように、机の端などに置く



2

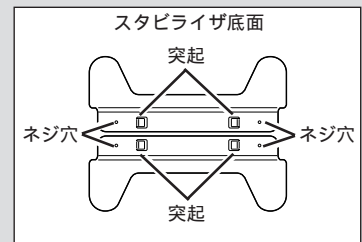
パソコン本体底面の穴にスタビライザの突起をはめて本体背面方向にずらし、添付のネジ2本で取り付ける



✓チェック!!

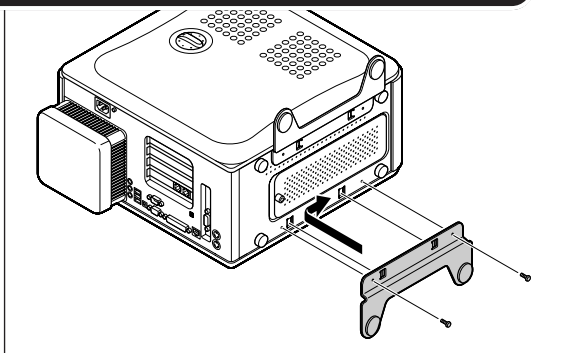
本体を横に倒すときは、本体を安定させるためや、机やテーブルなどを傷つけないために、下に厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

図の突起と本体底面の穴を合わせてスタビライザを取り付けます。



3

パソコン本体底面の穴にスタビライザの突起をはめて本体前面方向にずらし、添付のネジ2本で取り付ける



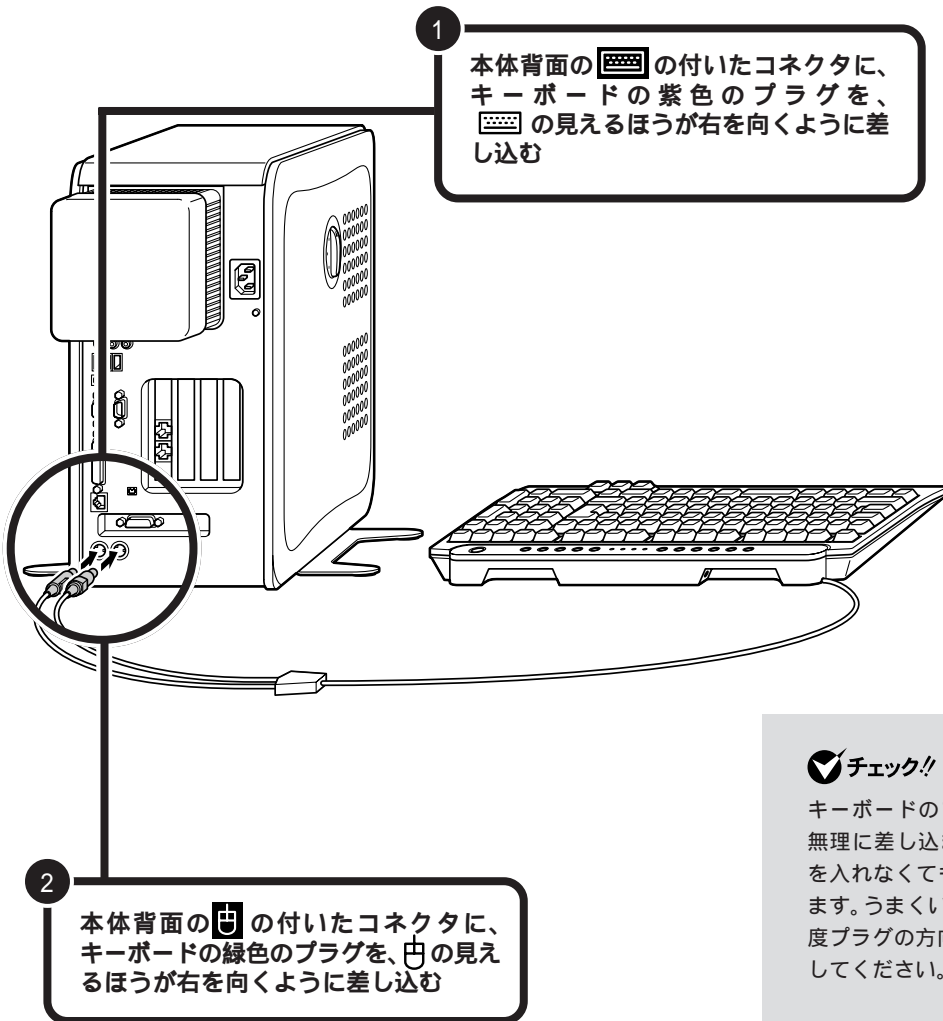
4

パソコン本体を持ち、静かに縦に置く

キーボードを接続する

本体背面のPS/2コネクタに、キーボードを接続します。

本体にキーボードを接続する

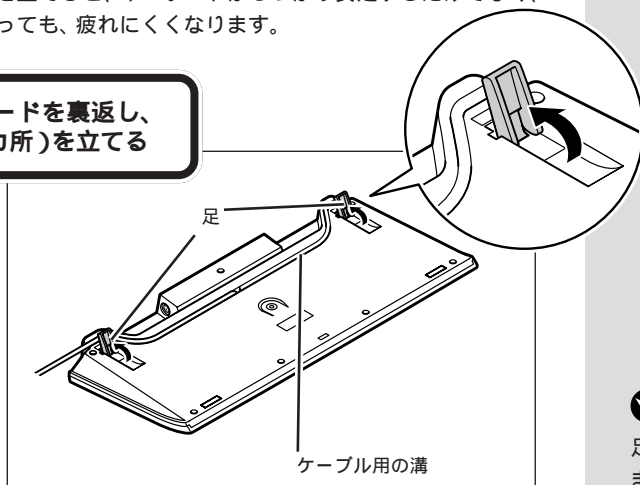


キーボードの足を立てる

キーボードの足を立てると、キーボードがしっかり安定するだけでなく、長時間キーを打っても、疲れにくくなります。

1

キーボードを裏返し、
足(2カ所)を立てる



キーボードは足を立てずに使用することもできます。その場合、キーボードのケーブルを「ケーブル用の溝」に押し込むと、安定します。

✓チェック!!

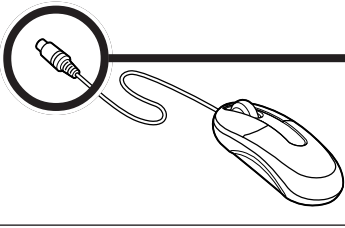
足を立てるとき、カチッと音がするまで矢印の方向に立ててください。

マウスを接続する

キーボードの裏側にマウスを接続します。今度も、プラグの向きに注意してください。

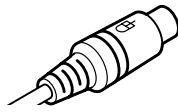
1

マウスのプラグを持つ



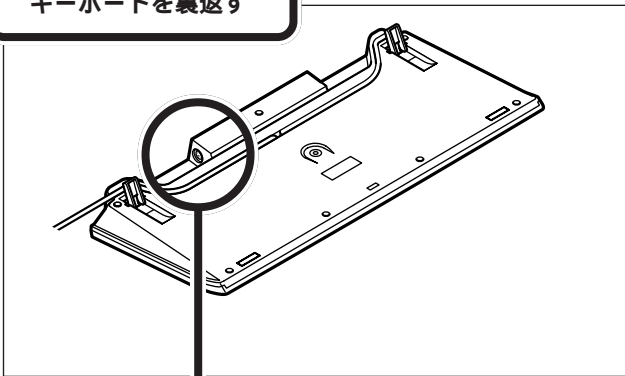
2

凹の見えるほうが上になるようにする



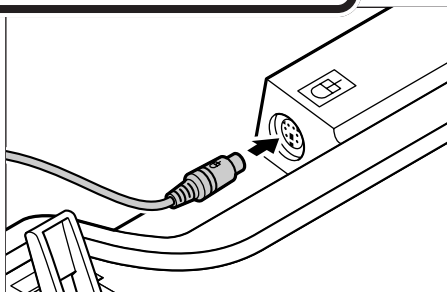
3

キーボードを裏返す



4

キーボード裏側の凹の付いたコネクタにプラグを差し込む



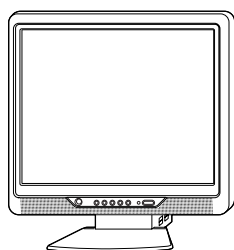
✓チェック!!

マウスのプラグは、力を入れて無理に差し込まないでください。力を入れなくてもスムーズに差し込めます。うまくいかないときは、もう一度プラグの方向(上下の向き)を確認してください。

ディスプレイを接続する

ディスプレイのケーブルを、本体背面に接続します。

モデルによって、ディスプレイの接続のしかたは異なります。
p.iiの表とp.2の「型名(型番)と製造番号を確認する」で該当するモデルを確認して、あてはまるページへ進んでください。



液晶ディスプレイ (17型)セット モデルの場合

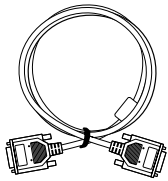
p.15 に進む

ディスプレイなしモデルの場合

p.20 に進む

17 型液晶ディスプレイを接続する

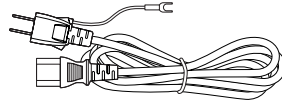
用意するもの



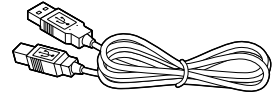
ビデオ信号
ケーブル



オーディオケーブル

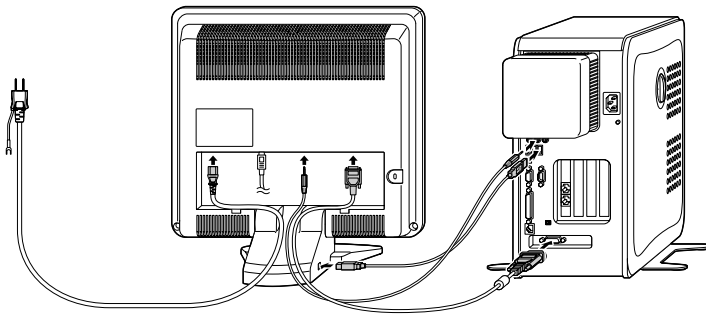


ディスプレイ用
電源ケーブル



USBケーブル

ディスプレイの接続のしかた



液晶ディスプレイ背面のコネクタカバーを外して、ビデオ信号ケーブル、オーディオケーブル、ディスプレイ用電源ケーブルを接続します。コネクタカバーを元通りに取り付けた後、ビデオ信号ケーブルとオーディオケーブルを本体背面に接続します。USBケーブルを液晶ディスプレイ左側面と本体背面に接続します。詳しくは次の手順をご覧ください。

✓チェック!!

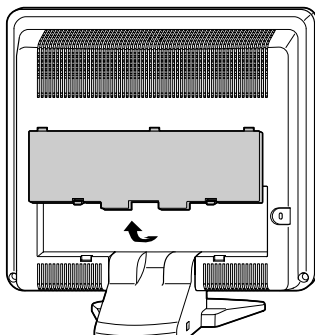
ディスプレイ背面につながっているUSBケーブルは、コネクタから外さないでください。

液晶ディスプレイにビデオ信号ケーブルとオーディオケーブルを接続する

液晶ディスプレイ背面のコネクタカバーを外して、ビデオ信号ケーブルとオーディオケーブルを接続します。

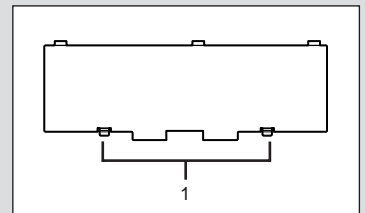
1

コネクタカバーを外す



✓チェック!!

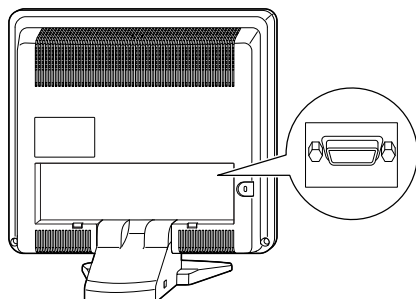
- ・ 図の「1」の部分の部分を指で持ち上げながら手前に引くと、うまく取り外せます。



- ・ 外したコネクタカバーは、なくさないように注意してください。

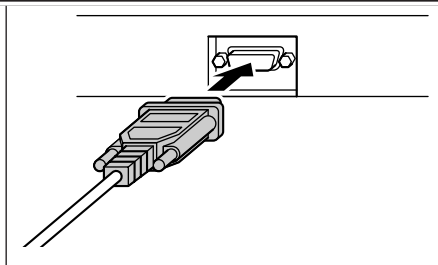
2

液晶ディスプレイ背面を見る



3

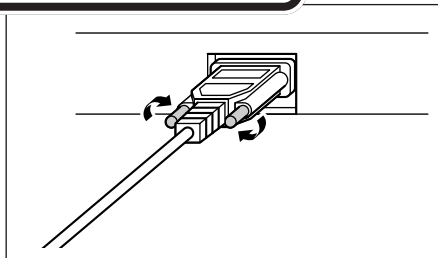
ビデオ信号ケーブルのノイズ除去用コアが付いていない方のプラグを持ち、液晶ディスプレイ背面の(図)の付いたコネクタに、プラグの台形の金具の長い辺が上側になるようにして差し込む



台形の金具の長い辺が上になるようにして差し込む

4

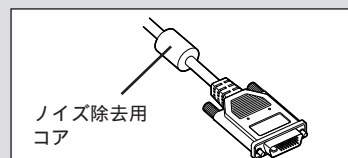
ネジのつまみを指で右へ回し、止まるまでしっかり固定する



ビデオ信号ケーブルを接続するコネクタは、下向きに付いています。ディスプレイを傾けて、コネクタの位置と向きを確認してください。

チェック!!

- ここでは、図のようなノイズ除去用のコアが付いていない方のプラグを接続します。

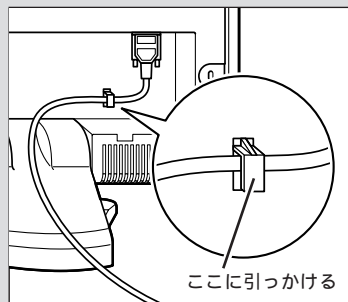


- プラグがうまく差し込めないときは、もう一度プラグの方向(上下の向き)を確認してください。力まかせに押し込むと、コネクタを壊してしまうおそれがあります。
- ビデオ信号ケーブルのプラグは、奥までしっかり差し込んでください。差し込み方が浅い場合、うまくネジ止めできないことがあります。

チェック!!

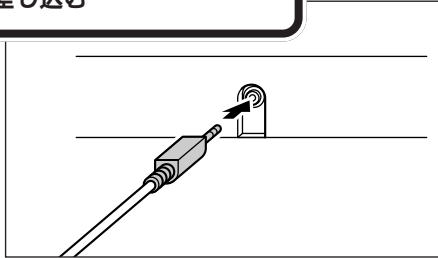
プラグのネジは、両方均等に力を加えながら締めてください。片方だけを締めると、接続不良になることがあります。

ビデオ信号ケーブルを取り付けたら、図のようにクリップに引っかけて固定できます。



5

オーディオケーブルの水色のプラグを持ち、ディスプレイ背面の(Ⓜ)の付いたコネクタに差し込む

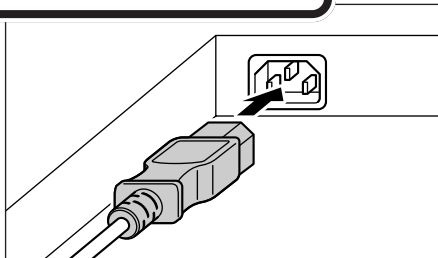


液晶ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

ディスプレイ用電源ケーブルを接続します。接続が終わったらコネクタカバーを元通りに取り付けます。

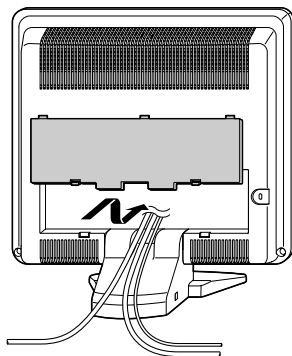
6

ディスプレイ用電源ケーブルの片方の端を、コネクタの奥までしっかり差し込む



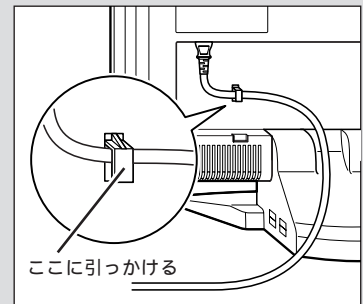
7

手順 1 で外したコネクタカバーを元通りに取り付ける



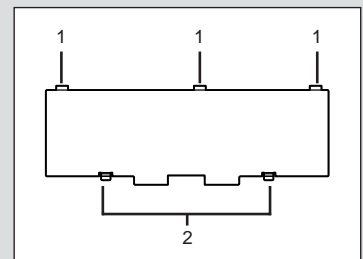
ディスプレイ用電源ケーブルを接続するコネクタは下向きに付いています。ディスプレイを傾けて、コネクタの位置と向きを確認してください。

ディスプレイ用電源ケーブルを取り付けたら、図のようにクリップに引っかけて固定します。



✓チェック!!

- ・ 図の「1」の部分ディスプレイ側に引っかけてそのまま前方に倒し、図の「2」の部分を押し込むようにすると、うまく取り付けることができます。

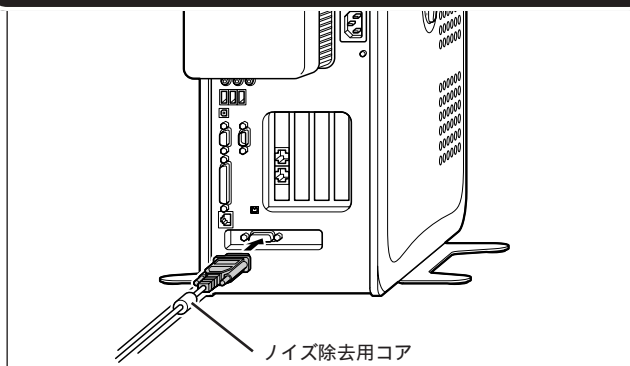


パソコン本体と液晶ディスプレイを接続する

ビデオ信号ケーブル、オーディオケーブルを本体背面に接続し、USBケーブルを液晶ディスプレイ左側面と本体背面に接続します。

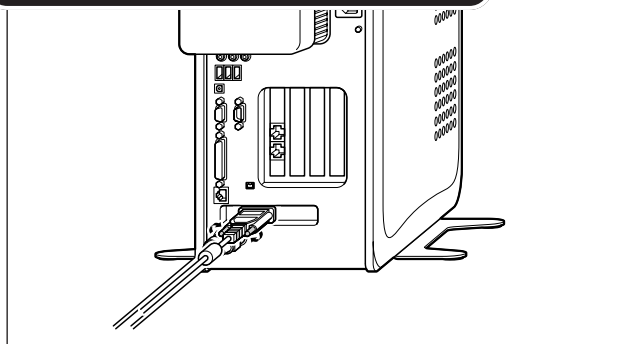
8

ビデオ信号ケーブルのノイズ除去用コアが付いている方のプラグを持ち、本体背面の  の付いたコネクタに、プラグの台形の金具の長い辺が下側になるようにして差し込む




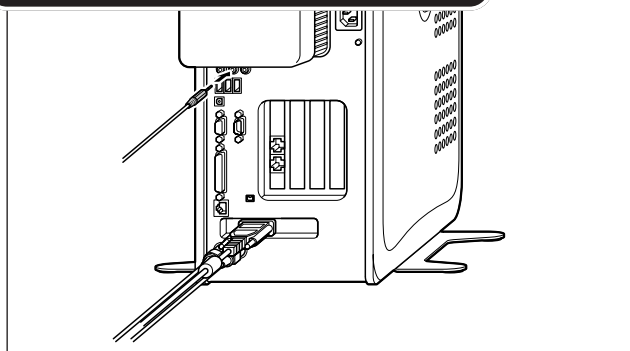
9

ネジのつまみを指で右へ回し、止まるまでしっかり固定する



10

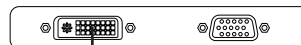
オーディオケーブルのもう一方の黄緑色のプラグを持ち、本体背面の  (黄緑色) の付いたコネクタに差し込む



✓チェック!!

- プラグがうまく差し込めないときは、もう一度プラグの方向(上下の向き)を確認してください。力まかせに押し込むと、コネクタを壊してしまうおそれがあります。
- ビデオ信号ケーブルのプラグは、奥までしっかり差し込んでください。差し込み方が浅い場合、うまくネジ止めできないことがあります。
- プラグのネジは、両方均等に力を加えながら締めてください。片方だけを締めると、接続不良になることがあります。

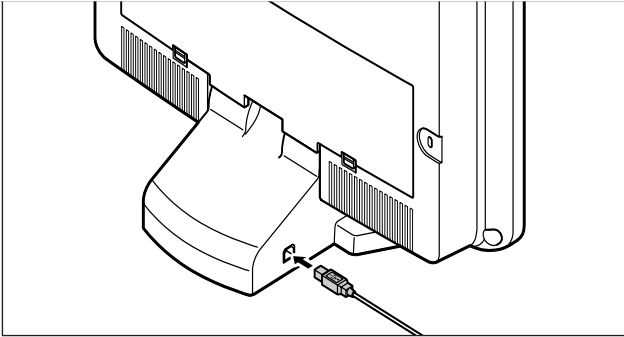
本体背面のディスプレイコネクタが2つならんでいるモデルでは、左側のコネクタに液晶ディスプレイを取り付けてください。




こちらに取り付ける

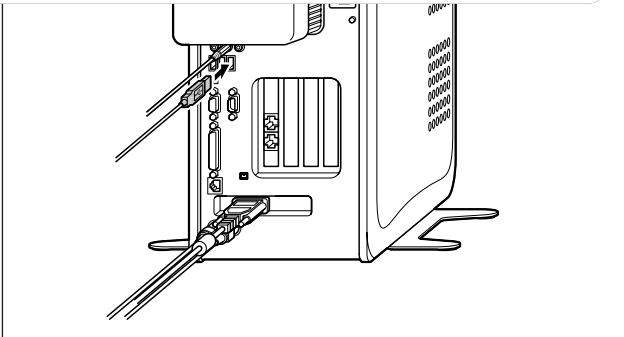
11

ディスプレイ左側面のUSBコネクタに、USBケーブルのプラグを、が上を向くように差し込む



12

本体背面のUSBコネクタに、USBケーブルのもう一方のプラグを、が右を向くように差し込む



本体背面には、USBコネクタが3個ありますが、どのコネクタに差し込んで構いません。

ディスプレイ用電源ケーブルは、まだ壁などのコンセントに接続しないでください。

ディスプレイ用電源ケーブルを接続する場合は、このPARTの「電源ケーブルを接続する」(p.24)をご覧ください。

「アースを接続する」(p.23)に進む

別売のディスプレイを接続する

このパソコンには、「ミニ D-Sub 15 ピンのアナログ RGB コネクタ」と「DVI-I のデジタル RGB コネクタ」のどちらかに対応したディスプレイを接続できます。

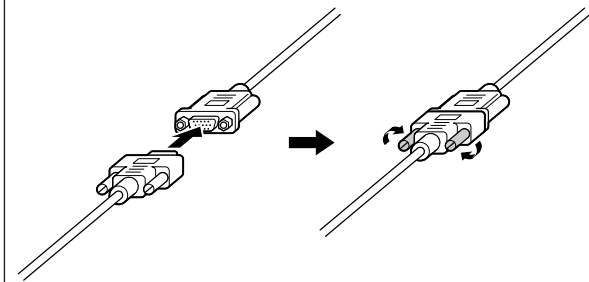
お使いのディスプレイに添付のマニュアルとあわせてご覧ください。

ミニ D-Sub 15 ピンのアナログ RGB コネクタに対応したディスプレイを接続する


お使いのビデオ信号ケーブルに添付のディスプレイ出力変換ケーブル (DVI-I アナログ RGB) を取り付けてから、本体背面の DVI-I コネクタに接続します。

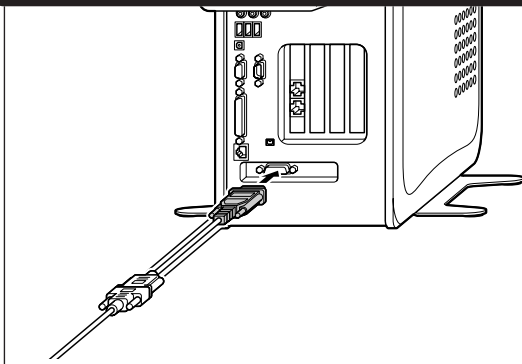
1

お使いのディスプレイのビデオ信号ケーブルに、添付のディスプレイ出力変換ケーブル (DVI-I アナログ RGB) を取り付ける。



2

ディスプレイ出力変換ケーブル (DVI-I アナログ RGB) のもう一方のプラグを、本体背面の  の付いたコネクタに、プラグの台形の金具の長い辺が下側になるようにして差し込む。

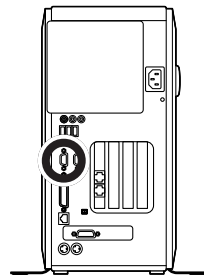


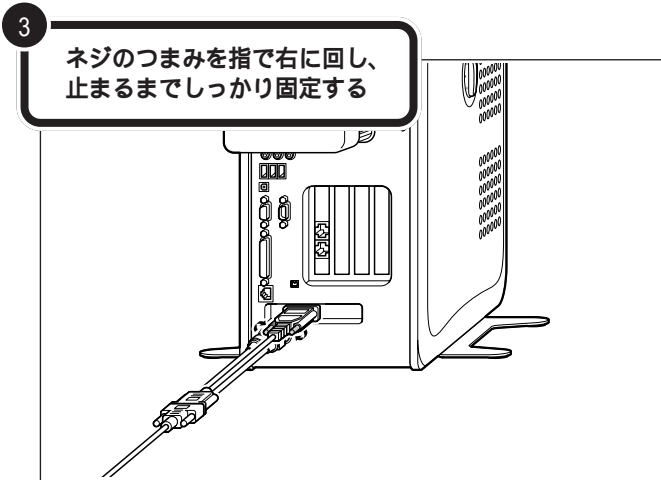
✓チェック!!

- ・ プラグがうまく差し込めないときは、もう一度プラグの方向 (上下の向き) を確認してください。力まかせに押し込むと、コネクタを壊してしまうおそれがあります。
- ・ ビデオ信号ケーブルのプラグは、奥までしっかり差し込んでください。差し込み方が浅い場合、うまくネジ止めできないことがあります。
- ・ プラグのネジは、両方均等に力を加えながら締めてください。片方だけを締めると、接続不良になることがあります。

✓チェック!!

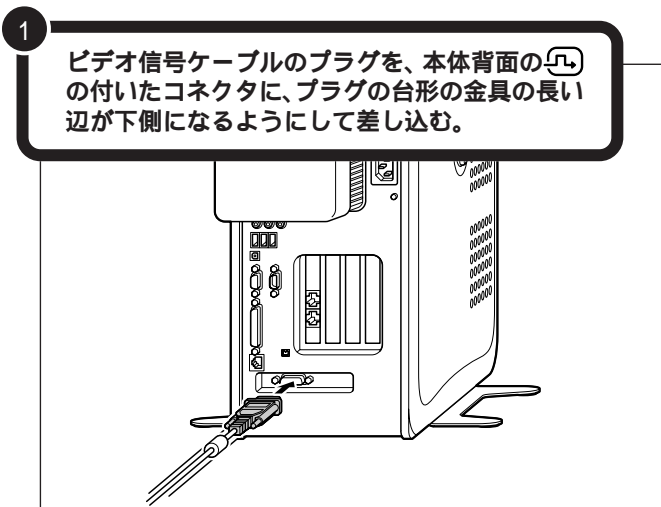
本体背面のアナログ RGB コネクタにビデオ信号ケーブルを取り付けても、何も表示されません。





DVI-IのデジタルRGBコネクタに対応したディスプレイを接続する

DVI-Iコネクタに対応したプラグの場合、本体背面のDVI-Iコネクタに直接接続できます。

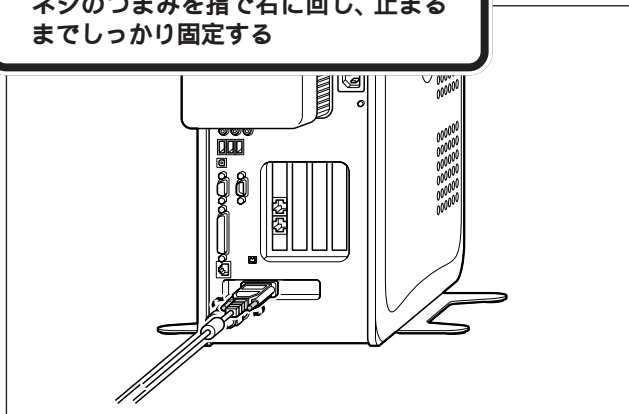


✓チェック!!

- ・ プラグがうまく差し込めないときは、もう一度プラグの方向(上下の向き)を確認してください。力まかせに押し込むと、コネクタを壊してしまうおそれがあります。
- ・ ビデオ信号ケーブルのプラグは、奥までしっかり差し込んでください。差し込み方が浅い場合、うまくネジ止めできないことがあります。
- ・ プラグのネジは、両方均等に力を加えながら締めてください。片方だけを締めると、接続不良になることがあります。

2

ネジのつまみを指で右に回し、止まるまでしっかり固定する



ディスプレイ用電源ケーブルは、まだ壁などのコンセントに接続しないでください。

ディスプレイ用電源ケーブルを接続する場合は、このPARTの「電源ケーブルを接続する」(p.24)をご覧ください。

「アースを接続する」(p.23)に進む

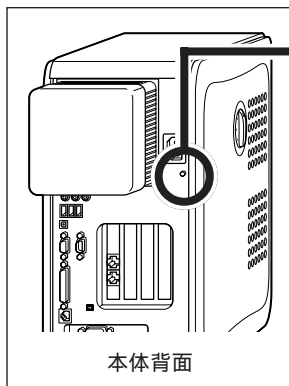
アースを接続する

パソコン本体の背面にあるアース端子のネジをゆるめて、アース線の端子を取り付けます。それからコンセントのアース端子に接続します。

用意するもの

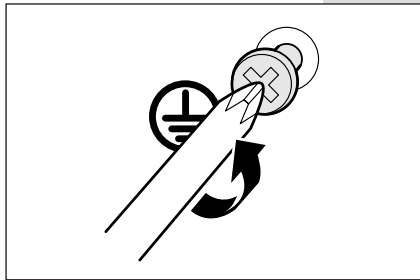


アース線（緑色の電線です。）

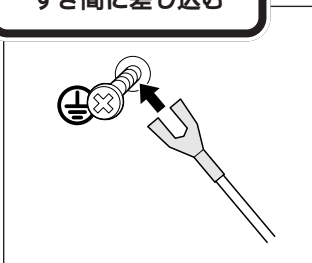


本体背面

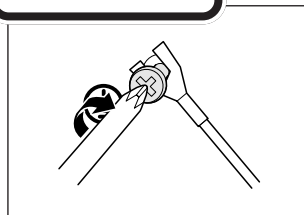
1 本体背面の⊕の付いたネジをゆるめる



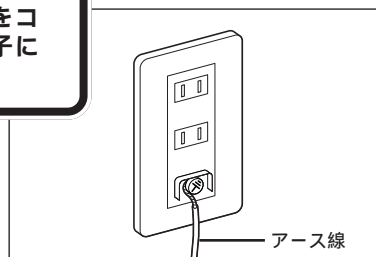
2 アース線の端子をすき間に差し込む



3 ネジをしめる



4 アース線のもう一方をコンセントのアース端子に接続する



アース線

用語

アース線

感電を防止するための電線です。パソコンのアース端子と、コンセントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

ドライバーはネジに合ったものをお使いください。合わないドライバーを使って無理にネジを回すと、ネジが壊れることがあります。

チェック!!

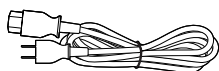
- ・ アース線は水道管につながないでください。アースできない場合があります。
- ・ アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。
- ・ アース端子付きのコンセントが利用できない場合には、お近くの電気工事士の資格を持つ人にアース端子付きコンセントの取り付けをご相談ください。

電源ケーブルを接続する

最後に、電源ケーブルを接続します。

用意するもの

パソコン本体用電源ケーブルはパソコンに添付のものをお使いください。

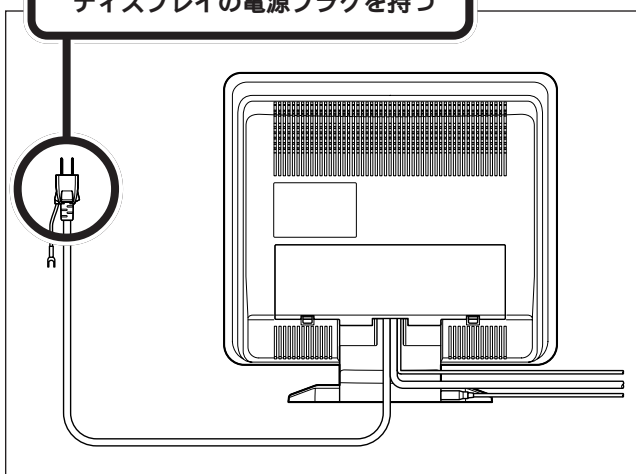


パソコン本体用電源ケーブル

17 型液晶ディスプレイの場合

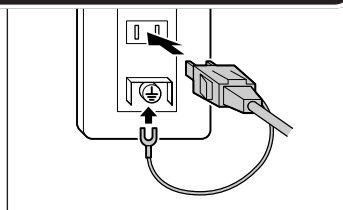
1

ディスプレイの電源プラグを持つ



2

アース線を壁などのコンセントのアース端子に接続し、電源ケーブルのもう一方のプラグをコンセントに差し込む



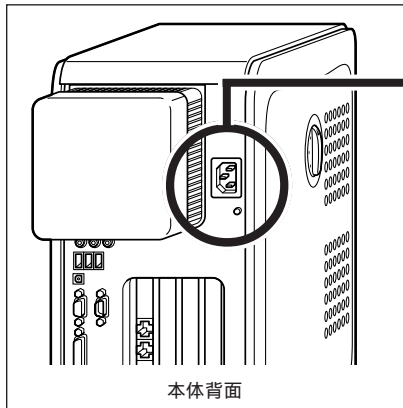
✓チェック!!

アース端子付きコンセントが利用できないときは、お近くの電器店など、電気工事士の資格を持った人にアース端子付きコンセントの取り付けを相談してください。

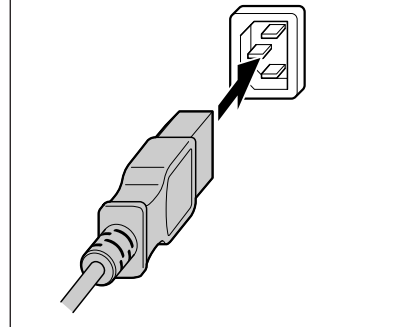
ディスプレイなしモデルの場合

別途ご購入されたディスプレイのマニュアルをご覧になり、電源ケーブルを接続してください。

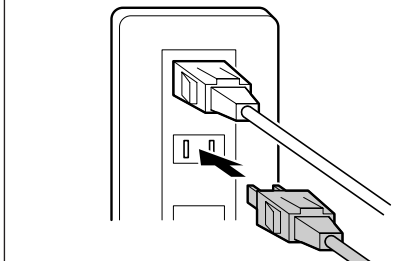
パソコン本体に電源ケーブルを接続する



1 電源ケーブルの片方の端を、本体背面のコネクタの奥までしっかり差し込む



2 電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む



これで接続は完了です。

プリンタなど、周辺機器の接続は、あとから

プリンタや別売の周辺機器がある場合、まだ接続しないでください。このあとの「PART3 電源を入れてパソコンをできるようにする」の操作を先に完了させる必要があります。そのあとでPART5,6 をご覧になり、接続と設定を行ってください。

✔チェック!!

電源ケーブルなどが、人の通る場所がないことを再確認してください。ケーブルを足に引っ掛けたりすると、パソコンの故障の原因になるだけでなく、思わぬけがをすることもあります。

P A R T

3

電源を入れて パソコンを使えるようにする

パソコンの接続は終わっていますね。それでは、いよいよ電源を入れます。最初に電源を入れるときは、このパソコンを使えるようにするためのセットアップ作業が必要です。この作業が終わらないと、パソコンは使えるようになりません。このあとの説明をよく読んで、ゆっくり確実に操作してください。

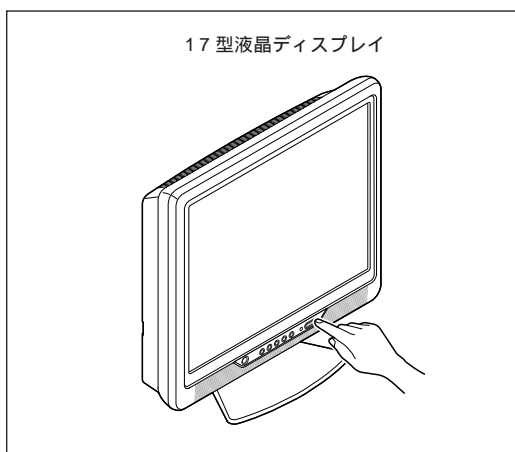
パソコンを セットアップする

ディスプレイ、パソコン本体の順に電源スイッチを押していきます。電源を入れてから、パソコンが使えるようにするための準備が完了するまで、約30分程度かかります。

1

ディスプレイの電源を入れる

ディスプレイなしモデルの場合は、別途購入されたディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。



2

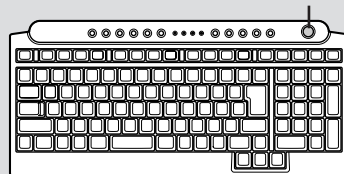
パソコン本体の電源 スイッチ(⏻)を押す



パソコン本体の電源ランプ(Ⓛ)が緑色に点灯し、前面パネルが青く発光します。

キーボードの電源スイッチを押してパソコン本体の電源を入れることもできます。

キーボードの電源スイッチ



✓チェック!!

電源スイッチを押しても電源ランプが点灯しない場合、電源ケーブルの接続が不完全であることが考えられます。PART2の「電源ケーブルを接続する」(p.24)をご覧ください。

画面が表示されるまで、何分かかかることがあります

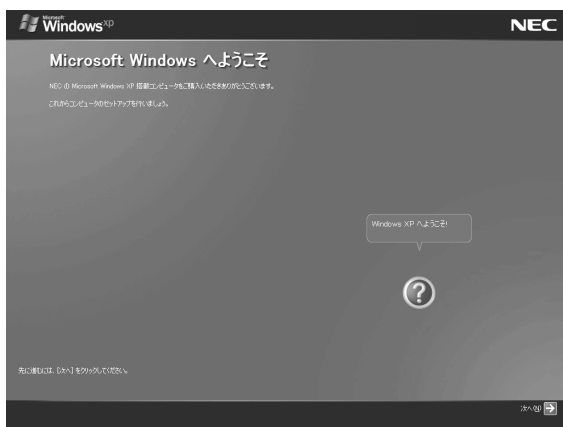
パソコンの電源スイッチを押してから画面が表示されるまでに数分かかることがあります。その間、WindowsのロゴやNECのロゴが表示された後などに、何度か一時的に画面が真っ暗なままになる(約1分～3分程度)がありますが、故障ではありません。あわてて電源を切ったりせずそのままお待ちください。

操作の途中で電源を切らない!!

p.40までの操作がすべて終わるまでに、約30分かかります。p.40の手順が完了するまでは、絶対に電源を切らないください。もちろん、電源ケーブルをいきなり抜いたりしてはいけません。パソコンが使えるようになる前に電源を切ると、故障の原因になります。万一、停電やコンセントが抜けたなどの理由で電源が切れてしまった場合は、一度電源ケーブルを抜き、もう一度接続し直した後、電源スイッチを押してください。画面が表示される場合は、セットアップを続けてください。画面が表示されない場合は、ご購入元またはNECにお問い合わせください。

3

次の画面が表示されていることを確認する



セットアップ中に困ったときは、画面右下の(?)をクリックするかキーボードの【F1】を押して、表示された項目をクリックしてください。解決のしかたが表示されます。まちがってメッセージを表示してしまった場合は、「表示しない」をクリックしてメッセージを消してください。

パソコンの操作はあわてずに!

パソコンを使っているときに、次の画面に切り替わるまで、少し時間がかかることがよくあります。これは、パソコンの内部で設定などの準備処理が行われているためです。「しばらくお待ちください」といったメッセージや⌛が出ているときは、キーを押したり、マウスのボタンを何度も押ししたりしないようにしてください。



4 →をクリックする

使用許諾契約に同意する

1 「使用許諾契約」の内容を確認する



使用許諾契約とは？

このパソコンを使えるようにするには、パソコンに入っているソフトウェアを違法にコピーして他人に渡したりしないという契約に同意しなければなりません。同意していただけない場合は、このパソコンを使うことができません。

契約書の文章が表示された欄の右に▼(または▽)があります。この▼(または▽)の上に矢印を合わせてクリックすると、続きを読むことができます。このように、画面に内容の一部だけが表示されている場合に、表示する部分を移動させることを「スクロール」と呼びます。

2

記載内容に同意する場合は、「同意します」の左にある
 をクリックする



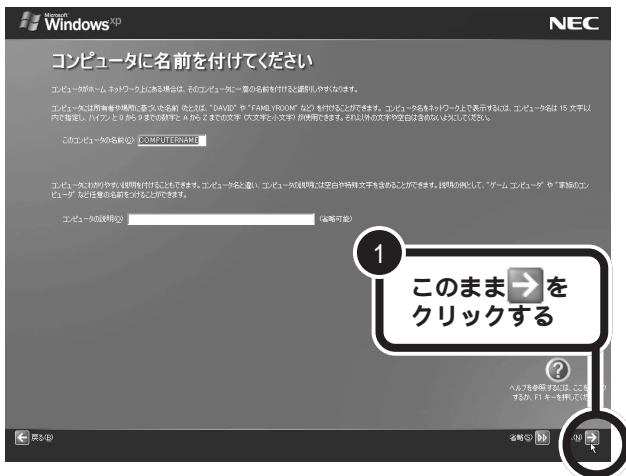
同意します 同意します になる




3

をクリックする

コンピュータに名前を付ける



1 このまま → をクリックする

- ・ 文字入力に慣れている場合は、ここでコンピュータ名をつけてもかまいません。コンピュータ名を入力するときは、半角英数字を使用してください。パソコンが何台があるなら「PC1」、「PC2」といった感じです。思いつかなければ「VALUESTAR」としてください。
- ・ コンピュータ名に数字を使うときは、キーボードの「」のランプが点灯していることを確認してください。点灯していないときは、キーボードの【NumLock】を押してください。
- ・ コンピュータ名はセットアップ後に変更することもできます。変更の方法は、Windowsの「ヘルプとサポート」で「コンピュータ名」を検索し、「コンピュータ名を変更する」をご覧ください。



管理者パスワードを設定する



1 「管理者パスワード」欄をクリックして、管理者パスワードを入力する

2 「パスワードの確認入力」欄をクリックして、手順 1 で入力したパスワードと同じパスワードを入力する

3 → をクリックする

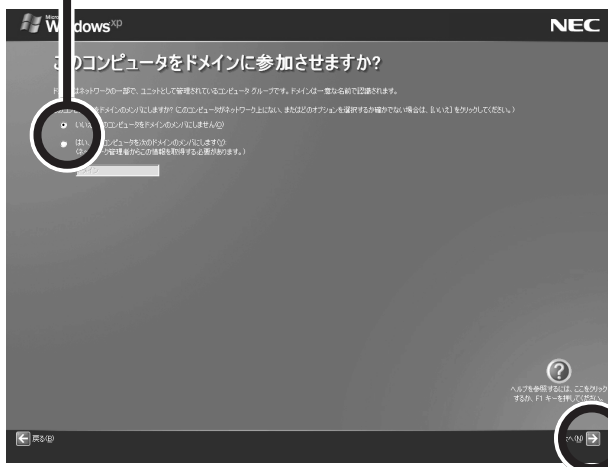
- ・ パスワードは覚えやすく、忘れないようなものにしてください。
- ・ パスワードには、大文字/小文字の区別があります。
- ・ パスワードに数字を使うときは、キーボードの「」のランプが点灯していることを確認してください。点灯していないときは、キーボードの【NumLock】を押してください。
- ・ 入力したパスワードは「」で表示されます。
- ・ パスワードはセットアップ後に変更することもできます。変更の方法は、Windowsの「ヘルプとサポート」で「パスワード」を検索し、「パスワードを変更する」をご覧ください。

ドメインの参加をキャンセルする

「このコンピュータをドメインに参加させますか？」の画面が表示された場合は、以下の操作を行ってください。画面が表示されない場合は、次の「インターネットに接続する方法を指定する」に進んでください。

1

「いいえ、このコンピュータをドメインのメンバーにしません」の左が☑になっていることを確認する



コンピュータをドメインに参加させる場合は、セットアップ完了後に設定してください。設定方法については、Windowsの「ヘルプとサポート」で「ドメイン」で検索し、「ドメインに参加する」をご覧ください。

2

→をクリックする

インターネットに接続する方法を指定する

「インターネット接続が選択されませんでした」または「インターネットに接続する方法を指定してください。」の画面が表示された場合は、以下の操作を行ってください。画面が表示されない場合は、次の「ユーザー登録をキャンセルする」に進んでください。




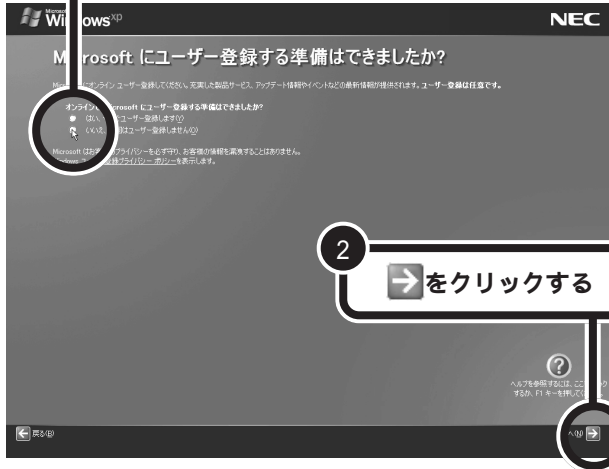
1

▶▶(省略)をクリックする

ユーザー登録をキャンセルする

1

「いいえ、今回はユーザー登録しません」の左にある  をクリックする






2

 をクリックする

ユーザー登録はセットアップが終わった後で、「ユーザー登録ウィザード」で行うこともできます。詳しくは、Windowsの「ヘルプとサポート」で「ユーザー登録」で検索し、「オンラインユーザー登録を使用する」をご覧ください。

✓チェック!!

「いいえ、今回はユーザー登録しません」の左にある  をクリックしないで、 をクリックしてしまった場合は、次の画面で  をクリックしてやり直してください。

インターネットアクセスのセットアップをキャンセルする

「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか？」の画面が表示された場合は、以下の操作を行ってください。画面が表示されない場合は次の「コンピュータを使うユーザーを指定する」に進んでください。

1

「いいえ、今回はインターネットに接続しません」の左にある  をクリックする



2

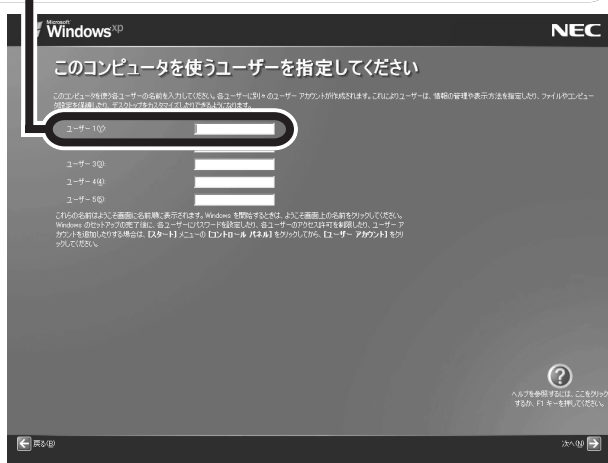
 をクリックする

コンピュータを使うユーザーを指定する

1

「ユーザー 1」欄にカーソル(|)が点滅していることを確認する

点滅していないときは、「ユーザー 1」欄をクリックする。







2

キーボードから名前を入力する

ここでは、まだ文字入力に慣れていない方のために日本語入力をオフの状態にしてローマ字で入力する手順を説明します。

【例】

「mita」と入力する場合

日本語入力がオフの状態では、キーボードから     の順でキーを押す。

入力を間違えたら

- ・カーソルの左側の文字を消すには:【BackSpace】
- ・カーソルの右側の文字を消すには:【Delete】
- ・カーソルを動かすには:【 】【 】
- ・キーを押しても文字が入力されないときは:
入力欄にカーソル「 | 」が表示されているかどうか確認してください。
表示されていないときは、入力欄をクリックしてください。

3

入力したユーザー名を下の欄に控える

このパソコンを再セットアップする時に必要になりますので、入力したユーザー名は必ず控えておいてください。

ユーザー名:


✓チェック!!

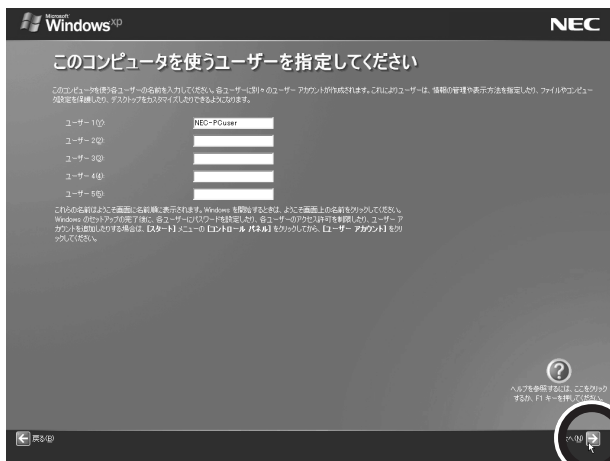
ここでは「ユーザー 1」のみ入力してください。ユーザー名は後で追加や変更ができます。Windows の「ヘルプ」とサポート (p.57) をご覧ください。

日本語入力のオンとオフは、キーボードの【半角/全角】を押して切り替えることができます。このとき、日本語入力ツールの表示は次のようになります。



「A」と表示されているときは英数字で、「あ」と表示されているときはかなで入力されます。

ユーザー名に数字を使うときは、キーボードの  のランプが点灯していることを確認してください。点灯していないときは、キーボードの【NumLock】を押してください。



4 →をクリックする

パソコンを使う準備をする



1 →をクリックする

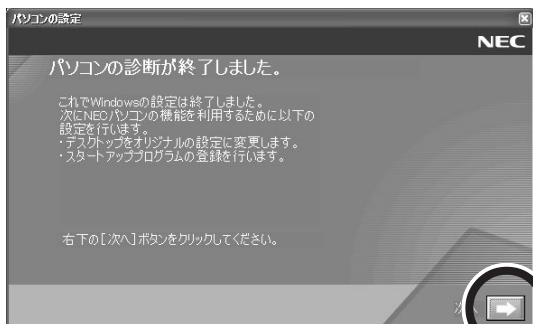
2 次の画面が出るまで待つ

「完了」をクリックすると、Windows が再起動します。再起動中、画面が 2 ～ 3 分ほど真っ暗な状態が続きますが、問題ありません。電源を切らずにそのままお待ちください。Windows の再起動後、「パソコンの設定」画面が表示されます。

**まだセットアップは完了していません。
続けて、次の手順へ進んでください。**

3

下の画面が表示されていることを確認する



4

をクリックする

ファミリーリングを設定する(VALUESTAR FZのみ)

1

1人の左がになっていることを確認する

2

「次へ」をクリックする



3

p.35の「コンピュータを使うユーザーを指定する」で設定したユーザー名が表示されていることを確認する



4

「登録完了」をクリックする

↓ 次の画面が表示される



5

登録した内容を確認して「終了」をクリックする

この画面に表示されているユーザーが、「ファミリー環境設定ツール」の管理者となります。管理者の権限は、設定変更できません。

ここでユーザーを登録するファミリーリングは1つだけです。残りのファミリーリングへのユーザー登録は、セットアップが終わった後で、「ファミリー環境設定ツール」を使って行うことができます。


ファミリーリングへのユーザー登録のしかたについては、『快適パソコン生活Book』をご覧ください。

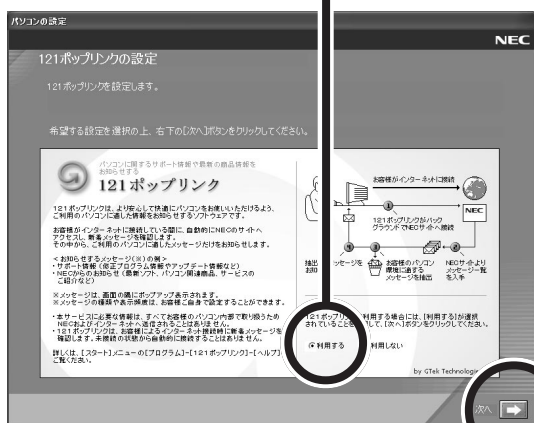
参考

ファミリー環境設定ツールについて
 「ばそガイド」-「パソコンの設定」-「ユーザーの切り替え」-「ファミリー環境設定ツール」または、「ファミリー環境設定ツール」のヘルプ

121 ポップリンクを設定する

1

「利用する」の左が  になっていることを確認する



2

 をクリックする

↓ 次の画面が表示される



ここで「利用する」を選ぶと、インターネットで接続できるようになった後で、お使いのパソコンに適した最新情報が NEC から定期的にインターネット経由で届くようになります。



121 ポップリンクの設定は、セットアップ後に変更することもできます。詳しくは、「ばそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」をご覧ください。

パソコンが自動的に再起動します。何も操作せずに待ってください。

正しくセットアップできたかを確認する

1

下の画面が表示されていることを確認する



モデルによって、若干表示が異なります。

この画面が表示されれば、正しくセットアップが行われています。

2

パソコンの「日付と時刻」の設定が正しいかを確認する



画面右下のここに(矢印)を持ってくると日付が表示されます。

時刻は画面の右下に表示されます。

日付と時刻が正しくない場合は、設定し直してください。

これでセットアップの作業は完了です。

他のユーザーを登録する(VALUESTAR FZのみ)

このパソコンに複数のユーザーを登録すると、デスクトップにあるファミリーリングに(矢印)を合わせて、ユーザー名をクリックするだけで、その人個人の設定に切り替えることができます。他のユーザーを追加する場合や、登録した内容(名前、画像など)を変更する場合は「ファミリー環境設定ツール」を使います。詳しくは、「スタート」>「すべてのプログラム」>「ファミリー環境設定ツール」>「ファミリー環境設定ツール ヘルプ」や『快適パソコン生活 Book』をご覧ください。

また、他のユーザーを追加した場合は、「スタート」>「コントロールパネル」>「ユーザーアカウント」の一覧にも反映されます。

次回から、パソコンの電源を入れると、1～2分後には、いつもこの画面が表示されるようになります。この画面全体をデスクトップといいます。


セットアップ時にユーザーを2人以上登録した場合は、ユーザー選択の画面が表示されるようになります。この場合は、起動するユーザーの名前をクリックし、必要であればパスワードを入力してください。左の画面が表示されます。



参照

デスクトップ PART4の「デスクトップについて」(p.54)


参照

日付と時刻の設定方法  「ばそガイド」-「トラブル解決Q&A」-「よくある質問」

必要に応じて、パソコンを守る設定を行う

このパソコンには、プログラムやデータを守るためのソフトが添付されています。Norton AntiVirus(ノートン アンチウイルス)は、パソコンにコンピュータウイルス(パソコンの動作に悪影響のある不正なプログラム)がひそんでいないかチェックするソフトです。PCGATE Personal(ピーシーゲート パーソナル)はインターネットからの不正アクセスからパソコンを守るためのセキュリティソフトです。必要に応じて、これらのソフトの設定を行ってください。

必要に応じて、パソコンのデータを移動する


パソコンを買い換えたときなどは、今まで使っていたパソコンからこのパソコンへデータを移動させると便利です。「バックアップ-NX」の「移行ユーティリティ」を使うと、このパソコンへのデータ移動が簡単に行えます。詳しくは、「ばそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」-「パソコンのデータ移動」をご覧ください。

大切なデータは、バックアップをとる


パソコンのデータが保存されているハードディスクは、ちょっとした衝撃によって壊れたり、長い間使いつづけているうちに突然動かなくなることがあります。このとき、ハードディスクを交換したり、再セットアップすることで、パソコンを購入時の状態に戻すことはできますが、自分で作ったデータは元に戻すことはできません。万一のアクシデントに備えて、自分が作った大事なデータは、必ずバックアップをとるように心がけてください。なお、「バックアップ-NX」を使ってDドライブにデータを保存すると、ハードディスクが壊れたときにデータを元に戻すことができなくなるため、「RecordNow DX」を使って、別売のDVD-RやCD-Rなどにバックアップしたデータを保存することをおすすめします。

また、トラブルがどうしても解決できないときに行う「再セットアップ」は、ハードディスクにある再セットアップ用データを使っていますが、ハードディスクが故障してしまうと「再セットアップ」すらできなくなります。このような事態に備えて、「再セットアップディスク作成ツール」を使って、再セットアップ用データを別売のDVD-RやCD-Rなどに移しておく(「再セットアップ用CD/DVD-ROM」を作っておく)ことをおすすめします。


最新のウイルスに備えてウイルス定義ファイルを更新する

このパソコンでは、はじめてNorton AntiVirusを起動した日から90日間、無料でNorton AntiVirusの更新サービスを受けられます。更新サービスの利用中は、「LiveUpdate」機能を使って、ウイルス定義ファイルを最新のものに更新できます。新種のウイルスに対応するために、必ず更新するように心がけてください。ウイルス定義ファイルの更新について詳しくは、「ばそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」-「Norton AntiVirus」をご覧ください。


参照

Norton AntiVirus、PCGATE Personalについて  「ばそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」

チェック!!

インターネットやLANなどの設定を行うと、PCGATE Personalの「ネットワークセキュリティウィザード」が表示されます。 「ばそガイド」の「ウイルスとトラブルの予防」-「不正アクセスからパソコンを守るには」をご覧ください。

参照

- ・「バックアップ-NX」-「RecordNow DX」について  「ばそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」
- ・再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成する PART9の「再セットアップ用CD/DVD-ROMから再セットアップする」

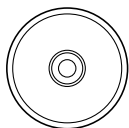
Office XPを使う準備をする(Office XPモデルのみ)

Office XPモデルの場合は、次に「Office XP Service Pack」をインストールします。

VX900/6F、VX100/6F、VZ700/6Fではこのページの手順は不要です。46ページの「お客様登録を行う」に進んでください。

用意するもの

「Microsoft Office XP Personal」パッケージに入っています。



「Microsoft Office XP Personal」CD-ROM

1

デスクトップにある「Microsoft Office XP Service Pack」フォルダをダブルクリックする



↓ 次の画面が表示される



2

「Microsoft Office XP Service Pack1」アイコンをダブルクリックする

「Office XP Service Pack」とは、Office XP にいくつかの機能を追加するためのソフトウェアです。詳しくはマイクロソフトのホームページをご覧ください。

「Office XP Service Pack 1」について

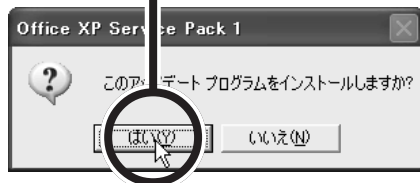
<http://www.microsoft.com/japan/office/downloads/xpsp1/>

「Office XP Service Pack 2」について

<http://www.microsoft.com/japan/office/downloads/xpsp2/>

3

「はい」をクリックする



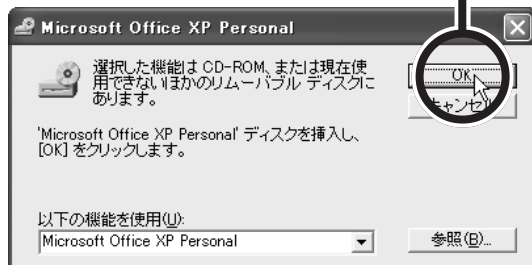
4

「使用許諾契約」画面の内容を確認し、記載内容に同意のうえ「はい」をクリックする

インストールがはじまります。
インストールには数分かかることがあります。しばらくお待ちください。

5

下の画面が表示された場合は、「Microsoft Office XP Personal」CD-ROMをCD/DVDドライブにセットし、「OK」をクリックする



↓ 次の画面が表示される



6

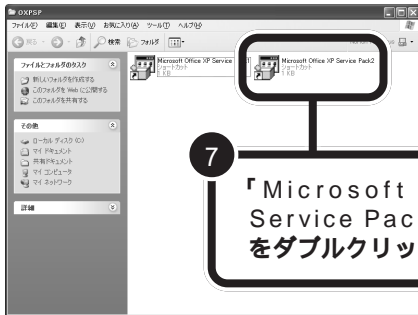
「OK」をクリックする

続けて、「Microsoft® Office XP Service Pack 2」をインストールします。

契約書の文書が表示された欄の右に▼(または▽)があります。この▼(または▽)の上に矢印を合わせてクリックすると、続きを読むことができます。

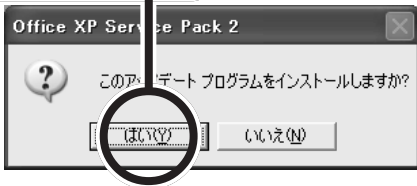
参考

CD-ROMのセットのしかた、取り出し方 PART4の「CD-ROMの入れ方と出し方」(p.63)



7
「Microsoft Office XP Service Pack 2」アイコンをダブルクリックする

8
「はい」をクリックする



9
「使用許諾契約」画面の内容を確認し、記載内容に同意のうえ「はい」をクリックする

インストールがはじまります。
インストールには数分かかることがあります。しばらくお待ちください。

10
下の画面が表示された場合は、「Microsoft Office XP Personal」CD-ROMをCD/DVDドライブにセットし、「OK」をクリックする



↓ 次の画面が表示される



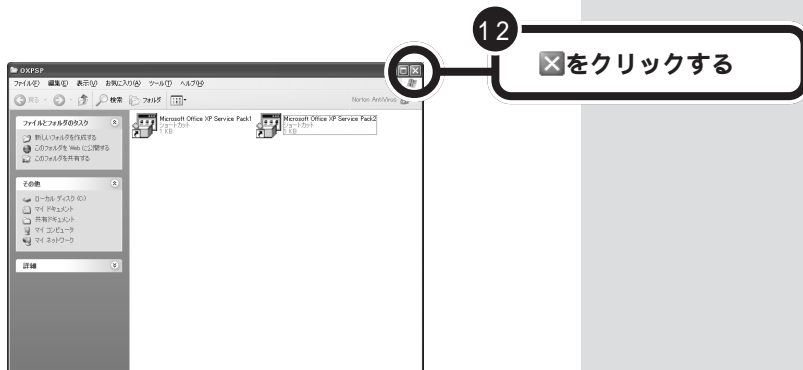
11
「OK」をクリックする

✓チェック!!

「Microsoft® Office XP Service Pack 2」のインストールは、必ず「Microsoft® Office XP Service Pack 1」のインストールが完了してから行ってください。

📖 参照

CD-ROMのセットのしかた、取り出し方 PART4の「CD-ROMの入れ方と出し方」(p.63)



13 「Microsoft Office XP Personal」CD-ROMをCD/DVDドライブにセットしている場合は、CD-ROMを取り出す

これで Office XP を使う準備ができました。

お客様登録を行う

NECでは、サービス・サポートでの「121(ワン・トゥ・ワン) = お客様一人一人に向き合う」を実現するため、お客様登録をおすすめしています。

お客様登録を行うと、こんなに便利！

お客様登録をしていただくと、ご登録内容をもとに、お客様一人一人に合わせた次のようなサービス・サポートを提供いたします。

- ・ 電話で121コンタクトセンターに商品に関する技術的なお問い合わせができるようになります。121コンタクトセンターでは、お客様がお持ちの商品や、以前のお問い合わせ内容などを対応員が把握したうえ、お客様一人一人のニーズや状況に沿った適切なアドバイスをさせていただきます。
- ・ 121wareのショッピングコーナー「121@store(ワントゥワンアットストア)」(<http://121ware.com/store/>)でNECのパソコンや周辺機器、ソフトウェアなどをご購入いただけます。
- ・ 121ware.comのマイアカウント(<http://121ware.com/my/>)で保有商品をご登録いただくと、「サポート」コーナーで保有商品の情報や保有商品に関するQ&A情報、保有商品に合ったモジュールをいち早く入手できます。また、自動アップデート機能でパソコンを常に最新の状態でできます。
- ・ Eメールアドレスをご登録いただくと、ご登録いただいた情報をもとに、ご利用製品のサポート情報、新商品情報(商品広告など含む)、お買い得情報、講習会やキャンペーンのご案内など、お客様に適した情報をタイムリーにお送りします。毎週お届けしているメールマガジン「NEC121wareニュース」は、あなたのデジタルライフを広げる情報が満載です。是非ご利用ください。
携帯電話・FAXでのメールアドレスのご登録はご遠慮ください。

✓チェック!!

- ・ NEC121コンタクトセンターに技術的なお問い合わせをする際は、「お客様登録番号」が必要になります。あらかじめ登録しておくとう安心です。
- ・ 「お客様登録番号」は、インターネットで登録された場合、「121ware.com」の「マイアカウント」に表示されます。「NECオンラインお客様登録」または「お客様登録申込書」で登録された場合は、Eメールまたは郵送でお知らせしています。
- ・ 121wareは、キーボードの【121ware】ボタンを押して見ることができます。

📖参照

インターネットに接続する方法
📖「ばそガイド」-「インターネットと電子メールをはじめよう」-「インターネットに接続する」

お客様登録の方法について

下記の方法からいずれか一つをお選びください。

登録料、会費は無料です。

インターネットに接続できる方には、「1.インターネットで登録する」をおすすめします。

詳しくは『お客様登録ガイド』、「お客様登録申込書」をご覧ください。

1. インターネットで登録する

インターネットに接続して、NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」のマイアカウント(<http://121ware.com/my/>)から登録する方法です。

登録後すぐに121ware.comでのいろいろなサービスが受けられます。

2. 「NEC オンラインお客様登録」で登録する

専用ソフトウェア「NECオンラインお客様登録」を使って登録する方法です。登録はフリーコールで行われますので、通信料金はかかりません。

ISDN・ADSL・CATV・光ファイバー等の回線および携帯電話・PHSの接続では、オンラインお客様登録ができませんので、インターネットまたはお客様登録申込書にてご登録ください。

121ware.comのいろいろなサービスをご利用するには、後日Eメールまたは郵送でお送りする登録完了通知をお手元に準備し、<http://121ware.com/my/>でのログインID取得が必要となります。

3. 「お客様登録申込書」で登録する

専用のFAX用紙を使って登録する方法です。

121ware.comのいろいろなサービスをご利用するには、後日Eメールまたは郵送でお送りする登録完了通知をお手元に準備し、<http://121ware.com/my/>でのログインID取得が必要となります。

これで、パソコンの準備はOK!

✓チェック!!

121wareは、キーボードの【121ware】ボタンを押して見ることができます。

📖参照

「121ware.com」について
『121wareガイドブック』

次のページに進んで、正しい電源の入れ方と切り方を覚えておきましょう。

電源の入れ方と切り方

正しい電源の入れ方と切り方を、覚えておきましょう。
大切なデータやパソコンを守るために、正しい手順で操作してください。

電源を入れる

1

ディスプレイの電源ランプを確認する

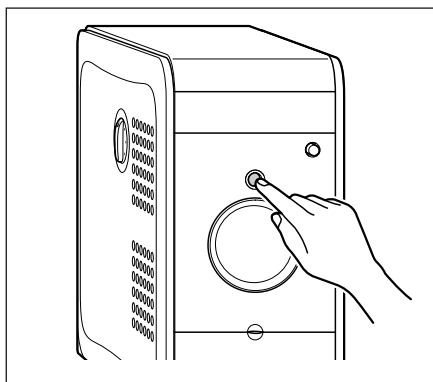
- ・ディスプレイの電源ランプが点灯していたら、ディスプレイの電源が入っています。次の手順に進んで、他の機器やパソコンの電源を入れてください。
- ・ディスプレイの電源ランプが点灯していなかったら、ディスプレイの電源が入っていません。まず、ディスプレイの電源スイッチを押して電源を入れてください。

2

他の周辺機器を接続している場合は、それらの電源を入れる

3

パソコン本体の電源スイッチを押して、パソコン本体の電源を入れる



✓チェック!!

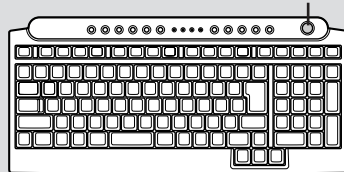
電源を入れる操作は、電源が切れてから 5 秒以上の間隔を空けて行ってください。

📖 参照

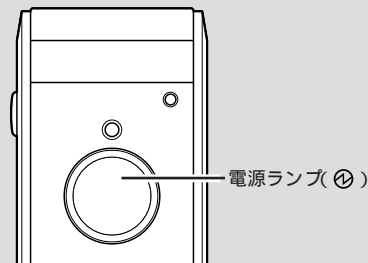
電源スイッチを押しても電源が入らない場合 PART8の「電源のオン/オフ」(p.163)

キーボードの電源スイッチを押してパソコン本体の電源を入れることもできます。

キーボードの電源スイッチ



パソコン本体の電源が入っているときには、電源ランプが緑色に点灯し、前面パネルが青く発光します。



↓ 1～2分後に次の画面が表示される



モデルによって、表示される画面は異なります。

ユーザーパスワードの設定をしたり、ユーザーを2人以上登録したりすると、Windows起動時に、ユーザー選択の画面が表示されるようになります。この場合は、起動するユーザーの名前をクリックし、必要であればパスワードを入力してください。左の画面が表示されます。



電源を切る

パソコンの内部には突然電源を切ってしまうと具合が悪い部品やアプリケーションも入っています。次の手順にしたがって電源を切ると、これらの部品やアプリケーションの動作終了を自動的にチェックして、安全に電源を切ることができます。

1

画面左下にある「スタート」をクリックする



↓ スタートメニューが表示される

✓チェック!!

電源を切る前にデータを保存し、アプリケーションを終了しておいてください。

電源を切るときは、電源スイッチを押さずに、ここで説明する手順で操作することをおすすめします。キーボードやマウスの操作ができなくなったなど、左の方法で電源が切れないときは、電源スイッチを4秒以上押し続けることで電源を切ることができます。ただしパソコンに負担がかかるので通常は使わないでください。



2 「終了オプション」をクリックする

画面中央に、これが表示される



3 「電源を切る」をクリックする



自動的にパソコン本体の電源が切れ、パソコン本体の電源ランプが消えます。

4 パソコン本体の電源ランプが消え前面パネルも消灯する画面が暗くなったことを確かめる(ディスプレイの電源ランプの色が変わる)

5 他の周辺機器を接続している場合は、それらの電源も切る

電源が切れなくなってしまったときは

「電源を切る」(p.49)の手順で電源が切れなくなってしまった場合は、パソコン本体の電源スイッチを約4秒以上押しつづけると、強制的に電源を切ることができます。強制的に電源を切った後に、5秒以上待ってからもう一度電源スイッチを押してパソコンの電源を入れ、「電源を切る」(p.49)の手順で正しく電源を切り直してください。

パソコン本体の電源が切れると、ディスプレイの画面が真っ暗になりますが、ディスプレイの電源が切れたわけではありません。就寝時や外出時など長時間パソコンを使わない場合は、ディスプレイの電源スイッチを押して、電源を切っておきましょう。

✓チェック!!

この方法で電源を切ると、パソコンに負担がかかります。パソコンが起動しなくなる可能性もあります。どうしても電源が切れない場合以外は、この操作は行わないでください。電源を入れ直したときに、「チェックディスク」の画面が表示された場合は、画面の指示にしたがって操作してください。

📖 参照

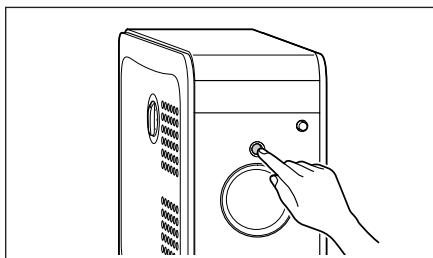
強制的に電源を切る PART 8 の「電源のオン / オフ」(p.163)

省電力機能について

マウスを動かさなかったり、キーボードのキーに触れなかったりする状態が20分以上続くと、自動的に画面が真っ暗になります。これは無駄な電力を使わないように、省電力機能が働いたためです。この場合、次の操作をすることで省電力状態になる前の状態に戻すことができます。

1

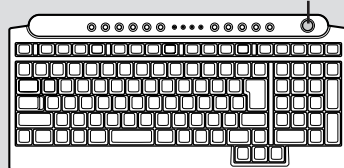
本体の電源スイッチを押す




それでも画面が表示されないときは、ディスプレイの省電力機能が働いていることが考えられます。その場合は、マウスを軽く動かしてください。

キーボードの電源スイッチを押しても省電力状態になる前の状態に戻せません。

キーボードの電源スイッチ



参照

省電力機能について  「はそガイド」-「パソコンの設定」-「省電力の設定」、PART 7 の「省電力機能」(p.145)

これからの進め方

ここまでで、このパソコンを使う準備は整いました。このページでは、これからの進め方をチェックしてみましょう。

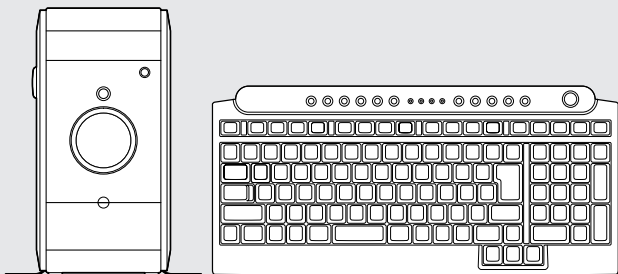
パソコンの画面について

PART4の「デスクトップについて」(p.54)では、パソコンの画面全体(デスクトップ)にあるアイコンの名前や使いかた、デスクトップ左下にある「スタート」をクリックすると表示されるスタートメニューの使いかたについて説明しています。



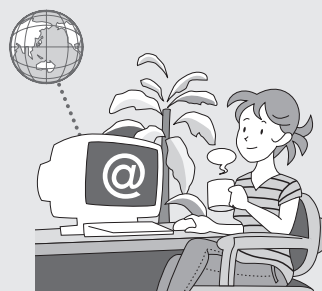
パソコンの各部の名前と働きを知りたい

PART4の「各部の名称と役割を覚えよう」(p.60)では、パソコン本体やキーボードの各部の名前や働きについて説明しています。



インターネットをはじめたい

付録の「ここからはじめるインターネット & メール」(p.234)では、インターネットを始める前に知っておくと便利な、インターネット接続サービスの種類、インターネットが利用できるまでの流れを分かりやすく説明しています。これからインターネットを始めたい方も、すでにインターネットを始めていてブロードバンドを始めたい方も、まずはこちらをご覧ください。



P A R T

4

パソコンを使いはじめよう

いよいよ本格的にパソコンを使いはじめます。
デスクトップやスタートメニュー、CD-ROM
(シーディーロム)などの使い方をマスターして
ください。

デスクトップについて

このパソコンの画面全体をデスクトップといいます。このデスクトップが、パソコンを使うための舞台になります。Windows XP(ウィンドウズ エクスペー)は、いろいろなソフトを動かすためのベースになるソフトですが、この「デスクトップ」がWindows XPの顔なのです。

インターネットを始めよう

インターネットプロバイダに入会するためのオンラインサインアップソフトを起動できます。詳しくは、「付録 ここからはじめるインターネット&メール」をご覧ください。

オンラインサービスのご紹介

インターネット電話や121@storeでのインターネットショッピングなど、オンラインサービスの紹介を見ることができます。

BIGLOBE(ビッグロブ)でインターネット

NECが運営するプロバイダ、BIGLOBEでインターネットをはじめましょう。BIGLOBEのインターネット接続サービスなどの内容を説明しています。また、ここからこれらのサービスに入会したり、インターネット接続の設定を行ったりできます。詳しくは、「付録 ここからはじめるインターネット&メール」をご覧ください。

「ごみ箱」

いらないファイルやフォルダは、このごみ箱に捨てます。

「ばそガイド」

ここをダブルクリックすると、このパソコンの電子マニュアル「ばそガイド」を見ることができます。

「NECオンラインお客様登録(ユーザ登録)」

ここをダブルクリックしてお客様登録を行うことができます。登録後は、このアイコンは消えます。詳しくは『お客様登録ガイド』をご覧ください。

「スタート」

「スタート」をクリックすると、スタートメニューが表示されます。ここから、アプリケーションを起動したり、いろいろな設定をしたり、ファイルを探したり、Windows XPを終了したりできます(p.56)。

アイコン

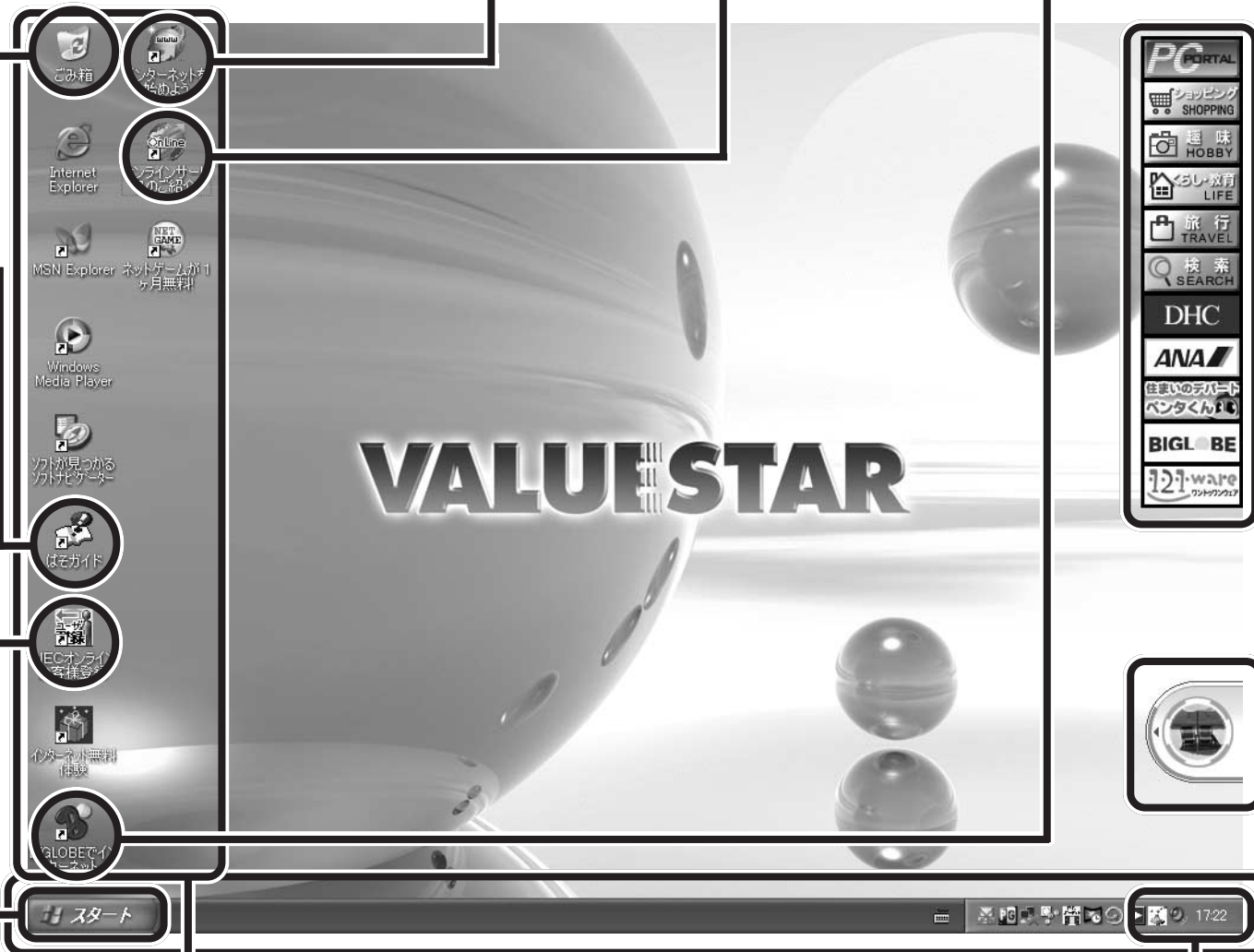
アプリケーションなど、よく使うファイルが小さい絵(アイコン)で表示されます。アイコンをダブルクリックすると、アプリケーションを起動したり、ファイルを開いたりできます。

タスクバー

デスクトップのいちばん下には、起動しているアプリケーションや、開いているウィンドウなどがボタンで表示されます。

通知領域

いろいろな設定のためのアイコンやアプリケーションのアイコンが並んでいます。詳しくは「ばそガイド」で、各アプリケーションの使い方をご覧ください。



「PC ポータル」

インターネット上のさまざまな情報への入り口です。詳しくは、「ばそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」をご覧ください。

「ファミリーリング」(VALUESTAR FZのみ)

ここに(矢印)を合わせて表示される画面から、このパソコンを使うユーザーを切り替えることができます。詳しくは、『快適パソコン生活Book』をご覧ください。

チェック!!

デスクトップ上のアイコンは、モデルによって異なります。

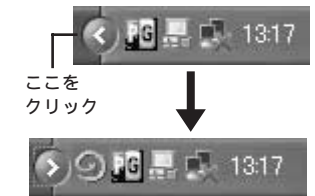
NECが運営するインターネットプロバイダ、BIGLOBEについては、『はじめよう!ブロードバンドインターネット活用ブック』も合わせてご覧ください。BIGLOBEのサービス内容と入会手順が詳しく説明されています。

チェック!!

PCポータルは、インターネット接続の準備ができていない場合、それぞれ次のようなページが表示されます。

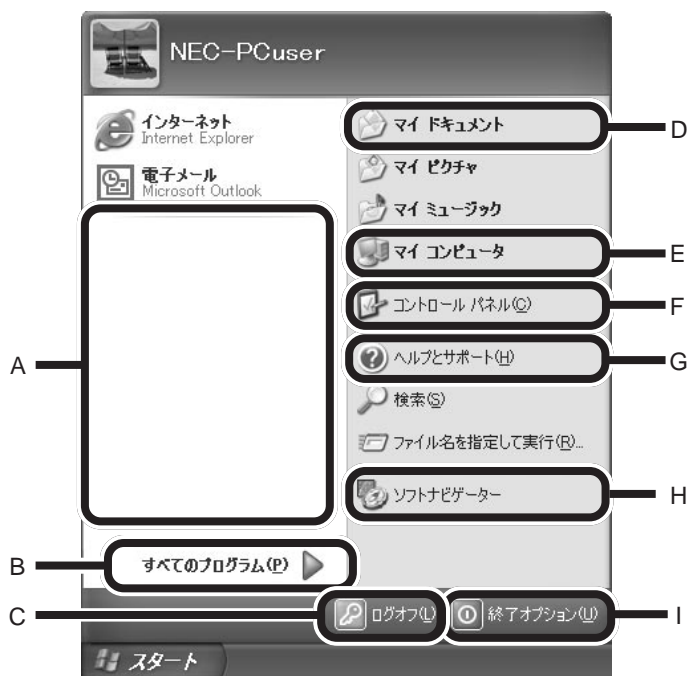
- ・ジャンル別メニューをクリックしたとき、またはポイントしたときハードディスクに保存されている、各ジャンルに応じた企業別のご紹介ページのリンク集
- ・「検索」をクリックしたとき「[PCポータル]BIGLOBEサービスのご紹介」画面
- ・各企業別の絵柄部分をクリックしたときハードディスクに保存されている、各企業別のご紹介ページまたは「[PCポータル]BIGLOBEサービスのご紹介」画面

通知領域のアイコンが見えない場合は、をクリックすると隠れているアイコンを表示できます。




スタートメニューを見る

「スタート」をクリックすると、スタートメニューが表示されます。スタートメニューから、アプリケーションを起動したり、このパソコンの設定をしたり、ファイルを探したり、Windows を終了したりできます。




A 最近使用したアプリケーションへのショートカットが自動的に登録されていきます。

B **すべてのプログラム(P)** 
このパソコンに入っているアプリケーションを起動できます。


C  **ログオフ(L)**
ログオフまたはユーザーの切り替えができます。

参照


ログオフとユーザーの切り替えについて Windowsの「ヘルプとサポート」

D  **マイドキュメント**


アプリケーションを使って自分が作成したファイルを保存しておく場所です。

E  **マイコンピュータ**


ハードディスクやCD/DVDドライブなど、このパソコンの中身を見ることができます。

F  **コントロールパネル(C)**


画面や音量など、パソコンの設定を必要に応じて変更できます。

G  **ヘルプとサポート(H)**

パソコンを使っていてわからないことがあったり、Windowsの機能について知りたかったりするときにヒントとなる情報があります。

H  **ソフトナビゲーター**

メニューをたどっていくと、やりたいことを実現してくれるソフトが起動する「ソフトナビゲーター」を表示できます。

I  **終了オプション(U)**

このパソコンの電源を切るときは、ここをクリックして表示される画面で「電源を切る」をクリックします。また、ここからパソコンを再起動したり、省電力状態にすることもできます。


Windows XPの場合、マイドキュメントにはいくつか種類があります。ここに表示されるものは、C:¥Documents and Settings¥<ユーザー名> ¥My Documents フォルダ内にあるものと同じです(ユーザー名には基本的にはあなたが設定したユーザー名が入ります)。

✓チェック!!

「ヘルプとサポート」の項目の中には、クリックするとインターネットに接続するものがあります。問題が解決したら必ずインターネットから切断してください。画面右下の通知領域のインターネット接続アイコンを右クリックして表示されるメニューの中から「切断」をクリックしてください。

「インターネットエクスプローラ」「ヘルプとサポート」「ばそガイド」の画面を閉じていてもインターネット接続は切断されない場合があります。



📖参照

省電力機能について  「ばそガイド」-「パソコンの設定」-「省電力の設定」、PART 7 の「省電力機能」(p.145)

「ソフトナビゲーター」と「ぱそガイド」を使う

アプリケーションを起動するためのソフト「ソフトナビゲーター」と電子マニュアル「ぱそガイド」の基本をここで紹介します。

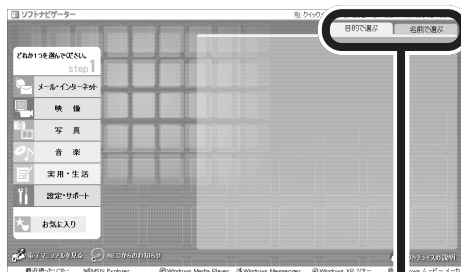
ソフトナビゲーターを使う

ソフトナビゲーターでアプリケーションを起動することができます。選択したアプリケーションがインストールされていない場合は、のアイコンで表示されています。アイコンをクリックすると、インストールできます。インストール方法や注意事項については、「ぱそガイド」・「アプリケーションの紹介と説明」・「アプリケーションの追加と削除」をご覧ください。

1

デスクトップの  をダブルクリックする

ソフトナビゲーターが表示されます。



2

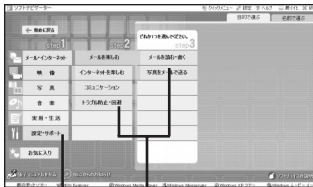
「目的で選ぶ」または「名前で選ぶ」のどちらかをクリックする

- ・「目的で選ぶ」: やりたいことのジャンルと項目を選んでいくと、目的に合ったソフトが表示されます。
- ・「名前で選ぶ」: やりたいことのジャンルを選ぶと、アプリケーション名が表示されます。起動したいアプリケーションの名前がわかっているときは、こちらを選んでください。

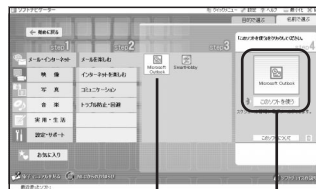
3

アプリケーションを起動する

「目的で選ぶ」をクリックした場合

ジャンル
を選ぶ
やりたいこと
を選ぶ「このソフトを使う」
をクリックする

「名前で選ぶ」をクリックした場合

ジャンル
を選ぶ
やりたいこと
を選ぶ起動したいアプリケー
ションをクリックする
「このソフト
を使う」をク
リックする

これで目的のアプリケーションが起動します。

電子マニュアル「ばそガイド」を使う

「ばそガイド」では、アプリケーションの使い方、WindowsやBIOSの設定方法をはじめ、トラブル事例など、幅広い内容を紹介しています。

起動のしかた

デスクトップ上にある**ばそガイド**アイコンをダブルクリックすると、ばそガイドが表示されます。

ばそガイドの画面



パソコンに関するさまざまな設定方法を詳しく説明しています。



トラブル事例と解決方法をQ&A形式で紹介しています。



アプリケーションの概要と使い方、追加と削除のしかたについて説明しています。目的別 / 50 音別の両方でアプリケーションを検索できます。

「ソフトナビゲーター」と「ばそガイド」を使う 59

- ・「目的で選ぶ」の画面に表示される「このソフトについて」をクリックすると、表示されているアプリケーションの詳細情報（電子マニュアル「ばそガイド」の説明）を見ることができます。
- ・ソフトナビゲーターの画面は、よりすばやくアプリケーションを起動させるための「クイックメニュー」に切り替えることもできます。詳しくは、ソフトナビゲーターのヘルプをご覧ください。

各部の名称と役割を覚えよう

ここでは、パソコンを使っていく上で、知っているると便利な機能などを紹介します。

パソコン本体

CD/DVDドライブ

CD-ROM や DVD-ROM、音楽用 CDなどをセットするところです（「CD-ROM などの扱い方」(p.62)）。

ディスクトレイジェクトボタン

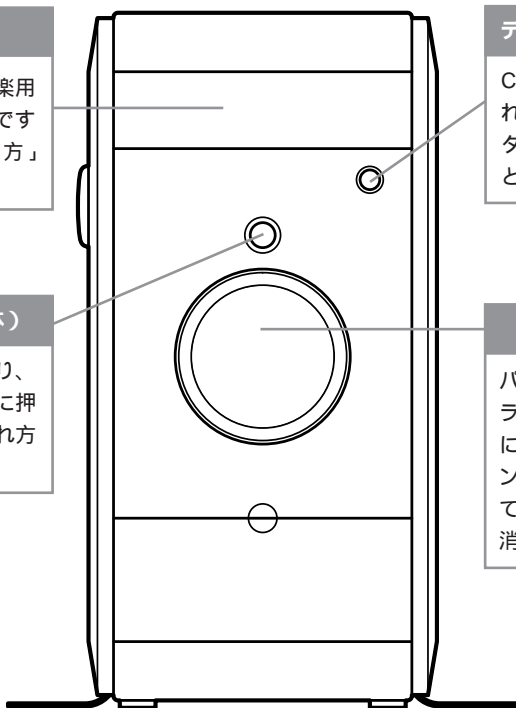
CD/DVD ドライブのトレイを入れたり出したりするときに使うボタンです（「CD-ROM の入れ方と出し方」(p.63)）。

電源スイッチ（パソコン本体）

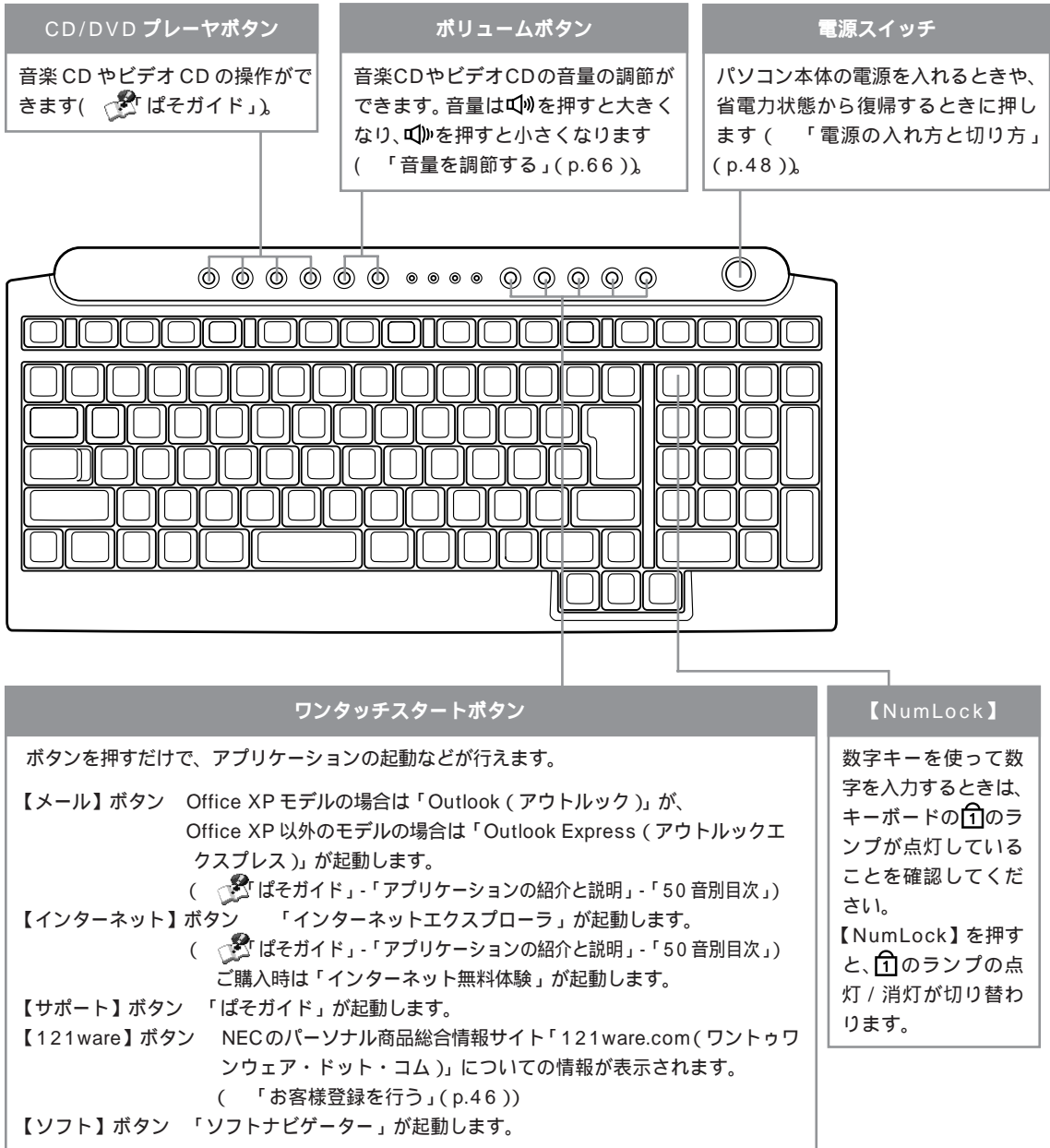
パソコン本体の電源を入れたり、省電力状態から復帰するときに押すボタンです（「電源の入れ方と切り方」(p.48)）。

電源ランプ

パソコン本体の電源の状態を表すランプです。電源を入れると緑色に、スタンバイ状態のときはオレンジ色に点灯します。電源を切っているとき、休止状態のときは、消灯します。



キーボード



ワンタッチスタートボタンで起動するアプリケーションなどの設定は変更できます。詳しくは、「ばそガイド」「パソコンの設定」「キーボードの設定」「ワンタッチスタートボタンの設定」をご覧ください。

シ ー デ ィ ー ロ ム

CD-ROM などの 扱い方


このパソコンのCD/DVDドライブで使えるディスクの種類や取り扱い上の注意、CD-ROMのセットのしかたを説明します。

このパソコンのCD/DVDドライブで使えるディスク

このパソコンでは、次のようなディスクを使えます。

規格	概要
CD-ROM	パソコンで見るための情報が入ったCD。このパソコンで使えるのは「Windows 95」,「Windows 98」,「Windows Me」,「Windows 2000」,「Windows XP」対応のCD-ROMで、「Macintosh専用」のものは使えません。
CD-R CD-RW	データ書き込みが可能なCD。このパソコンで書き込みできます。
音楽CD	一般の音楽CDのことです。
ビデオCD カラオケCD	音声と動画が記録されたCDです。
DVD-ROM	CD-ROMの約7倍(片面一層の場合)の量のデータを記録できるディスクです。百科事典や地図が記録されているものなどがあります。
DVD-Video	映画やドキュメンタリーが高画質、高音質で記録されているDVDです。
DVD-R DVD-RW	データ書き込みが可能なDVD。DVD-RAM/R/RW with DVD + R/RWモデル、DVD-RAM/R/RWモデルの場合のみ書き込みできます。CD-R/RW with DVD-ROMモデルでは、読み込みのみできます。
DVD+R DVD+RW	データ書き込みが可能なDVD。DVD-RAM/R/RW with DVD + R/RWモデルの場合のみ書き込みできます。
DVD-RAM	データ書き込みが可能なDVD。DVD-RAM/R/RW with DVD + R/RWモデル、DVD-RAM/R/RWモデルの場合のみ使えます。


✓チェック!!

CD-R/RWにデータを書き込むときには、このパソコンに入っているCD-R/RW書き込みソフト「RecordNow DX」などをお使いください。詳しくは、「ばそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」をご覧ください。

Windows 2000対応のほとんどのCD-ROMは、Windows XPで使うことができます。Windows 95/98/Me対応のCD-ROMは、Windows XPで使えるものとそうでないものがあるので、ご購入前に確認してください。

MacintoshでもWindowsでも使えるように作られた「ハイブリッドCD」というCDもあります。

✓チェック!!

- ・コピーコントロールCDなどの一部の音楽CDは、現在のCompact Discの規格外の音楽CDです。規格外の音楽CDやDVDについては、再生や音楽CDの作成等ができないことがあります。
- ・このパソコンで音楽CDを使用する場合、ディスクレーベル面にCompact Discの規格準拠を示す[CD ロゴ マークの入ったディスクを使用してください。
- ・CD(Compact Disc)規格外ディスクを使用すると、正常に再生ができなかったり、音質が低下したりすることがあります。

CD-ROM の取り扱い上の注意

- ・ 信号面(文字などが印刷されていない面)に手を触れないでください。
- ・ ディスクにラベルを貼ったり、傷を付けたりしないでください。また、ラベル面に文字を書く場合にはペン先の柔らかいもの(フェルトペン等)で書くようにしてください。
- ・ 上に重いものを載せたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- ・ 汚れたときは、やわらかい布で内側から外側に向けて拭いてください。
- ・ 清掃の際はCD専用のスプレーをお使いください。
- ・ ベンジン、シンナーなどで拭かないようにしてください。
- ・ ゴミやホコリの多い場所での使用は避けてください。
- ・ 直射日光のあたる場所や、温度の高い場所に保管しないでください。

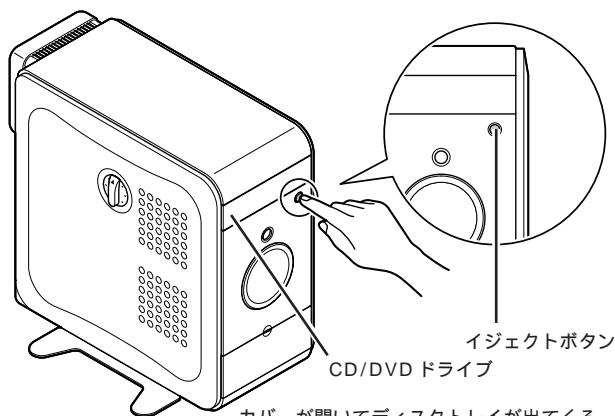
使用後は、収納ケースに入れるようにしてください。

CD-ROM の入れ方と出し方

CD-ROM を入れる方法

1

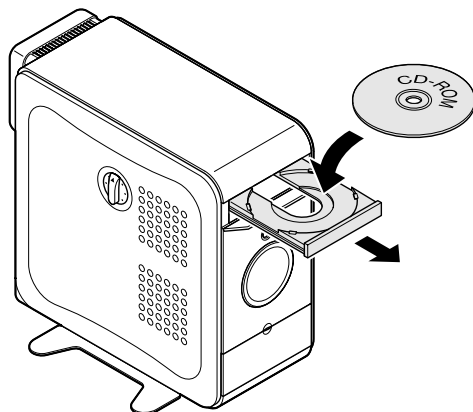
イジェクトボタンを押す



カバーが開いてディスクトレイが出てくる

2

CD-ROM のラベル面(文字などが印刷されている面)を上にしてディスクトレイに置く



DVD-ROM、CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW、DVD-RAMなど他のメディアも、基本的な取り扱い方はCD-ROMと同じです。

✓チェック!!

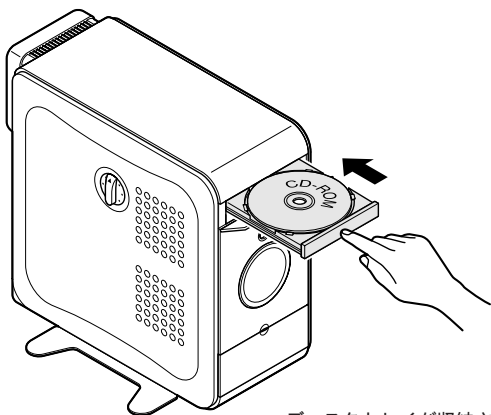
- ・ ディスクトレイの出し入れは、本体の電源が入っているときにしかできません。
- ・ CD/DVDドライブのカバーは、イジェクトボタンを押すと、自動的に開くようになっています。カバーを無理に開こうとすると、カバーが壊れることがあります。

📖参照

イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合
PART8の「その他」(p.180)

3


ディスクトレイを軽く押す


ディスクトレイが収納されて
カバーも閉じる

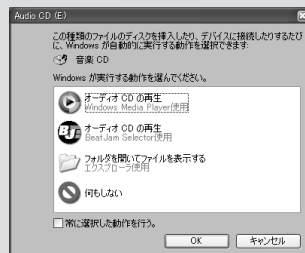
✓チェック!!

イジェクトボタンを押して収納することもできます。

CD-ROM をセットしたら...

セットしたCD-ROMによっては、マウスポインタがの形になり、しばらくすると右のような画面が表示されます。このとき、使うアプリケーションを目的に合わせて選び「OK」ボタンをクリックすると、選択したアプリケーションが起動し、CD-ROMの中身を見ることができます。

画面が表示されないときは、マイコンピュータの (CDアイコン) をダブルクリックして中身を確認できます。



CD-ROM を取り出す方法

1

イジェクトボタンを押す


2

ディスクトレイから CD-ROM を取り出す

3

ディスクトレイを軽く押す


ディスクトレイが収納されてカバーも閉じる

 **チェック!!**

ディスクトレイから取り出すときに、CD-ROM を落としたり、キズつけたりしないように注意してください。

 参照

イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合
PART8 の「その他」(p.180)

 **チェック!!**

イジェクトボタンを押して収納することもできます。

音量を調節する

パソコンから出る音が大きすぎるときや、小さくて聞こえないときは、音量を調節できます。

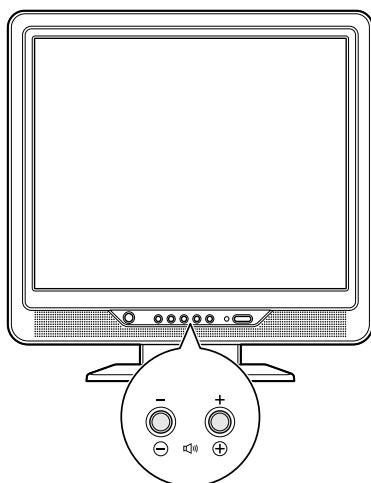
液晶ディスプレイのスピーカで調節する

1

ボリュームボタンを押す

「+」を押すと音が大きくなり、「-」を押すと音が小さくなります。

17型液晶ディスプレイ

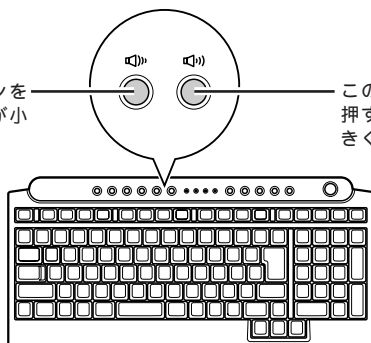


キーボードのボリュームボタンで調節する

1

🔊 ボタンまたは 🔊 ボタンを押す

このボタンを押すと音が小さくなる



このボタンを押すと音が大きくなる

✔️ チェック!!

スピーカの音量が最小になっていると、🔊 ボタンを押してもスピーカからの音は、大きくなりません。

P A R T

5

パソコンにつなぐ

ここでは、パソコンのカバーを開けずに、パソコンの前面や背面のコネクタ、スロットに機器を取り付けるときの手順や注意事項を説明しています。

使いたい機器をどのコネクタやスロットに取り付けるか周辺機器のマニュアルで確認して、あてはまる説明を読んでください。

周辺機器を取り付ける ときのポイント

いきなり接続しない

周辺機器の中には、取り付ける前にデバイスドライバやユーティリティのインストールが必要なものもあります。周辺機器を取り付けるときは、まず周辺機器のマニュアルを読んで、どのような準備作業が必要なのか、確認してください。

取り付けはひとつずつ確実に

周辺機器はひとつずつ動作確認する

複数の周辺機器を取り付けるときは、ひとつずつ取り付けて、取り付けた周辺機器が正しく動作することを確認してから、次の周辺機器を取り付けてください。

ネジやケーブル類の接続は確実にを行う

ネジで固定する周辺機器は、それぞれの機器にあったネジでしっかり固定してください。

ケーブル類のコネクタへの接続がゆるんでいたり、外れていると、取り付けた周辺機器が正常に認識されないこともあります。とくにCPUクーラーのヒートシンクがずれていたたり、ファンの電源コネクタが外れていると、パソコンが動作しなくなります。

接続は確実にを行い、内部に周辺機器を取り付けたときは、カバーを閉める前にもう一度すべてのケーブル類の接続を確認してください。

周辺機器から電源を入れよう

電源スイッチのある周辺機器を利用するときは、パソコンの電源を入れる前に、周辺機器の電源を入れてください。パソコンの電源を入れた後で周辺機器の電源を入れると、周辺機器が正常に認識されないことがあります。

デバイスドライバについて

Windows XPにはあらかじめいくつかのデバイスドライバが用意されていますが、周辺機器の中には、Windows 標準のデバイスドライバではうまく動作しなかったり、「ユーティリティ」のインストールが必要なものもあります。周辺機器のマニュアルをご覧になり、フロッピーディスクやCD-ROMが添付されている場合は、これらを使ってデバイスドライバやユーティリティをインストールしてください。フロッピーディスクやCD-ROMが添付されていなかったり、きちんとインストールしたのにうまく動かないといった場合でも、周辺機器メーカーのホームページに最新のデバイスドライバやファームウェアが用意されていることもありますので、必要に応じてアップデートすることをおすすめします。

取り付けてもうまく動かないときは

他の機器とリソースが競合していませんか？

「デバイスマネージャ」を使ってリソースの競合が起きていないかチェックしてください。

システムのリソースが足りない場合、リソースの割り当てを変更します。周辺機器の取り付け時には、次の情報もご覧ください。

- ・ 周辺機器に添付のマニュアル
- ・ 「PART8 トラブル解決 Q&A」
- ・ 「ばそガイド」の「トラブル解決 Q&A」
- ・ このパソコンに接続できる周辺機器を紹介しているNECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」(<http://121ware.com>)

ケーブル類はきちんと接続されていますか？

本体内部に機器を取り付けたときに、気づかないうちにほかのケーブルなどを引っぱって、接続がゆるんでしまうことがあります。本体内部のケーブル類がそれぞれきちんと接続されているかどうか、確認してください。

デバイスドライバはインストールしましたか？

周辺機器によっては、機器を取り付けた後、デバイスドライバやソフトをインストールしなければ動作しないものもあります。

また、周辺機器のデバイスドライバなどは、改善されて新しくなっていることもあります。「デバイスドライバをきちんとインストールしたのにうまく動かない」といった場合は、デバイスドライバを最新のものにするとうまく動くようになることもあります。

周辺機器を、一度に複数取り付けませんでしたか？


周辺機器を一度に複数取り付けたら、不具合があったとき、原因究明が困難になります。このような場合は、取り付けた機器をいったん全部外し、ひとつずつ取り付けてパソコンの動作を確認してください。

参照


- ・ デバイスドライバなどのインストール 周辺機器のマニュアル、Readmeファイルなどの補足情報
- ・ 最新のデバイスドライバなどの入手 周辺機器メーカーのホームページなど

取り外すときのポイント

ホットプラグ対応機器の取り外し

USB対応機器やIEEE1394対応機器は、原則として本体の電源を入れたままでも取り外せます。ただし、接続後、Windowsデスクトップ右下の通知領域(タスクトレイ)に(ハードウェアの安全な取り外し)が表示される周辺機器は、次の手順で取り外してください。

1

通知領域の(ハードウェアの安全な取り外し)をダブルクリックする

「ハードウェアの安全な取り外し」ダイアログが表示されます。

2

一覧から取り外す周辺機器をクリックする


3

「停止」をクリックする

「ハードウェアデバイスの停止」ダイアログが表示されます。

4



取り外す周辺機器を確認して、「OK」をクリックする

通知領域の(ハードウェアの安全な取り外し)に「XXXは安全に取り外すことができます。」というメッセージが表示されます。

5

周辺機器を取り外す

✓チェック!!

- ・は隠れていることがあるので、デスクトップ右下にある通知領域のをクリックして確認してください。
- ・手順に従わずに取り外すと、パソコンが正常に動作しなくなる場合があります。

ユーエスビー

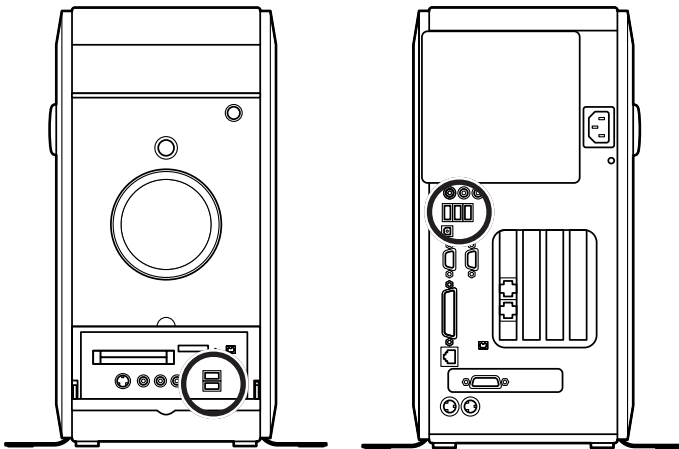
USB コネクタ

USB 対応機器には、プリンタやイメージスキャナなど様々な種類があります。どの機器でも基本的な接続方法は同じです。

USB コネクタについて

このパソコンには、本体の前面に2つ、本体の背面に3つ、USB コネクタが用意されています。また、セットの液晶ディスプレイにもUSB コネクタが用意されています。接続する機器に応じて、どのコネクタを使用しても構いません。もちろん、すべてのコネクタに別々のUSB対応機器を接続して、複数の機器を同時に使用することもできます。

USB コネクタの位置



パソコン本体正面に2つ
(カバーを開けた状態)

パソコン本体背面に3つ

USB ハブを使う

標準で用意されている USB コネクタだけで足りないときは、別売の「USB ハブ (PK-UP002 など)」を接続して、コネクタの数を増やすことができます。

USB ハブを何台も使えば、規格上127台(パソコン1台あたり:USBハブの数も含む)までの周辺機器を接続することができます。

✓チェック!!

このパソコンのUSB コネクタは、USB2.0に対応しています。

✓チェック!!

ディスプレイのUSB コネクタについて詳しくは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

📖参照

各USB コネクタへの差し込み方
このPARTの「USBコネクタにプラグを差し込む」(p.73)

✓チェック!!

USB ハブにUSB 対応機器を接続するときは、次の手順で接続してください。

1. 本体にUSB ハブを接続して、認識させる
2. USB ハブに周辺機器を接続する
USB ハブの詳しい使い方については、USB ハブのマニュアルをご覧ください。

✓チェック!!

複数のUSB 機器を同時に使うと、機器によっては処理速度が低下することがあります。

USB 対応機器を接続する

Windows を起動する

必要に応じて USB 対応機器側の
設定を行う

USB 対応機器のマニュアルで確認してください。

USB コネクタにプラグを差し込む(p.73)

パソコンの USB コネクタにプラグを差し込むと、自動的に設定が始まります。

正しく接続できたか確認する(p.75)

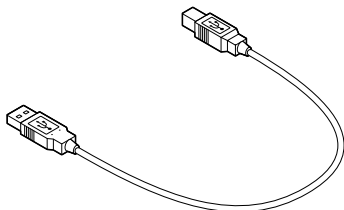
確認のしかたは、機器によって異なります。

設定が終わったら準備完了。
すぐに使えます。

USB 対応機器は、パソコンの電源を入れた状態のまま、接続したり取り外したりできるようになっています。ふだんは取り外しておいて、必要になったときだけ接続し、使い終わったら、また取り外す、というような使い方ができます。

ケーブルについて

USB 対応機器を接続するときのケーブルは、両端のプラグの形状が異なります。



平らな方のプラグをこのパソコンの USB コネクタに、四角い方のプラグを周辺機器のコネクタに差し込みます。

参照

USB 対応機器を使用するときの注意
この PART の「USB 対応機器を使用するときの注意」(p.76)

プリンタなど、電源スイッチのある周辺機器を利用する場合、あらかじめ周辺機器の電源を入れてから接続してください。

機器によっては、ドライバの設定作業が必要になることがあります。また、プラグを差し込む前にドライバをインストールする必要がある機器もあります。詳しくは、機器に添付のマニュアルをご覧ください。

ドライバのインストールが完了していても、別の USB コネクタにその機器を接続すると、再びドライバのインストール画面が表示されることがあります。そのときは、画面を読んで、もう一度ドライバをインストールしてください。

機器によっては、この後、ソフトウェアのインストールなどの作業が必要になります。詳しくは、機器に添付のマニュアルをご覧ください。

USB コネクタにプラグを差し込む

1


パソコン本体前面、背面、または液晶ディスプレイの USB コネクタに、プラグを差し込む

プラグを差し込むときの向きは、どこのUSBコネクタを使うかによって異なります。次の説明を参照して、正しく差し込んでください。




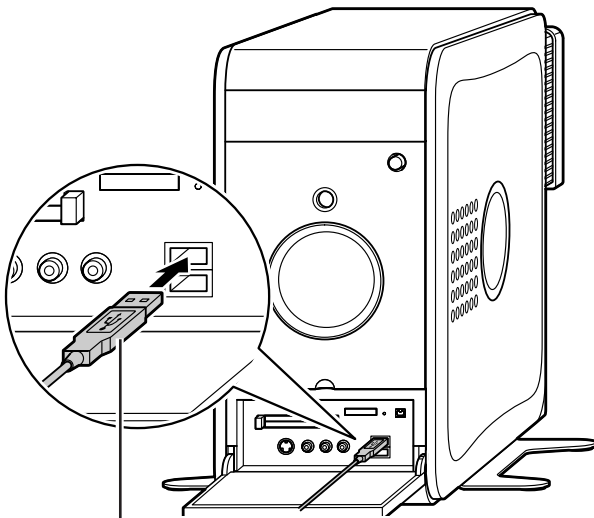
プラグを差し込んでそのまま待っていると、自動的に画面の表示が切り替わり、Windows デスクトップの画面に戻る



取り付けた機器によっては、画面右下の通知領域に  が追加される

本体前面の USB コネクタを使う

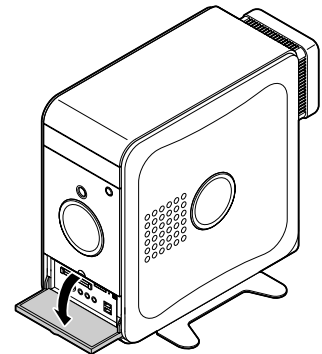
本体前面のカバーを開け、プラグの  マークを上に向けてコネクタに差し込みます。




プラグの  が上側を向いている状態で差し込む

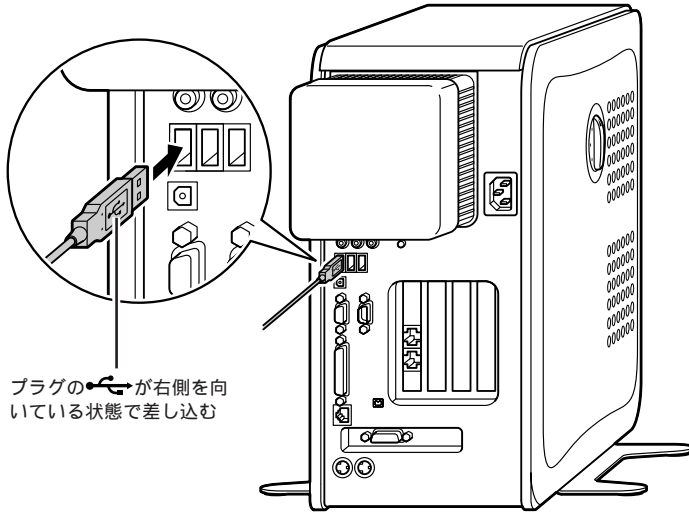
USB コネクタは2つ並んでいます。どちらのコネクタに差し込んでも構いません。また、どのコネクタにUSB対応機器を接続した状態で使用することもできます。

本体前面の端子類を使うときは、前面カバーを開けてください。



本体背面の USB コネクタを使う

本体背面の USB コネクタを使う場合は、プラグの  マークを右に向けてコネクタに差し込みます。



ハイパワーデバイスについて

USB 対応機器は、その機器が動作するために必要な電流の取り方によって、次の 3 つのタイプに分かれます。

・セルフパワーデバイス

独自に電源を持っている機器です。機器に電源ケーブルがついています。USB コネクタからは 100mA 以下の電流を消費します。

・ローパワーデバイス

自分では電源を持たない機器です。機器に電源ケーブルはついていません。必要な電流を USB コネクタから消費して動作しますが、消費するのは 100mA 以下と比較的少量です。

・ハイパワーデバイス

ローパワーデバイスと同様、自分では電源を持たない機器です。機器に電源ケーブルはついていません。必要な電流を USB コネクタから消費して動作しますが、比較的大きな電流 (最大 500mA) を消費します。

USB コネクタは 3 つ並んでいます。どのコネクタに差し込んでも構いません。また、どのコネクタに USB 対応機器を接続した状態で使用することもできます。

ハイパワーデバイスの例としては、主にフルカラーモバイルスキャナやフルカラーイメージスキャナ、デジタルビデオカメラなどがあります。詳しくは、周辺機器に添付のマニュアルなどで確認してください。

正しく接続できたかどうか確認する

接続したUSB対応機器が正しくパソコンに認識されるかどうかを確認します。確認する方法は、機器の種類によって異なります。また、機器によって下記の方法では確認できない場合もあります。詳しくは、各USB対応機器に添付のマニュアルなどをご覧ください。

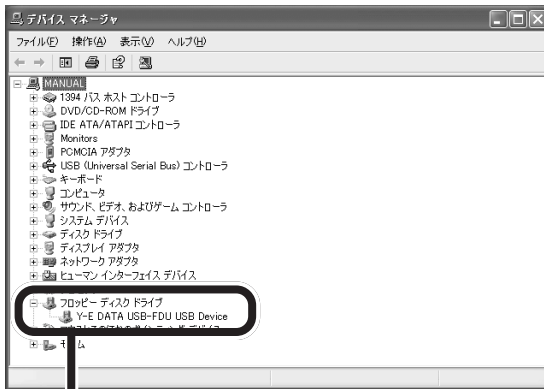
USB 対応プリンタ

「コントロールパネル」の「プリンタとその他のハードウェア」「インストールされているプリンタまたはFAXプリンタを表示する」をクリックします。接続したプリンタ名が表示されていれば、正しく接続されています。

その他の USB 対応機器

接続を確認する方法は、機器のマニュアルをご覧ください。また、一般に次の方法でも確認できます。「コントロールパネル」の「パフォーマンスとメンテナンス」「システム」をクリックし、「ハードウェア」タブから「デバイスマネージャ」ボタンをクリックすると、「デバイスマネージャ」が表示されます。この画面には、機器の接続状態が表示されています。この画面に、接続したUSB対応機器が表示されていれば、正しく接続されています。ただし、その機器のところに赤い「×」や黄色の「！」がついている場合は、機器が正常に動いていないことを表します。

デバイスマネージャの画面





外付けのフロッピーディスクドライブを接続したときの例

機器によっては、続けて別の設定作業が必要になります。USB対応機器に添付のマニュアルなどで確認してください。


USB 対応機器を使用するときの注意

- ・ USBコネクタの抜き差しを行うときは、3秒以上間隔をおいてから行ってください。
- ・ USBデバイスが正常に認識されていない場合は、いったんUSBコネクタを抜いて、もう一度差し込んでください。
- ・ 省電力状態のときや省電力状態に移行中、復帰中には、USBコネクタの抜き差しを行わないでください。
- ・ USBコネクタには、USB2.0対応機器だけでなく、USB1.1対応機器も取り付けられます。ただし、USB2.0で動作させるには、USB2.0対応機器を取り付ける必要があります。
- ・ USB2.0対応機器を使用するときは、USBハブ、USBケーブルもUSB2.0に対応したものをお使いください。

USB 対応機器を取り外すときの注意

USB対応機器によっては、機器を接続するとデスクトップ右下の通知領域に  が表示されます。このような機器は、 をダブルクリックして表示される「ハードウェアの安全な取り外し」で機器の使用を停止する操作を行ってから取り外してください。正しく取り外しが行われないと、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

チェック!!

通知領域にアイコンが表示されていないときは、 をクリックしてください。

アイトリプルイーイチサンキュウヨン

IEEE 1394 コネクタ

IEEE1394 対応機器には、デジタルビデオカメラや外付け用ハードディスクなどがあります。同じ IEEE1394 対応機器でも、機器によってコネクタの形状が異なります。周辺機器のマニュアルでよく確認してください。

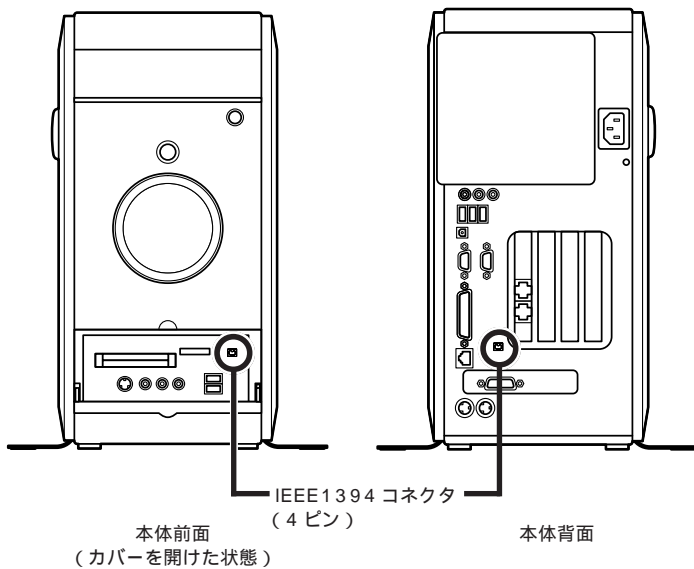
IEEE 1394 コネクタについて

このパソコンには、本体前面と背面に 1 つずつ、IEEE1394 コネクタ (4 ピン) があります。

デジタルビデオカメラや外付け用ハードディスクなど、IEEE1394 に対応した機器を接続できます。

周辺機器によっては、IEEE1394 に対応したコネクタのことを別の名称 (DV (ディービー) 端子など) で呼んでいるものもあります。

コネクタの位置

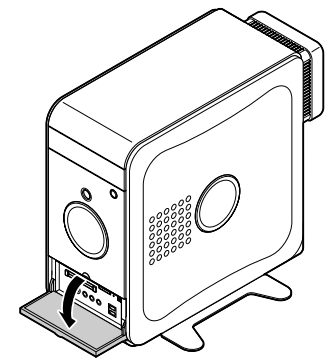


次のホームページで、このパソコンに接続できる周辺機器を紹介しています。参考にしてください。

NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」のアドレス (URL)

<http://121ware.com>

本体前面の端子類を使うときは、前面カバーを開けてください。



IEEE1394 対応機器を接続する

ケーブルについて

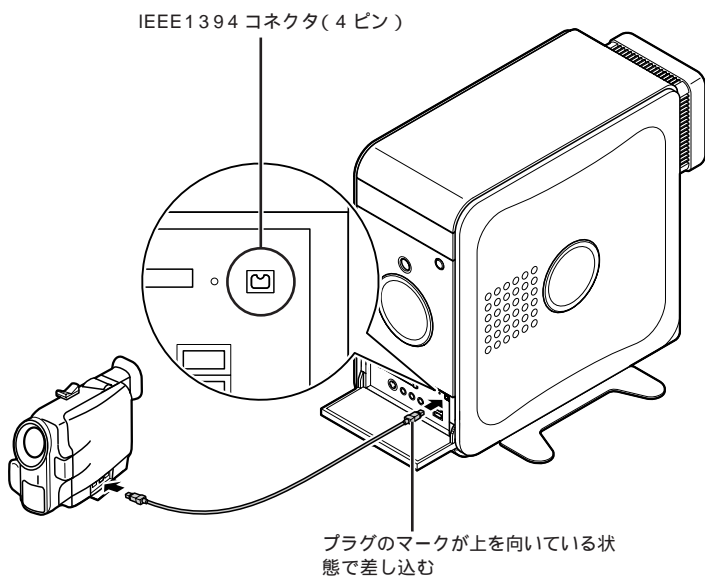
このパソコンと周辺機器を接続するには、別売のIEEE1394ケーブルが必要です。

ケーブルのコネクタ形状には、6ピンのもので4ピンものがあります。このパソコンのIEEE1394コネクタは、前面、背面のコネクタとも4ピンになっています。このパソコンと接続先のコネクタ形状に合わせたケーブルを使用してください。

デジタルビデオカメラを接続する

1

IEEE1394ケーブル(別売)で、本体前面または背面のIEEE1394コネクタ(4ピン)とデジタルビデオカメラのIEEE1394コネクタ(DV端子)を接続する



デジタルビデオカメラの映像は、このパソコンに添付されている「VideoStudio」または「DVD MovieWriter」(添付モデルのみ)を使って取り込み、編集ができます。

デジタルビデオカメラによっては、IEEE1394に対応した端子のことを、DV端子と呼ぶものもあります。

✓チェック!!

接続の際には、プラグの向きやコネクタのピン数を確認してください。


📖参照

「VideoStudio」、「DVD MovieWriter」について 「ばそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」



パソコン同士を接続する

IEEE1394 ケーブルでパソコン同士を接続すると、パソコン間でプリンタやファイルを共有したり、データの移動ができます。


接続にはホームネットワークの設定が必要です。ホームネットワークの設定をするには、「ネットワークセットアップ ウィザード」を使います。「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット接続」で「ホームネットワークまたは小規模オフィスのネットワークをセットアップまたは変更する」をクリックして、表示された画面をご覧になり、設定してください。

LANの設定は、「ばそガイド」-「パソコンの設定」-「ネットワークの設定」-「LANの設定」でも説明しています。


IEEE1394 対応機器を取り外すときの注意

IEEE1394 対応機器によっては、機器を接続するとデスクトップ右下の通知領域にが表示されることがあります。このような機器の取り外しは、をダブルクリックして表示される「ハードウェアの安全な取り外し」ウィンドウから行ってください。正しく取り外しが行われないと、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

LANの設定を行うとPCGATE Personalの「ネットワーク セキュリティ ウィザード」が表示されます。

「ばそガイド」の「ウイルスとトラブルの予防」の「不正アクセスからパソコンを守るには」をご覧のうえ、設定を行ってください。

チェック!!

通知領域にアイコンが表示されていないときはをクリックしてください。

ピーシー

PC カード

PCカードは、クレジットカードサイズの機器です。SCSI (スカジー) インターフェイスカードのようにパソコンの機能を拡張するものから、メモ리카ードのようにデータを保存、移動したりするだけのものまで、様々な種類があります。

PC カードについて

このパソコンでは、PC Card Standard に準拠した PC カードを使えます。

PC Card Standard に準拠した PC カードは、カードの厚さによって TYPE 1、TYPE 2、TYPE 3 の 3 種類に分けられます。

- ・TYPE 1 の PC カード 厚さ約 3.3mm
- ・TYPE 2 の PC カード 厚さ約 5.0mm
- ・TYPE 3 の PC カード 厚さ約 10.5mm

CardBus 対応 PC カードについて

CardBus(カードバス)は、より高速なデータ転送ができるPCカードの規格の一つです。

このパソコンでは、CardBus対応のPCカードを、左右のスロットに1枚ずつ、計2枚同時に使うことができます。

PC カードの取り扱い上の注意

PCカードは大変精密にできています。PCカードやPCカードスロットの故障を防ぐため、次の点に注意してください。

- ・高温、多湿、低温の場所に放置しない
- ・濡らさない
- ・重いものを載せない
- ・ぶつけたり、落としたりして、衝撃を与えない
- ・曲げない
- ・PCカードの端子部分に金属などを入れない
- ・PC Card Standard に準拠していないカードを、PCカードスロットに無理に押し込まない

✔ チェック!!

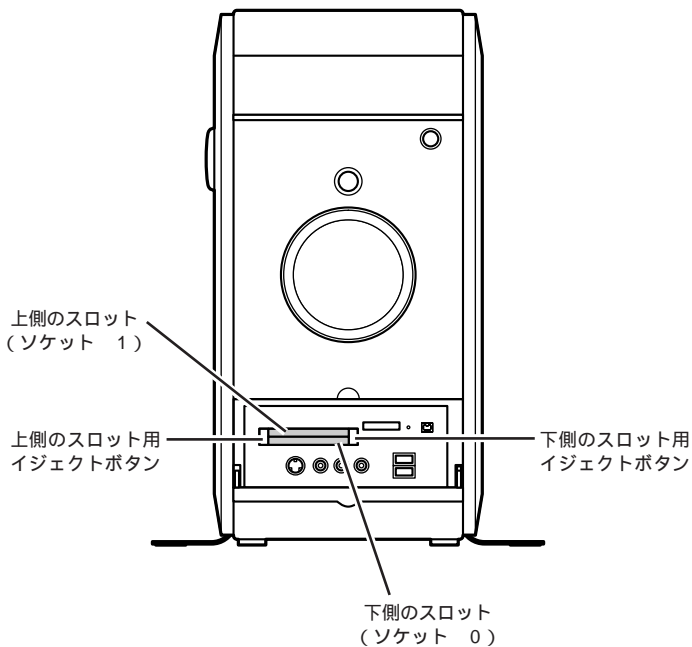
- ・このパソコンでは ZV ポート対応の PC カードは使用できません。PC カードを購入する際は注意してください。
- ・省電力状態に対応していない PC カード (LAN カードを含む) を使用中は、省電力状態にしないでください。購入時には、20 分以上何も操作しないと自動的に省電力状態になるように設定されていますので、自動的に省電力状態にならないように設定し直してください。

📖 参照

自動的に省電力状態にならないように設定する PART7 の「省電力機能」(p.145)

PC カードスロットについて

このパソコンには、図のように上下2つのPCカードスロットがあり、それぞれのスロットにTYPE A またはTYPE B のPCカードを1枚ずつ、または上下のスロットを合わせてTYPE B のPCカードを1枚、セットして使えます。



PC カードをセットする

セットする前の注意

- ・PCカードをセットする前にイジェクトボタンが収納されているか確認してください。ボタンが飛び出したままの状態ではPCカードをセットすると、イジェクトボタンが収納できなくなります。
- ・PCカードには表面と裏面があり、スロットへ差し込む方向も決まっています。このパソコンでは、PCカードの表面(ラベルの貼ってある面)を上に向けて差し込んでください。間違った向きでむりやり差し込むと、コネクタやスロットが破損する恐れがあります。

デジタルカメラのデータを取り込むとき

デジタルカメラのデータをPCカードスロットを使って取り込むときには、PCカードスロットにセットできるようにするための専用のアダプタが必要な場合があります。デジタルカメラに添付のマニュアルで確認してください。

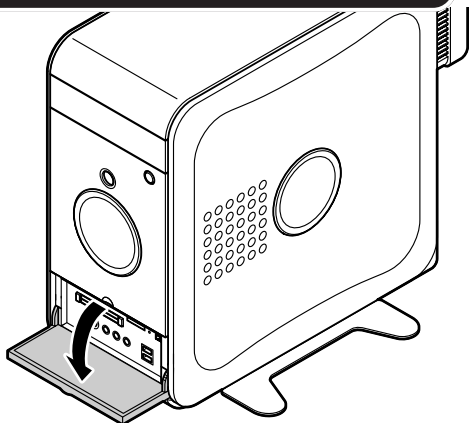
セットのしかた

1

パソコンの電源が入っていること、すべてのアプリケーションが終了していることを確認する

2

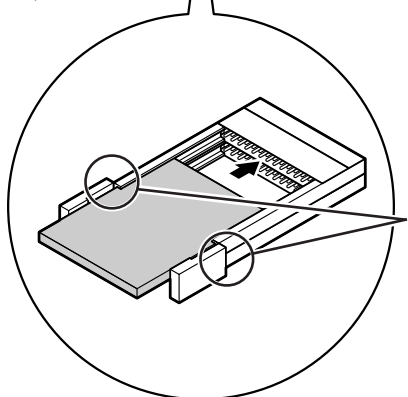
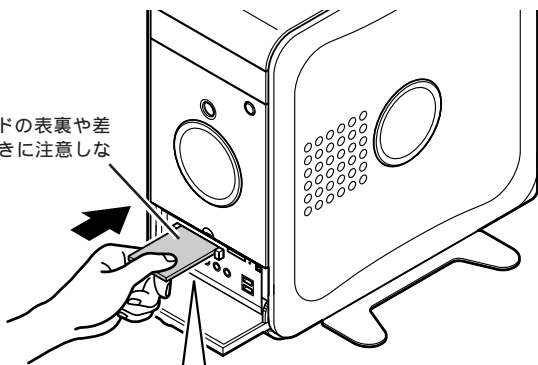
本体前面のカバーを開ける



3

用意したPCカードを持ち、PCカードスロットにゆっくりとまっすぐ差し込み、

PCカードの表裏や差し込む向きに注意しながら、



ガイドに沿ってPCカードをまっすぐに差し込む

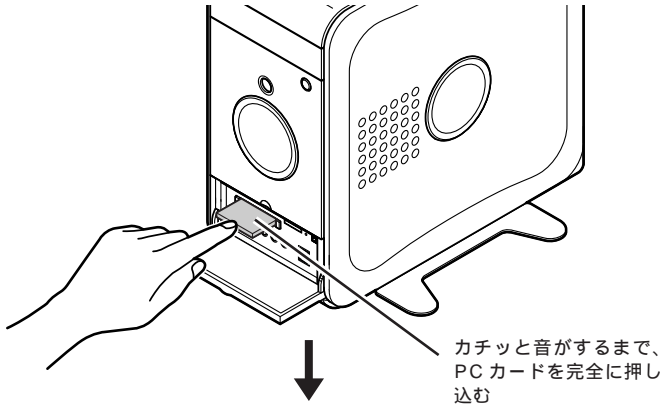
PCカードはパソコンの電源を入れたままでも、抜き差しができます。

✓チェック!

PCカードには表面と裏面があり、スロットへ差し込む方向も決まっています(p.81参照)。間違った向きでむりやり差し込むと、コネクタやスロットが破損する恐れがあります。詳しくは、PCカードのマニュアルをご覧ください。


4

PCカードの端を押して、PCカードがスロット内にすべておさまるようにセットする



カチッと音がするまで、PCカードを完全に押し込む



PCカードの種類によっては、画面右下の通知領域に  が追加される

PCカードの設定

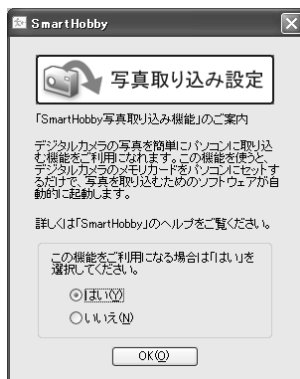
PCカードをPCカードスロットにセットすると、パソコンが自動的に設定を行い、すぐに使用可能な状態になります。

ただし、一度も使ったことのないPCカードをセットしたときは、設定が自動的には行われず、ドライバのインストールを行うための画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示をご覧になり操作してください。詳しくはPCカードに添付のマニュアルをご覧ください。

PCカードのデータを見る

PCカードのデータは、「マイコンピュータ」の中のPCカードのデータが入っているドライブをダブルクリックすると表示されます。

DCF対応のデジタルカメラで撮影した画像が入ったPCカードをセットすると、次の画面が表示されることがあります。ここで「はい」を選ぶとSmartHobbyが自動起動してPCカードの画像が一覧表示されます。



✓チェック!!


- ・使用するPCカードによっては、本体前面のカバーが閉まらないものがあります。
- ・イジェクトボタン付きのPCカードアダプタをPCカードスロットにセットしたときは、本体前面のカバーを閉めないでください。PCカードアダプタのイジェクトボタンが押され、アダプタに装着したメモ리카ード等が外れることがあります。
- ・コネクタが破損する恐れがありますので、PCカードを押し込むときに無理な力をかけないように注意してください。

PCカードをセットすると、カードの種類によっては、ドライブが追加になります。「マイコンピュータ」などで確認してください。


SmartHobbyの「設定」-「写真取り込み設定」で「OS標準の設定に戻す」を選ぶと、PCカードをセットしたときにSmartHobbyが自動起動しなくなり、「Windowsが実行する動作を選んでください。」画面が表示されるようになります。


また、PCカードをセットしたときに「Windowsが実行する動作を選んでください。」と表示された場合は、「フォルダを開いてファイルを表示する」や「イメージのライドショーを表示する」を選ばると、画像を一覧表示したり、ライドショーで画像を見たりすることができます。



ライドショーを終了するときは、マウスを動かさずと表示される画面右上のバーでをクリックします。

 参照

画像の一覧表示、ライドショーについて  「ばそガイド」・「こんなときの操作集」・「画像ファイル」・「画像ファイルの便利な読みこみ機能」

 をクリックすると、SmartHobby が起動します。

 参照

SmartHobby について Smart Hobby のヘルプ

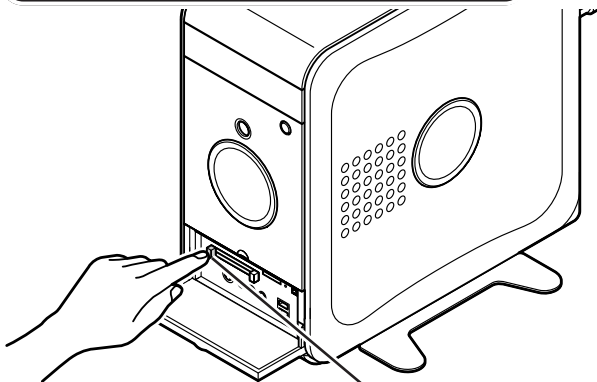
PC カードを取り出す

1


「ホットプラグ対応機器の取り外し」(p.70) の手順を行う

2


取り出したいカードの入っているスロットのイジェクトボタンを軽く押す
イジェクトボタンには矢印マークが付いています。



カチッと軽く押すとイジェクトボタンが少し飛び出てくる

 チェック!!

PCカードによっては、左の手順で取り出さないと、このパソコンが正常に動かなくなる可能性があります。必ず手順を守って取り外してください。

 チェック!!

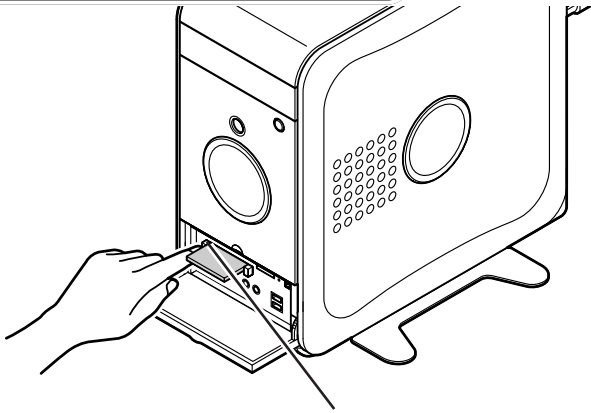
- ・ PC カードを 2 枚セットしたときは、同時に取り出さず、1 枚ずつイジェクトボタンを押して取り出してください。
- ・ PC カードを 2 枚セットしている場合、イジェクトボタンを押すときに、手順1で指定したPCカードとソケット番号の対応を間違えないようにしてください。

 参照

PC カードスロットのソケット番号の確認 このPARTの「PCカードスロットについて」(p.81)

3

もう一度イジェクトボタンを押す



カチッと音がするまでイジェクトボタンを
しっかり押し込むとセットされていた PC
カードが少し飛び出す

4

出てきた PC カードを、まっすぐに静かに引き抜く

5

本体前面のカバーを閉める

PC カードを使うときの注意

- ・ アプリケーションを使用中は PC カードのセットや、取り出しはしないでください。
- ・ PC Card Standard に準拠していない PC カードは使用できない場合があります。
- ・ このパソコンでは ZV ポート対応の PC カードは使用できません。
- ・ 省電力状態に対応していない PC カード (LAN カードを含む) を使用中は、省電力状態にしないでください。このパソコンは、購入時には 20 分以上何も操作しないと自動的に省電力状態になるように設定されていますので、自動的に省電力状態にならないように設定し直してください。

参照

自動的に省電力状態にならないように設定する PART7 の「省電力機能」(p.145)

デュアルメモリスロット

デュアルメモリスロットには、SDメモリーカードとメモリースティックをセットできます。

SDメモリーカード、メモリースティックについて

デュアルメモリスロットでは、SDメモリーカードとメモリースティックを使うことができます。

SDメモリーカードとメモリースティックは、データを記録するためのIC記録メディアの一種です。小型、軽量で、記録できるデータの容量が大きなのが特徴です。

SDメモリーカード、メモリースティックを使うときの注意

- ・ 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所では使わないでください。データが破壊されることがあります。
 - ・ データの読み込み中や書き込み中に取り外さないでください。データが破壊されることがあります。
 - ・ パソコン、またはSDメモリーカード、メモリースティックなどの不具合により、音楽データを録音できなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合、データの内容は補償しかねます。
 - ・ あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
 - ・ 各メモリーカードの取り扱いについては、各メモリーカードに付属している取り扱い説明書などをご覧ください。
 - ・ 「SDメモリーカード」のフォーマット(初期化)が必要な場合は、「SDメモリーカード」専用機器やSD規格対応のソフトウェアでフォーマットを行うことをおすすめします。
 - ・ 「メモリースティック」のフォーマット(初期化)が必要な場合は、デジタルカメラなどの「メモリースティック」専用機器や「マジックゲートメモリースティック」専用機器でフォーマットを行うことをおすすめします。
- WindowsのFATフォーマットを行うことも可能ですが、「メモリースティック」専用機器で使用する場合は動作は保証されておりません。
- ・ 各メモリーカードの取り扱いについては、各メモリーカードに付属している取り扱い説明書などをご覧ください。
 - ・ マジックゲートメモリースティックの著作権保護機能には対応しておりません。

✓チェック!!

SDメモリーカード、メモリースティックは別売です。

SDメモリーカードの種類や取り扱い方などについて詳しくは、(株)東芝、松下電器産業(株)、米国SANDISK社のホームページをご覧ください。

メモリースティックの種類や取り扱い方などについて詳しくは、ソニー株式会社のホームページをご覧ください。

- ・ 「メモリースティック」について
<http://www.sony.jp/products/ms/index.html>
- ・ OpenMGについて
<http://www.openmg.com/>

✓チェック!!

音楽データのデータ形式によっては、SDメモリーカード、メモリースティックに保存できないことがあります。

✓チェック!!

インターネットの音楽配信サイトなどから購入した音楽は、SDメモリーカードを使って、SDカードへ保存することはできません。

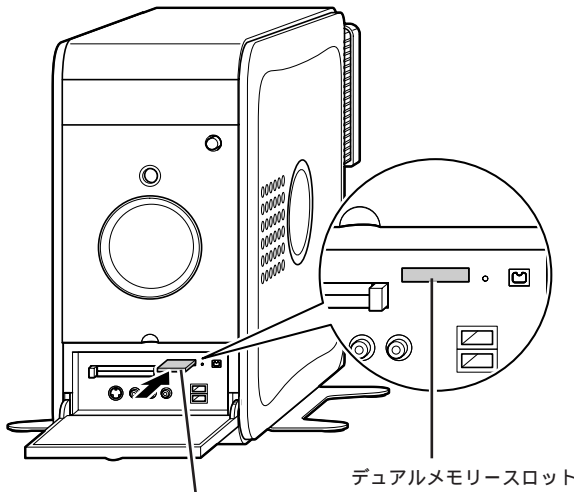
このパソコンのデュアルメモリスロットでは、マルチメディアカードも使うことができますが、すべての動作を保証するものではありません。マルチメディアカードの種類や取り扱い方については、米国SANDISK社のホームページをご覧ください。

SD メモリーカード、メモリスティックをセットする

セットのしかた

1 本体前面のカバーを開ける

2 SDメモリーカード、メモリスティックの表面を上向きにして、まっすぐに奥まで差し込む



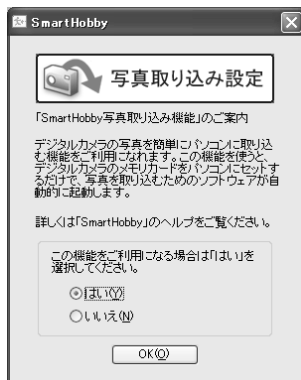
デュアルメモリスロット

カチッと音がするまで差し込む

SD メモリーカード、メモリスティックのデータを見る

SDメモリーカード、メモリスティックのデータは、「マイコンピュータ」の中のSDメモリーカード、メモリスティックのデータが入っているドライブをダブルクリックすると表示されます。

DCF対応のデジタルカメラで撮影した画像が入ったSDメモリーカード、メモリスティックをセットすると、次の画面が表示されることがあります。ここで「はい」を選ぶと SmartHobby が自動起動して SD メモリーカード、メモリスティックの画像が一覧表示されます。



✓チェック!!

SDメモリーカード、メモリスティックには表面と裏面があり、スロットへ差し込む方向が決まっています。間違った向きでむりやり差し込むと、コネクタやスロットが破損する恐れがあります。詳しくは、SDメモリーカード、メモリスティックのマニュアルをご覧ください。

SmartHobbyの「設定」-「写真取り込み設定」で「OS標準の設定に戻す」を選ぶと、SDメモリーカード、メモリスティックをセットしたときに SmartHobby が自動起動しなくなり、「Windows が実行する動作を選んでください。」画面が表示されるようになります。

また、SD メモリーカード、メモリースティックをセットしたときに「Windows が実行する動作を選んでください。」と表示された場合は、「フォルダを開いてファイルを表示する」や「イメージのスライドショーを表示する」を選ぶと、画像を一覧表示したり、スライドショーで画像を見たりすることができます。



スライドショーを終了するとき、マウスを動かすと表示される画面右上のバーで をクリックします。

参照

画像の一覧表示、スライドショーについて 「ばそガイド」-「こんなときの操作集」-「画像ファイル」-「画像ファイルの便利な読みこみ機能」

をクリックすると、SmartHobby が起動します。

参照

SmartHobby について Smart Hobby のヘルプ

SD メモリーカード、メモリースティックを取り出す

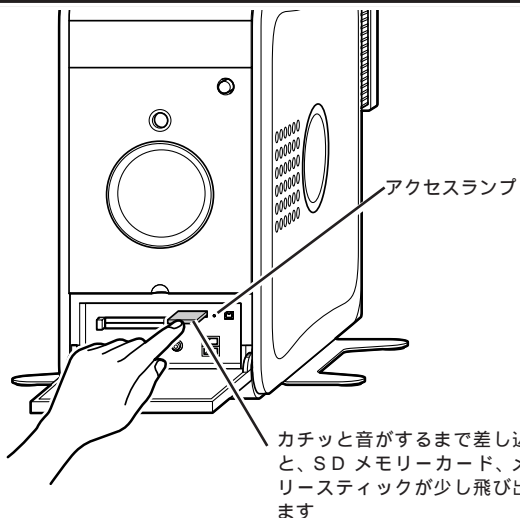
取り出す前の注意

アクセスランプが点灯しているときは、SD メモリーカード、メモリースティックを取り出さないでください。

取り出しかた

1

SD メモリーカード、メモリースティックを軽く押し込む



2

出てきた SD メモリーカード、メモリースティックをまっすぐ静かに引きぬく

チェック!!

SD メモリーカード、メモリースティックを取り出すときは、「ホットプラグ対応機器の取り外し」(p.70) の手順を行う必要はありません。通知領域の をクリックしたりダブルクリックしたりしないでください。誤った操作をすると、デュアルメモリースロットが使えなくなることがあります。その場合は、パソコンを再起動してください。

データの扱い方

著作権保護を必要としない画像や音声、テキストなどの一般的な Windows 上のファイルは、「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」などで扱うことができます。

光デジタルオーディオ (S/PDIF)出力端子

この端子からは、WAVE音源とMIDI音源をデジタルで出力できます。

光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子について

このパソコンには、本体背面に光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子(角形)があります。この端子にAVアンプなどのデジタル入力機能を持ったオーディオ機器を接続して、音を聴くことができます。

出力される音源

光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子からは、次の音源が光デジタル信号で出力されます。

- ・WAVE(ウェーブ)音源
- ・MIDI(ミディ)音源

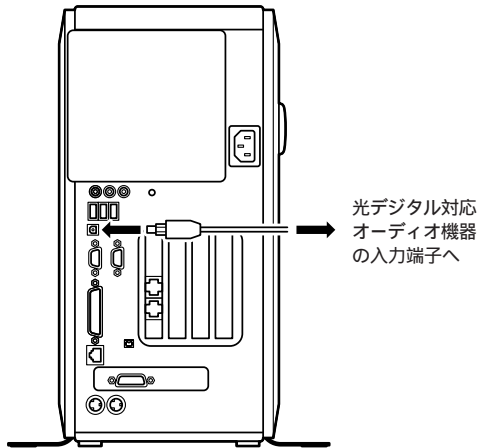
また、ドルビーデジタル5.1チャンネル出力(ドルビーデジタルサラウンドに対応。ただし、ドルビーデジタルによる5.1チャンネルで再生するためには、対応したオーディオ機器が必要です)にも対応しています。なお、DTS(ディーティーエス)出力には対応していません。

オーディオ機器を接続する

オーディオ機器を接続するときの注意

- ・必ず、オーディオ機器の電源を切ってから接続してください。
- ・デジタルオーディオ入力機器によっては光デジタルに対応していないことがあります。この場合は、別途、変換ユニットが必要になることがあります。
- ・デジタル入力機能のあるオーディオ機器を接続するときには、市販の光デジタルケーブルを使用してください。
- ・この端子の形状は光ミニ端子(角形)です。ケーブルのプラグ形状によっては使用できないものがありますので、ご購入時に確認してください。
- ・このパソコンの光デジタル信号出力のサンプリング周波数は48kHzです。デジタル入力機能のあるオーディオ機器を接続するときは、そのオーディオ機器が48kHzのサンプリング周波数に対応している必要があります。詳しくは、オーディオ機器のマニュアルで確認してください。

接続のしかた

**チェック!!**

接続の際には、プラグの向きに注意してください。

設定の変更

光デジタルオーディオ出力端子にオーディオ機器を接続したときには、次のような設定の変更が必要です。

・S/PDIF の出力設定の変更

光デジタルオーディオ出力端子からどの音声をデジタル出力するかを設定します。

設定のしかたについて詳しくは、「ばそガイド」-「パソコンの設定」-「サウンドの設定」をご覧ください。

・WinDVD 4 の設定の変更

WinDVD 4 でドルビーデジタル 5.1 チャンネル出力を行う場合は、WinDVD 4 の「デジタル出力」の設定を変更します。設定のしかたについて詳しくは、WinDVD 4 のヘルプをご覧ください。

音声出力 / 入力端子、映像入力端子

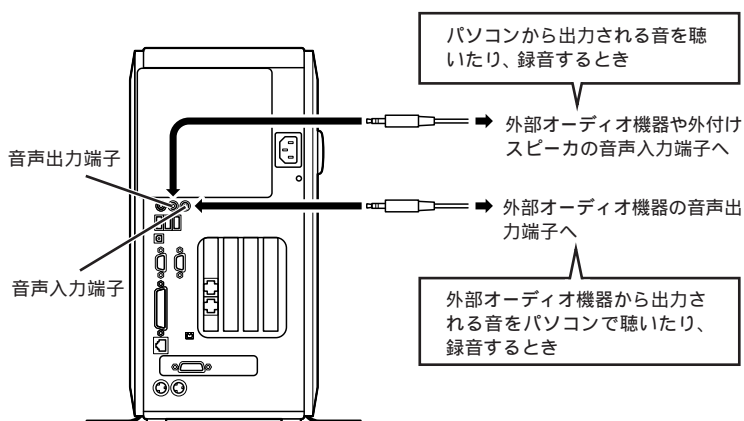
パソコンに外部オーディオ機器や映像機器を接続するときはこの端子を使います。

本体背面にオーディオ機器を接続する

ケーブルについて

音声出力端子、音声入力端子に接続できるのは、ステレオミニプラグ付きのオーディオケーブルです。

接続のしかた



外部オーディオ機器のRCA端子から接続する場合は、ステレオRCAピンプラグ ステレオミニプラグの変換ケーブルまたはコネクタが必要になります。

✓チェック!!

音声出力端子と外部オーディオ機器を接続するときは、外部オーディオ機器側は、「LINE IN」、「AUX IN」などの入力端子に接続してください。また、外部オーディオ機器に「MIC IN」しかない場合は、「抵抗入り」のオーディオケーブルを使ってください。

本体前面に AV 機器を接続する

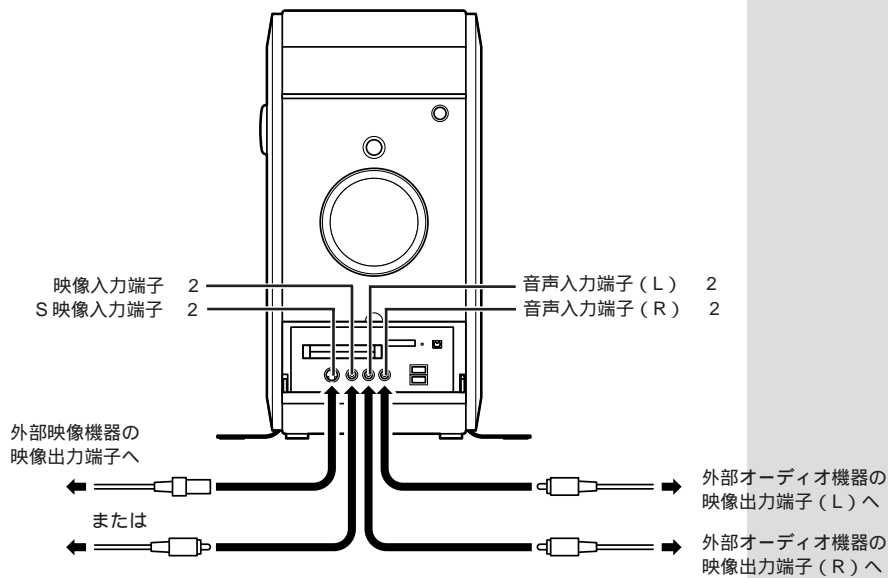
外部映像機器の映像をこのパソコンに入力したいときは、前面映像 / 音声入力端子を使います

ケーブルについて

前面映像入力端子に接続できるのは、S端子ケーブルまたはピンプラグ付きの映像ケーブルです。

前面音声入力端子に接続できるのは、ピンプラグ付きのオーディオケーブルです。

接続のしかた



✓チェック!!

前面映像 / 音声入力端子が使えるのは、TV モデルだけです。

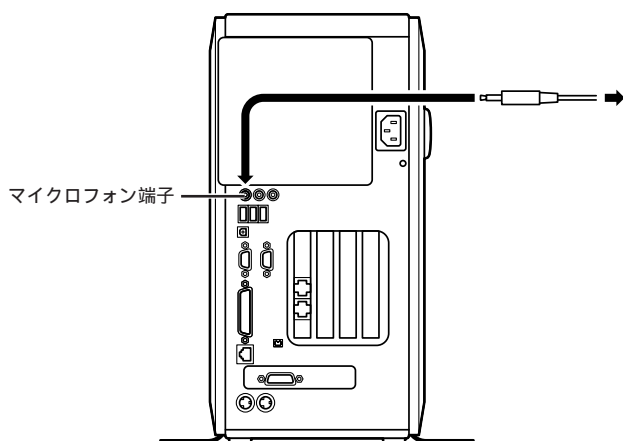
マイクロフォン端子 / ヘッドフォン端子

マイクロフォンを接続してパソコンに音を入力したり、ヘッドフォンを接続してパソコンの音を聴いたりするときに使います。

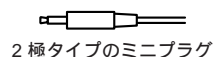
マイクロフォンを接続する

接続のしかた

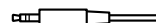
このパソコンに接続できるのは、ミニプラグ付のマイクロフォンです。



このパソコンのマイクロフォン端子には、次の2種類のプラグのどちらでも接続できます。



2極タイプのミニプラグ



3極タイプのミニプラグ

音量の調節

マイクロフォンからの入力音量は、Windowsの「ボリュームコントロール」の機能で調節します。「ボリュームコントロール」は、「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「エンターテインメント」-「ボリュームコントロール」をクリックして起動できます。

ハウリングについて

マイクロフォンをスピーカに近づけると、スピーカから「キーン」という大きな音が出ることがありますが、故障ではありません。これをハウリング現象といいます。この場合は、次の対策を行ってください。

- ・マイクロフォンをスピーカから遠ざける
- ・「ボリュームコントロール」で入力音量(ボリューム)を小さくする

取り込んだ音声の利用

マイクروفオンから取り込んだ音声は、「サウンドレコーダー」というアプリケーションを使って録音し、ファイルに保存できます。詳しくは、サウンドレコーダーのヘルプをご覧ください。「サウンドレコーダー」は、「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「エンターテイメント」-「サウンドレコーダー」をクリックして起動できます。

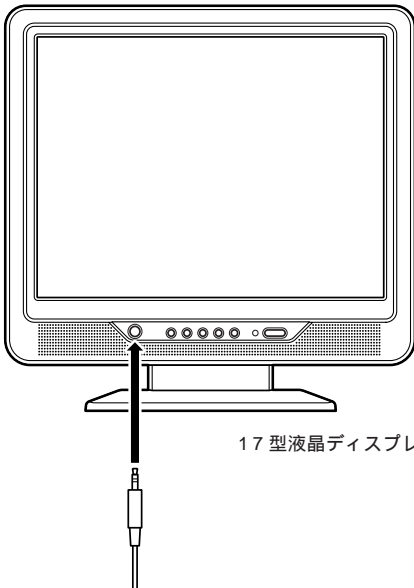
マイクروفオンを使って音声入力をする

別売の日本語音声認識ソフトをインストールして、このパソコンにマイクروفオンを接続すると音声で文字入力やパソコンの操作ができるようになります。このパソコンに添付されているアプリケーションのなかで、「音声対応」となっているものは、音声で文字入力や操作ができます。詳しくは、アプリケーションのマニュアルまたはヘルプをご覧ください。

ヘッドフオンを接続する

接続のしかた

セットのディスプレイに接続できるのは、ステレオミニプラグ付きのヘッドフオンです。市販のヘッドフオンなどを接続できます。お持ちのヘッドフオンのプラグが大きくて入らないときは、電器店などで「ステレオ標準プラグ ステレオミニプラグ」変換プラグを購入してください。



17型液晶ディスプレイの場合

音量の調節

キーボードの【】【】ボタンで調節します。
【】【】ボタンで調節しても音量が小さすぎるような場合は、Windowsの「ボリュームコントロール」を使って調節してください。

✓チェック!!

ヘッドフオンを接続するときは、音量を小さくしてから接続してください。

TVモデルの場合は、リモコンでも音量の調節ができます。

📖参照

リモコンについて 『リモコン取扱説明書』

LAN コネクタ

本体背面には、LAN コネクタがあります。ケーブルテレビやADSL(エーディーエスエル)モデムなどのブロードバンド対応機器を接続したり、複数のパソコンや周辺機器をつないでネットワークを作ったりするときに使います。

LAN コネクタを使ってできること

接続する機器によって次のようなことができます。

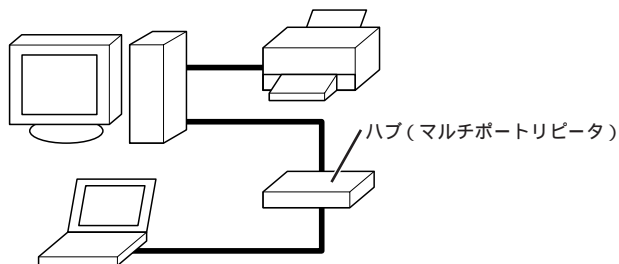
ブロードバンドでインターネットに接続する



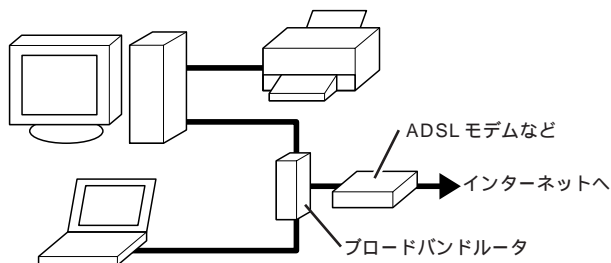
LAN コネクタにケーブルテレビやADSLモデムなどのブロードバンド対応機器を接続します。

ネットワークを作る

ネットワークを作ると、プリンタの共有やファイルのやりとりができるようになります。



ハブ(マルチポートリピータ)と各パソコンのLAN コネクタを接続します。



別売のルータなどを使ってこのように接続すると、プリンタやファイルの共有だけでなく、複数のパソコンから同時にインターネットに接続することもできます。

チェック!!

このパソコンのLAN コネクタは、1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-Tの規格に対応しています。

参照

ホームネットワークについて『ホームネットワーク活用 book』

LANの設定を行うとPCGATE Personalの「ネットワーク セキュリティ ウィザード」が表示されます。
『パソコンガイド』の「ウイルスとトラブルの予防」の「不正アクセスからパソコンを守るには」をご覧ください。

LAN ケーブルを接続する

LAN コネクタと各機器との接続には、LAN ケーブルを使います。

接続するときの注意

- ・ LAN ケーブルは別売です。
- ・ LAN ケーブルを購入する際は、接続する LAN や機器の規格にあったケーブルを購入してください。
- ・ 1000BASE-T で LAN に接続するには、カテゴリ 5e 以上のケーブルが必要です。
- ・ 100BASE-TX で LAN に接続するには、カテゴリ 5 の LAN ケーブルが必要です。

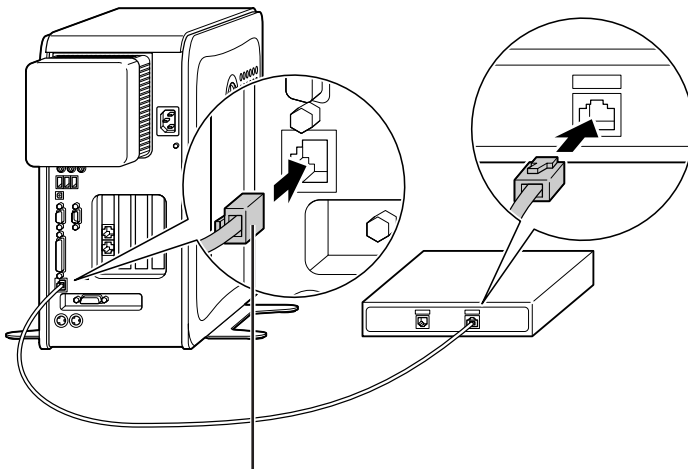
接続のしかた

1

LAN ケーブルのプラグを、向きに気をつけて本体背面の LAN コネクタ(品)に接続する

2

ADSL モデムやハブ(マルチポートリピータ)などに、LAN ケーブルのもう一方のプラグを接続する



ツメが左側になるよう
にして差し込む

✓チェック!!

LAN ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類があります。目的によって使うケーブルが違いますので、購入するときは注意してください。

- ・ パソコンとハブをつなぐ場合: ストレートケーブル
- ・ パソコンと ADSL モデムをつなぐ場合 : ストレートケーブル
- ・ パソコンとパソコンを直接つなぐ場合 : クロスケーブル

詳しくは、各 ADSL 接続業者にお問い合わせください。

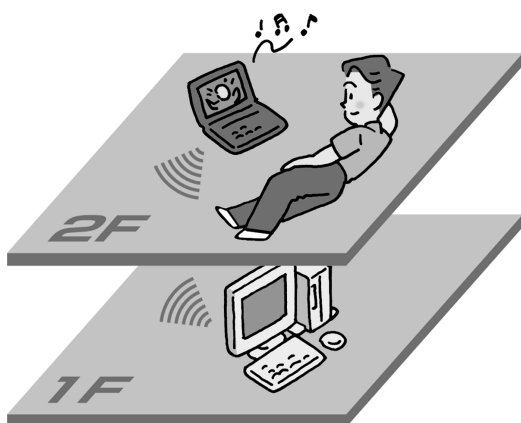
ハブの接続について詳しくは、ハブに添付のマニュアルをご覧ください。

ワイヤレスLAN(ワイヤレスLANモデルのみ)

このパソコンには、IEEE802.11a規格に対応した5GHzワイヤレスLAN機能と、IEEE802.11b規格に対応した2.4GHzワイヤレスLAN機能があります。

ワイヤレスLAN機能の紹介

ワイヤレスLANで何が出来る？



上の図のように、一階と二階のあいだなどでLANケーブルを引かなくても、ファイルのやりとりができます。



上の図のように、ちょっと離れた場所にあるADSLやISDN対応機器にワイヤレスでつなげれば、パソコンの設置場所をあちこち変えても配線不要で快適にインターネットできます。

壁や床などの障害物の材質や構造により、電波が届きにくい場合があり、通信距離が短くなったり、通信速度が落ちることがあります。

 参照

LANの基礎知識 このPARTの「LANコネクタを使ってできること」(p.96)

どんな機器とつながれるの？

このパソコンの 5GHz ワイヤレス LAN 機能は「IEEE802.11a」という規格に、2.4GHz ワイヤレス LAN 機能は「IEEE802.11b」という規格に対応しています。このため、相手側のワイヤレス LAN 機器が「IEEE802.11a」または「IEEE802.11b」に対応していればつながります。

ただし、一部の機器では、これらの規格に対応していてもこのパソコンとは通信できないものもあります。機器を購入する前にメーカーや販売店に確認してください。

どのくらい離れていても使えるの？

このパソコンと相手側機器の間に壁や障害物が何もない場合は、最大 70m 程度まで通信ができます。ただし、家庭やオフィスには通信の障害になるものがいろいろとあるため、電波が届く距離はもっと短くなります。どんなものが通信の障害になるかは、このページで紹介しています。

また、通信状態が悪くなって通信が途切れそうになると、確実に通信を続けるために通信速度を自動的に低くする機能があります。

安定して通信するにはどんなことに注意したらいい？


- ・相手側機器との距離を近づける
- ・相手側機器との間に障害物を置かないようにする
- ・パソコン本体の向きを変えてみる
- ・金属製のパソコンラックなどにこのパソコンを設置しない

2.4GHz ワイヤレス LAN を使うときは、次のことにも注意してください。

- ・電子レンジが近くにあるときは、電子レンジから遠ざける
- ・ワイヤレス LAN 以外の 2.4GHz 周波数帯域を使う無線機器が近くにあるときは、それらの機器の使用を中断する。


どのくらいの通信スピードで使えるの？

規格上は、5GHz ワイヤレス LAN (IEEE802.11a) では 54Mbps、2.4GHz ワイヤレス LAN (IEEE802.11b) では、11Mbps が最大の通信速度です。しかし、一般にその 50% 以下の速度で通信が行われます。また、電波の状況や相手側機器との距離などによっても通信速度は大きく変動します。


現在の通信速度は、画面右下のをダブルクリックして表示される画面で調べることができます。

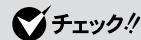
5GHz ワイヤレス LAN (IEEE802.11a) と 2.4GHz ワイヤレス LAN (IEEE802.11b) のどちらで接続されるの？

購入時の設定では、接続先に合わせて、5GHz または 2.4GHz が自動的に選択されます。

どちらで接続するか設定したいときは、「パソコンガイド」-「パソコンの設定」-「ネットワークの設定」-「ワイヤレス LAN の設定」をご覧ください。



- ・ワイヤレス LAN の設定について
「パソコンガイド」-「パソコンの設定」-「ネットワークの設定」-「ワイヤレス LAN の設定」
- ・相手側機器の設定について 相手側機器添付のマニュアル



このパソコンに接続できる NEC 製のワイヤレス LAN 対応機器については、NEC のパーソナル商品総合情報サイト「121ware」(<http://121ware.com/>)をご覧ください。

盗聴されたり、無関係なパソコンとつながったりしない？

ワイヤレスLANはケーブルを使用するLANと違い、電波の届く範囲であればどこからでも、第三者からのデータの盗聴(傍受)または「なりすまし」によるネットワークへの不正アクセスを受ける危険性を持っており、重要なデータの漏洩につながる可能性があります。こういったワイヤレスLANの使用上の危険を回避するために、以下のセキュリティ機能を組み合わせて使用することをおすすめします。

・盗聴(傍受)を防ぐには

WEP機能を使用して暗号キーを設定すると、同じ暗号キーを使用している通信機器間のワイヤレス通信のデータを暗号化できます。5GHzワイヤレスLAN機能は、「64bit WEP機能」、「128bit WEP機能」と「152bit WEP機能」に対応しています。また、2.4GHzワイヤレスLAN機能は、「64bit WEP機能」と「128bit WEP機能」に対応しています。

ただし、暗号キーを設定していても、暗号キー自体を第三者に知られたり、暗号解読技術によって暗号を解読されたりする可能性があるため、設定した暗号キーは定期的に変更することをおすすめします。

・不正アクセスを防ぐには

アクセスポイントと通信機器の両方に任意のネットワーク名(SSID)を設定することで、同じSSIDを設定していない通信機器からの接続を回避できます。ただし、同じSSIDを設定していない機器でも、そのネットワークがどんなSSIDを使用しているかは検出できてしまうため、SSIDを設定しただけではセキュリティを保てません。これを回避するには、アクセスポイント側でSSIDを通知しないように設定する必要があります。



接続するパソコンなどのMACアドレス(ネットワークカードが持っている固有の番号)をアクセスポイントに登録することで、登録した機器以外はアクセスポイントに接続できなくなります。

また、このパソコンにインストールされているファイアウォールソフトの「PCGATE Personal」を使えば、外部からの不正なアクセスの多くを防ぐことができます。


チェック!!

- ・ここで説明しているセキュリティ機能を利用するには、その機能に対応したアクセスポイントなどが必要です。
- ・これらの設定は危険性をより低くするための手段であり、安全性を100%保証するものではありません。

参照

- ・WEP機能の設定  「ばそガイド」-「パソコンの設定」-「ネットワークの設定」-「ワイヤレスLANの設定」
- ・相手側機器の設定について  相手側機器添付のマニュアル

参照

PCGATE Personalについて 
「ばそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」

アンテナを接続する

このパソコンのワイヤレス LAN 機能を使う前に、添付のアンテナを接続してください。

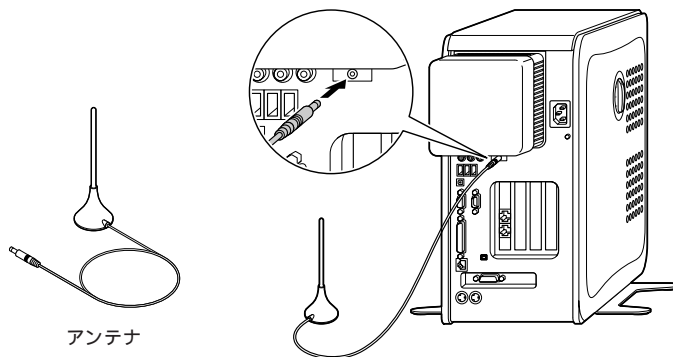
接続のしかた

1

本体の電源を切り、接続されているすべてのケーブルを取り外す

2

下のイラストに示すコネクタに添付のアンテナのプラグを差し込む



アンテナ

3

アンテナをパソコン本体の上などに置く

4

手順 1 で取り外したケーブルをすべて取り付ける

ワイヤレス LAN 機能の設定をする

ワイヤレス LAN 機能の設定は、電子マニュアル「ばそガイド」の「パソコンの設定」-「ネットワークの設定」-「ワイヤレス LAN の設定」で説明しています。

✔ チェック!!

ワイヤレス LAN の設定は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーが行ってください。「制限」アカウントでは、一部の設定ができません。

ワイヤレス LAN Q&A

接続相手と接続できない

ネットワークの設定は済んでいますか？

電子マニュアル「ばそガイド」の「パソコンの設定」-「ネットワークの設定」-「ワイヤレス LAN の設定」をご覧ください。

相手側ワイヤレス LAN 対応機器は、このパソコンと接続できるタイプですか？

「どんな機器とつなげられるの？」(p.99)をご覧ください。このパソコンと接続できるかどうか確認してください。

セキュリティの設定は間違いありませんか？

このパソコンと接続相手先に同じ暗号キーが設定されていないと、正常に通信ができません。電子マニュアル「ばそガイド」の「パソコンの設定」-「ネットワークの設定」-「ワイヤレス LAN の設定」をご覧ください。

通信速度が遅い、通信が途切れる

「安定して通信するにはどんなことに注意したらいい？」(p.99)をご覧ください。パソコンの向きや周囲の環境を改善してみてください。

電子レンジを使用していませんか？

周囲で電子レンジを使用していると、2.4GHz ワイヤレス LAN 対応機器の通信速度、通信距離が低下する場合があります。2.4GHz ワイヤレス LAN 対応機器と電子レンジは離して使用することをおすすめします。

複数のパソコンでネットワーク接続していませんか？

ワイヤレス LAN 機能で接続するパソコンの台数が増えると、1 台あたりの転送速度が低下する場合があります。

ネットワークの設定ができない

ネットワークの設定は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーが行ってください。「制限」アカウントでは、一部の設定ができません。

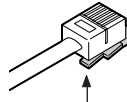
モジュラーコネクタ

本体背面には、電話機用モジュラーコネクタと電話回線用モジュラーコネクタがあります。ご利用になるインターネット接続の回線がCATVやADSL(エーディーエスエル)回線ではない場合に、この操作を行って電話回線に接続してください。この操作を行っても、電話機は今まで通り使えます。

接続のしかた

1

電話機につながっているモジュラーケーブルを、壁などのモジュラーコンセントから外す



このツメを押さえて取り外す

2

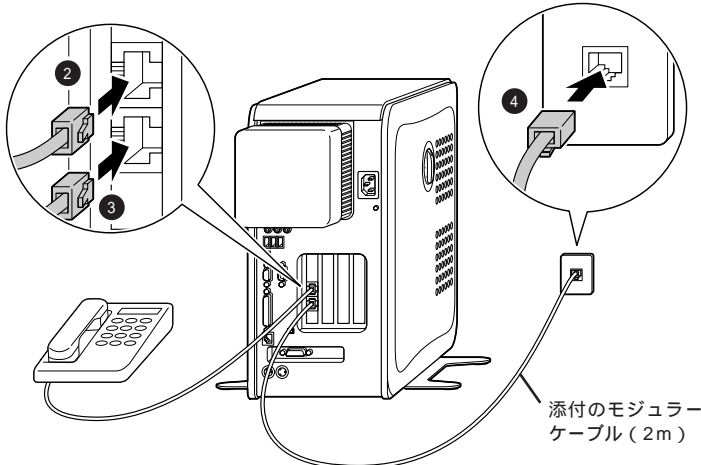
手順1で外した電話機のモジュラーケーブルのプラグを、向きに気をつけて、本体背面の☎の付いたコネクタに差し込む

3

添付のモジュラーケーブルのプラグを、向きに気をつけて、本体背面の□の付いたコネクタに差し込む

4

もう一方のプラグを壁などのモジュラーコンセントに差し込む



添付のモジュラーケーブル(2m)

✓チェック!!

パソコンを電話回線に接続するには、電話回線の接続口がモジュラーコンセントになっている必要があります。

モジュラーケーブル(電話線)のプラグには、上下のどちらかにツメが付いています。このツメを指でつまんで押さえるようにすると、簡単に抜くことができます。

✓チェック!!

☎マークの付いたコネクタと間違えないように注意してください。

パソコンを電話回線に接続しても、電話機はこれまで通り使うことができます。パソコンの電源が入っていてもいなくても関係ありません。

シリアルコネクタ / パラレルコネクタ

シリアルコネクタには比較的低速な通信機器などのシリアル対応機器、パラレルコネクタにはプリンタなどのパラレル対応機器を接続できます。

シリアルコネクタについて

シリアルコネクタには、外付けモデムやターミナルアダプタなどの通信機器を接続することができます。また、他のパソコンとケーブルで接続してデータ転送することもできます。

シリアルコネクタに機器を接続する

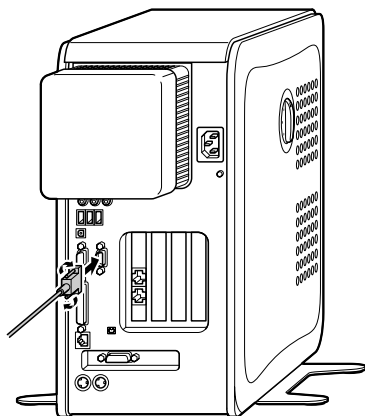
接続するときの注意

- ・ パソコン本体と周辺機器の電源を切ってから接続してください。
- ・ シリアルケーブルは、周辺機器に添付されているものを使用してください。別で購入する場合、周辺機器を接続するには「ストレート」タイプを、他のパソコンと接続するには「クロス」または「リバース」タイプを選んでください。

接続のしかた

1

パソコン本体背面のシリアルコネクタに、シリアルケーブルのコネクタを差し込み、



2

左右のネジをしめて固定する

パラレルコネクタについて

プリンタなどのパラレル対応機器を接続するためのコネクタです。パラレル対応機器であればプリンタ以外の機器も接続することができます。また、シリアルコネクタと同じように、他のパソコンとケーブルで接続してデータ転送することができます。

パラレルコネクタに機器を接続する

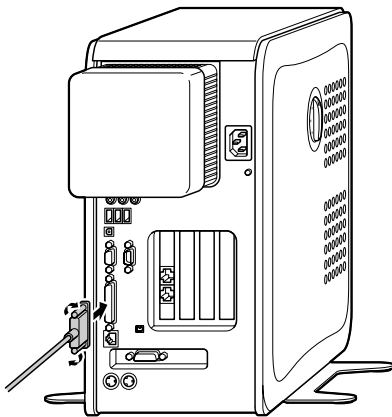
接続するときの注意

パソコン本体と周辺機器の電源を切ってから接続してください。

接続のしかた

1

パソコン本体背面のパラレルコネクタに、
パラレルケーブルのコネクタを差し込み、



2

左右のネジをしめて固定する

P A R T

6

パソコン内部に取り付ける

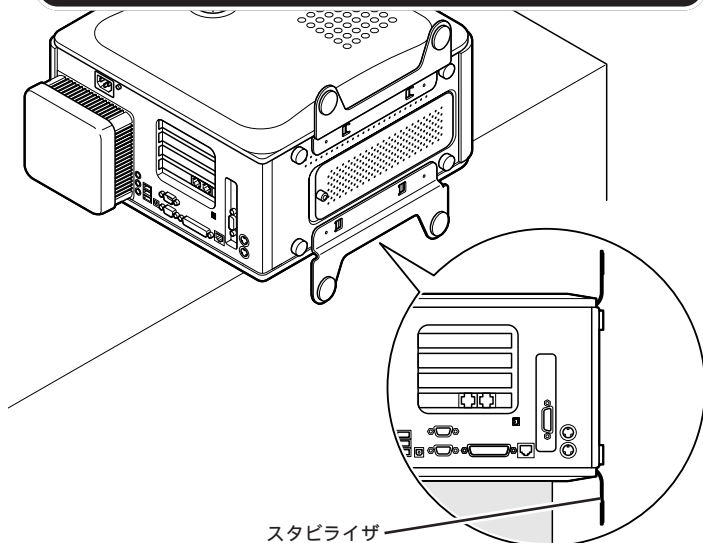
ここでは、パソコンのカバーを開けてパソコン内部に周辺機器を取り付ける方法を説明しています。

本体の開け方と閉め方

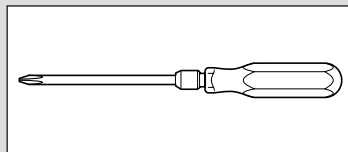
いろいろなボードをパソコンに組み込むときには、本体のサイドカバー(本体左側面のカバー)を外す作業が必要となります。ここでは、その作業について説明します。

サイドカバーの外し方

- 1 本体と、プリンタなど周辺機器の電源を切る
- 2 本体の電源ケーブルをコンセントから抜く
- 3 本体に接続されているケーブルをすべて取り外す
- 4 本体の左側面(正面から見て左側)を上に向けて静かに横に倒し、底面のスタビライザがはみ出るように机の端などに置く



スタビライザを外す際に、プラス(+)ドライバーが必要になります。ネジ山にあった先端のものを用意してください。ネジを落としたりしないよう、ドライバーの先端が磁石になったものをおすすめします。



✓チェック!!

ここで取り外したケーブルは、メモリやボードなどの増設が終わり、サイドカバーを取り付けたあとで、もどおりに接続することになります。外す前に、どのコネクタにどのケーブルが接続されているのかを確認しておきましょう。

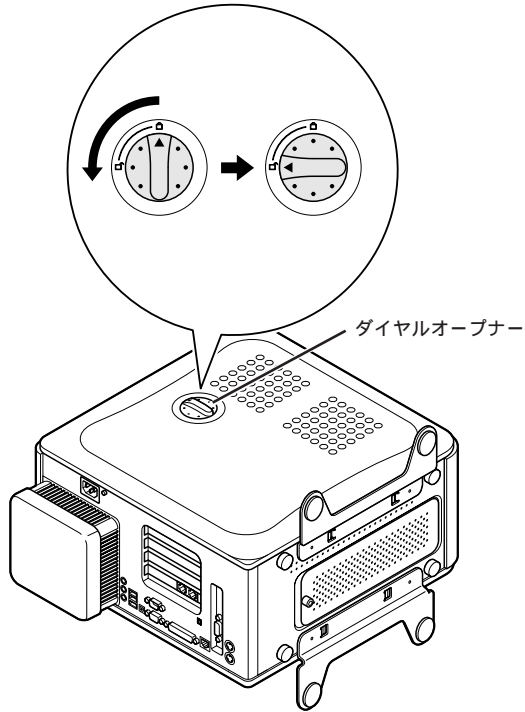
本体を横に倒すときは、本体を安定させるためや机やテーブルなどを傷つけたりしないように、下に厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

✓チェック!!

本体が机の端などから少しはみ出るように置いて安定させます。

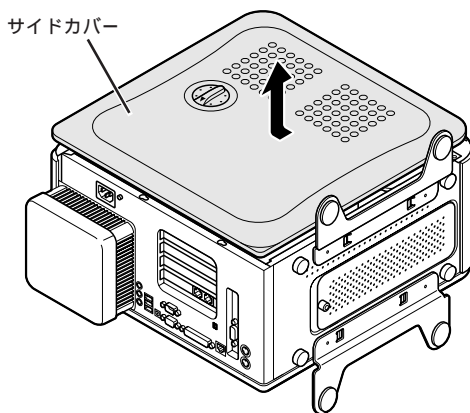
5

本体左面のダイヤルオープナーを左90°回転させる



6

サイドカバーを本体天面方向に少しずらし、そのままゆっくり上方向に持ち上げて取り外す



✓チェック!!

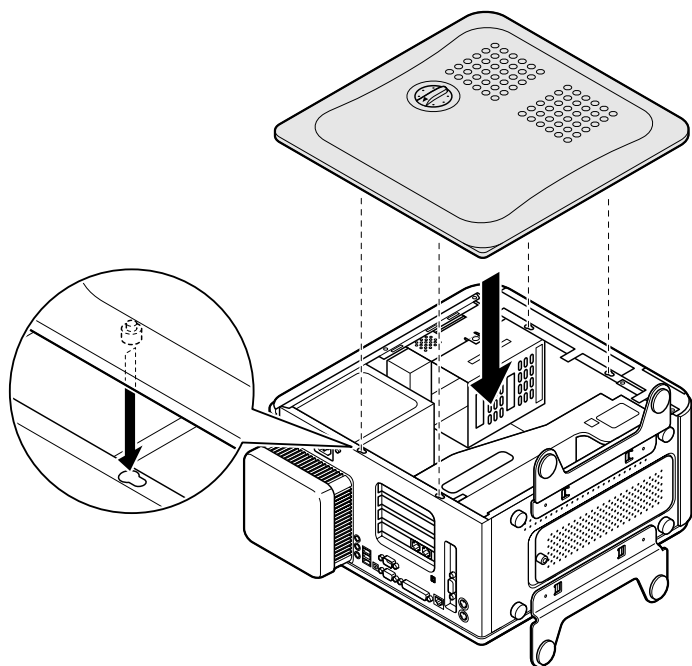
- ・ 取り外したサイドカバーのフック部などを変形させないよう、取り扱いには注意してください。
- ・ このマニュアルで説明している以外の方法で本体内部のケーブル類を外さないようにしてください。

サイドカバーの取り付け方

機器の取り付けが終わって、カバーをもとどおりに取り付けるときは、外すときと逆の順番で作業を進めてください。

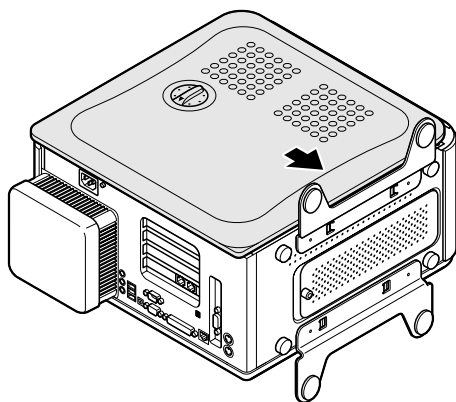
1

サイドカバーの4つのピンを本体の4つの穴に合わせるようにして下におろす




2

サイドカバーを本体下側に少しスライドさせる

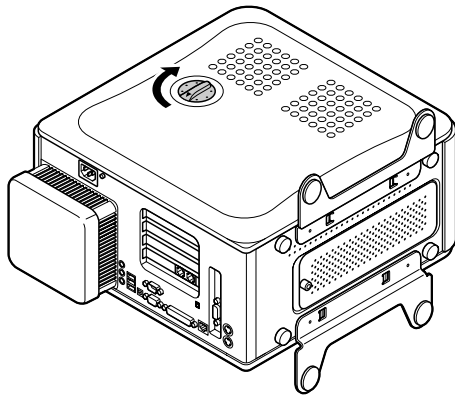


✓チェック!!

- ・このとき、内部のケーブルや部品を引っかけたり、はさんだりしないように気をつけてください。
- ・サイドカバーを取り付ける前に、ダイヤルオープナーが左の図のように「」の位置にあることを確認してください。

3

ダイヤルオープナーを右に90°まわして
固定する



4

「サイドカバーの外し方」の手順3(p.108)で取り外した
ケーブルをもとどおりに取り付ける

 参照

ケーブルの接続 「PART2 パソコンの接続をする」(p.7)

ピーシーアイ

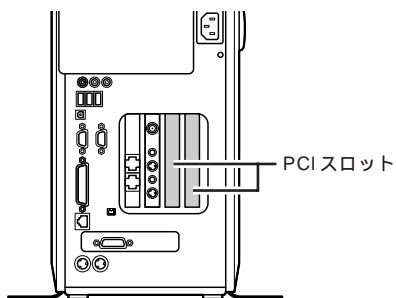
PCIボード

このパソコンのPCIスロットには、SCSIボードなどのPCIボードを取り付けられます。

PCIスロットについて

このパソコンでは、下の図のように、2つのPCIスロット(TVモデル以外では3つ、BSモデルでは1つ)を使用できます。

スロットにはフルハイト、ハーフレングスのPCIボードを取り付けることができます。



(TVモデル)

PCIボードの取り付けと取り外し

PCIボードの取り付け方

1

正しい手順で本体のサイドカバーを外す

✓チェック!!

特殊な形状のPCIボードは取り付けられないことがあります。

✓チェック!!

以降の手順では、本体のカバーを開けて作業します。

PCIボードを取り付けるときには、必ずPCIボードに付属のマニュアルもご覧ください。

📖参照

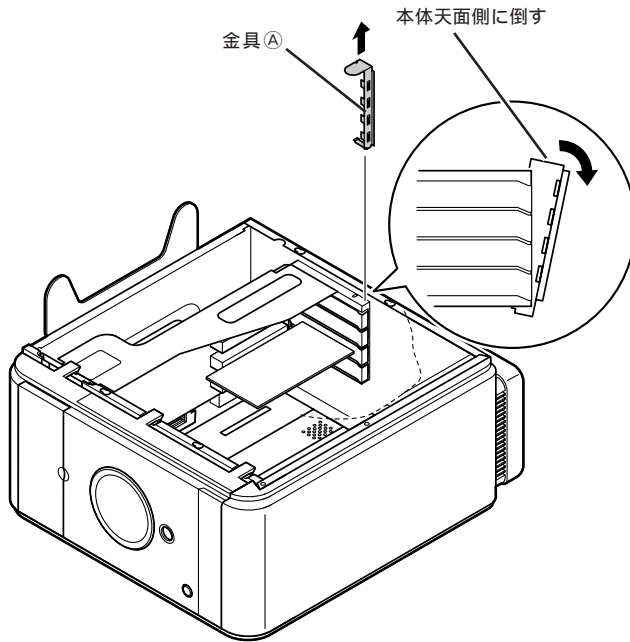
サイドカバーの外し方 このPARTの「本体の開け方と閉め方」(p.108)

✓チェック!!

- ・電源ケーブルやディスプレイのケーブルなど、本体に接続されているケーブルは本体からすべて取り外してください。
- ・机やテーブルを傷つけたりしないように、下に厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

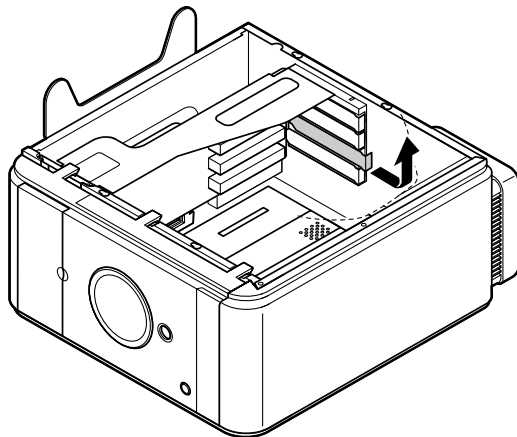
2

下の図のように金具[Ⓐ]を本体天面側に倒して、上側のロックを外し、続けて下側のロックを外す



3

空いている PCI スロットの スロットカバーを取り外す



✓チェック!!

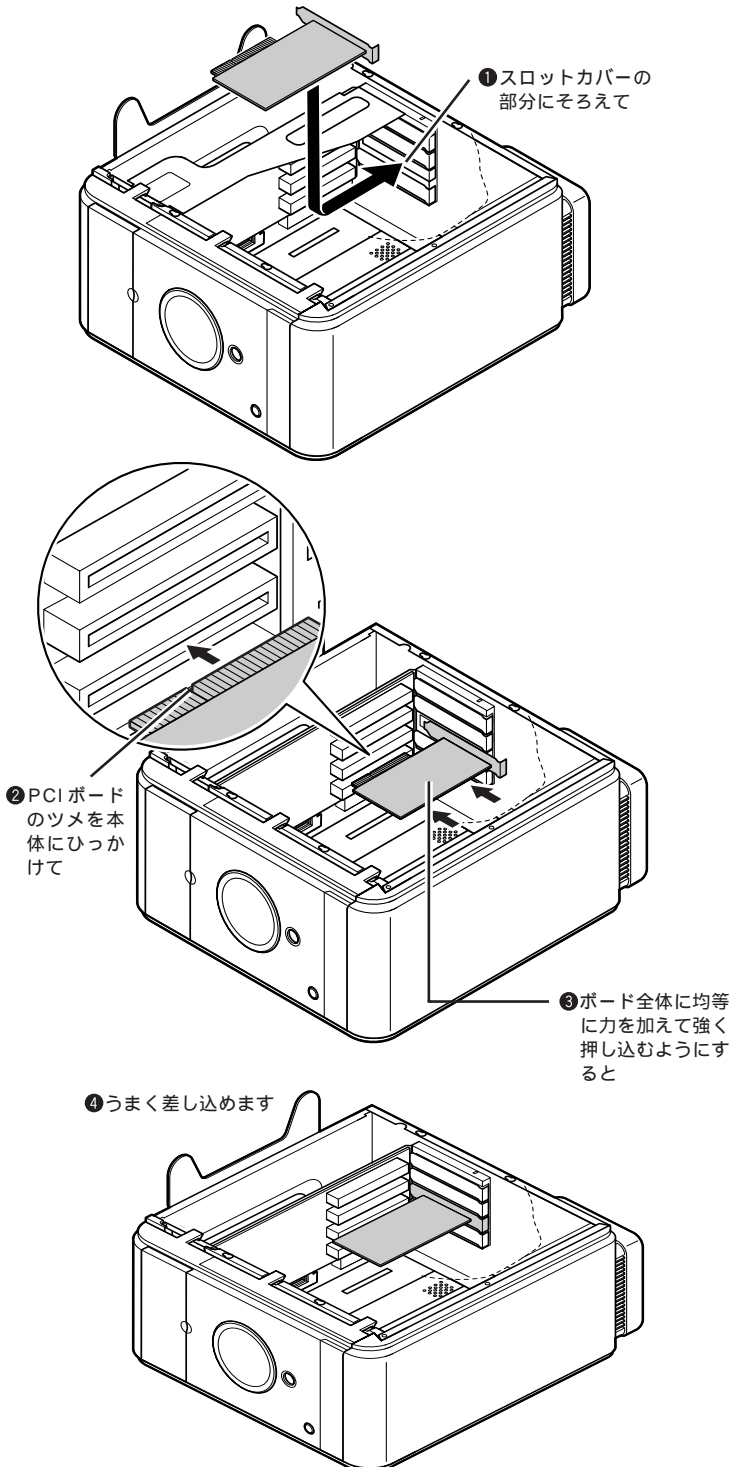
- ・金具[Ⓐ]を取り外すときは、指をぶついたり、切ったりしないように注意してください。
- ・標準で取り付けられている PCI ボードを取り外して、別の PCI ボードを取り付けた場合はサポートの対象外になります。
- ・標準で取り付けられている PCI ボードは、購入時に取り付けられていたスロットで使用してください。

✓チェック!!

- ・スロットカバーは、ここで取り付けられたボードを取り外さないかぎり、不要となりますが、なくさないように大切に保管してください。
- ・PCI ボードを持つときは、ボード上の部品やツメ(端子)部分に触れないように注意してください。

4

PCIボードを、両手で支えながらスロットに慎重に差し込む

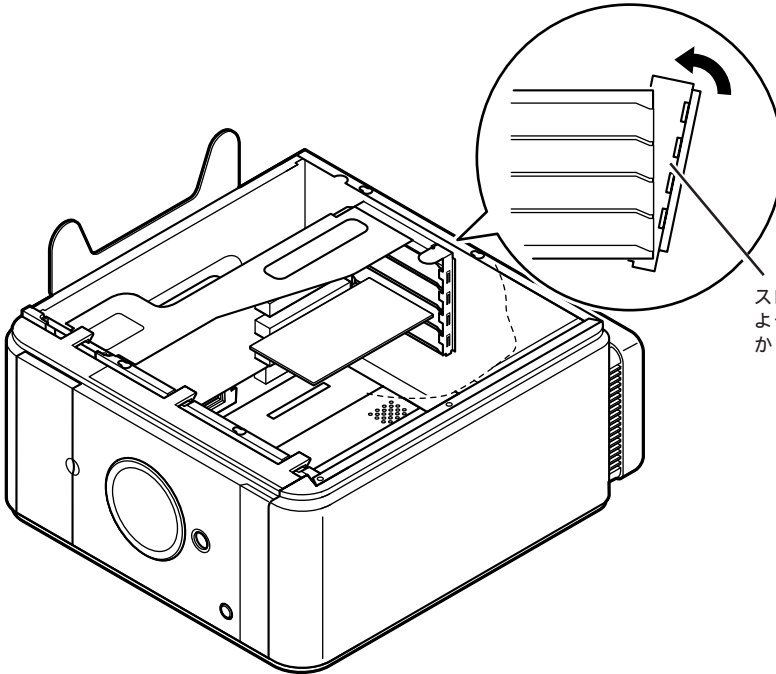


PCIボードをしっかりと差し込むには、強い力が必要です。ボードのツメの先端がPCIスロットにきちんと合っていれば壊れることはありませんので、強く押し込むようにしてください。また、そのときに指をぶついたり、切ったりしないように注意してください。

☑️ チェック!!

しっかりと差し込んでおかないと、故障の原因になります。

5

手順2で外した金具④を使って、PCIボードを固定する

スロットカバーが外れないように穴にはめ込んでしっかり固定する

6

正しい手順で本体のサイドカバーを取り付ける

PCIボードによっては、ボードの取り付け後、パソコン側で設定作業が必要なものもあります。詳しくは、PCIボードに付属のマニュアルをご覧ください。また、PCIボードの使い方についても、PCIボードに付属のマニュアルをご覧ください。

PCIボードの取り外し方

PCIボードの取り外しは、PCIボードの取り付けと逆の手順で行ってください。

参照

サイドカバーの取り付け方 このPARTの「本体の開け方と閉め方」(p.108)

チェック!!

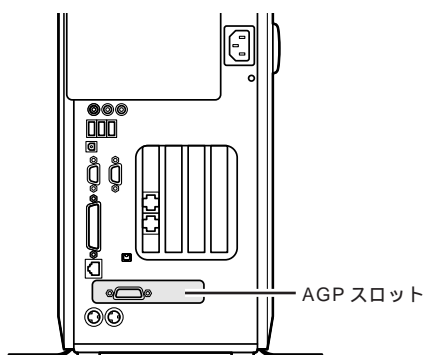
FAX モデム / LAN ボード、地上波TV & データボードも、PCIボードと同じ方法で取り付けられています。これらのボードの取り付け、取り外しは、PCIボードと同じように行うことができます。

エージーピー AGP ボード

このパソコンのAGPスロットには、AGPボードが取り付けられています。より高速なAGPボードと交換することもできます。

AGP スロットについて

このパソコンでは、下の図の位置に、AGP スロットがあります。



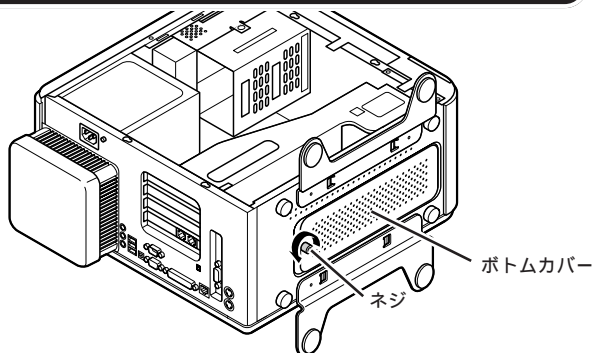
- ・ AGP スロットは、AGP × 8 モードに対応しています。
- ・ AGP Pro 規格には対応していません。
- ・ 特殊な形状の AGP ボードは取り付けできないことがあります。

AGP ボードの取り外しと取り付け

AGP ボードの取り外し方

1 正しい手順で本体のサイドカバーを取り外す

2 ボトムカバーのネジを反時計回りにまわしてゆるめる



参照

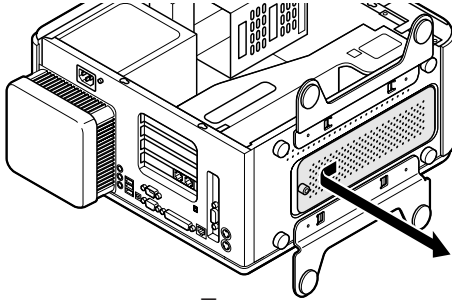
サイドカバーの外し方 / 取り付け方
このPARTの「本体の開け方と閉め方」(p.108)

チェック!!

電源ケーブルやディスプレイケーブルなど、本体に接続されているケーブルは本体からすべて取り外してください。

3

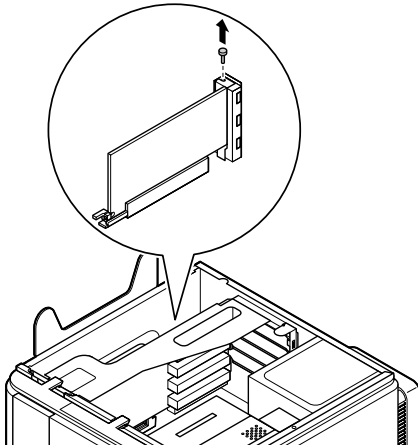
ボトムカバーを本体背面方向に少しずらしてから、手前に取り外す



↓ カバーが外れます

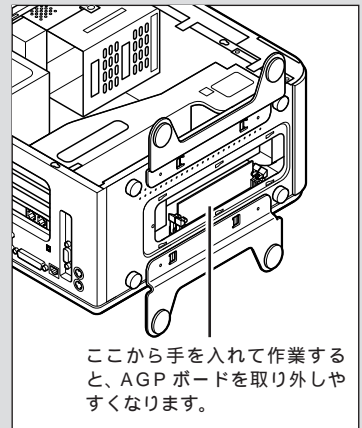
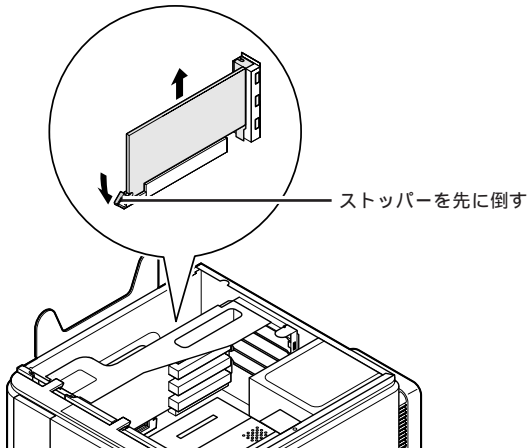
4

AGP ボードを留めているネジを一本取り外す



5

ストッパーを下に倒してから、AGPボードを取り外す



ここから手を入れて作業すると、AGP ボードを取り外しやすくなります。

取り外したネジは、AGP ボードの取り付けに使用しますので、なくさないようにしてください。

AGP ボードを使用するときには、必ず AGP ボードに付属のマニュアルもご覧ください。

✓チェック!!

AGP ボードを取り外すと、本体背面のアナログ RGB コネクタが有効になります。

6

ボトムカバーを取り付ける

7

正しい手順で本体のサイドカバーを取り付ける

AGP ボードの取り付け方

AGPボードを使用するときには、必ずAGPボードに付属のマニュアルもご覧ください。

 参照

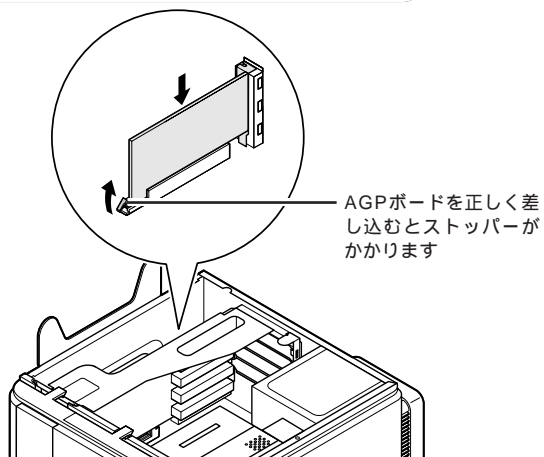
サイドカバーの外し方 / 取り付け方
このPARTの「本体の開け方と閉め方」(p.108)

1

正しい手順で本体のサイドカバーを取り外す

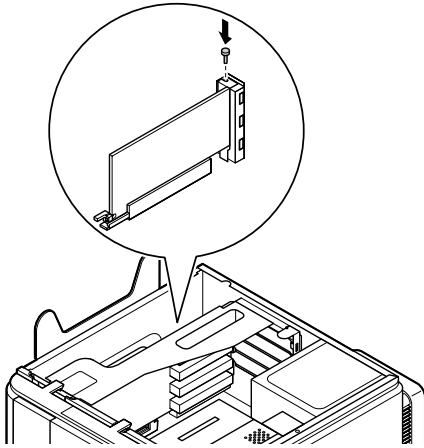
2

AGP ボードを AGP スロットにしっかりと差し込む



3

AGP ボードを取り外すときに、外したネジで
AGP ボードを固定する



4

正しい手順で本体のサイドカバーを取り付ける

メモリ

このパソコンでメモリを増やすときは、別売の「増設RAM(ラム)サブボード」というボードを、専用のコネクタに取り付けます。

メモリを増やすには

どのくらいメモリを増やすかを決める(p.121)
このパソコンでは、最大 2,048M バイトまで増やせます。



必要なものを準備する

必要な増設 RAM サブボード等を準備します。



増設 RAM サブボードを 取り付ける(p.122)

本体のサイドカバーを取り外し、用意した増設RAMサブボードを専用のコネクタに取り付けます。取り付けたらサイドカバーを元に戻します。



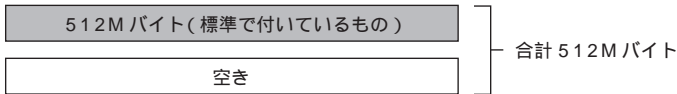
メモリが増えたかどうか確認する(p.126)

本体の電源を入れて、増やしたメモリがこのパソコンで使えるようになっているかどうか確認します。

メモリの増やし方の例

このパソコンには、増設RAMサブボード(DIMM:ディム)を差し込むコネクタ(スロット)が、2つ用意されています。標準では、この内の1つのコネクタに256Mバイトまたは512MバイトのRAMサブボードが付いています。

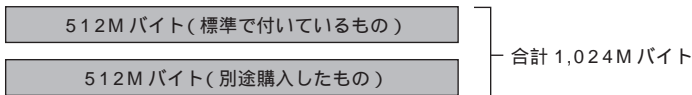
ここでは、標準で512MバイトのRAMサブボードが付いている場合を例にメモリの増やし方を説明します。



空いている残りの1スロットに、増設RAMサブボードを追加することで、メモリを増やします。また、標準で付いているRAMサブボードを取り外して、より大きな容量の増設RAMサブボードに取り替えることも可能です。メモリは、最大で2,048Mバイト(1,024バイトの増設RAMサブボード×2枚)まで増やすことができます。

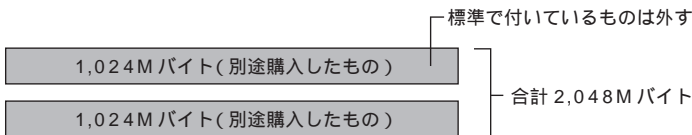
・例1: 1,024Mバイトにする場合

512Mバイトの増設RAMサブボードを1枚追加します。



・例2: 2,048Mバイト(最大)にする場合

標準で付いているRAMサブボードを外し、1,024Mバイトの増設RAMサブボードを2枚追加します。



このパソコンで使える増設RAMサブボード

パソコンのメモリを増やすときには、「増設RAMサブボード」というボードを使います。

このパソコンでは、「DDR SDRAM DIMM(PC2700)」と呼ばれるタイプの次のような増設RAMサブボードを使うことをおすすめします。

増設RAMサブボードの種類

型名	メモリ容量
PC-UG-ME005	256Mバイト
PC-UG-ME006	512Mバイト

増設RAMサブボードに対して、パソコンに最初から取り付けられているメモリのことを「RAMサブボード」といいます。

実際に利用できるメモリ容量は、取り付けられたメモリの総容量より少ない値になります。

✓チェック!!

メモリは、大変壊れやすい部品です。取り外した標準のRAMサブボードは大切に保管してください。

✓チェック!!

このパソコンでは、「SIMM(シム)」や、DDRが付かない「SDRAM DIMM」というタイプの増設RAMサブボードは使用できません。間違っても購入しないように注意してください。

増設 RAM サブボードの取り付けと取り外し

ボードを取り扱うときの注意

増設 RAM サブボードおよび標準で付いている RAM サブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態でこれらのボードに触れると、ボードが破損する原因となります。ボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。

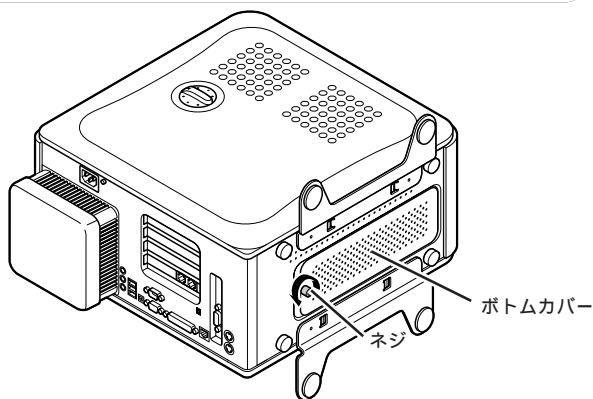
増設 RAM サブボードの取り付け方

1

「サイドカバーの外し方」(p.108)の手順 1 ~ 4 の方法でケーブルを取り外し、パソコン本体を横に倒す

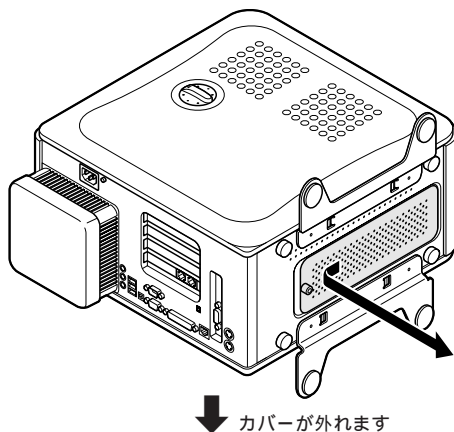
2

ボトムカバーのネジを反時計回りにまわしてゆるめる



3

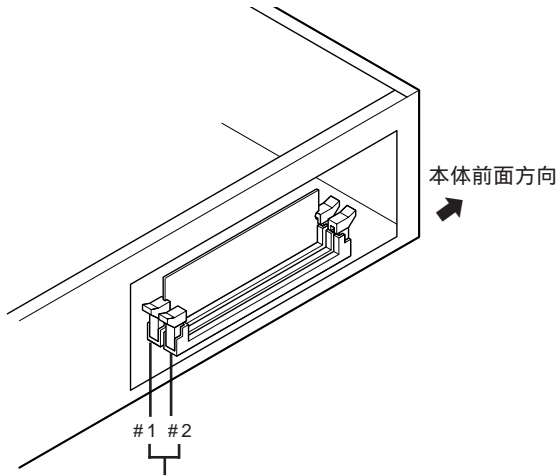
ボトムカバーを本体背面方向に少しずらしてから、手前に取り外す



✓チェック!!

電源ケーブルやディスプレイケーブルなど、本体に接続されているケーブルは本体からすべて取り外してください。

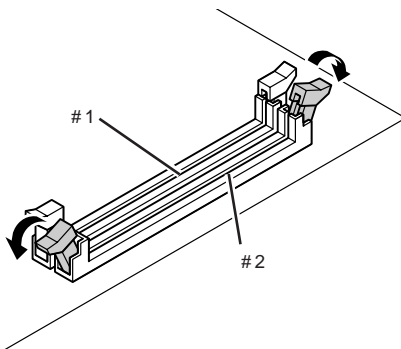
ここで、増設RAMサブボード用のコネクタの位置を確認しておいてください。



ここに増設RAMサブボード用コネクタがあります。
本体内側に近い方から、#1、#2と呼びます。

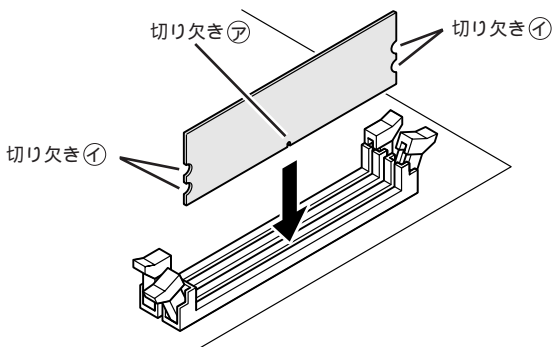
4

ボードを差し込むコネクタの両側のフックを外側に開く



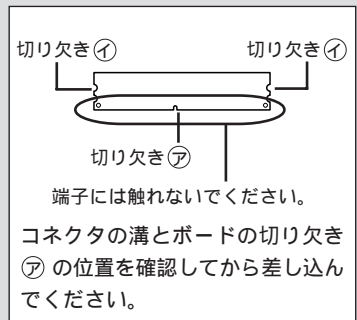
5

切り欠き㊦の方向とコネクタの溝の位置が合うように、空いているコネクタにボードを垂直に差し込む



左の図にはありませんが、実際には2つあるコネクタのうち、#1(本体内側に近い方)のコネクタには、標準でRAMサブボードが差し込まれています。

増設RAMサブボードは、両手で持ってください。

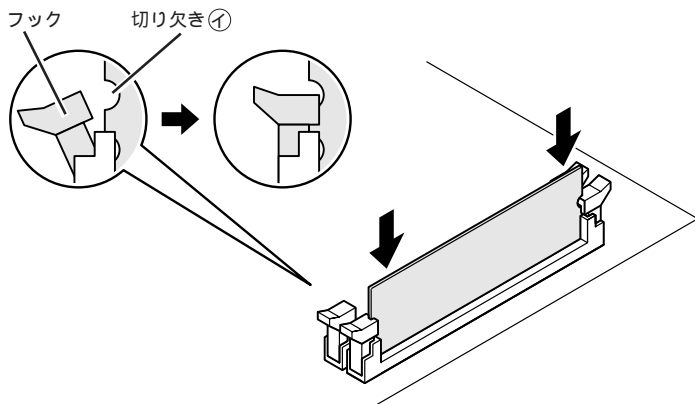


✓チェック!!

- ・増設RAMサブボードの端子部分には手を触れないでください。接触不良など、故障の原因となります。
- ・ボード上の部品やハンダ付け面には触れないよう注意してください。

6

そのまま垂直方向に力を加え、コネクタ両側のフックが切り欠き①に引っかかるまで、強く押し込む



7

122 ページの手順 2,3 と逆の手順で、ボトムカバーを取り付ける

8

パソコン本体を立て手順 1 で取り外したケーブルを取り付ける

RAM サブボードの取り外し方

1

「サイドカバーの外し方」(p.108)の手順 1 ~ 4 の方法でケーブルを取り外し、パソコン本体を横に倒す

2

122 ページの手順 2,3 と同じ手順で、ボトムカバーを取り外す

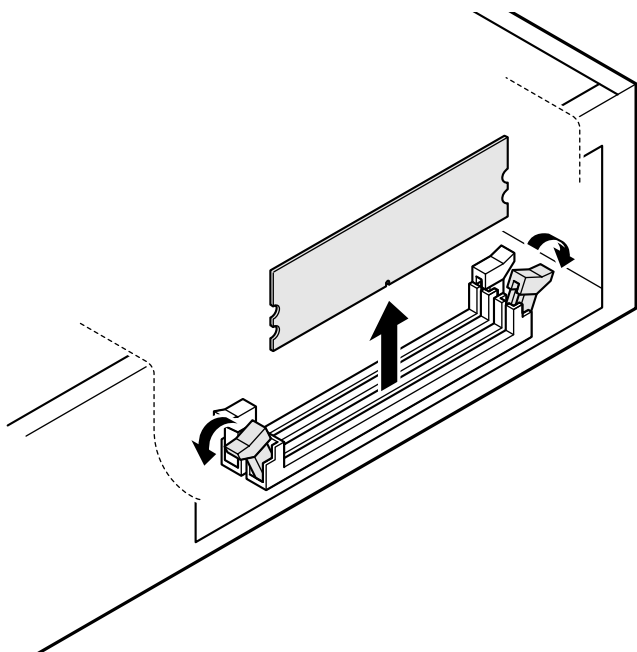
増設 RAM サブボードを奥までしっかり差し込むには、強い力が必要です。手順 5 で差し込んだときに切り欠き①をコネクタの溝に正しく合わせてあれば、壊れることはありませんので、強く押し込むようにしてください。また、その際に、指をぶつけたり、切ったりしないように注意してください。

✓チェック!!

しっかり差し込んでおかないと、故障の原因になります。

3

取り外したいボードの両側のフックを外側に開き、ゆっくりと、ボードを垂直に引き抜く



4

122 ページの手順 2, 3 と逆の手順で、ボトムカバーを取り付ける

5

パソコン本体を立て、手順 1 で取り外したケーブルを取り付ける

✓チェック!!

- ・電源ケーブルやディスプレイケーブルなど、本体に接続されているケーブルは本体からすべて取り外してください。
- ・左の図にはありませんが、実際には2つあるコネクタのうち、#1(本体内側に近い方)のコネクタには、標準でRAMサブボードが差し込まれています。#1のRAMサブボードも同じ方法で取り外せます。

✓チェック!!

- ・フックを開きすぎて破損してしまわないように気をつけてください。
- ・メモリは、大変壊れやすい部品です。取り外した増設RAMサブボードおよび標準で付いているRAMサブボードは、大切に保管してください。

増やしたメモリを確認する

パソコンの電源を入れてみて、増やしたメモリが本当に使えるようになったかどうかを確認します。

1

デスクトップの「ばそガイド」アイコンをダブルクリックし、「ばそガイド」を起動する
「ばそガイド」の画面が表示されます。

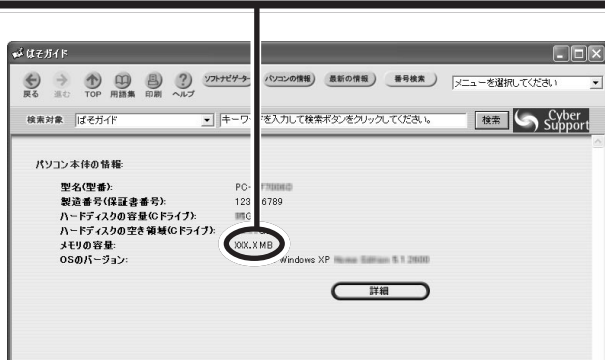
2

パソコンの情報 をクリック

3

メモリ容量を確認する

増やした後の全メモリ容量(標準で入っている容量 + 増設した容量)が表示されているのを確認してください。



メモリが増えていなかったら

表示されたメモリが大きさが増えていなかった場合には、次のことを確認してください。

- ・メモリが正しく取り付けられているか？
- ・このパソコンで使える増設RAM サブボードを取り付けているか？

キーボードの【サポート】ボタンを押して起動することもできます。

✓チェック!!

- ・ここでは、増やした後の全メモリ容量より数 M バイト少なく表示される場合がありますが故障ではありません。
- ・メモリを増設した場合、初期化のため、電源を入れてからにディスプレイの画面が表示されるまで時間がかかることがあります。
- ・メモリはWindows XPの「マイコンピュータ」からも確認できます。「スタート」-「マイコンピュータ」-「システム情報を表示する」をクリックして、「全般」タブで確認してください。

内蔵ハードディスク

このパソコンには、ハードディスクが1台取り付けられています。これに追加して、3.5型ハードディスクを1台増設できます。

内蔵ハードディスクの取り付け

ハードディスクを取り扱うときの注意

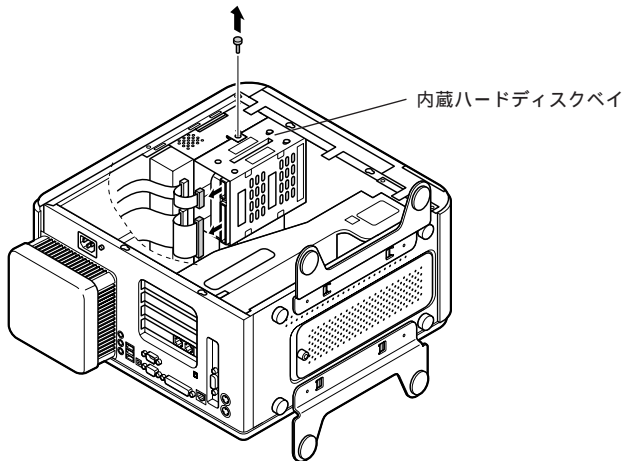
ハードディスクは、衝撃に大変弱い部品です。取り付け作業中に、衝撃を与えないよう注意してください。

1

正しい手順で本体のサイドカバーを外す

2

標準で取り付けられているハードディスクのケーブルをすべて取り外し、内蔵ハードディスクベイのネジを1本取り外す



チェック!!

- ・出荷時に取り付けられているハードディスクは、絶対に取り外さないでください。
- ・このパソコンは、UltraATA-100規格に対応しています。

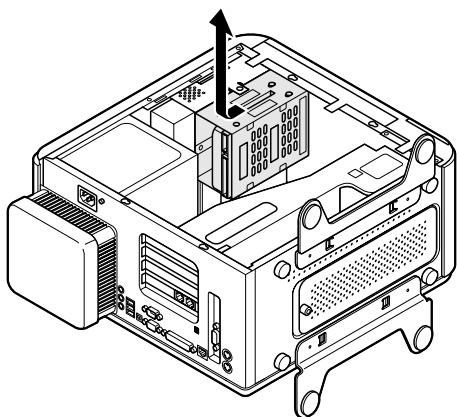
参照

サイドカバーの外し方 このPARTの「本体の開け方と閉め方」(p.108)

ここで取り外したネジは、内蔵ハードディスクベイを取り付けるとき使用します。なくさないように保管してください。

3

内蔵ハードディスクベイを本体背面方向に少しスライドさせて、取り外す



4

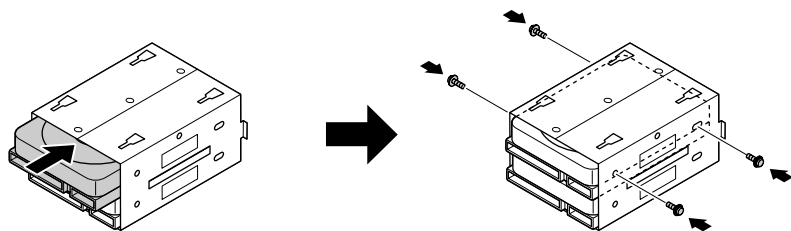
増設する内蔵用3.5型ハードディスクの設定を「スレープ」にする

5

内蔵用3.5型ハードディスクを内蔵ハードディスクベイにネジ4本で取り付ける

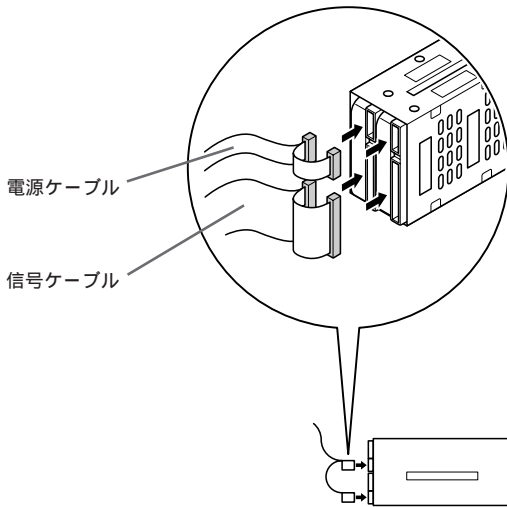
一般に、ハードディスクの設定は「ジャンプスイッチ」を使って設定します。「スレープ」に設定する方法は、ハードディスクのマニュアルなどをご覧ください。

固定用のネジ4本は、このパソコンには添付していません。ハードディスクに添付のものまたは市販のものをお使いください。



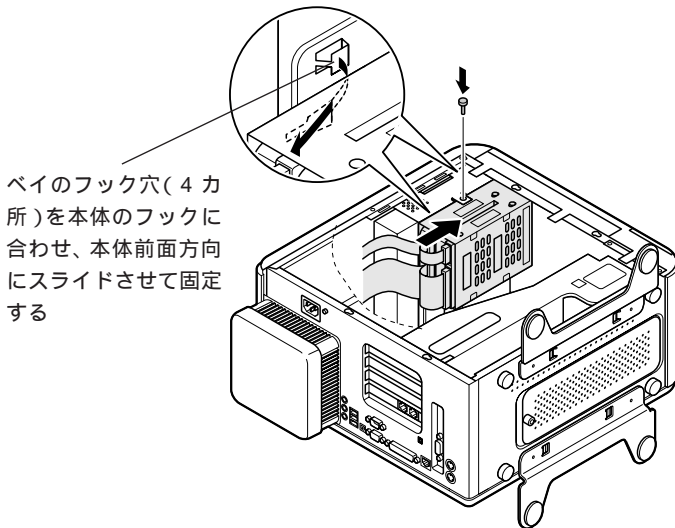
6

ハードディスクの電源ケーブルと信号ケーブルを図のように取り付ける



7

手順3と逆の手順で内蔵ハードディスクベイを取り付けて、手順2で取り外したネジ1本で固定する

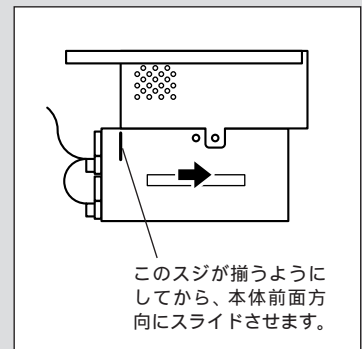


8

正しい手順で本体のサイドカバーを取り付ける

チェック!!

コネクタの向きに注意して取り付けてください。
間違った方向で取り付けようとすると、コネクタが破損することがあります。



参照

サイドカバーの取り付け方 このPARTの「本体の開け方と閉め方」(p.108)

P A R T

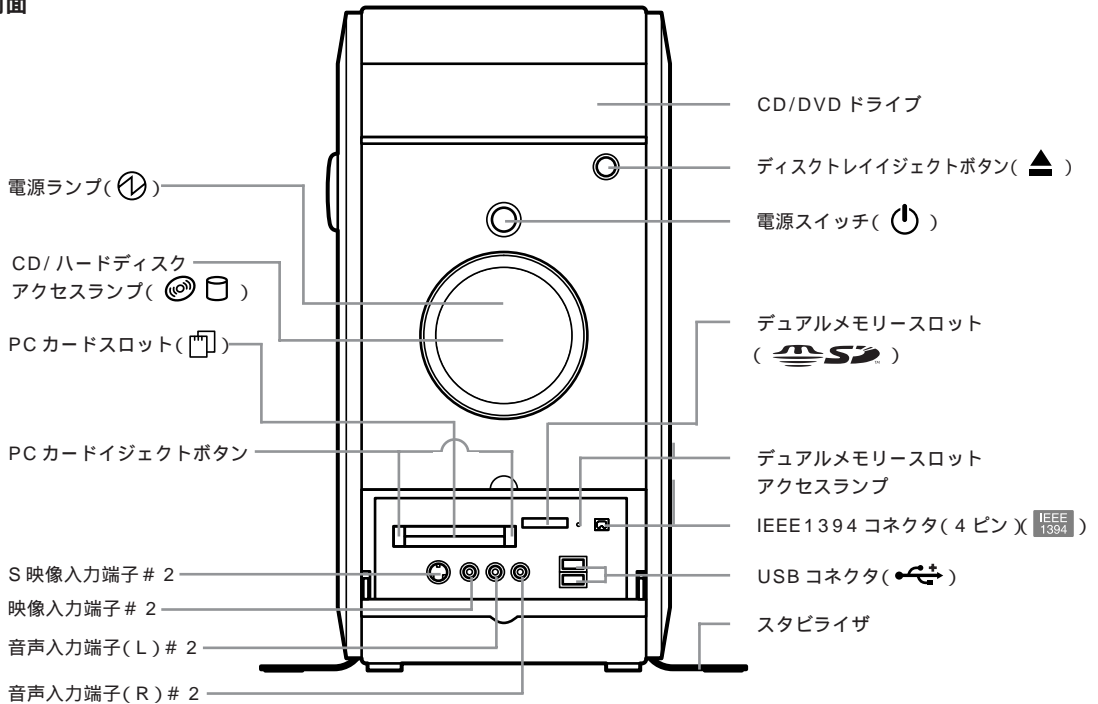
7

ちょっと詳しいパソコン情報

ここでは、本体各部の名称やキーボード、省電力機能など、このパソコンのハードウェアやソフトウェアに関する説明をしています。このパソコンを使っていく上で知ってほしい注意事項などが記載されています。

本体の各部の名称

本体前面



(カバーを開いたところ)

CD/DVDドライブ

モデルによって機能が異なります。

- ・DVD-RAM/R/RWドライブ(DVD-RAM/R/RWモデルの場合)

DVD-ROMやCD-ROM、音楽CDを入れるところ。またCD-R、CD-RW、DVD-RAM、DVD-R、DVD-RWにデータを記録するところ。

- ・DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWモデルの場合)

DVD-ROMやCD-ROM、音楽CDを入れるところ。またCD-R、CD-RW、DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RWにデータを記録するところ。

ディスクトレイイジェクトボタン(▲)


ディスクをセットするディスクトレイを出し入れするためのボタン。

電源スイッチ(🔌)


電源を入れるスイッチ。省電力状態からの復帰にも利用します。電源を切るときは、Windows XPの「スタート」メニューで「終了オプション」をクリックして「電源を切る」をクリックします。電源を切る/入れる操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも5秒以上の間隔をあげてください。


✓チェック!!

- ・Windowsが明らかに停止している状態になった場合は、電源スイッチを約4秒以上押し続けることで、強制的に電源を切ることができます。なお、この場合、作成中のデータなどは消えてしまいます。
- ・停電や、電源ケーブルを抜いているために本体に電源が供給されていないときは、電源スイッチを押しても電源を入れることはできません。


デュアルメモリスロット()
SDメモリーカード/メモリスティックを取り付ける
スロット。


デュアルメモリスロットアクセスランプ
SDメモリーカード/メモリスティックのデータ
読み書きしているときに点灯します。



IEEE1394 コネクタ(4 ピン)()
IEEE1394 対応機器(4 ピン)を接続するためのコネ
クタ。


USB コネクタ()
USB 対応機器を接続するためのコネクタ。
USB コネクタに接続する周辺機器が本機で使用で
きるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確
認ください。


スタビライザ
本体を安定して設置するための脚。

 **チェック!**
スタビライザは必ず付属のネジで本体に固定してくだ
さい。


電源ランプ()
電源の入/切状態を表示するランプ。電源を入れると
緑色に、スタンバイ状態のときはオレンジ色に点灯し
ます。休止状態または電源が切れている状態のときは、
消灯します。

CD/ハードディスクアクセスランプ( )
CD/DVDドライブがデータを読み書きしているとき
やハードディスクにアクセスしているときに点灯する
ランプ。

 **チェック!**
点灯中は電源を切ったり、CD-ROM などを取り出し
たりしないでください。ハードディスクの内容が壊れ
たり、故障の原因となることがあります。

PC カードスロット()
PC カードを取り付けるスロット。2 スロットありま
す。PC カードには、メモリーカードやモデムカード、
SCSI インターフェイス対応機器とつなげるための
SCSI カードなどいろいろな種類があります。

PC カードイジェクトボタン
PC カードを PC カードスロットから取り出すときに
使うボタン。

 **チェック!**
～ の前面映像/音声入力端子は、TVモデル以外で
は利用できません。

S 映像入力端子 # 2
S 映像出力ができるテレビやビデオの映像を入力する
ための端子。

 **チェック!**
S 映像出力端子のある AV 機器を接続してください。

映像入力端子 # 2
テレビやビデオの映像を入力するための端子。

音声入力端子(L) # 2
テレビやビデオの左音声を入力するためのピンジャッ
ク端子。

音声入力端子(R) # 2
テレビやビデオの右音声を入力するためのピンジャッ
ク端子。

✓チェック!!


外部オーディオ機器のRCA端子から接続する場合は、ステレオRCAピンプラグ ステレオミニプラグの変換ケーブルまたはコネクタが必要になります。

c S映像入力端子# 1 ()


S映像出力ができるテレビやビデオの映像を入力するための端子。

✓チェック!!

S映像出力端子のあるAV機器を接続してください。また、添付の「VIDEO変換コネクタ」を使えば、RCA端子のあるAV機器にも接続できます。詳しくは、『TVモデルガイド』をご覧ください。

d 音声出力端子(ステレオ)・光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子# 1 ()


・市販の外付けスピーカやオーディオ機器などに、音声信号(ステレオ)を出力するためのミニジャック端子。
・AVアンプなどのデジタル入力機能を持ったオーディオ機器を接続する端子(丸形)。

e S映像出力端子()

このパソコンからテレビに映像を出力するための端子。

✓チェック!!

S映像入力端子のあるAV機器に接続してください。また、添付の「VIDEO変換コネクタ」を使えば、RCA端子のあるAV機器にも接続できます。詳しくは、『TVモデルガイド』をご覧ください。

IEEE1394コネクタ(4ピン) ()

IEEE1394対応機器(4ピン)を接続するためのコネクタ。

ワイヤレスLANアンテナコネクタ(ワイヤレスLANモデルのみ)

ワイヤレスLAN用アンテナを取り付けるためのコネクタ。

音声入力端子(ステレオ) ()


市販のオーディオ機器などから、音声信号(ステレオ)を本体に入力するためのミニジャック端子。

音声出力端子(ステレオ) ()

添付の外付けスピーカや市販のオーディオ機器などに、音声信号(ステレオ)を出力するためのミニジャック端子。

マイクロフォン端子(モノラル) ()

マイクロフォンを接続するためのミニジャック端子。


USBコネクタ()

USB対応機器を接続するためのコネクタ。

USBコネクタに接続する周辺機器が本機で使用できるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。


光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子()

AVアンプなどデジタル入力機能を持ったオーディオ機器を接続する端子。ただし、プラグ形状によっては使用できないものがありますので、ケーブルは、よくお確かめになり、ご購入ください。


アナログRGBコネクタ()

アナログRGBディスプレイを接続するコネクタ。


AGPスロットにAGPボードが取り付けられている場合、このコネクタから映像信号は出力されません。


パラレルコネクタ()

プリンタなどを接続するためのコネクタ。

LANコネクタ()

100BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応のケーブルを接続するためのコネクタ。


PS/2キーボードコネクタ()

添付のキーボードの  マークのついたケーブルを接続するためのコネクタ。

✓チェック!!

PS/2ケーブルを抜き差しするときは、本体の電源を切った状態で行ってください。

PS/2マウスコネクタ()

添付のキーボードの  マークのついたケーブルを接続するためのコネクタ。

AGPスロット

AGPボードを取り付けるためのスロット。出荷時にはAGPボードが取り付けられています。


VX900/6Fの場合



a DVI-Iコネクタ b アナログRGBコネクタ

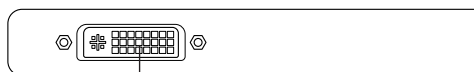
a DVI-Iコネクタ()

DVI-Iコネクタ対応ディスプレイを接続するためのコネクタ。


b アナログRGBコネクタ()

アナログRGB対応ディスプレイを接続するためのコネクタ。

VX100/6F、VZ700/6Fの場合



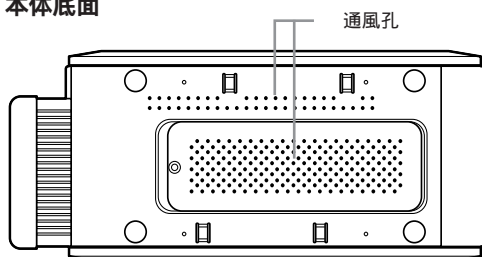
a DVI-I コネクタ

a DVI-I コネクタ()

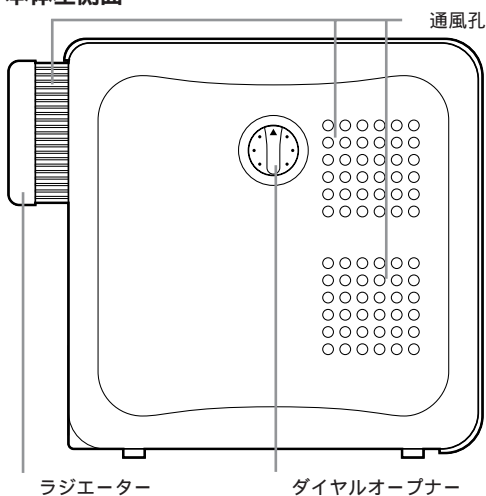
DVI-Iコネクタ対応ディスプレイを接続するためのコネクタ。

本体上面、本体底面、本体側面

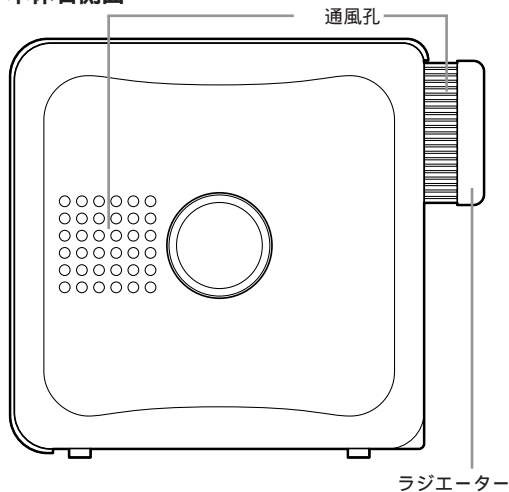
本体底面



本体左側面



本体右側面



通風孔

本体内部の熱を逃がすための孔。

チェック!

物を置いたりして、通風孔をふさがないようにしてください。

ラジエーター

本体内部の熱を放出するための装置。

チェック!

本体を移動するときは、ラジエーターを持たないでください。

ダイヤルオープナー

サイドカバーをロックするためのダイヤル。ダイヤルが12時位置でロック、9時位置でロック解除されます。

キーボード

各キーの名称と一般的な機能を説明します。

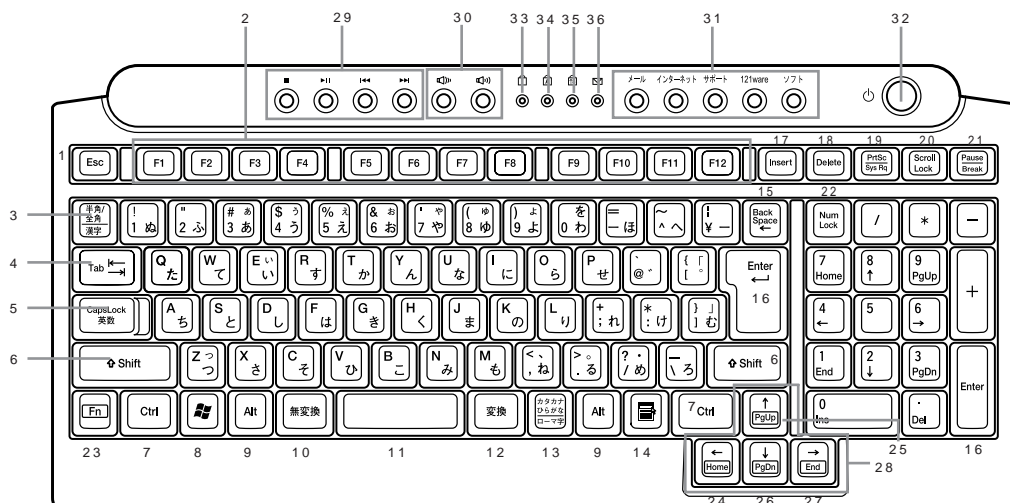


キーボードの設定について 『パソコンガイド』または Windows のヘルプ

キーの名称

キーボード正面

- 1 【Esc】: エスケープキー
- 2 【F1】～【F12】: ファンクションキー
- 3 【半角/全角/漢字】: 半角/全角/漢字キー
- 4 【Tab】: タブキー
- 5 【CapsLock】: キャップスロックキー
- 6 【Shift】: シフトキー
- 7 【Ctrl】: コントロールキー
- 8 【】: Windows キー
- 9 【Alt】: オルトキー
- 10 【無変換】: 無変換キー
- 11 スペースキー
- 12 【変換】: 変換キー
- 13 【カタカナ/ひらがな/ローマ字】: カタカナ/ひらがな/ローマ字キー
- 14 【】: アプリケーションキー
- 15 【BackSpace】: バックスペースキー
- 16 【Enter】: エンターキー
- 17 【Insert】: インサートキー
- 18 【Delete】: デリートキー
- 19 【PrtSc/SysRq】: プリントスクリーンキー/システムリクエストキー
- 20 【ScrollLock】: スクロールロックキー
- 21 【Pause/Break】: ポーズ/ブレイクキー
- 22 【NumLock】: ニューメリックロックキー
- 23 【Fn】: Fn キー
- 24 【Home/ 】: ホームキー/カーソルキー
- 25 【PgUp/ 】: ページアップキー/カーソルキー
- 26 【PgDn/ 】: ページダウンキー/カーソルキー
- 27 【End/ 】: エンドキー/カーソルキー
- 28 【】】: カーソルキー
- 29 CD/DVD プレーヤボタン
- 30 ボリュームボタン
- 31 ワンタッチスタートボタン
- 32 電源スイッチ
- 33 ニューメリックロックキーランプ
- 34 キャップスロックキーランプ
- 35 スクロールロックキーランプ
- 36 メール着信ランプ



キーのロック


【NumLock】と【CapsLock】がロックされているかいないかでキーの機能は異なります。

ニューメリックロックキーは【NumLock】を押すたびに、キャップスロックキーは【Shift】を押しながら【CapsLock】を押すたびにロック状態を切り替えることができます。

それぞれのキーがロックされているときにはキーボード左上のランプが点灯します。

	ロックされているとき	ロックされていないとき
【NumLock】	テンキーから数字が入力できます。	テンキーの数字の下に表示されている機能が使えます。
【CapsLock】	アルファベットが表示されているキーを押すと大文字が入力されます。	アルファベットが表示されているキーを押すと小文字が入力されます。

キーボード裏面

キーボード裏面には、PS/2 マウスコネクタ()があります。このコネクタには、添付のPS/2 対応マウスを接続します。

✓チェック!!

PS/2 マウスの抜き差しは、本体の電源を切った状態で行ってください。

📖参照

PS/2 マウスコネクタの位置 PART2の「マウスを接続する」(p.13)

アプリケーションキーとWindows キーについて

アプリケーションキーとWindows キーはWindows で使用できるキーです。アプリケーションによってどのように利用するかは異なりますが、標準で次のような機能が割り当てられています。


■ アプリケーションキー()


アプリケーションキーを押すと、マウスで右クリックしたときと同じ状態になります。

■ Windows キー()

Windows キーを押すと、「スタート」メニューが表示されます。


Windows キーを押しながら次のキーを押すと、次のような機能を利用することができます。


【】+【R】 「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを表示する


【】+【M】 現在起動しているウィンドウをすべてアイコン化する

【Shift】+【】+【M】 【】+【M】でアイコン化しているウィンドウを元に戻す

【】+【F1】 Windows のヘルプを起動する

【】+【F】 ファイルやフォルダを検索するウィンドウを表示する


【Ctrl】+【】+【F】 コンピュータを検索するウィンドウを表示する

【】+【Tab】 タスクバーに表示されているボタンを順番に切り替える

✓チェック!!

キーボードの詳細な設定については、コントロールパネルの「プリンタとその他のハードウェア」-「キーボード」をクリックし、「キーボードのプロパティ」ウィンドウで行います。また、「日付、時刻、地域と言語のオプション」-「地域と言語のオプション」-「言語」タブの「詳細」ボタンで表示される「テキストサービスと入力言語」ウィンドウでもできます。

📖参照

キーボードの設定  「ばそガイド」-「パソコンの設定」-「キーボードの設定」

Fn キーについて

Fnキーを押しながら次のキーを押すと、キーの役割を変えることができます。

【Fn】+【】 【Home】を押したときと同じです。

【Fn】+【】 【End】を押したときと同じです。

【Fn】+【】 【PgUp】を押したときと同じです。

【Fn】+【】 【PgDn】を押したときと同じです。

✓チェック!!

キーボードの詳細な設定については、コントロールパネルの「キーボードのプロパティ」で行います。「キーボードのプロパティ」ウィンドウでは、文字入力やカーソル点滅の速度の調整、日本語入力システムの設定などができます。



「キーボードのプロパティ」で設定する 「ばそガイド」-「パソコンの設定」-「キーボードの設定」

CD/DVD プレーヤボタン

音楽CDやカラオケCD、ビデオCD、DVD-Videoディスクなどの再生をコントロールできます。

各ボタンの役割は次のとおりです。

- 1 【■】: 停止
- 2 【▶▶】: 再生 / 一時停止
- 3 【◀◀】: 前のトラック / 巻き戻し
- 4 【▶▶】: 次のトラック / 早送り

ボリュームボタン

パソコンから出る音楽CDやビデオCDなどの音の大きさを調節できます。

各ボタンの役割は次のとおりです。

- 5 【🔊】: ボリュームダウン
- 6 【🔊】: ボリュームアップ

ワンタッチスタートボタン

7【メール】ボタン

このボタンを押すと、「Outlook」(Office XPモデル以外は「Outlook Express」)が起動します。

8【インターネット】ボタン

このボタンを押すとインターネットエクスプローラが起動します(ご購入時の状態では、「インターネット無料体験」がスタートします)。

9【サポート】ボタン

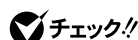
このボタンを押すと、「ばそガイド」が起動します。

10【121ware】ボタン

このボタンを押すと、NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」を見ることができます。

11【ソフト】ボタン

このボタンを押すと、「ソフトナビゲーター」が起動します。「ソフトナビゲーター」を使うと、アプリケーションを簡単に起動できます。



【インターネット】ボタンは、「BIGLOBEでインターネット(BIGLOBEインターネット接続ツール)」を使ってBIGLOBEに入会すると、インターネットエクスプローラが起動するようになります。

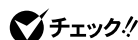
それ以外の方法でプロバイダに入会した場合に【インターネット】ボタンでインターネットエクスプローラを起動させるには、ボタンを押したときに、ボタンの設定を変更するかどうか確認する画面で変更するか、「ワンタッチスタートボタンの設定」で設定を変更する必要があります。



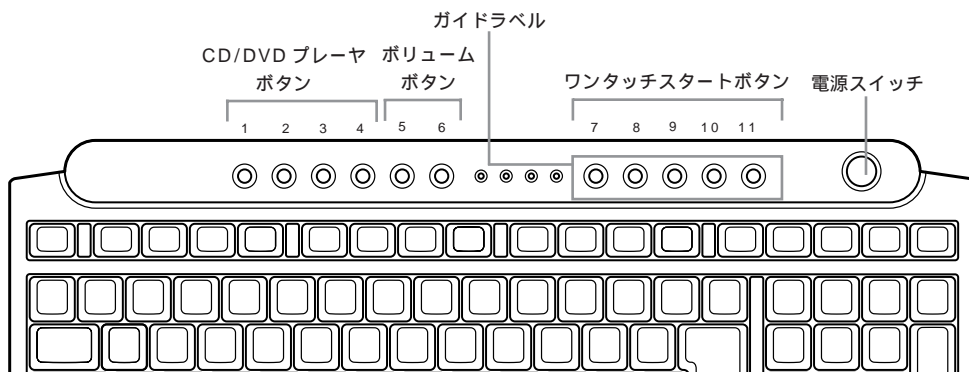
ワンタッチスタートボタンの設定 「ばそガイド」-「パソコンの設定」-「ワンタッチスタートボタンの設定」

電源スイッチ

パソコン本体の電源を入れるスイッチ。休止状態からの復帰にも利用します。なお、電源を切るときは、Windowsの「スタート」メニューで「終了オプション」をクリックして「電源を切る」をクリックします。電源スイッチを切る/入れる操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも5秒以上の間隔をあけてください。



電源スイッチを4秒以上押し続けると強制終了しますので注意してください。



ガイドラベル

ワンタッチスタートボタンにどんなアプリケーションが割り当てられているかを示すラベルです。

使用上の注意

N キーロールオーバー

N キーロールオーバーとは、複数のキーを押した場合に、最後に入力したキーが有効となる機能です。ただし、このパソコンのキーボードは疑似 N キーロールオーバーのため、複数のキーを同時に押した場合には、正常に表示されないことや有効にならないことがあります。

CD/DVD ドライブ

このパソコンのCD/DVDドライブでは、CD-RやCD-RWという持ち運び可能なメディアにデータ(650Mバイトなど)を記録できます。DVD-R/RWモデル、DVD-RAM/R/RWモデルやDVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWモデルでは、DVD-RやDVD-RWという持ち運び可能なメディアにデータ(4.7Gバイトなど)を記録できます。DVD-RAM/R/RWモデルやDVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWモデルではDVD-RAMも扱えます。

DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWモデルでは、DVD+RやDVD+RWも扱えます。

使用できるディスク

このパソコンのCD/DVDドライブでは、次のようなディスクを使用できます。

- ・CD-R/RW with DVD-ROM ドライブ
 - CD-ROM
 - CD-R
 - CD-RW
 - DVD-ROM
 - DVD-Video ディスク
 - DVD-R(読み込みのみ)
 - DVD-RW(読み込みのみ)
- ・DVD-R/RW ドライブ
 - CD-ROM
 - CD-R
 - CD-RW
 - DVD-ROM
 - DVD-Video ディスク
 - DVD-R
 - DVD-RW
- ・DVD-RAM/R/RW ドライブ、DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW ドライブ
 - CD-ROM

- CD-R
- CD-RW
- DVD-ROM
- DVD-Video ディスク
- DVD-R
- DVD-RW
- DVD-RAM(注)
- DVD+R(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW ドライブのみ)
- DVD+RW(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW ドライブのみ)

(注)片面2.6GバイトのDVD-RAMおよび両面5.2GバイトのDVD-RAMは、読み込みのみ可(書き込み、フォーマット不可)。なお、カートリッジから取り外せないタイプのDVD-RAMは、利用できません。


それぞれ次のような特徴があります。

- ・CD-R(CD-Recordable)
 - 一度だけデータを書き込むことができる(書き換え不可)
 - CD-ROMドライブで読み込みが可能
 - メディアが安価
- ・CD-RW(CD-ReWritable)
 - データを繰り返し書き換えることができる
- ・DVD-R(DVD-Recordable)
 - 一度だけデータを書き込むことができる(書き換え不可)
- ・DVD-RW(DVD-ReWritable)
 - データを繰り返し書き換えることができる
- ・DVD-RAM(DVD-Random Access Memory)
 - データを繰り返し書き換えることができる
- ・DVD+R
 - 一度だけデータを書き込むことができる(書き換え不可)
- ・DVD+RW(Digital Versatile Disk ReWritable)
 - データを繰り返し書き換えることができる

✓チェック!!

- ・このパソコンでは、アダプターを使用するタイプのCD、DVDや規格外のCD、DVDは使用できません。無理に使用した場合、再生作成が出来ないだけでなく、破損の原因となる場合があります。
 - 名刺型等の異形ディスク
 - 厚さの異なるDVD など

また、コピーコントロールCDについても、正式なCD規格に準拠しない特殊なディスクであり、パソコンでの再生 および ハードディスクなどへの保存等の動作は保証しかねます。

- ・このパソコンで音楽CDを使用する場合、ディスクレーベル面にCompact Discの規格準拠を示すマークの入ったディスクを使用してください。
- ・CD(Compact Disc)規格外ディスクを使用すると、正常に再生ができなかったり、音質が低下したりすることがあります。

CD-R/RW、DVD-R/RW や DVD+R/RW にデータを書き込む

CD-R/RW、DVD-R/RW や DVD+R/RW にデータを 書き込むソフトについて


CD-R/RW、DVD-R/RWやDVD+R/RWにデータを
書き込むためには、専用のアプリケーション(ライ
ティングソフト)が必要です。エクスプローラなどか
らデータを書き込むことはできません。

RecordNow DX

RecordNow DX には、次のような特徴があります。


- ・データを書き込むときに、RecordNow DX を起動させる必要がある
- ・いろいろな形式のCDやDVDをガイドに沿って簡単に作成できる
- ・作成したCDを他のパソコンでそのまま読み込むことができる
- ・作成したDVDを他のパソコンのDVD-ROMドライブでそのまま読み込むことができる
- ・大きなデータをまとめて書き込むのに適している

参照

「RecordNow DX」について  「ばそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」

この他、DVD MovieWriter(添付モデルのみ)で取り込み、編集したデータは、DVD MovieWriter から直接 Video CD、DVD-Video 形式で書き込めます。

参照

「DVD MovieWriter」について  「ばそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」

データを書き込む際の注意

- ・データの書き込みには、このパソコンに添付されているアプリケーションをお使いください。
- ・書き込みを行う前には必ず、他のアプリケーションを終了し、スクリーンセーバーや常駐プログラムを解除してください。
- ・データ書き込み後は、データが正しく書き込まれているかを確認してください。
- ・書き込みに失敗したCD-R、DVD-RやDVD+Rは再生できなくなります。書き損じによるCD-R、DVD-RやDVD+Rの補償はできませんのでご注意ください。
- ・データを書き込むときは、書き込み中に省電力状態にならないように、省電力の設定を「なし」に設定してください。
- ・作成したメディアのフォーマット形式や装置の種類などにより、他のドライブでは使用できない場合がありますのでご注意ください。

参照

自動的に省電力状態にならないように設定するこのPARTの「省電力機能」(p.145)

DVD-RAM にデータを書き込む

チェック!!

- ・このパソコンのDVD-RAM/R/RWやDVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブで、DVD-RAMメディアを利用するときは、カートリッジなしのタイプ、またはメディア取り出し可能なカートリッジ(メディアを取り出して利用)タイプのものをご購入ください。
- ・このパソコンのDVD-RAM/R/RWドライブやDVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブは、片面2.6Gバイト/両面5.2GバイトのDVD-RAMの書き込みとフォーマットには対応していません。片面2.6Gバイト/両面5.2GバイトのDVD-RAMは、読み込みのみ対応しています。

DVD-RAMへのデータの書き込みには、「DVD-RAM用ドライバーソフト」が必要です。このソフトにより、ファイルの書き込みや削除が可能になります。

チェック!!

DVD-RAMを利用するために、次の設定が必要です。「マイ コンピュータ」で表示されるDVD-RAM/R/RWドライブまたはDVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブのアイコンを右クリック表示されたメニューで、「プロパティ」をクリック

「書き込み」タブにある「このドライブでCD書き込みを有効にする」のチェックをオフに設定
「CDの書き込みを有効にする」がオンになっていると、CDに対する書き込みが優先され、DVD-RAMへの書き込みができなくなります。

DVD-RAMをフォーマットする

フォーマットされていないDVD-RAMにデータを書き込むにはフォーマットが必要です。
なお、フォーマットするときには、Norton AntiVirusのAuto-Protectを無効にしてください。

DVD-RAM/R/RWドライブまたはDVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブに、DVD-RAMメディアをセットする

「スタート」-「すべてのプログラム」-「DVD-RAM」-「DVD-RAMドライバー」-「DVDForm」の順にクリック

次の画面が表示されます。



「フォーマット種別」、「ボリュームラベル」の項目をそれぞれ設定して、「開始」をクリック
フォーマットの確認のダイアログボックスが表示されます。

「はい」をクリック

フォーマットがはじまります。

フォーマットが終って、次の画面が表示されたら「OK」をクリック



✕をクリック

CD-R/RW メディアを他のCD-ROMドライブで読み込むときの注意

CD/DVDドライブでデータを記録したメディアを、他のCD-ROMドライブで読み込めるようにするには、書き込みに使用したアプリケーションによっては注意が必要な場合があります。詳しくは、アプリケーションに添付のマニュアルやヘルプで確認してください。またCD-R/RWメディアによっては、お使いのCD-ROMドライブでは、読み込めない場合があります。マルチリード対応のCD-ROMドライブであれば読み込むことができます。マルチリード対応のCD-ROMドライブについては、各メーカーにお問い合わせください。

✓チェック!!

お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオCDなどの複製や改変を行う場合、オリジナルのCD等について著作権を保有していなかったり、著作権者から複製・改変の許諾を得ていない場合は、著作権法または利用許諾条件に違反することがあります。複製等の際は、オリジナルのCD-ROMなどの利用許諾条件や複製等に関する注意事項にしたがってください。

DVD-R/RW メディアを他のDVDプレーヤーで読み込むときの注意

このパソコンのDVD-R/RWドライブおよびDVD-RAM/R/RWドライブ、DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブは、DVD-R for General Ver.2.0およびDVD-RW Ver.1.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。また、このパソコンのDVD-RAM/R/RWドライブ、DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブは、片面4.7GバイトのDVD-RAMディスクの書き込みに対応しています。このパソコンのDVD-R/RWドライブまたはDVD-RAM/R/RWドライブ、DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブで書き込みをしたDVD-R/RWメディアおよびDVD-RAMメディアは、上記の規格に準拠したDVDプレーヤーなどでも再生できます。また反対に、上記の規格に準拠したDVDレコーダーで録画したDVD-R/RWメディアおよびDVD-RAMメディアを、このパソコンのDVD-R/RWまたはDVD-RAM/R/RWドライブ、DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブで再生することもできます。

なお、書き込みに使用するアプリケーションによっては、DVD プレーヤーなどで再生できるようにするためには注意が必要な場合があります。詳しくは、アプリケーションに添付のマニュアルやヘルプで確認してください。

チェック!

- ・このパソコンの DVD-R/RW ドライブ、DVD-RAM/R/RW ドライブや DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW ドライブでは、DVD ビデオフォーマットによる記録・再生が可能です。ビデオレコーディング規格には対応していません。
- ・「VR モード」で録画した DVD-R/RW ディスクをこのパソコンで再生するには、対応ソフトウェアを別途購入する必要があります。
- ・お客様がオリジナルの CD-ROM、音楽 CD、ビデオ CD、DVD-ROM、DVD-Video などの複製や改変を行う場合、オリジナルの CD 等について著作権を保有していなかったり、著作権者から複製・改変の許諾を得ていない場合は、著作権法または利用許諾条件に違反することがあります。複製等の際は、オリジナルの CD-ROM などの利用許諾条件や複製等に関する注意事項にしたがってください。

省電力機能

パソコンを使っていないときに、消費電力を節約する省電力機能について説明します。

省電力機能について

作業を中断したいことがあるたびにパソコンの電源を切ると、電源を切る前にデータを保存したり、次に電源を入れたときにWindowsが起動するのに時間がかかるなど手間が多いものです。このパソコンには、こうした手間をかけずに消費電力を抑え、すぐに作業を再開できる「省電力機能」があります。

電源の状態

パソコンの電源の状態には、次の4種類があります。

電源が入っている状態

パソコンの電源を入れて、Windowsが起動している状態です。

電源が切れている状態

Windowsを終了して、パソコンの電源を切った状態です。

休止状態

作業中のデータをハードディスクに保存して、Windowsを終了せずにパソコンの電源を切ります。消費電力は、Windowsを終了してパソコンの電源を切ったときとほとんど同じです。普通に電源を切るのは異なり、Windowsを終了せずに電源を切るため、休止状態から元の状態に戻すときにWindowsが起動する時間は省かれます。ただしスタンバイ状態から元の状態に戻すよりも時間がかかります。

スタンバイ状態

ディスプレイの表示を消し、ハードディスクの電源を切りますが、パソコンの電源は完全に切れているわけではありません。作業中のデータをメモリに保存しているためわずかに電力を消費しますが、すぐに作業を再開できます。

購入時には、マウスやキーボードを操作しなかったり、ハードディスクなどへのアクセスがない状態が20分以上続くと、自動的に「スタンバイ状態」になるように設定されています。

このような休止状態にする機能やスタンバイ状態にする機能などを「省電力機能」といいます。

省電力機能の特徴

	休止状態	スタンバイ状態
電力	スタンバイ状態に比べ消費しない	わずかに消費する
こんなときに便利	長時間作業を中断するとき	すこしの間作業を中断するとき

✓チェック!!

アプリケーションによっては、休止状態のことを「ハイパネーション」、スタンバイ状態のことを「サスペンド」、休止状態やスタンバイ状態から復帰させることを「レジューム」と呼ぶこともあります。

電源ランプ、ディスプレイの表示

電源の状態によって、電源ランプ、ディスプレイの表示は次のように変化します(ディスプレイの電源が入っている状態)。

電源の状態	パソコン本体の電源ランプ	ディスプレイの電源ランプ	ディスプレイの表示
入っている	緑色に点灯する	緑色に点灯する	表示される
切れている	消灯する	オレンジ色に点灯する	何も表示されない
休止状態	消灯する	オレンジ色に点灯する	何も表示されない
スタンバイ状態	オレンジ色に点灯する	オレンジ色に点灯する	何も表示されない

別売のディスプレイでは、異なることがあります。

省電力機能を使う

休止状態やスタンバイ状態にできないとき

次のようなときには、休止状態やスタンバイ状態にできないなかったり、休止状態やスタンバイ状態から復帰するときに作業前の内容を復元できなかったり、パソコンが正しく動作しなかったりします。このようなときは休止状態やスタンバイ状態にしないください。また、自動的に休止状態やスタンバイ状態になる設定も行わないでください。

✓チェック!!

このパソコンは、購入時には、マウスやキーボードからの入力やハードディスクへのアクセスがない状態が20分以上続くと、自動的にスタンバイ状態になるように設定されています。自動的にスタンバイ状態にならないようにするには、この項の「省電力の設定を変える」をご覧ください。

- ・休止状態またはスタンバイ状態に対応していないPCカード(LANカードを含む)を使用しているとき
 - ・SCSI を使って機器を接続しているとき
 - ・プリンタが出力しているとき
 - ・音声や動画を再生しているとき
 - ・フロッピーディスク、ハードディスク、CD-ROMなどを読み書きしているとき
 - ・休止状態やスタンバイ状態に対応していないアプリケーションや周辺機器を使っているとき
 - ・「デバイスマネージャ」でドライバなどの設定をしているとき
 - ・「プリンタの追加ウィザード」や「ハードウェアの追加ウィザード」を実行しているとき
 - ・モデムを使ってインターネットに接続しているとき
 - ・LANを使ってネットワークにアクセスしているとき
- また、休止状態やスタンバイ状態にする前の内容の記憶中または復元中に、次の操作を行わないでください。
- ・フロッピーディスク、CD-ROM などを入れ換える
 - ・PCカードの抜き差しをするなど、このパソコンの環境を変更する

休止機能

休止状態にする

省電力の設定を変更すると、電源スイッチでも休止状態にすることができます。

詳しくは、Windowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

休止状態にする前の状態に戻す

休止状態にする前の状態に戻すには、次の2つの方法があります。

- ・パソコン本体またはキーボードの電源スイッチを押す
- ・FAX モデムによるリング機能を使う
パソコンに電話がかかってきたときに、自動的に電源が入っている状態に復帰します。

✓チェック!!

- ・電源スイッチを押しても元の状態に戻らないときは、ディスプレイが省電力状態になっていることがあります。その場合は、マウスを軽く動かしてください。
- ・電源スイッチを4秒以上押し続けると、パソコンの電源が切れてしまいます。

スタンバイ機能

スタンバイ状態にする

購入時の状態では、スタンバイ状態にするには次の方法があります。

- ・「コンピュータの電源を切る」ウィンドウで「スタンバイ」を選ぶ
「スタート」-「終了オプション」をクリック
「スタンバイ」をクリック

一定時間後に自動的にスタンバイ状態にする

このパソコンは、購入時には、マウスやキーボードからの入力やハードディスクへのアクセスがない状態が20分以上続くと自動的にスタンバイ状態になるように設定されています。

スタンバイ状態にする前の状態に戻す(復帰する)

スタンバイ状態にする前の状態に戻すには、次の方法があります。

- ・ パソコン本体またはキーボードの電源スイッチを押す
- ・ FAX モデムによるリング機能を使う
パソコンに電話がかかってきたときに、自動的に電源が入っている状態に復帰します。

✓チェック!

- ・ 電源スイッチを押しても元の状態に戻らないときは、ディスプレイが省電力状態になっていることがあります。その場合は、マウスを軽く動かしてください。
- ・ 電源スイッチを4秒以上押し続けると、パソコンの電源が切れてしまいます。

省電力機能を使うときの注意**休止状態にするときの注意**

通信ソフトやモデムなどを使ってインターネットに接続している場合は、休止状態にすると強制的に通信が切断されることがあります。休止状態にする前に必ず通信を終了させてください。

スタンバイ状態にするときの注意

- ・ 通信ソフトやモデムなどを使ってインターネットに接続しているときは、必ず通信を終了させてからスタンバイ状態にしてください。通信状態のままスタンバイ状態にすると、回線が接続されたままになり、電話料金が加算される場合があります。
- ・ CDの再生中にスタンバイ状態にした場合、CDは再生され続ける場合があります。スタンバイ状態にする前にCDの再生を止めてください。
- ・ スタンバイ状態のときでも、使用環境、温度などによっては、ファンは回りつづけることがあります。

休止状態またはスタンバイ状態になっているときの注意

- ・ パソコン本体へ機器を取り付けたり、パソコン本体から機器を取り外したりしないでください。
- ・ スタンバイ状態になっているときに次のことが起こると、電源が切れた状態になるため、スタンバイ状態にする前の内容は失われます。
 - 電源ケーブルが本体やACコンセントから外れた
 - 停電が起きた
 - 電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切った

このような場合は、次に電源を入れたときに、「Windowsが正しく終了されませんでした...」と表示されますので、画面の指示にしたがってください。

省電力状態からの復帰がうまくいかなかったときは

次のような場合には、省電力状態からの復帰が正しく実行されなかったことを示しています。

- ・ 復帰直後にアプリケーションが正常に動作しない
- ・ 休止状態またはスタンバイ状態にする前の内容を復元できない
- ・ 電源スイッチを押しても復帰しない

休止状態からの復帰がうまくいかなかったときには

PART8の「省電力機能」(p.169)をご覧ください。

スタンバイ状態からの復帰がうまくいかなかったとき

電源スイッチを4秒以上押し続けて強制的に電源を切り、再度電源を入れてください。この場合、BIOSセットアップメニューの内容が、ご購入時の状態に戻っていることがあります。必要な場合は再設定してください。

また、コマンドプロンプトがアクティブのときにスタンバイ状態にすると、スタンバイ状態から復帰させても画面が復帰しないことがあります。この場合は【Alt】を押しながら【Tab】を押してタスクを切り替えることで正常に動作します。

省電力の設定を変える

省電力の設定は「コントロールパネル」の「パフォーマンスとメンテナンス」の「電源オプション」で行います。

自動的に休止状態やスタンバイ状態にならないように設定する

アプリケーションや周辺機器によっては、休止状態やスタンバイ状態に対応していないものもあります。このようなアプリケーションや周辺機器を利用するときは、自動的に休止状態やスタンバイ状態にならないように設定を変更する必要があります。また、休止状態やスタンバイ状態になる時間を変更することもできます。

「スタート」-「コントロールパネル」の順にクリック

「パフォーマンスとメンテナンス」をクリック

「電源オプション」をクリック

「電源オプションのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「電源設定」タブをクリック

スタンバイ状態にならないようにするには「システムスタンバイ」で「なし」を選択します。休止状態にならないようにするには「システム休止状態」で「なし」を選択します。

チェック!!

休止機能を使いたくない場合は、「休止状態」タブで「休止状態を有効にする」の を にしてください。


「OK」をクリック

その他の設定を変更する

「電源オプション」では、次の設定も変更できます。

- ・ 省電力の設定ファイルの変更
省電力の設定にファイル名をつけて保存できます。また、保存したファイルの設定を変更できます。
- ・ 電源スイッチの役割
本体の電源スイッチを押したときの動作の設定をします。
- ・ パスワードの設定
スタンバイ状態からの復帰時にパスワードの入力が不要ないように設定できます

参照

「電源オプション」での設定 Windowsの「ヘルプとサポート」 「ばそガイド」-「パソコンの設定」-「省電力の設定」

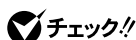
BIOS セットアップメニュー

「BIOS セットアップメニュー」ではハードウェア環境の確認と変更、セキュリティ、省電力など本機の使用環境を設定することができます。



参照

BIOS セットアップメニューの各項目について「[パソコンガイド](#)」-「[パソコンの設定](#)」-「[ハードウェア情報](#)」-「[BIOS 設定](#)」

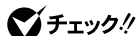


チェック!!

BIOS セットアップメニューは画面上では「Phoenix BIOS セットアップユーティリティ」と表示されます。

BIOS セットアップメニューの起動とメイン画面

電源を入れ、「NEC」ロゴの画面で「< F2 > : BIOS セットアップメニュー起動、< F12 > : ネットワークブート」と表示されたらすぐに【F2】を押す「セットアップを起動しています。」と表示された後、BIOS セットアップメニューが起動します。



チェック!!

- ・ディスプレイの特性により、「NEC」のロゴ画面が表示されず【F2】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、キーボードのランプが点灯するタイミングで、【F2】を2～3回押してください。
- ・Windows が起動した場合は、Windows を終了して電源を切り、もう一度手順 からやり直してください。

Phoenix BIOS セットアップユーティリティ			
メイン	詳細	セキュリティ	省電力管理 起動 終了
システム時刻:	[XX:XX:XX]		項目ヘルプ
システム日付:	[XXXX/XX/XX]		<Tab>キー、<Shift>+<Tab>キー、<Enter>キーは、項目を選択します。
言語:	[日本語 (JP)]		
プライマリマスタ	[XXXXX]		
プライマリスレーブ	[なし]		
セカンダリマスタ	[XXXXX]		
セカンダリスレーブ	[なし]		
サードマスタ	なし		
キーボード機能			
起動時の自己診断画面	[使用しない]		
システムメモリ:	640KB		
拡張メモリ:	x x KB		
BIOS リビジョン	XXXXX		

F1 ヘルプ 項目の選択 /+ 値の変更 F9 デフォルトの設定
Esc 終了 メニューの選択 Enter サブメニューの選択 F10 保存して終了

メニューバー

パラメータ

キーステータスバー

BIOS セットアップメニューの終了

- 変更した設定を有効にして終了する場合

【F10】を押す

「セットアップ確認」画面が表示されます。

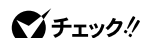
「はい」を選んで【Enter】を押す

設定値が保存され、BIOS セットアップメニューが終了します。メニューバーの「終了」でも BIOS セットアップメニューを終了することができます。

- 起動前の設定のまま終了する場合

【 F10 】でメニューバーの「終了」を選ぶ

【 F10 】を押して「変更を保存せずに終了する」にカーソルを合わせ【Enter】を押す



チェック!!

ここで「設定が保存されていません！保存してから終了しますか？」と表示された場合は、【 F10 】を押して「いいえ」にカーソルを合わせ【Enter】を押してください。BIOS セットアップメニューを起動する前の設定のまま（設定の変更を行った場合はすべて無効にして）BIOS セットアップメニューが終了します。

デフォルト値の設定

以下の手順で設定値をデフォルト値（購入時の値）に戻すことができます。

【F9】を押す

「セットアップ確認」画面が表示されます。

【 F10 】で「はい」を選んで【Enter】を押す

すべての設定値をデフォルト値（購入時の値）に戻します。メニューバーの「終了」でもデフォルト値の設定ができます。

P A R T

8

トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていてトラブルが起きたときは、次ページの「トラブル事例の探し方」をヒントに、このPARTで説明しているQ&A事例の中からあてはまる項目を探してみてください。パソコンが使える場合は、電子マニュアル「パソコンガイド」の「困ったときのQ&A」もあわせてご覧ください。

トラブル解決への道

トラブル解決の秘訣は、冷静になることです。何が起こったのか、原因は何か、落ち着いて考えてみましょう。この本や電子マニュアル「ばそガイド」がお役に立てるはずですよ。

1 まずは、状況を把握する

しばらく様子を見る

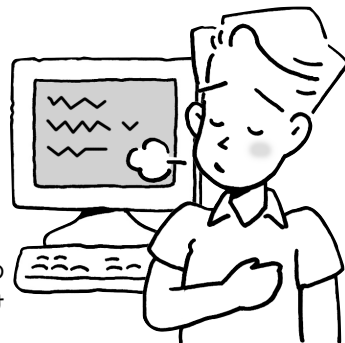
あわてて電源を切ろうとしたり、マウスを動かしたり、キーボードのキーを押したりせず、しばらくそのまま待ってみましょう。これだけで問題が解決することもあります。

メッセージが表示されていれば、書き留める

紙に書き留めておけば、後で役に立つことがあります。

原因を考えてみる

トラブルが発生する直前にどのような操作をしたか、操作を間違えたりしなかったか、考えてみましょう。電源を入れ忘れていた、ケーブルが抜けていた、必要な設定をし忘れていたなど、意外に単純な原因である場合も多いのです。



2 次のことを試してみる

操作をキャンセルしてみる

たとえばアプリケーションを使っていて障害が起きたとき、「元に戻す」「取り消し」「キャンセル」などの機能が あったら、それを使ってみてください。

Windowsをいったん終了してみる

いったんWindowsを終了して、もう一度電源を入れ直ただけで問題が解決する場合があります。

ウイルスチェックしてみる

コンピュータウイルスに感染している可能性があるときは、ウイルスチェックしてみましょう。



3 当てはまるトラブル事例がないか、マニュアルで探してみる

電子マニュアル「ばそガイド」で

このパソコンに入っている「ばそガイド」の「トラブル解決Q&A」コーナーでは、パソコン使用中に発生するさまざまなトラブル事例をカテゴリごとに紹介しています。

このPART「トラブル解決 Q&A」で

このPARTでも、さまざまなトラブル事例を紹介しています。パソコンが動かなくて「ばそガイド」が使えない場合などは、こちらをご覧ください。

「ばそガイド」やこの本での事例の探し方は、p.156の「トラブル事例の探し方」を参考にしてください。

Windowsの「ヘルプとサポート」で

ここにもトラブル事例が紹介されています。

使用中のソフトや周辺機器のマニュアルで

そのソフトや機器を使っているときによくあるトラブル事例が掲載されている場合があります。重要なヒントを提供してくれるかもしれません。



4 インターネットでトラブル事例を探してみる

NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」

「ばそガイド」やこの本で事例が見つからなくても大丈夫。「121ware.com」には、さらに膨大な量のトラブル事例や最新情報が掲載されています。次ページで紹介しているのでご覧ください。

マイクロソフトサポート技術情報

WindowsやOffice XPなどのソフトウェアに関するトラブル情報が検索できます。http://support.microsoft.com/default.aspx?LN=JAをご覧ください。

ソフトや周辺機器の開発元のホームページ

お使いのソフトや周辺機器のメーカーのホームページでも、Q&A情報が提供されている場合があります。



詳しくは次ページで

それでも駄目なら、サポート窓口で電話する

どうしても解決できないときは、サポート窓口にお問い合わせみましょう。トラブルの原因がソフトや周辺機器にあるようならば、それぞれの開発元に問い合わせます。NECのサポート窓口「121コンタクトセンター」については、「ばそガイド」の「NECのサービス&サポート」をご覧ください。次ページのコラム「電話サポートを上手に利用するコツ」も参考にしてください。

to be continued...

次ページでは、NECが用意しているサポートメニューを紹介しています。

トラブル解決の切り札です

NECのサポートメニューを活用しましょう

NECの「ワントゥワンウェア(121ware.com)」は、ひとりひとりのパソコンライフに合わせたサービスを、24時間提供するインターネットサイトです。下に示した「サポート」コーナーも続々と新コンテンツが登場し、トラブル事例集も日々増強されています。いざというとき、頼りになります。

まずは、お客様登録を...
登録方法は別冊の『お客様登録ガイド』をご覧ください。



121ware.comのマイアカウント (<http://121ware.com/my/>)からの登録をおすすめします。

[注]NECオンライン登録、登録申込用紙で既にご登録された方は、マイアカウントで「インターネット以外の方法でご登録済みのお客様」をクリックしてログインID(121コミュニケーションID)を取得してください。



お客様情報や保有商品情報の登録をすると、電話で121コンタクトセンターに商品に関する技術的な質問をすることができるようになります。

問合せの際はお客様登録番号をお知らせください。

お客様がお持ちの商品や、以前のお問い合わせ内容などを対応員が把握したうえ、お客様一人ひとりのニーズや状況に沿った適切なアドバイスをさせていただきます。

どうしてもなければ電話で...

121 コンタクト センター

☎0120-977-121
受付時間: <購入相談窓口、使い方相談窓口>
9:00~17:00(祝日除く)
<故障診断・修理受付窓口>
24時間365日(システムメンテナンス時除く)

24時間、365日ご利用可能な電話相談窓口(有償)については、「ばそガイド」の「NECのサービス&サポート」をご覧ください。

電話サポートを上手に利用するコツ

「お客様登録」がまだの方は、電話をかける前に必ず登録を行ってください。

事前に質問内容を整理しよう

この本の巻末の「トラブルチェックシート」を利用しましょう。直面しているトラブルの内容を客観的に整理しておく、対応員とのやりとりもスムーズです。

- ・お使いのパソコンの機種
- ・トラブルの内容
- ・トラブルの発生頻度
- ・直前に何をしていたか
- ・使ってる周辺機器やアプリケーションソフト
- ・電話をかける前に試したこと、・・・など



できればパソコンのそばで電話しよう

可能ならば、問題になっている現象が起きている状態で、電話をかけましょう。対応員に電話口で操作を誘導してもらうだけで解決することが多いのです。



マニュアル一式、お手元に

少しでも多くの情報を提供するのが早期解決のポイントです。このパソコンの添付マニュアルだけでなく、お使いの周辺機器や後から自分でインストールしたソフトウェアのマニュアル類も用意しておきましょう。



気持ちよくやり取りするための心得

- ・できるだけ冷静に受け答える
最初にお名前や「お客様登録番号」、電話番号、使用機種などを聞かれます。問い合わせはその後。
- ・トラブルの説明は根気よく、正確に
「トラブルチェックシート」に書き込んだ内容を読み上げるだけでも構いません。
- ・自分のパソコン習熟レベルを伝える
これが意外に有効。パソコンはじめてばかり、3年くらい経験あり、会社で伝票入力ならやったことある、など。はじめに伝えておくだけで不要なやり取りをせずに済みます。

・・・これだけわかれば、もう安心。
落ち着いて電話しましょう。

to be continued...

次ページでは、トラブル発生を未然に防ぐ日常の知恵を集めています。

次に「サポート」コーナーで...
<http://121ware.com/support/>



「困ったな」をすばやく解決
「サポートコーナー」

保有商品に関するQ&A
情報をすばやくGET!
「Q&A・技術情報」

パソコンを最新の状態に!
「自動アップデート」



[注]ログインID(121コミュニケーションID)をお持ちになり、マイアカウントで保有商品情報を登録した場合の画面例です。画面は、今後、予告なく変更する場合があります。

「ワントゥワンウェア」では、このほかに次のようなサービスをご利用いただけます。

- ・デジタルライフをより充実させるアドバイスや活用ガイド、NECの商品情報が満載(「知る」)
- ・おすすめの周辺機器やアプリケーションソフトのご購入(「買う」-121@store)
- ・保守契約サービス、パソコンスクール、研修サービス(すべて有償)などのご案内

・・・など



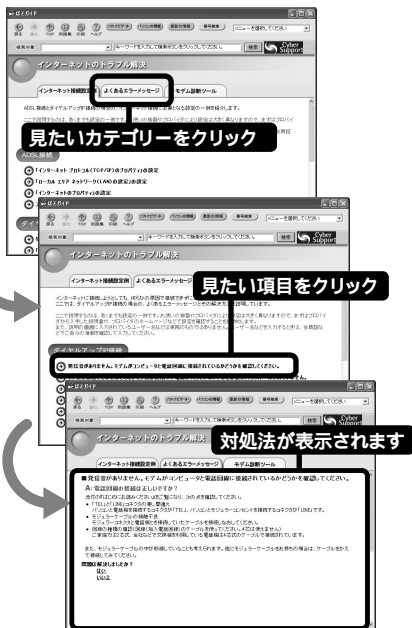
このマニュアルや電子マニュアル「ばそガイド」で、自分が直面しているのと同じ事例や似た症例を探してみましょう。

パソコンが使えるときは「ばそガイド」で！

デスクトップの「ばそガイド」をダブルクリックして、電子マニュアル「ばそガイド」を起動します。インターネット関連のトラブルならば「インターネットのトラブル解決」を、それ以外なら「トラブル解決Q&A」を見てみましょう。

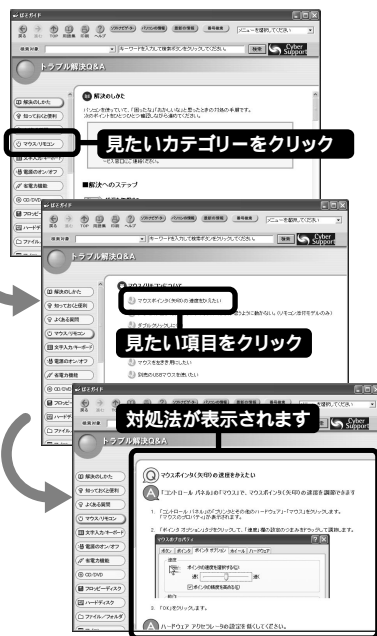


インターネットのトラブル解決



「トラブル解決Q&A」の中にある「インターネット/通信」や「電子メール」もご覧ください。

トラブル解決Q&A



ポイント ばそガイドの内容を印刷する

「ばそガイド」で表示した内容を紙に印刷しておく、後で読み返すときなどに便利です。次の手順で印刷できます。

パソコンにプリンタを接続して使えるようにする
印刷したい画面を表示させる
画面上方の印刷アイコンをクリックする
「印刷」画面で「印刷」をクリックする



パソコンが使えないときは このマニュアルで！

次ページ以降に、さまざまなトラブル事例をカテゴリーごとに紹介しています。パソコンが動かなくて「ばそガイド」が使えない場合などは、こちらをご覧ください。



こんなところでも 探せます

インターネット 153ページ参照
 ・NECの「121ware.com」
 ・Microsoftのホームページ
 Windowsの「ヘルプとサポート」
 テレビ機能については『TVモデルガイド』
 お使いの周辺機器やアプリケーションソフトのマニュアル、製造元のホームページ、など

参考情報

「ばそガイド」の「トラブル解決Q&A」や「インターネットのトラブル解決」は、下のようなカテゴリー分けになっています。

カテゴリー		このマニュアルでは・・・
トラブル解決Q&A		
知っておくと便利	トラブル解決にあたって知っておくと便利な情報を集めています。	-
よくある質問	カテゴリーを問わず、よくあるトラブルや疑問・質問の事例を厳選して紹介しています。最初にここをご覧になることをおすすめします。	
マウス/リモコン	さまざまなトラブル事例が、これらのカテゴリーに分類されています。 たとえば「マウス/リモコン」には、次のような事例がQ&A形式で掲載されています。 (掲載されている事例はお使いの機種によって異なります) ・マウスポインタ(矢印)の速度をかえたい ・ダブルクリックしにくい ・右クリックを使いこなしたい ・マウスを左きき用にしたい ・ ・ ・	
文字入力/キーボード		
電源のオン/オフ		
省電力機能		
CD/DVD		
フロッピーディスク		
ハードディスク		
ファイル/フォルダ		
アイコン		
画面		
音		
インターネット/通信		
セキュリティ/ウイルス		
ネットワーク(LAN)		
電子メール		
アプリケーション		
周辺機器		
印刷		
その他		
追加情報	最新情報や詳細情報を集めています。	
インターネットのトラブル解決		
インターネット接続設定例	ADSL接続とダイヤルアップIP接続の場合の、インターネット接続に必要な設定の一例を紹介しています。	-
よくあるエラーメッセージ	ダイヤルアップIP接続の場合の、インターネットに接続できないときに画面に表示される代表的なメッセージとその対処法を紹介しています。	
モデム診断ツール	内蔵モデムの設定や電話回線の接続状態などを自動診断するツール。ダイヤルアップIP接続でインターネットにつながらないときに試してみてください。	

パソコンの様子がおかしい

パソコンが異常に熱を持ったとき、変なおいがしたときなど、様子がおかしいと思ったらここをご覧ください。いきなり電源プラグを抜いたりせず、落ち着いて対処しましょう。

パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音があったり、手でさわれないほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた

すぐに電源を切って、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜き、ご購入元またはNECにお問い合わせください。
電源が切れないときは、パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

パソコンを使っているとカリカリと変な音がする

パソコンの電源を入れた状態でなにも作業をしていないときに、ハードディスクが勝手に動作することがあります。これはパソコンが自動的にデータの保存などの作業をしているためであり、問題はありません。

ただし、ハードディスクの空き容量が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクの動作に負担がかかり、ハードディスクのアクセス音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを実行してください。

それでも、あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、ご購入元またはNECにお問い合わせください。


 参照

NECのお問い合わせ先 『121ware
ガイドブック』

 メモ

データの断片化とは、データがハードディスクの空いているところに、バラバラに保存される状態をいいます。

 参照

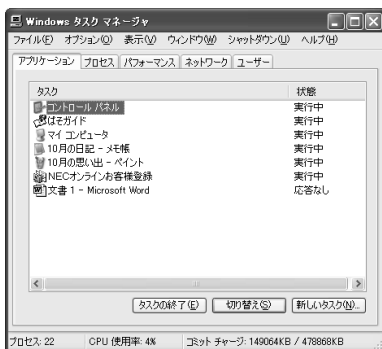
- ・ ディスクデフラグ、ディスククリーンアップについて  ばそガイド」・「パソコンの設定」・「パソコンのメンテナンス」
- ・ NECのお問い合わせ先 『121ware
ガイドブック』

急に動かなくなった、フリーズした

アプリケーションや周辺機器に異常が発生すると、どんな操作をしてもパソコンやアプリケーションが反応しなくなることがあります(この状態をフリーズ、またはストール、ハングアップといいます)。このような場合は、次の操作を行ってください。

異常が起きているアプリケーションを終了させる

- 1 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を1回押します。「Windows タスクマネージャ」の画面が表示されます。



- 2 「アプリケーション」タブをクリックし、右側に「応答なし」と表示されているプログラム(アプリケーション)をクリックして、「タスクの終了」をクリックします。

この方法でアプリケーションが終了できなかったり、終了できても、正しい電源の切り方で電源が切れないときは、次の操作を行ってください。

強制的に電源を切る

- 1 パソコン本体の電源スイッチを、電源が切れて電源ランプが消えるまで押しつづけます。
通常、4秒以上押しつづけるとパソコンの電源が切れます。
- 2 5秒以上待つから、電源スイッチを押します。
パソコンの電源が入り、場合によっては、「ディスクのチェック」が自動的に始まり、ハードディスクがチェックされます。「ディスクのチェック」で異常が発見されなかったときや、「ディスクのチェック」が実行されなかったときは、そのままWindowsが起動します。

✓チェック!!

動作が止まっているように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。あわてる前に、画面の表示状態やCD/ハードディスクアクセスランプが点灯していないかなどをよく確認しましょう。

メモ

画面が突然真っ暗になったときには、パソコンが省電力状態になったことが考えられます。省電力状態から復帰するには、電源スイッチを押します。詳しくは「ディスプレイに何も表示されない」(p.164)をご覧ください。

✓チェック!!

- ・【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】は、2回以上押さないでください。
- ・「Windows タスクマネージャ」の画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。表示されない場合は、しばらくお待ちください。
- ・アプリケーションで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

✓チェック!!

- ・ひんぱんに強制終了を行うとハードディスクが故障することがあります。
- ・強制終了を行うと直後の再起動時に「ディスクのチェック」が自動的に起動することがあります。

✓チェック!!

「ディスクのチェック」の結果、なにかメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。うまく起動できなかった場合は、「PART9 再セットアップ」(p.183)をご覧ください。システムの修復または再セットアップを行ってください。

3 「スタート」をクリックして、「終了オプション」をクリックします。

「コンピュータの電源を切る」の画面が表示されます。

4 「電源を切る」をクリックします。

パソコンの電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、もう1度電源スイッチを押しつけてください。パソコンの電源ランプがオレンジ色に光っている場合は、いったんパソコンの電源コンセントを抜いてから、電源コンセントを入れ直してみてください。

それでもトラブルが解決しないときは、「PART9 再セットアップ」(p.183)をご覧ください。システムの修復または再セットアップを行ってください。

こんなときは

ディスプレイに何も表示されない、画面が真っ暗になる、英語のメッセージが表示される、など

「電源のオン/オフ」(p.163)をご覧ください。

マウスやキーボードが反応しない、正しく動作しない、など

「マウス、キーボード」(p.161)をご覧ください。

CD-ROM などのディスクが取り出せない

「その他」(p.180)をご覧ください。


電源が切れない

「電源のオン/オフ」(p.163)をご覧ください。

周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった

「周辺機器」(p.176)をご覧ください。

メモ

パソコンが使えるときは、「パソコンガイド」-「トラブル解決 Q&A」の各カテゴリーの Q&A 項目も参照してください。詳しくは「トラブル事例の探し方」(p.156)をご覧ください。

マウス、キーボード

マウスやキーボードが正しく動作しなかったり、反応しないときはここをご覧ください。

TVモデルをお使いの場合、リモコンのトラブル解決Q&Aについては、『リモコン取扱説明書』をご覧ください。

マウスを動かしても、キーボードのキーを押しても反応しない、反応が悪い

☹️➡️😊 ポインタが砂時計の形になっていませんか？



砂時計のポインタ

ポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、マウスやキーボードの操作が受け付けられない場合があります。処理が終わるまで待っててください。

☹️➡️😊 マウスは正しく取り付けられていますか？

マウスがキーボード背面のマウスコネクタにしっかり接続されていないと、マウスが正しく動作しません。

PART2の「マウスを接続する」(p.13)をご覧ください。正しく接続されているか、またプラグがきちんと差し込まれているかを確認してください。正しく接続されていない場合は、接続し直してください。

☹️➡️😊 キーボードは正しく取り付けられていますか？

キーボードとパソコン本体がしっかり接続されていないと、キーボードが正しく動作しません。

PART2をご覧ください。正しく接続されているか、またプラグがきちんと差し込まれているかを確認してください。正しく接続されていない場合は、接続し直してください。

☹️➡️😊 しばらく待っても、マウスやキーボードの操作ができないときアプリケーションや周辺機器に異常が発生して動かなくなった(フリーズした)ものと考えられます。このPARTの「急に動かなくなった、フリーズした」(p.159)をご覧ください。異常が起きているアプリケーションを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは失われます。

「テンキーから数字が入力できない」「変換できない漢字、記号がある」「ダブルクリックしにくい」など、マウスやキーボードの操作に関するQ&Aは「[ばそガイド](#)」も参照してください(「[ばそガイド](#)」-「[トラブル解決Q&A](#)」の「[マウス/リモコン](#)」「[文字入力/キーボード](#)」)。

✔️チェック!!

動作が止まったように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。画面表示やCD/ハードディスクアクセスランプが点灯していないかをよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

マウスが正しく動作しない

このパソコンに添付のマウスは、マウス底面にある赤い光をセンサーで検知することで、マウスの動きを判断しています。次のような表面では正しく動作しないし、操作どおりにマウスポインタが動かない場合があります。

- ・反射しやすいもの(鏡、ガラスなど)
- ・光沢があるもの(透明、半透明な素材を含む)
- ・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの(雑誌や新聞の写真など)
- ・濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの

操作どおりにマウスポインタが動かないときは、光沢のない印刷用紙や光学式マウスに対応したマウスパッドなどの上で操作してください。

マウス、キーボードに飲み物をこぼしてしまった

やわらかい布などで拭き取ってください。キーボードのキーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。乾いたあとで、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、ご購入元または NECにお問い合わせください。

チェック!!

動作が止まったように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。画面表示や CD / ハードディスクアクセスランプが点灯していないかをよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

モ

ジュースなどをこぼしたときは、きれいに拭き取っても内部に糖分などが残り、マウス、キーボードが故障することがあります。また、パソコンのそばで、飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因となります。

参照

- ・ マウス、キーボードのお手入れ
付録の「パソコンのお手入れ」
(p.212)
- ・ NEC のお問い合わせ先 『121
ware ガイドブック』

電源のオン / オフ

電源を入れたとき、電源を切ろうとしたときにトラブルが発生したときは、こちらをご覧ください。

電源が切れない。強制的に電源を切りたい

CD-ROMやフロッピーディスクなどがCD/DVDドライブやフロッピーディスクドライブにセットされている場合は、すべて取り出してから電源を切ってください。

正しい電源の切り方

- 1 「スタート」をクリックし、「終了オプション」をクリックします。
「コンピュータの電源を切る」の画面が表示されます。



- 2 「電源を切る」をクリックします。
しばらくすると、自動的に電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、アプリケーションに異常が起きていると考えられます。このPARTの「急に動かなくなった、フリーズした (p.159) 」をご覧ください。異常が起きているアプリケーションを終了してください。それでも電源が切れないときは、同じページの「強制的に電源を切る」の操作を行ってください。

「文書を作成中に電源を切ってしまった」など電源のオン / オフに関するQ&Aは「ばそガイド」も参照してください。「ばそガイド」・「トラブル解決Q&A」の「電源のオン / オフ」。

参照

電源の入れ方、切り方 PART3 の
「電源の入れ方と切り方」(p.48)



チェック!!

電話回線を使うアプリケーションを起動しているときは、アプリケーションを終了させてから電源を切ってください。

ディスプレイに何も表示されない



パソコンの電源を入れたときにディスプレイに何も表示されないときや、パソコンを使っていて画面が真っ暗になったときは、パソコン本体の電源ランプ、ディスプレイの電源ランプの状態を確認してください。

パソコン本体の電源ランプが消えている、またはオレンジ色に点灯しているとき

 →  パソコン本体の電源スイッチを押してください。画面が表示されますか？

画面が表示されるときは、電源が切れていたか、パソコン本体の省電力機能が働いて省電力状態になっていたものと考えられます。



このパソコンは、ご購入時には20分間何も操作しないと自動的に省電力状態になるように設定されています。

 →  パソコン本体の電源ケーブルなどは正しく接続されていますか？



一度、電源ケーブルをコンセントから抜き、PART2をご覧になり、もう一度パソコンの各ケーブルを接続し直してください。

電源ケーブルなどすべてのケーブルを正しく接続し直して、電源を入れても本体の電源ランプが点灯しないときは、パソコン本体の故障が考えられます。ご購入元またはNECにお問い合わせください。

パソコン本体の電源ランプが緑色に点灯しているとき

 →  マウスを軽く動かしてみてください。画面が表示されますか？

画面が表示されるときは、ディスプレイの省電力機能が働いていたものと考えられます。

 →  フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

フロッピーディスクやCD-ROMなどがセットされているときは、いったん取り出します。パソコン本体の電源スイッチを押して電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。

 →  ディスプレイの電源ランプが消えていませんか？

ディスプレイがセットになっているモデルの場合、ディスプレイの電源ランプが点灯していないときは、いったんパソコン本体の電源を切ります。PART3の「電源を入れてパソコンを使えるようにする」をご覧になり、ディスプレイの電源を入れてから、パソコン本体の電源を入れ直してください。

メモ

ディスプレイの電源ランプの色
ディスプレイがセットになっているモデルの場合、ディスプレイの電源ランプは、緑色に点灯するときと、オレンジ色に点灯することがあります。

・ 緑色に点灯しているとき

ディスプレイとパソコンの電源が入っていて、ディスプレイとパソコン本体が接続されています。

・ オレンジ色に点灯しているとき

ディスプレイがスタンバイ状態になっています。

チェック!

電源が入っているとき(省電力状態のときも含む)に、4秒以上電源スイッチを押し続けると強制的に電源が切れてしまうので注意してください。強制的に電源を切ると元の状態に復帰できなくなります。

参照









省電力機能について PART7の「省電力機能」(p.145)

参照

NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』

メモ

フロッピーディスクやCD-ROMから起動したいときは、システムファイルが入ったものと入れ替えてから、電源を入れ直してください。

-  →  ディスプレイの輝度(明るさ)が小さくなっていませんか？
ディスプレイのマニュアルをご覧になり画面の輝度(明るさ)を調節してください。
-  →  パソコン起動後にディスプレイの接続を行っていませんか？
パソコン起動後にディスプレイを接続してもディスプレイには何も表示されないことがあります。このような場合は、パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続けていったん強制的に電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。
-  →  休止状態の間に、コンピュータの設定を変更したり周辺機器などの接続を変更しませんでしたか？
休止状態のときに周辺機器を接続したり、接続されていた周辺機器を取り外したりすると、Windowsが起動しなくなることがあります。その場合は、周辺機器の接続を元の状態に戻して電源スイッチを押してください。
-  →  パソコン本体やディスプレイのケーブルなどは正しく接続されていますか？
「PART2 パソコンの接続をする」をご覧になり、もう一度パソコンの各ケーブルを接続し直してください。
すべて正しく接続されているのにディスプレイに何も表示されないときは、ディスプレイまたはパソコン本体の故障が考えられます。ご購入元またはNECにお問い合わせください。

電源スイッチを押しても電源が入らない

まれに、パソコン本体に電荷が帯電し、電源スイッチを押しても電源が入らない状態になることがあります。次の操作を行い、放電してみてください。

- 1 電源ケーブルをコンセントから抜きます。
- 2 パソコン本体の電源スイッチを2、3回押します。
電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で電源スイッチを2、3回押すことで、本体に帯電した電荷が放電されます。
- 3 そのまましばらく放置した後、電源ケーブルを正しく接続し直します。
- 4 パソコン本体の電源スイッチを押して、電源を入れます。

この操作を行ってもパソコンの電源が入らない場合は、パソコン本体の故障が考えられます。ご購入元またはNECにお問い合わせください。

チェック!!

パソコンの電源が入っているときは、添付のディスプレイとパソコン本体を接続するケーブルの抜き差しは行わないでください。電源が切れないときは、パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

参照

NECのお問い合わせ先 『121ware
ガイドブック』

チェック!!

放電を確実にを行うため、電源ケーブルはしばらくコンセントから抜いたままにしておいてください。

参照

NECのお問い合わせ先 『121ware
ガイドブック』

「Windows 拡張オプション メニュー」が表示された

「セーフモード」を選んで、【Enter】を押し、Windowsをセーフモードで起動します。

セーフモードで起動すると画面のデザイン、配色や解像度などが通常とは異なりますが、必要最低限の機能は使えるようになります。

「スタート」メニューの「終了オプション」から「再起動」をクリックし、再起動して問題がなければ、元の状態に戻ります。セーフモードで起動できなかった場合や、再起動しても問題が解決しなかった場合は、システムに障害が発生している可能性があります。「システムの修復」または「再セットアップ」を行ってください。



参照

システムの修復、再セットアップ
「PART9 再セットアップ」(p.183)

「オペレーティングシステムの選択」が表示された

「Microsoft Windows XP Professional」を選んで【Enter】を押してください。Windowsが起動します。

「再セットアップとは」が表示された

画面の指示にしたがってまず【F3】を押して、それからパソコン本体の電源スイッチを押して一度パソコンの電源を切ってください。

パソコンの電源を入れると、NECロゴが表示された後、画面がまっくらになる

電源を入れると、「NEC」ロゴが表示された後、画面が真っ暗になるときは、PART9の「セーフモードで起動してみる」(p.186)をご覧ください。パソコンを「セーフモード」で起動してみてください。

画面に英語のエラーメッセージが表示される

「Checking file system on」と表示された場合



パソコンの電源を切る際に、Windowsは作業中のファイルをディスクに保存し直すなどのいくつかの処理を行います。その処理が正しく行われなかった場合に、このメッセージが

表示されます。

このメッセージが表示された後しばらくすると、自動的に、ハードディスクに異常が発生していないかどうかチェックする処理がはじまります。ハードディスクに異常がなければそのままWindowsが起動します。以降は問題なくお使いいただけます。

Windowsが正常に起動しなかった場合は、画面にメッセージが表示されますので、その内容をよく読んで対処してください。

「Invalid system disk」, 「Operating System not found」などのメッセージが表示された場合

 →  フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？



フロッピーディスクやCD-ROMなどを取り出してから、何かキー(【Enter】など)を押してください。ハードディスクからWindowsが起動します。

フロッピーディスクやCD-ROMなどがセットされていないのにこれらのメッセージが表示される場合は、ハードディスクがフォーマットされたか、システムが壊れていて起動できない状態になっています。システムの修復または再セットアップを行ってください。



参照
システムの修復、再セットアップ
「PART9 再セットアップ」(p.183)

カーソルが表示されたきり、なにも表示されない

 →  フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

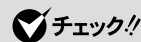
フロッピーディスクやCD-ROMなどを取り出してから、再起動してください。

ハードディスク内のWindowsが起動します。

電話回線を使用中のまま、パソコンの電源を切ってしまった

パソコンに異常があると、電源を切っても電話回線が切断されない場合があります。その場合は一度、パソコンの電話回線用モジュラーコネクタからモジュラーケーブルを抜いてください。電話回線が切断されます。

パソコンの電源を切ると、ダウンロード中のデータは正常に保存されません。



チェック!!
電話回線を使うアプリケーションを起動しているときは、アプリケーションを終了させてから電源を切ってください。

パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない

BIOSセットアップメニューで、パソコンの使用環境を変更した後に、Windowsが起動しなくなったときは、システムの設定が正しくない可能性があります。次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してから、再起動してください。

- 1 別売の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、購入時の状態に戻します。
- 2 パソコン本体の電源を入れ、「NEC」のロゴが表示されたら【F2】を押します。
BIOSセットアップの画面が表示されます。
- 3 【F9】を押します。
「セットアップ確認」または「Load optimized settings」の画面が表示されます。
- 4 <はい>が選択されていることを確認して【Enter】を押します。
システムの設定が初期値に戻ります。
- 5 【F10】を押します。
「セットアップ確認」または「Save current settings and exit」の画面が表示されます。
- 6 <はい>が選択されていることを確認して【Enter】を押します。
システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。


✓チェック!!

「BIOSセットアップメニュー」で設定したパスワードは、左の操作を行っても初期値には戻りません。

📖参照

BIOSセットアップメニューについて PART7の「BIOSセットアップメニュー」(p.149)

✓チェック!!









- ・ 手順2で【F2】を押してもBIOSセットアップの画面が表示されないときは、いったん電源を切り、再度電源を入れて、何回か【F2】を押してください。
- ・ ディスプレイがセットになっているモデルの場合に、ディスプレイの特性により手順2で「NEC」のロゴ画面が表示されず【F2】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、キーボードののランプが点灯するタイミングで、【F2】を何回か押してください。

省電力機能

省電力状態(休止状態/スタンバイ状態)から元の状態に戻れなくなったときや、省電力機能が使えないときは、ここをご覧ください。

省電力状態にする前の状態の画面が表示されない

省電力状態から元の状態に戻すときは、パソコン本体の電源スイッチを押します。パソコン本体の電源スイッチを押しても元に戻らない場合は、以下の点を確認してください。

-  →  アプリケーションや周辺機器は省電力機能(休止状態/スタンバイ)に対応していますか？
対応していないアプリケーションや周辺機器で省電力状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、省電力状態にしないでください。
-  →  電源ケーブルは正しく接続されていますか(スタンバイ状態のとき)?
電源ケーブルを正しくコンセントに接続します。電源ケーブルが正しく接続されていなかった場合、作業内容は保持(記憶)されません。
-  →  スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルが抜けたりしませんでしたか？
スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルが抜けたりすると、保持(記憶)された内容は消えてしまいます。
-  →  スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けませんでしたか？
スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持(記憶)した内容は消えてしまいます。



「ディスプレイの省電力機能が設定できない」など、省電力機能に関するQ&Aは「ばそガイド」も参照してください(「ばそガイド」-「トラブル解決 Q&A」の「省電力機能」)。

参照

- ・省電力機能について PART7の「省電力機能」(p.145)
- ・省電力状態の確認のしかた このPARTの「ディスプレイに何も表示されない」(p.164)

メモ

キーボードの電源スイッチを押しても、省電力状態から元の状態に戻せません。

 →  フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされている状態で休止状態から復帰すると、正しく復帰できずにフロッピーディスクやCD-ROMから起動してしまうことがあります。

休止状態にする場合には、フロッピーディスクやCD-ROMを取り出してから休止状態にするようにしてください。なお、フロッピーディスクを取り出す前に、必要なファイルは保存してください。

省電力状態にする前の内容の復元が保証されない場合



次のような場合は、省電力状態にする前の内容は保証されません。

- ・省電力状態にする前の内容の記憶中、または復元中にCD-ROMなどを入れ替えたとき
- ・省電力状態にする前の内容の記憶中、または復元中にこのパソコンの環境を変更したとき
- ・省電力状態のときにこのパソコンの周辺機器の接続などを変更したとき

また、次のような状態で省電力状態にしても、復帰後の内容は保証されません。

- ・プリンタへ出力中のとき
- ・モデムなどを使って通信中のとき
- ・サウンド機能により音声を再生しているとき
- ・ハードディスクを読み書き中のとき
- ・CD-ROMなどを読み取り中のとき
- ・省電力状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

「スタンバイ状態に入ることができません。」と表示され省電力状態にできない



 →  実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度、設定をし直してください。

電話回線を使用中のときは、回線を切ってから省電力状態にしてください。



チェック!!

休止状態からの復帰(再開)に失敗したときは、Windowsが起動しても休止状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。その場合、保存していないデータは失われてしまいますので、休止状態にする前に必要なデータは必ず保存するようにしてください。



「コントロールパネル」の「電源オプション」で設定しても省電力状態にならない

 →  アプリケーションや周辺機器は、省電力状態に対応していますか？

アプリケーションや周辺機器によっては、省電力機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、省電力状態にしないでください。

 →  実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度、設定をし直してください。

通信中、省電力状態にできないアプリケーションもあります。電話回線を使用中のときは、回線を切ってから省電力状態にしてください。

 →  スタンバイ状態から復帰中に、電源スイッチを押しませんでしたか？



スタンバイ状態から復帰中に電源スイッチを押すと、再度スタンバイ状態にしようとしてもスタンバイ状態にできなくなる場合があります。このような場合には、次の手順でパソコンを再起動してください。

1 「スタート」をクリックし、「終了オプション」をクリックします。

2 「再起動」をクリックします。

 →  SCSIを使って周辺機器を接続していませんか？

SCSIを使って機器を接続した場合は、休止状態にできません。また、パソコンが自動的に休止状態にならないように設定を変更してください。

 →  プリンタなど双方向通信を行う周辺機器を接続していませんか？

プリンタなど双方向通信を行う周辺機器を使用している場合は、自動的に省電力状態にできません。使用中の周辺機器の動作を中止するか、周辺機器の電源を切ってください。

メモ

手動で省電力状態にするには「スタート」-「終了オプション」をクリックして、「スタンバイ」ボタンをクリックします。

参照

パソコンが自動的に省電力状態にならないようにするには PART7の「省電力機能」(p.145)

省電力を設定しても自動休止機能または自動スタンバイ機能が利用できない

☹️➡️😊 実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度設定し直してください。

電話回線を使用中のときは、回線を切ってから省電力状態にしてください。

☹️➡️😊 アプリケーションや周辺機器は、省電力機能に対応していますか？

アプリケーションや周辺機器によっては、この機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、省電力状態にしないでください。

☹️➡️😊 スクリーンセーバーは省電力機能に対応していますか？

「3D テキスト」などのOpenGL対応のスクリーンセーバーが動いているときは、自動的に省電力状態にはなりません。OpenGL対応のスクリーンセーバーに設定している場合は、他のものに変更してください。











📖 参照


パソコンが自動的に省電力状態にならないようにするには PART7の「省電力機能」(p.145)

アプリケーション

アプリケーションを使っていてトラブルが起きたときは、ここをご覧ください。

アプリケーションが起動しなくなった


-  →  他のアプリケーションを起動していませんか？
- 複数のアプリケーションが起動していると、メモリが不足して、新たにアプリケーションを起動できないことがあります。すでに他のアプリケーションが起動しているときは、それらを終了してから、起動してください。それでも起動しないときは、いったんパソコンを再起動してください。
-  →  アプリケーションを起動するのに必要なだけのメモリはありますか？
- アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量は、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。
- このパソコンには、ご購入時には512Mバイトまたは256Mバイトのメモリが搭載されています(機種によって異なります)。それ以上のメモリが必要な場合は、メモリを増設してください。
-  →  ファイルサイズの大きい壁紙を使っていませんか？
- ファイルサイズの大きい壁紙を使っていると、メモリが不足してアプリケーションを起動できなくなることがあります。壁紙のファイルサイズを確認してファイルサイズの小さい壁紙に変更してください。
-  →  そのアプリケーションは省電力機能(休止状態/スタンバイ)に対応していますか？
- 対応していないアプリケーションが起動しているときに省電力状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションでは、省電力状態にしないでください。
- この機能を使って、電源を切ることができなくなったときは、4秒以上電源スイッチを押し続けて、強制的に電源を切ってください。
-  →  他のユーザーが同じアプリケーションを使用していませんか？
- Windowsに他のユーザーがログインしていると、同じアプリケーションを同時に起動できないことがあります。そのアプリケーションを他のユーザーが終了させてから、起動してください。

「アプリケーションがインストールできない」といったトラブルなど、アプリケーションに関するQ&Aは「ばそガイド」も参照してください( 「ばそガイド」-「トラブル解決 Q&A」の「アプリケーション」)。

参照

メモリを増設するには PART6の「メモリ」(p.120)


参照

壁紙を変更するには  「ばそガイド」-「トラブル解決 Q&A」-「画面」



参照

省電力機能について PART7の「省電力機能」(p.145)

インターネットエクスプローラを終了しても回線が切断されない

インターネットにダイヤルアップネットワーク接続している場合、インターネットエクスプローラを終了しても、回線が接続されたままになることがあります。回線を切断するには、画面右下の通知領域のをクリックし、表示された画面で「切断」をクリックしてください。

パソコンに添付のアプリケーションを追加または削除したい

ソフナビゲーターを使えば、パソコンに添付のアプリケーションを追加したり削除したりできます。詳しくは、「[ぼそガイド](#)」の「[アプリケーションの紹介と説明](#)」「[アプリケーションの追加と削除](#)」をご覧ください。ソフナビゲーターに登録されていないアプリケーションの追加や削除の方法も、「[ぼそガイド](#)」の「[アプリケーションの紹介と説明](#)」「[アプリケーションの追加と削除](#)」をご覧ください。

アプリケーションが突然止まった(フリーズした)

アプリケーションを使っていると、突然キーボードやマウスの操作ができなくなってしまうことがあります。パソコンが故障したわけではありません。

この原因はさまざまですが、停止してしまったアプリケーションだけを強制的に終了させることで、Windowsの操作を続けることができます。このPARTの「急に動かなくなった、フリーズした」(p.159)をご覧ください。

特定のアプリケーションや周辺機器を使っているときにフリーズが起こる場合は、各メーカーにお問い合わせください。

また、このトラブルがしばしば起こる場合は、システムファイルに問題があることが考えられます。システムの修復、または再セットアップを行ってください。


チェック!!

「例外エラー」、「一般保護違反」などのエラーメッセージが画面に表示された場合、強制終了したり、電源スイッチを押したりする前に、メッセージの内容やエラーコードの内容を巻末のトラブルチェックシートにメモしておいてください。お問い合わせの際、トラブルの原因や対処法を調べるのに役立ちます。

参照

システムの修復、再セットアップ
「PART9 再セットアップ」(p.183)

アプリケーションについて問い合わせをしたい

パソコンに添付のアプリケーションについて問い合わせるときは、「パソコンガイド」の「サービス&サポート」やこのマニュアルの付録「アプリケーションのサポート窓口一覧」(p.218)をご覧ください。また、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。また、パソコンご購入後、ご自分で追加された別売のアプリケーションについては、そのアプリケーションの販売元にお問い合わせください。









周辺機器


別売の周辺機器をこのパソコンに取り付けたときに、周辺機器が正しく動作しなかったり、パソコンの動作がおかしくなったりしたときはここをご覧ください。

別売の周辺機器を取り付けたが、正しく動作しない

取り付けた周辺機器が正しく動作しないときは、以下のチェック項目を確認した上で、その機器に添付のマニュアルをご覧になり、その機器がこのパソコンやWindows XPに対応しているかどうか、パソコンへの接続のしかたやドライバの設定などに誤りがないか、などを確認してください。


また、「スタート」 「ヘルプとサポート」をクリックし、「問題を解決する」 「ハードウェアおよびシステム デバイスの問題」の順にクリックして、必要なトラブルシューティングを行ってみてください。

-  →  正しい順序で電源を入れていますか？
パソコンが起動してから、周辺機器の電源を入れてもパソコン側で正しく認識されないことがあります。最初に周辺機器の電源を入れてから、パソコンの電源を入れてください。
-  →  周辺機器がパソコンに正しく接続されていますか。取り付けた周辺機器の設定は正しいですか？
周辺機器がパソコンと正しく接続されているか、ケーブルやコネクタを確認してください。また、周辺機器の設定が正しいか、確認してください。
-  →  デバイスマネージャに赤い「×」や黄色い「！」や緑の「？」マークがついていませんか？
取り付けた周辺機器に赤い「×」マークや黄色い「！」マークや緑の「？」マークがついているときは、その周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。周辺機器のマニュアルやWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧になり、赤い「×」や黄色い「！」や緑の「？」マークがつかないように設定し直してください。
-  →  ドライバをインストールした後に、パソコンを再起動しましたか？
機器によっては、ドライバをインストールした後でパソコンを再起動する必要があります。「スタート」メニューの「終了オプション」をクリックし、「再起動」をクリックして再起動を行ってください。

ドライバのインストールや取り付けられた機器の動作など、周辺機器に関するQ&Aは「ばそガイド」も参照してください( 「ばそガイド」 「トラブル解決 Q&A」の「周辺機器」)。

 参照

周辺機器について 周辺機器のマニュアル、PART5、6

 **チェック!!**

ほとんどのUSBまたはIEEE1394対応の周辺機器は、パソコンが起動した後から電源を入れても正しく認識されます。

別売の周辺機器を取り付けたら、パソコンが起動しなくなった

☹️ → 😊 周辺機器がパソコンに正しく接続されていますか。取り付けた周辺機器の設定は正しいですか？

周辺機器がパソコンと正しく接続されているか、ケーブルやコネクタを確認してください。また、周辺機器の設定が正しいか、確認してください。

正しく接続できているのに起動できない場合は、周辺機器のドライバが原因でパソコンが起動できなくなったと考えられます。

セーフモードでパソコンを起動して、トラブルの原因になったドライバを無効にして、正しいドライバをインストールするか、ドライバ自体を削除する必要があります。

詳しくは、周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。または「スタート」>「ヘルプとサポート」をクリックし、「問題を解決する」>「ハードウェアおよびシステム デバイスの問題」の順にクリックして、必要なトラブルシューティングを行ってください。

セーフモードでパソコンを起動できないときは、パソコンの電源を切ってから新しく取り付けた周辺機器を外してください。また、新しく取り付けた周辺機器を使用したいときは、周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。ドライバのインストールを再度行ってください。

別売の周辺機器に添付されているドライバがフロッピーディスクで提供されているため、インストールできない

別売のフロッピーディスクユニットを購入してください。または、ホームページなどからドライバをダウンロードして入手できないか、ドライバがCD-ROMで提供されていないか、周辺機器のメーカーにお問い合わせください。

📖 参照

セーフモードでパソコンを起動する方法 PART9 の「セーフモードで起動してみる」(p.186)

📌 メモ

ドライバを最新のものに更新すると正しく動作することがあります。最新のドライバは周辺機器メーカーのホームページなどでダウンロードしてください。また、Windows Updateを行うと最新のドライバをダウンロードして、更新できることがあります。Windows Updateをするには「スタート」>「すべてのプログラム」>「Windows Update」をクリックしてください。


📌 メモ

- ・ 周辺機器によっては、本機にあらかじめドライバが用意されている場合があります。
- ・ このパソコンでは、別売のUSB対応フロッピーディスクユニット(PC-VP-WU14)がご利用になれます。


パスワード

Windowsを起動したときにパスワードを入力してもログインできない場合や、パスワードを忘れてしまった場合は、ここをご覧ください。

パスワードを入力すると「パスワードを忘れてしまいましたか？」と表示される

☹️ → 😊  (キャップスロックキーランプ)が点灯していませんか？


キャップスロックキーランプは、キーボード上側についています。キャップスロックキーランプが点灯しているときは英字の入力が大文字入力になります。【Shift】を押しながら、【Caps Lock】を押して、キャップスロックを解除してから、パスワードを入力し直してください。

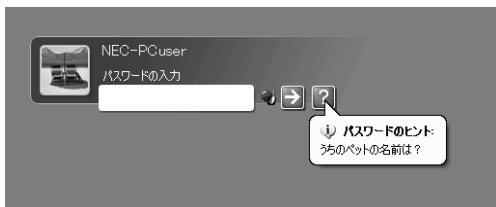
☹️ → 😊  (ニューメリックロックキーランプ)は点灯していますか？

ニューメリックロックキーランプは、キーボード上側についています。ニューメリックロックキーランプが点灯しているときは、テンキーを使って数字の入力ができます。【NumLock】を押して、ニューメリックロックをしてから、パスワードを入力し直してください。

パスワードを忘れてしまった

Windowsのパスワードを忘れてしまったとき

「ようこそ」画面のパスワード入力欄の右のをクリックしてください。もし、そのユーザーのパスワードを設定したときに「ヒント」を設定していれば、その「ヒント」が表示されます。これを手がかりにパスワードを思い出してみてください。



✓チェック!!

- ・他のユーザー名でログオンしてパスワードを設定し直すと、そのユーザー向けに保存されていた個人証明書や、Web サイトまたはネットワークリソース用のパスワードもすべて失われます。
- ・「制限ユーザー」として登録されたユーザー名でログオンした場合、左のパスワードの設定操作はできません。

どうしてもパスワードを思い出せない場合は、パスワードを設定し直す必要があります。「マルチユーザー機能」でこのパソコンに他のユーザー名を登録してあれば、そのユーザー名でログオンして、「コントロールパネル」の「ユーザー アカウント」で、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを設定し直してください。

詳しくは、「スタート」>「ヘルプとサポート」をご覧ください。

■ ユーザーパスワード、スーパーバイザパスワードを忘れてしまったとき

「BIOSセットアップメニュー」で設定したこれらのパスワードを忘れてしまった場合は、パソコンを起動できません。


「NEC 121コンタクトセンター」にご相談ください。



参照

BIOS セットアップメニュー
PART7 の「BIOS セットアップメニュー」(p.149)

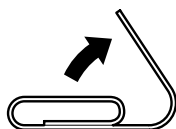
その他

ここまでで、あなたのパソコンのトラブルが見つからなかったときは、ここをご覧ください。ここでも見つからないときは、「 ばそガイド」や他のマニュアル、ヘルプ、Readmeファイルをご覧ください。

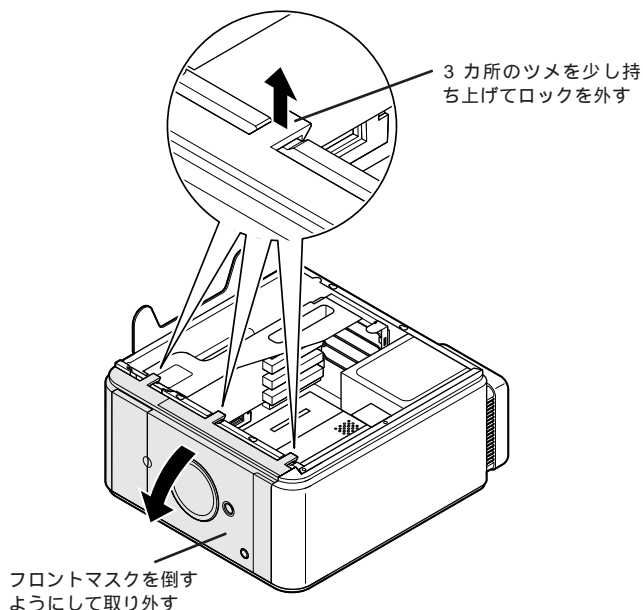
CD-ROMなどのディスクが取り出せない

停電やアプリケーションの異常な動作などが原因で、ソフトウェアのイジェクト機能を使っても、イジェクトボタンを押しても、CD/DVDドライブからCD-ROMなどのディスクを取り出せなくなった場合は、次の手順で強制的に取り出してください。

- 1 太さが1.3mm程度、まっすぐな部分の長さが45mm程度（指でつまむ部分を除く）の針金を用意します。大きめのペーパークリップを伸ばして作ることができます。



- 2 パソコン本体の電源を切ります。
- 3 正しい手順で、サイドカバーを外します。
- 4 フロントマスクを外します。



メモ

パソコンの電源が切れているときは、通常の方法ではディスクを出し入れできません。

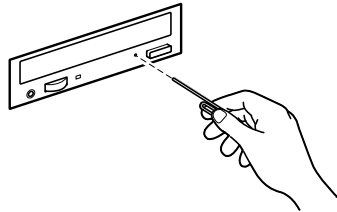
チェック!!

CD/DVDドライブのカバーは、イジェクトボタンを押すと、自動的に開くようになっています。イジェクトボタンを押してもカバーが開かないときは、必ずこの手順でCD-ROMを取り出してください。カバーを無理に開こうとすると、カバーが壊れる場合があります。

参照

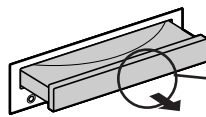
サイドカバーを外す PART6の「本体の開け方と閉め方」(p.108)

- 5 ディスクトレイの下の直径2mm程度の穴に、手順1で作った針金を差し込み、強く押し込みます。



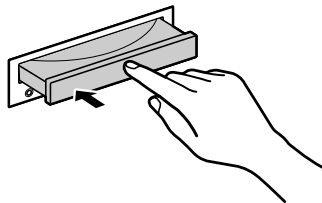
ディスクトレイが5～15mmほど飛び出します。

- 6 ディスクトレイを手前に引き出し、ディスクを取り出します。



このあたりを軽く指でつまむようにして、静かに引き出す

- 7 ディスクトレイの前面を、イジェクトボタンを押さないように注意しながら、ディスクトレイがもとどおりに収納されるまで押し込みます。



- 8 フロントマスクをもとどおり取り付けます。
9 パソコン本体のサイドカバーを取り付けます。

✓チェック!!

CD/DVDドライブによっては、手順6でディスクトレイの前面カバー部分が多少動くことがありますが、故障ではありません。そのまま静かに引き出してください。

📖参照

サイドカバーを取り付ける
PART6の「本体の開け方と閉め方」
(p.108)

音楽CDやDVDを再生中に急に動かなくなった

このパソコンでは、一定時間何も操作しなかったときに自動的にハードディスクの電源が切れるように設定できます。この機能を設定していると、音楽CDやDVDを再生中に、急に動かなくなる場合があります。

このような場合は、次の操作を行って、自動的にハードディスクの電源が切れないように設定を変更してください。

- 1 「スタート」 「コントロールパネル」 をクリックします
- 2 「パフォーマンスとメンテナンス」 「電源オプション」 の順にクリックします
「電源オプションのプロパティ」 の画面が表示されます。
- 3 「電源設定」 タブをクリックし、「ハードディスクの電源を切る」を「なし」に設定します
- 4 「OK」 をクリックします

安全ピン、クリップなど異物を本体内部に入れてしまった

すぐに電源を切って、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜き、ご購入元またはNECにお問い合わせください。
そのまま使用すると発煙、発火や故障の原因となります。

このパソコンで使えるOSの種類を知りたい

このパソコンにあらかじめインストールされているWindows XP Professionalを使用できます。市販のWindows XP Professionalは、利用できません。

Windowsのアップグレードはできません。

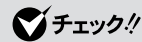
また、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT、Windows 2000、Windows XP Home Editionは利用できません。

このパソコンを廃棄したい

このパソコンの所有者が個人の場合は一般廃棄物として、事業者の場合は産業廃棄物として、廃棄処理を行います。詳しくは、付録の「このパソコンを廃棄するには」(p.216)をご覧ください。



参照
NECのお問い合わせ先 『121ware
ガイドブック』



チェック!!
パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように、廃棄の際にはこれらの情報を削除することをおすすめします。

9

再セットアップ

システムを起動できなくなったときなどのトラブル解決の最終手段として「再セットアップ」があります。しかし、再セットアップすると大切なデータや設定内容が失われてしまう場合があります。

再セットアップするときは、必ずこのPARTの記載の順序にしたがって、データのバックアップや他の手段での解決を試してから、実行するようにしてください。



どうしてもトラブルを解決できないときの最終手段が再セットアップ。

でもちょっと待って。他の手段は試しましたか？本当に再セットアップするんですか？

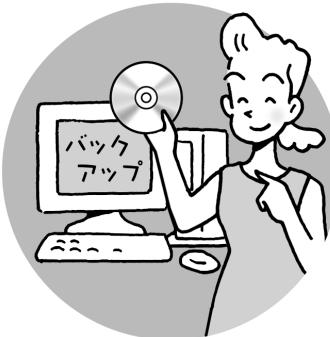
再セットアップとは こんな作業です

再セットアップとは、パソコンを買ってきて接続した後で行ったセットアップ(パソコンを使えるようにする作業)をもう一度行うことです。

ひんばんにエラーメッセージが表示されたり、画面が動かなくなったりするような場合は、システムが壊れたり、変更されたりした可能性があります。再セットアップすると、パソコンを購入時の状態に戻すことができます。



再セットアップすると、 どうなるの？



再セットアップすると、パソコンを買ってから今まで積み上げてきたもの(自分で作成した文書や、住所録、やり取りしたメールの内容、登録したメールアドレス、インターネットの設定、「お気に入り」として登録したホームページのアドレスなど)が一瞬になくなってしまいます。市販のソフトや周辺機器のドライバをインストールしていた場合は、これらもすべて失われます。大切なデータは、再セットアップ前に必ずバックアップ(p.187)しましょう。

再セットアップする前に、試してみよう


このマニュアルの「PART8 トラブル解決Q&A」や電子マニュアル「ばそガイド」の「トラブル解決Q&A」でトラブル事例が見つからなくても、すぐに再セットアップしたりせず、次のことを試してみてください。再セットアップしなくても済むことが意外に多いものです。



1 ウイルスチェックを試してみる


「知らないうちにデータがなくなった」、「見たことのない文字(または画像、映像)が表示された」といったトラブルが起きた場合、パソコンがウイルスに感染している可能性があります。ウイルスに感染していないかチェックしてみましょう。ウイルスが駆除されればパソコンが正常に使えるようになることがあります。

このパソコンにはウイルスを検出できる「Norton AntiVirus」があります。

【参照】Norton AntiVirus  「ばそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」

2 「ディスクのチェック」を試してみる

ハードディスクにトラブルが起きている場合は、「ディスクのチェック」を行うことでトラブルが改善されることがあります。

【参照】「ディスクのチェック」について  「ばそガイド」-「ウイルスとトラブルの予防」

3 Windows XPの「ヘルプとサポート」や、周辺機器またはアプリケーションのヘルプやマニュアルに解決方法がないか探してみる

4 インターネットで解決方法を探してみる

インターネットに接続できるなら、NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」やマイクロソフトサポート技術情報などでトラブル事例がないか探してみましょう。

いろいろ試してみたけれど...

これまでのところでトラブルが解決できなかった場合は、次の順番で試してみてください。それでもトラブルが解決されなかった場合は、再セットアップが必要になります。

セーフモードで
起動してみる (p.186)

データのバック
アップを取る (p.187)

システムを
修復してみる (p.189)

再セットアップ
に進む (p.191)

セーフモードで起動してみる

電源を入れてもパソコンが正常に起動しないときなどに、「セーフモード」でいったん起動して、「ディスクのチェック」などを行ってからパソコンを再起動すると、正常な状態に戻せる場合があります。

セーフモードでパソコンを起動する

- 1 パソコン本体の電源を入れます
- 2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら、【F8】を何回か押します
「Windows 拡張オプション メニュー」が表示されます。
- 3 【↑】、【↓】を使って「セーフモード」を選び、【Enter】を押します
- 4 「オペレーティング システムの選択」が表示されたときは、「Microsoft Windows XP Professional」を選んで【Enter】を押します
- 5 ユーザー選択の画面が表示された場合は、適当なユーザー名を選んでクリックします
「Windowsはセーフ モードで実行されています。」と表示されます。
- 6 「はい」をクリックします
これで、パソコンはセーフモードで起動しました。
続けて「ディスクのチェック」などのトラブル解決を行うときは、「スタート」ボタン 「ヘルプとサポート」で調べてみてください。

この方法でトラブルが解決しなかった場合は、次の「データのバックアップを取る」(p.187)で大切なデータをバックアップした後で、「システムを修復してみる」(p.189)へ進んでください。

セーフモードは、Windowsの機能を限定して、必要最小限のシステム環境でパソコンを起動する、Windowsの起動モードのひとつです。通常の操作ではパソコンが起動しない場合でも、セーフモードならば起動できることがあります。

セーフモードについて、詳しくは「スタート」-「ヘルプとサポート」-「問題を解決する」-「問題のトラブルシューティング」-「Windowsをセーフモードで起動する」をご覧ください。

✓チェック!!

- ・セーフモードでは、Windowsの最小限の機能しか使えません。
- ・セーフモードで起動した後、「スタート」メニューの「終了オプション」から「再起動」をクリックし、再起動して問題なければ正常な状態に戻ります。
- ・手順2で「Windows 拡張オプション メニュー」の画面が表示されずにWindowsが起動してしまった場合は、いったんWindowsを終了し、もう一度手順1からやり直してください。
- ・ディスプレイがセットになっているモデルの場合、ディスプレイの特性により手順2で「NEC」のロゴ画面が表示されず【F8】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、キーボードの【Fn】のランプが点灯するタイミングで、【F8】を何回か押してください。

データのバックアップを取る

システムを修復したり、再セットアップしたりすると、大切なデータが失われることがあります。これらの作業の前に、大切なデータは必ずバックアップを取ってください。


「バックアップ-NX」を使ってバックアップを取る

パソコンでトラブルが起きたとき、Windowsそのものやこのパソコンに添付のアプリケーションは「システムを修復してみる」(p.189)や「再セットアップする」(p.193)で復元する(正常な状態に戻す)ことができますが、一般に自分で作成した文書や、住所録、電子メール、インターネットの設定などは元には戻せません。大切なデータを失わないためには、これらの方法を行う前に別の場所にデータのコピーを保存しておく(バックアップする)必要があります。


このパソコンには、簡単にバックアップを取ってあとから復元できる「バックアップ-NX」というアプリケーションがあります。「バックアップ-NX」を使ってバックアップできるものには、次のようなものがあります。

- ・このパソコンに添付されているアプリケーションで作成したデータ(ソフトチョイス対応アプリケーションは除く)
- ・インターネット接続時の設定

ここでは、このパソコンに添付の「バックアップ-NX」というアプリケーションを使ってハードディスクの「Dドライブ」にデータをバックアップする手順を説明します。

- 1 「スタート」をクリックし、「すべてのプログラム」,「アプリケーション」,「バックアップ-NX(パソコン乗換機能付)」の順にクリックします
- 2 「このコンピュータのデータをバックアップまたは復元する」をクリックして、「次へ」をクリックします
- 3 「機能選択」の「バックアップする」が  になっていることを確認した後、「次へ」をクリックします
- 4 「バックアップするアプリケーション」欄でデータをバックアップしたいアプリケーションが になっていることを確認します
- 5 「バックアップ先ファイル名」を確認します
- 6 「開始」をクリックします
データのバックアップが始まります。しばらくすると「バックアップは正常終了しました」と表示されます。

参照

バックアップ-NX  「ばそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」


メモ

ここで使用する「Dドライブ」は、ハードディスクの中にありますが、システムの修復やCドライブのみ再セットアップを行う際には影響を受けないので、一時的なバックアップ先には適しています。

バックアップデータをハードディスク以外の場所に保管したい場合は、DVD-RAM、DVD-R/RW、CD-R/RW などを使ってください。

チェック!!

ハードディスクの領域を1つにして再セットアップする場合や、Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップする場合は、再セットアップ後にDドライブのデータも消えてしまいます。別途CD-R/RWメディア等へデータのバックアップを取っておいてください。

- 7 「閉じる」をクリックし、画面右上のをクリックします
これでデータのバックアップは終了です。

家族など、複数のユーザーでパソコンを共有している場合
家族など、複数のユーザーでこのパソコンを共有している場合は、
ユーザーの人数分だけバックアップが必要になります。例えば
ユーザーAとユーザーBで共有している場合は、次の順序でバック
アップできます。

①ユーザーAでログオンする ②前ページの手順1から手順7
を行う ③ユーザーBでログオンする ④②と同じ操作をする
ユーザーの切り替えは、「スタート」ボタン、「ログオフ」、「ユー
ザーの切り替え」の順をクリックすると表示される「ようこそ」画
面で行います。

「バックアップ-NX」では別売のアプリケーションで作成したデータの
バックアップを取るように設定することもできます。詳しくは、「ばそガイド」の「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」-「バックアップ-NX」をご覧ください。

なお、アプリケーションによっては、「バックアップ-NX」でバックアップ
できません。詳しくは、「ばそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンのデー
タ移動」の「アプリケーションデータを移す」をご覧ください。

チェック!!

- ・「バックアップ-NX」では、複数ユーザーのデータを同時にバックアップすることはできません。
- ・Windowsの「制限ユーザー」では、「バックアップ-NX」は利用できません。
- ・「バックアップ-NX」でバックアップしたデータは、このパソコンを再セットアップしたら、すぐに復元操作をしてください。
しばらくパソコンを使用してから復元をすると、再セットアップ後に作成したデータが上書きされ、失われることがあります。

システムを修復してみる


ここに示した方法では、壊れてしまったWindowsのシステムだけを復旧するので、「マイドキュメント」に保存したデータファイルなどの多くは、そのまま残しておけます。

再セットアップの前に、この方法で復旧を試みることをおすすめします。

システムの修復を行う前に、大切なデータは必ずバックアップを取ってください。システムを修復することで大切なデータが失われることがあります。

「システムの復元」を試してみる

「システムの復元」の機能を使うと、トラブルが発生する前の「復元ポイント」を指定して、その時点でのWindowsシステムの状態を復元できます。Windowsが正常に起動しない場合は、「セーフモードでパソコンを起動する」(p.186)でセーフモードで起動した後、「システムの復元」を行ってください。

- 1 「スタート」ボタンから、「すべてのプログラム」>「アクセサリ」>「システムツール」>「システムの復元」の順にクリックします
「システムの復元」画面が表示されます。
- 2 「コンピュータを以前の状態に復元する」が  になっていることを確認して、「次へ」をクリックします
「復元ポイントの選択」画面が表示されます。
- 3 カレンダーから適切な日付を選びます
- 4 復元ポイントを選びます
画面右のカレンダーに表示されている時間のうち、適切な時間を選びます。
- 5 「次へ」をクリックします
「復元ポイントの選択の確認」画面が表示されます。
- 6 内容を確認して「次へ」をクリックします
選択した「復元ポイント」の時点でさかのぼって、パソコンのシステムが復元されます。
- 7 「OK」をクリックします

メモ

このパソコンでは、ご購入後最初の「セットアップ」作業を行ったときに、自動的に復元ポイントが作成されるようになっています。

チェック!!

システムの復元を行うときは、前もって起動中のアプリケーションを終了させてください。

参照

システムの復元 「スタート」>「ヘルプとサポート」>「問題を解決する」>「システムの復元を使って変更を元に戻す」

チェック!!

セーフモードで起動したときは、復元ポイントの作成はできません。


前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する

セーフモードでもパソコンが起動できず、前ページの「システムの復元」も行えなかったときでも、次の操作で起動できることがあります。

- 1 パソコンの電源を入れます
- 2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら、【F8】を何回か押します
「Windows 拡張オプション メニュー」が表示されます。
- 3 「前回正常起動時の構成」を選択し、【Enter】を押します
「オペレーティングシステムの選択」の画面が表示された場合は、「Microsoft Windows XP Professional」を選んで【Enter】を押してください。
これで、前回正常起動時の構成を使用してWindows XPが起動します。

左の操作を行うと、最後にWindowsが正常に動いていたときのシステム状態でWindowsが起動されます。詳しくは「スタート」-「ヘルプとサポート」-「問題を解決する」-「問題のトラブルシューティング」-「前回正常起動時の構成を使ってコンピュータを起動する」をご覧ください。

チェック!!

- ・ 手順2で「Windows 拡張オプション メニュー」の画面が表示されずにWindowsが起動してしまった場合は、いったんWindowsを終了し、もう一度手順1からやり直してください。
- ・ ディスプレイがセットになっているモデルの場合に、ディスプレイの特性により手順2で「NEC」のロゴ画面が表示されず【F8】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、キーボードののランプが点灯するタイミングで、【F8】を何回か押してください。

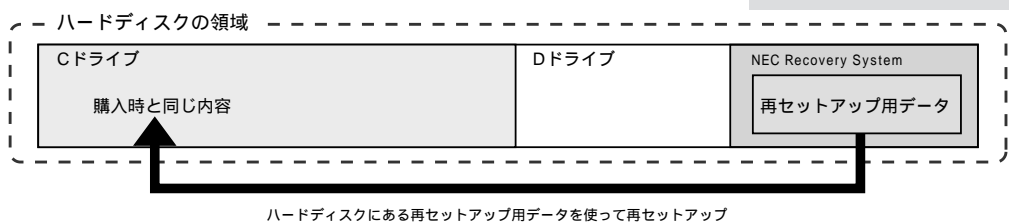
2種類の再セットアップ方法

このパソコンを再セットアップする方法は、2種類用意されています。用途や注意点などを確認して、どちらの方法で再セットアップするかを決めてください。

ハードディスクの状態を購入時から変更(ダイナミックディスクなど)した場合、この再セットアップを利用することはできません。

Cドライブのみ再セットアップする

ハードディスクに格納されている再セットアップ領域のデータを、Cドライブに書き込む再セットアップ方法です。ハードディスクの領域の変更はしません。



こんなことができます

- ・Cドライブのデータを手軽に購入時の状態に戻せます
- ・Dドライブのデータは保護されます。

こんな方におすすめ

- ・再セットアップしたいほとんどの方におすすめ
- ・まだパソコンに慣れていない方、ハードディスクのフォーマットなどの経験がない方は、必ずこの方法で再セットアップしてください

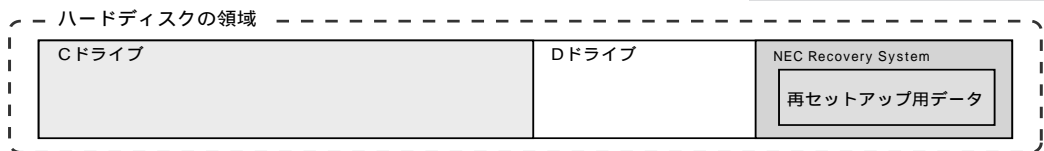
「再セットアップする」(p.193)に進んでください

この方法で再セットアップをすると、Cドライブに保存されているデータはすべて削除されますので、必要なデータは再セットアップの前にバックアップを取っておく必要があります。

Cドライブのサイズを変更して再セットアップする

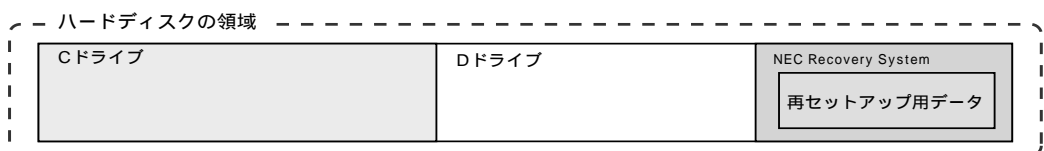
Cドライブのサイズを大きくしたり小さくしたりできます。

<購入時の状態>



Cドライブのサイズを変更できる

<再セットアップ後の状態>



こんなことができます

- ・Cドライブのサイズを変更する

こんな方におすすめ

- ・パソコンやハードディスクの知識を十分にお持ちの方
- ・ハードディスクの領域を変更したい方

「Cドライブの領域を変更して再セットアップする」(p.204)に進んでください

この方法で再セットアップをすると、ハードディスクに保存されているデータはすべて削除されます。Dドライブのデータも削除されますので、必要なデータは再セットアップの前にバックアップを取っておく必要があります。

Dドライブにあるソフトチョイス対応アプリケーションのセットアップファイルをバックアップするには、「再セットアップディスク作成ツール」が便利です。詳しくは、この後の「再セットアップ用CD/DVD-ROMの作成」(p.206)をご覧ください。

再セットアップする

再セットアップを行うと、このパソコンのハードディスクのCドライブの内容をご購入時と同じ状態に戻せます。

再セットアップの手順

再セットアップは次の13項目の手順で行います。それぞれの作業にかかる時間の目安も参考にしてください。

再セットアップをはじめたら、途中でやめしないで、必ず手順通り最後まで行ってください。

1. 必要なものを準備する
2. バックアップしたデータを確認する
3. インターネットやLANなどの設定を控える
4. ユーザー名を控える
5. BIOSの設定を初期値に戻す
6. 別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す
7. システムを再セットアップする(約1時間)
8. Windows XPの設定をする(約10分)
9. Office XP Personalを再セットアップする(OFFICE XPモデルの場合)(約30分)
10. 別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定し直す
11. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
12. 別売のアプリケーションをインストールし直す
13. バックアップしたデータを復元する

再セットアップする前に、大切なデータは必ずバックアップを取ってください。再セットアップすると、Cドライブに保存してあるデータはすべて失われます。

☑️チェック!!

- ・再セットアップは中断しないでください。
- ・再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。それぞれ、再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

📖参照

バックアップについて「データのバックアップを取る」(p.187)

1. 必要なものを準備する

再セットアップの作業をはじめる前に、このパソコンに添付されている次のものを準備してください。

- ・「Microsoft® Office XP Personal」CD-ROM(Office XP モデルのみ)
- ・「Office XP ツール CD」CD-ROM(Office XP モデルのみ)

また、このパソコンの購入後に自分でインストールしたアプリケーションを使うときは、そのインストール用のディスクが必要です。準備しておいたほうがいいでしょう。


2. バックアップしたデータを確認する

「データのバックアップを取る」(p.187)でDドライブにバックアップしたデータの内容を、もう一度確認してください。バックアップに失敗しているものがあつたり、バックアップし忘れていたデータが見つかったときは、バックアップを取り直してください。

3. インターネットやLANなどの設定を控える

インターネットを使っているときは、インターネットのIDやアドレスなど、インターネット接続に必要な情報をメモしてください。

インターネットやLANなどの設定は、再セットアップを行うとすべて消去されます。

「バックアップ-NX」を使うと、電話回線を使ってインターネットへ接続するときに設定する情報の一部をバックアップできます。「バックアップ-NX」について詳しくは、「ばそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50 音別目次」をご覧ください。

BIGLOBEに入会していて、会員証があるときは、会員証を用意してください。インターネットの接続に必要な情報のうち、アクセスポイント以外の情報は会員証に記載されています。

- ・ユーザーID
- ・仮パスワード、または正式パスワード
- ・電子メールアドレス
- ・メールパスワード
- ・プライマリDNS
- ・セカンダリDNS
- ・インターネットメールサーバ
- ・ニュースサーバ
- ・設定したアクセスポイントの電話番号

チェック!!

準備するものは、モデルによって異なります。再セットアップ中に表示される「再セットアップの準備」の画面で確認して、すべて準備してください。

チェック!!

再セットアップしても、サインアップで得たインターネットのIDなどは無効にはなりません。必ず書き留めて、あとで設定し直してください。

チェック!!

ダイヤルアップネットワークのパスワードはバックアップされません。

チェック!!

受信したメールや「お気に入り」に登録したURLは、再セットアップを行うと消えてしまいます。必要な場合は、「バックアップ-NX」でメールやURLファイルのバックアップをとっておいてください。

4. ユーザー名を控える

家族など、複数のユーザーでパソコンを共有している場合
家族など、複数のユーザーでこのパソコンを共有している場合は、
必ずパソコンを共有しているユーザー名すべてを正しく控えてく
ださい。「8.Windows XPの設定をする」(p.196)で登録する
ユーザー名が一致しなかったユーザーのデータは復元できません。

	ユーザー名
1人目	
2人目	
3人目	
4人目	

5. BIOS の設定を初期値に戻す

BIOSの設定を変更した場合は、BIOSセットアップメニューを起動して、
BIOSの設定を初期値(デフォルト値)に戻してください。なお、初期値に
戻す前に、現在の設定内容をメモに取るなどして控えておくことをおすす
めします。

6. 別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナ など)を取り外す

別売の周辺機器は、すべて取り外してください。

PART2をご覧になり、このパソコンに付属していた機器のみを接続した
状態にしてください。

7. システムを再セットアップする

- 1 パソコンの電源を入れます
- 2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら、「再セットアップとは」の画面が表
示されるまで【F11】を何回か押します
- 3 「再セットアップとは」の画面が表示されたら、【Enter】を押します
- 4 「準備するもの」の画面が表示されたら、【 】【 】を使って<次へ>
を選び、【Enter】を押します
- 5 「再セットアップを始める前に」の画面が表示されたら、【 】【 】を
使って<次へ>を選び、【Enter】を押します

✓チェック!!

ユーザー名を控えるときには、次の
点に注意してください。

- ・ 大文字と小文字の区別に注意
- ・ 全角と半角の区別に注意
- ・ 入力ミスに注意(数字の「1」とアルファベットの「l」(エル)など)

📖参照

BIOS の設定を初期値に戻すには
PART7 の「BIOS セットアップメ
ニュー」(p.149)

✓チェック!!

外付けのハードディスクドライブな
どを接続したまま再セットアップを
すると、ハードディスク内のデータ
が削除される場合があります。

✓チェック!!

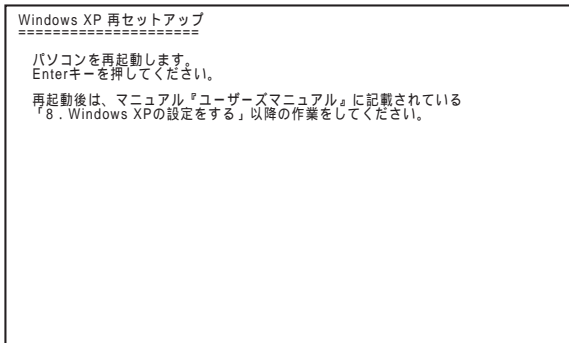
- ・ 手順2で左の画面が表示されずに
Windows が起動してしまった場
合は、いったん Windows を終了
し、もう一度手順1からやり直し
てください。
- ・ ディスプレイがセットになってい
るモデルの場合に、ディスプレイ
の特性により手順2で「NEC」のロ
ゴ画面が表示されず【F11】を押
せなかったときは、本体の電源を
入れた直後、キーボードの⏻のラン
プが点灯するタイミングで、
【F11】を何回か押してください。

6 「再セットアップの種類を選択する」の画面が表示されたら、【 F10 】を使って<Cドライブのみ再セットアップ>を選び、【 Enter 】を押します

<Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ>を選ぶと、Cドライブの領域サイズを変更することができます。詳しくは「Cドライブの領域を変更して再セットアップする」(p.204)をご覧ください。

7 「Cドライブのみ再セットアップ」の画面が表示されたら、【 F10 】を使って<再セットアップを開始する>を選び、【 Enter 】を押します
再セットアップが始まります。

8 しばらくして画面に「パソコンを再起動します。Enterキーを押してください。」と表示されたら、【 Enter 】を押します



システムが再起動します。次の「8.Windows XPの設定をする」に進んでください。

8. Windows XP の設定をする

手順11で登録するユーザー名は、PART3のp.35で控えたユーザー名と同じものにしてください。また、再セットアップする前に複数のユーザーでこのパソコンを共有していた場合は、「4.ユーザー名を控える」(p.195)で控えたユーザー名を、再セットアップした後に登録してください。ユーザー名が再セットアップする前のものと一致しない場合は、そのユーザーのデータは復元できません。

1 「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されていることを確認します











チェック!!

- ・再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。手順6の「再セットアップを開始」の画面でご確認ください。
- ・再セットアップがはじまったら、画面からの指示がない限り、パソコン本体の電源スイッチを押さないでください。再セットアップ中に数回ビープ音(ピーという音)が鳴ることがありますが、これは再セットアップの処理が正しく進んでいることを示すもので、故障ではありません。

チェック!!


左の画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常に行われていません。前ページの手順1からやり直してください。

- 2** 「次へ」をクリックします
「使用許諾契約」の画面が表示されます。
- 3** 「同意します」の  をクリックして  にして、「次へ」をクリックします
「コンピュータに名前を付けてください」の画面が表示されます。
- 4** 「次へ」をクリックします
・「管理者パスワードを設定してください」の画面が表示された場合
手順5へ進む
・「インターネット接続が選択されませんでした」または、「インターネットに接続する方法を指定してください」の画面が表示された場合
手順8へ進む
- 5** 「管理者パスワード」の欄をクリックして、管理者パスワードを入力します
- 6** 「パスワードの確認入力」の欄をクリックして、もう一度同じパスワードを入力し、「次へ」をクリックします
・「このコンピュータをドメインに参加させますか？」の画面が表示された場合
手順7へ進む
・「インターネット接続が選択されませんでした」または、「インターネットに接続する方法を指定してください」の画面が表示された場合
手順8へ進む
- 7** 「いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません」の  が  になっていることを確認して、「次へ」をクリックします
- 8** 「インターネット接続が選択されませんでした」または、「インターネットに接続する方法を指定してください」の画面が表示された場合は、「省略」をクリックします
- 9** 「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」の画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」の  をクリックして  にして、「次へ」をクリックします
- 10** 「今すぐインターネット アクセスのセットアップを行いますか？」の画面が表示された場合は、「いいえ、今回はインターネットに接続しません」の  をクリックして  にして、「次へ」をクリックします
「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」の画面が表示されます。
- 11** PART3のp.35で控えたユーザー名を「ユーザー1」に正確に入力して、「次へ」をクリックします
「設定が完了しました」の画面が表示されます。
- 12** 「完了」をクリックします
しばらくすると、Windowsのデスクトップ画面上に「パソコンの診断が終了しました。」の画面が表示されます。

メモ

- ・文字入力に慣れていない方は、手順3でコンピュータ名をつけてもかまいません。入力するときは、半角英数字を使ってください。
- ・コンピュータ名はセットアップ後にも変更できます。詳しくは、「スタート」ボタン-「ヘルプとサポート」で「コンピュータ名」で検索し、「コンピュータ名を変更する」をご覧ください。

メモ

- ・パスワードは覚えやすく、忘れないようなものにしてください。
- ・パスワードには大文字 / 小文字の区別があります。
- ・入力したパスワードは「」で表示されます。
- ・ここで入力したパスワードは、セットアップ後に変更することもできます。

チェック!!

コンピュータをドメインに参加させる場合は、セットアップ完了後に設定してください。設定方法については、Windowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

チェック!!

インターネット接続の設定は、セットアップ終了後に行ってください。

チェック!!


ここでは、「ユーザー1」のみ入力してください。ユーザー名は後で追加や変更ができます。詳しくは「スタート」ボタン-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

13 「次へ」をクリックします

この後の手順は、お使いの機種によって表示される画面が異なります。
次の説明を参考にして、セットアップを続けてください。

「家族みんなで、上手にパソコンを共有しよう！」画面が表示された場合は 手順14に進む

「121ポップリンクの設定」画面が表示された場合は 手順17に進む

14 1人の左がになっていることを確認して、「次へ」をクリックします


「ユーザの一括登録」の画面が表示されます。

15 「ユーザ名」欄に手順11で登録したユーザー名が表示されていることを確認して、「登録完了」をクリックします

「ユーザ環境の設定」の画面が表示されます

16 登録した内容を確認して、「終了」をクリックします

「121ポップリンクの設定」の画面が表示されます。

17 「利用する」がになっていることを確認して、「次へ」をクリックします

「設定が完了しました。」の画面が表示されます。

ここで、「利用する」を選ぶと、お使いのパソコンに適した最新情報がNECから定期的にインターネット経由で届くようになります。

121ポップリンクの設定はセットアップ後に変更することができます。

18 「完了」をクリックします

パソコンの設定が行われ、Windowsが再起動します。

これでWindows XPの設定は終了です。

Office XPモデルの場合は、次の「9.Office XP Personalを再セットアップする」に進んでください。

Office XPモデル以外の場合は、「10.別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定し直す(p.51)」に進んでください。




9. Office XP Personalを再セットアップする(Office XPモデルの場合)

Office XPモデルをお使いの場合は、Office XP Personalを再セットアップしてください。

Office XP Personalのセットアップ


本機にセットアップされている「Office XP Personal」は、機能を厳選してセットアップされています。必要のない機能を削除する方法や、削除した機能を再追加する方法については、添付の「Office XP Personal」のマニュアルをご覧ください。

ここでは、「カスタム」でご購入時の機能をセットアップする方法を説明します。

- 1 「Microsoft® Office XP Personal」CD-ROMをCD/DVDドライブにセットします
「Microsoft Office XP セットアップ」の画面が表示されます。
「Microsoft Office XP セットアップ」の画面が自動表示されない場合は、「スタート」「マイコンピュータ」をクリックし、CD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。
- 2 「ユーザー情報 (ユーザー名など)を入力します
- 3 「次へ」をクリックします
「使用許諾契約書」と表示されます。
- 4 内容に同意の上、「使用許諾契約書」の条項に同意します」の をクリックして にして、「次へ」をクリックします
「インストールの種類を指定してください」と表示されます。
- 5 「カスタム」の をクリックして にします
インストール先を変更する場合は「参照」をクリックし、インストール先を選び、「OK」をクリックしてください。
- 6 「次へ」をクリックします
- 7 「アプリケーションごとにオプションを指定してインストールします」の をクリックして にします
- 8 「次へ」をクリックします
「Officeのアプリケーションとツールのインストール オプションを指定してください」と表示されます。
- 9 「Microsoft Office」の左側に表示されているアイコン  をクリックします
プルダウンメニューが表示されます。
- 10 「マイコンピュータからすべて実行」をクリックします
- 11 「Microsoft Excel for Windows」-「読み上げ」の左側に表示されているアイコン  をクリックします
プルダウンメニューが表示されます。
- 12 「インストールしない」をクリックします
- 13 「Office共有機能」-「入力システムの拡張」-「音声」の左側に表示されているアイコン  をクリックします
プルダウンメニューが表示されます。
- 14 「インストールしない」をクリックします

チェック!!

灰色で表示されたフォルダがないことを確認してください。灰色で表示されているフォルダがあった場合は、手順 9 からやり直してください。

15 「Office共有機能」-「入力システムの拡張」-「IME」-「IME パッド アプレット」-「音声アプレット」の左側に表示されているアイコンをクリックします
プルダウンメニューが表示されます。

16 「インストールしない」をクリックします

17 「次へ」をクリックします
「インストールを開始します」と表示されます。

18 「完了」をクリックします
インストールがはじまります。

19 再起動を促すメッセージが表示された場合は「はい」をクリックします
Windowsが再起動します
「Microsoft Office XP Personalセットアップが正常に終了しました。」と表示された場合は、「OK」をクリックします。

次に「Office XP Service Pack 1」をインストールします。
「Office XP Service Pack 1」について詳しくは、マイクロソフトのホームページをご覧ください。
<http://www.microsoft.com/japan/office/downloads/xpsp1/>

20 デスクトップの「Microsoft Office XP Service Pack」フォルダをダブルクリックします
「XPSP」の画面が表示されます。

21 「Microsoft Office XP Service Pack1」アイコンをダブルクリックします
「このアップデート プログラムをインストールしますか?」と表示されます。

22 「はい」をクリックします
「使用許諾契約」の画面が表示されます。




23 内容を確認して、「はい」をクリックします
インストールがはじまります。インストールには数分かかります。しばらくお待ちください。

24 「アップデートは正常に適用されました。」と表示されたら、「OK」をクリックします

次に「Office XP Service Pack 2」をインストールします。
「Office XP Service Pack 2」について詳しくは、マイクロソフトのホームページをご覧ください。
<http://www.microsoft.com/japan/office/downloads/xpsp2/>

チェック!!

Office XP Service Pack 2のインストールは、必ず「Office XP Service Pack 1」のインストールが完了してから行ってください。

- 25** 「Microsoft Office XP Service Pack 2」アイコンをダブルクリックします
「このアップデート プログラムをインストールしますか?」と表示されます。
- 26** 「はい」をクリックします
「使用許諾契約」の画面が表示されます。
- 27** 内容を確認して、「はい」をクリックします
インストールが始まります。インストールには数分かかることがあります。しばらくお待ちください。
- 28** 「アップデートは正常に適用されました。」と表示されたら、「OK」をクリックします
- 29** 「OXPS」画面右上の  をクリックします
画面が閉じます。
- 30** CD/DVDドライブから、「Microsoft® Office XP Personal」CD-ROMを取り出します
次に、「Outlook Plus!」をインストールします。
- 31** 「Office XP ツール CD」CD-ROMをCD/DVDドライブにセットします
「Microsoft Office XP ツールCD ツールセットアップ」画面が表示されます。
- 32** 「Plus!」のボタンをクリックします
「Microsoft Outlook Plus! Version 2.0 インストール ウィザードへようこそ」画面が表示されます。
- 33** 「次へ」をクリックします
「使用許諾契約書」画面が表示されます。
- 34** 内容を確認して、「「使用許諾契約書」の条項に同意します」の  をクリックして  にします
- 35** 「次へ」をクリックします。
「インストールの開始」画面が表示されます。
- 36** 「次へ」をクリックします。
インストールが始まります。
- 37** 「Microsoft Outlook Plus! Version 2.0 は正常にインストールされました」と表示されたら、「完了」をクリックします。
- 38** CD/DVDドライブから、「Office XP ツール CD」CD-ROMを取り出します。
これでOffice XPを使う準備ができました。

再セットアップ後、Office XP Personal を利用するときの注意

パソコンの再セットアップ後、Office XP Personalの各アプリケーション(WordやExcelなど)を最初に起動したときに、「Office XP 使用許諾契約書」ウィンドウが表示されます。この場合は、次の手順で、ライセンス認証手続きを行ってください。

- 1 「同意する」をクリックします
「Microsoft Office XP Personalライセンス認証ウィザード」が表示されます。
- 2 ウィザードの画面の案内にしたがって、ライセンス認証手続きを行います
認証手続きのしかたについて詳しくは、添付の「Office XP Personal」のマニュアルをご覧ください。

10. 別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定し直す

- 1 「スタート」をクリックし、「終了オプション」をクリックします
- 2 「電源を切る」をクリックします
パソコンの電源が切れます。
- 3 「6.別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す」(p.195)で取り外した別売の周辺機器を取り付けて、それぞれのセットアップや設定を行います

11. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す

パソコン購入後に行った設定は、再セットアップによってすべて購入時の状態になっているので、設定し直してください。

インターネットやLANを使っていたり、BIOSの設定を変更したりしていたときは、「3.インターネットやLANなどの設定を控える」(p.194)であらかじめとっておいたバックアップや設定、控えたメモの設定に戻してください。

「バックアップ-NX」を使ってインターネットの設定をバックアップしていた場合は、簡単にインターネットなどの設定を元に戻すことができます。IDやアドレスはすでに取得しているものをそのまま使えます。サインアップをやり直す必要はありません。


チェック!!

ライセンス認証手続きは、必ず、パソコンの再セットアップの作業がすべて終わった後に行ってください。

参照

周辺機器の設定 周辺機器のマニュアル、PART5、6


参照

インターネットの再設定  「ベースガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」-「バックアップ-NX」

12. 別売のアプリケーションをインストールし直す

パソコン購入後にインストールしたアプリケーションも消去されているので、インストールし直してください。

13. バックアップしたデータを復元する

「データのバックアップを取る」(p.187)でバックアップしたアプリケーションのデータを復元してください。詳しい手順については、「パソコンガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50 音別目次」-「バックアップ-NX」をご覧ください。

Cドライブの領域を 変更して再セット アップする

- ・ 初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方は、この方法での再セットアップを行わないでください。
- ・ この方法で再セットアップを行うと、Dドライブにあるソフト
チョイス対応アプリケーションのセットアップファイルが削除
されます。セットアップを行う前に、必ずソフトチョイス対応ア
プリケーションCD-ROMまたはDVD-ROMを作成してくださ
い。作成方法は、この後の「再セットアップ用CD/DVD-ROM
の作成」(p.206)で説明しています。

Cドライブの領域サイズを10GバイトからGバイト単位で変更することができます。Dドライブなどを含め、ハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

Cドライブの領域サイズは、ハードディスク全体のサイズから再セットアップ用データを除いたサイズしか確保できません。再セットアップ用データはおよそ6Gバイトになりますが、ハードディスクによって若干前後します。

再セットアップ手順

- 1 このPARTの「再セットアップする」の「2.バックアップしたデータを
確認する」~「7.システムを再セットアップする」の手順5までの操作
を行います
- 2 「再セットアップの種類を選択する」の画面が表示されたら、【 **X** 】
を使って<Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ>を選
び、【Enter】を押します
- 3 以降は、画面の表示内容をよく読んで、操作します

✓チェック!!

再セットアップをはじめる前に、大切なデータはバックアップを取っておいてください。詳しくは、「データのバックアップを取る」(p.187)をご覧ください。

✓チェック!!

- ・ 再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。再セットアップ中に表示される画面でご確認ください。
- ・ 再セットアップ中に数回ピーブ音(ビーという音)が鳴ることがありますが、これは再セットアップの処理が正しく進んでいることを示すもので、故障ではありません。
- ・ 再セットアップをはじめたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後まで行ってください。

再セットアップ用CD/DVD-ROMから再セットアップする

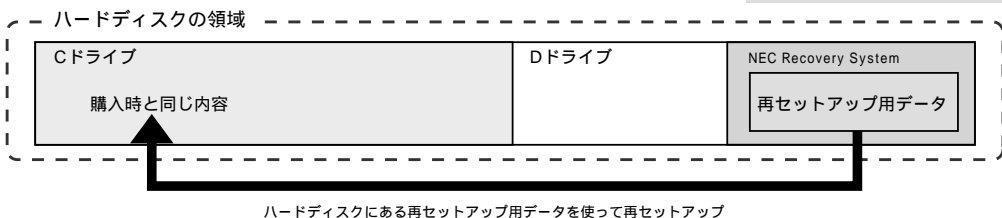
ここでは、このパソコンで作成することができる「再セットアップ用CD/DVD-ROM」の概要とその作り方、および使い方について説明しています。初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方は、この方法での再セットアップを行わないでください。「再セットアップ用CD/DVD-ROM」は、コンピュータの管理者権限を持ったユーザで作成してください。

メモ

このパソコンには「再セットアップ用CD/DVD-ROM」は添付されていません。次ページの「再セットアップ用CD/DVD-ROMの作成」をご覧ください。ご自分で作成していただく必要があります。

再セットアップ用CD/DVD-ROMとは

このパソコンは、次のように、ハードディスク内の「再セットアップ領域」に保存されている再セットアップ用データを使って、再セットアップを行うしくみになっています。



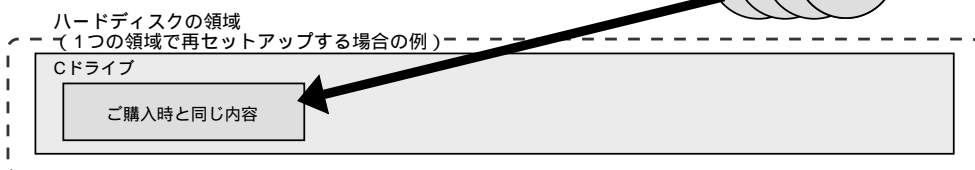
通常は、「再セットアップする」(p.193)をご覧ください。上記の方法で再セットアップしてください。

その他に「再セットアップ用CD/DVD-ROM」を使った再セットアップ方法が利用できます。

<購入時の状態>



<再セットアップ後の状態>



この「再セットアップ用CD/DVD-ROM」を使った再セットアップ方法は、次のような場合にのみご利用ください。

- ・Cドライブのみ再セットアップしたいとき
- ・ハードディスクの領域をすべてCドライブで使いたい(1パーティションにしたい)とき
- ・Cドライブのサイズを自由に作成したいとき

再セットアップ用CD/DVD-ROMの作成

準備

再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成するときは、「RecordNow DX」というアプリケーションを使います。「RecordNow DX」は、ご購入時にこのパソコンにインストールされていますが、削除してしまっている場合は、あらかじめ追加しておいてください。

再セットアップ用CD/DVD-ROMは、CD-RディスクまたはDVD-Rディスクのどちらでも作成できます。

再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成するために必要なCD-RディスクまたはDVD-Rディスクの枚数は次の通りです。

「再セットアップ用CD-ROM」の作成に必要なCD-Rディスクの枚数
9枚～10枚()
「再セットアップ用DVD-ROM」の作成に必要なDVD-Rディスクの枚数
1枚～2枚()

：お使いのモデルによって必要なCD-RディスクまたはDVD-Rディスクの枚数は異なります。この後の「再セットアップ用CD/DVD-ROMの作成手順」の手順3で表示される画面で確認の上、必要な枚数の未使用のCD-RディスクまたはDVD-Rディスクをご用意ください。

作成時の注意


再セットアップ用CD/DVD-ROMの作成中に他のアプリケーションソフトが起動していると、CD-RまたはDVD-Rへの書き込み中にエラーが発生することがあります。作成を開始する前に、次の操作を行っておくことをおすすめします。

- ・スクリーンセーバーが起動しないように設定する
- ・自動的にスタンバイ状態/休止状態にならないように設定する
- ・起動中のアプリケーションをすべて終了する
- ・常駐プログラムをすべて終了する
- ・Cドライブの空き容量を、CD-Rで作成する場合は800Mバイト、DVD-Rで作成するには4.5Gバイト以上になるようにする

再セットアップ用CD/DVD-ROMの作成手順

手順2の画面で「再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成する」を選択した場合と、「ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMを作成する」を選択した場合で、手順4以降の操作は共通になります。

参考

RecordNow DXを追加する  「ばそガイド」-「アプリケーション紹介と説明」-「アプリケーションの追加と削除」

チェック!!

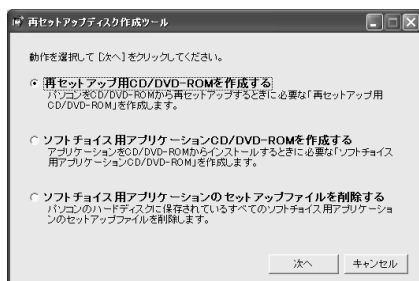
必ず、700Mバイトまたは650Mバイトの「CD-Rディスク」または4.7Gバイトの「DVD-Rディスク」を用意してください。CD-RWディスクやDVD-RWディスク、DVD+R/RWディスク、DVD-RAMディスクでは、「再セットアップ用CD/DVD-ROM」を作成できません。

1 用意したCD-RディスクまたはDVD-RディスクをCD/DVDドライブにセットします

「Windowsが実行する動作を選んでください。」と表示された場合は、「何もしない」をクリックし、「常に選択した動作を行う。」のをクリックしてにし、「OK」をクリックします。

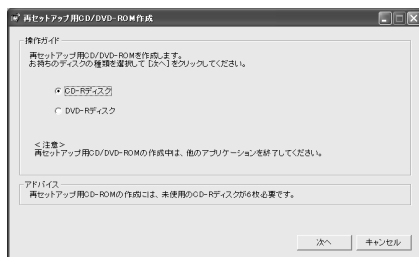
2 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アプリケーション」→「再セットアップディスク作成ツール」をクリックします

「再セットアップディスク作成ツール」の画面が表示されます。



3 「再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成する」が**◎**になっていることを確認して、「次へ」をクリックします

次の画面が表示されます。

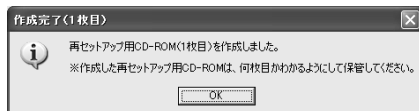


4 使用するディスクの種類を選択して、「次へ」をクリックします

5 「作成開始ディスク」と「書き込み速度」をプルダウンメニューからそれぞれ選び、「次へ」をクリックします

6 「作成開始」をクリックします

作成が終了すると自動的にディスクが排出され、次の画面が表示されます。



◎チェック!!

次の場合は、「再セットアップディスク作成ツール」画面に「ソフトチャイス用アプリケーションCD/DVD-ROMを作成する」は表示されません。

- ・ソフトチャイス用アプリケーションなしモデルの場合
- ・ソフトチャイス用アプリケーションのセットアップファイルを削除した場合

◎チェック!!

DVD-Rディスクは、DVD-RAM/R/RW with DVD + R/RWモデル、DVD-RAM/R/RWモデル、DVD-R/RWモデルの場合のみ選択できます。

◎チェック!!

- ・用意したCD-RディスクまたはDVD-Rディスクに対応した書き込み速度を選んでください。
- ・書き込みに失敗した場合は、書き込み速度を落としてから作成してください。このとき、2枚目以降の書き込みに失敗したときなど、途中から作成する場合は、「作成開始ディスク」から作成を開始するディスクを選んでください。

7 「OK」をクリックします

ディスクを取り出し、次のディスクをセットします。最後のディスクまで同じ作業を繰り返します。これで再セットアップ用CD/DVD-ROMの作成(書き出し)は終了です。

ハードディスクの全領域をすべてCドライブにして再セットアップを行う場合は、Dドライブにある「ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイル」も削除されます。

再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成した後、必ずソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMも作成してください。ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMは、「再セットアップ用CD/DVD-ROMの作成手順」の手順2までを行い、手順3で「ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMを作成する」を \odot にして「次へ」をクリックすることで作成できます。

ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルを削除する

ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMを作成した後でソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルを削除すると、Dドライブの容量を増やすことができます。

- 1 「スタート」>「すべてのプログラム」>「アプリケーション」>「再セットアップディスク作成ツール」をクリックします
「再セットアップディスク作成ツール」の画面が表示されます。
- 2 「ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルを削除する」を \odot にして「次へ」をクリックします
- 3 「削除を実行」をクリックします
- 4 「本当に実行しますか？」と表示されるので、「はい」をクリックします
ソフトチョイス用アプリケーションの削除がはじまります。しばらくすると、次の画面が表示されます。



5 「OK」をクリックします

これでソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルの削除は終了です。

✓チェック!!

作成した「再セットアップ用CD/DVD-ROM」は、何枚目かわかるように記入しておいてください。また、紛失したり破損したりすることのないように注意して保管してください。

✓チェック!!

次の場合は、「再セットアップディスク作成ツール」画面に「ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルを削除する」は表示されません。

- ・ソフトチョイス用アプリケーションなしモデルの場合
- ・ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルを削除した場合
- ・ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMを作成していない場合

再セットアップ用CD/DVD-ROMを使って再セットアップする

再セットアップの種類を選ぶ

「再セットアップ用CD/DVD-ROM」を使った再セットアップでは、目的にあわせて、次のような再セットアップができます。

Cドライブのみ再セットアップ

ハードディスクのCドライブの領域のみを再セットアップします。Dドライブなど、Cドライブ以外の領域に保存されていたデータは、再セットアップ前の状態のまま残すことができます。

ハードディスクの領域を1つにして再セットアップ

ハードディスク全体を1つの領域(Cドライブ)として作成できます。Cドライブの領域(サイズ)は最大になりますが、Dドライブなどを含め、ハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

この方法で再セットアップすると、ご購入時にハードディスクに保存されていた「再セットアップ用データ」も削除されるため、以降はハードディスクからの通常の再セットアップは行えなくなります。また、「ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイル」も削除されるため、以降はハードディスクからソフトチョイス用アプリケーションをインストールすることができなくなります。作成した「再セットアップ用CD/DVD-ROM」および「ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROM」を紛失・破損しないよう、保管には十分ご注意ください。

Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ

Cドライブの領域サイズを10GバイトからGバイト単位で変更できます。Dドライブなどを含め、ハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

この方法で再セットアップすると、ご購入時にハードディスクに保存されていた「再セットアップ用データ」も削除されるため、以降はハードディスクからの通常の再セットアップは行えなくなります。また、「ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイル」も削除されるため、以降はハードディスクからソフトチョイス用アプリケーションをインストールすることができなくなります。作成した「再セットアップ用CD/DVD-ROM」および「ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROM」を紛失・破損しないよう、保管には十分ご注意ください。

再セットアップ用CD/DVD-ROMを使った再セットアップ手順

再セットアップ用CD/DVD-ROMから再セットアップを行うときは、次の手順で操作してください。

1 前ページまでの手順で作成した「再セットアップ用CD/DVD-ROM」をすべて用意します

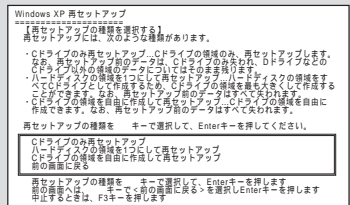
この他、Office XPモデルでは、「Microsoft® Office XP Personal」CD-ROMと「Office XP ツール CD」CD-ROMも用意しておいてください。

✓チェック!!

- ・ハードディスクの状態を購入時から変更(ダイナミックディスクなど)した場合、「再セットアップ用CD/DVD-ROM」を使って、Cドライブのみ再セットアップすることはできません。
- ・再セットアップすると、大切なデータや設定内容の多くが失われてしまいます。再セットアップをはじめる前に、大切なデータはバックアップを取っておいてください。また、トラブルが発生している場合は、他の手段でトラブルを解決できないかもう一度試してみることをおすすめします。詳しくは、「再セットアップ、はじめる前に」(p.184)をご覧ください。

×メモ

再セットアップの種類は、再セットアップ作業中に表示される次の画面で選択します。



✓チェック!!

再セットアップをはじめる前に、大切なデータはバックアップを取っておいてください。詳しくは、「データのバックアップを取る」(p.187)をご覧ください。

2 「再セットアップする」(p.193)をご覧ください、「2. バックアップしたデータを確認する」～「6. 別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す」の操作を行います

3 パソコン本体の電源スイッチを押して電源を入れます

4 電源ランプがついたらすぐに「再セットアップ用CD/DVD-ROM(1枚目)」をCD/DVDドライブにセットします

しばらくすると、次のような画面が表示されるので、画面の内容を読んだら【Enter】を押してください。

```
Windows XP再セットアップ
=====
【再セットアップとは】
再セットアップとは、ハードディスクのCドライブの状態をご購入時の状態に戻す
ことで、次のような場合に行います。
・何らかの原因で、ハードディスク内のシステムが正しく動作しないため、パソコン
の動作が不安定であったり、電源を入れてもパソコンが起動しない。
・再セットアップしないと復元できない機能をパソコンから削除した。
再セットアップについては、パソコンに添付されているマニュアル『ユーザーズマ
ニュアル』を必ずご覧の上、操作してください。
《注意！》
・再セットアップは、途中で中断しないでください( 中断した場合は、最初から
やり直してください)。
続けるときは、Enterキーを押します。
中止するときは、F3キーを押します。
```

5 以降は画面の表示内容をよく読んで、操作します
ディスクを交換する画面が表示されたら、再セットアップ用CD/DVD-ROMを順番にセットしてください。再セットアップ用CD/DVD-ROMを順番にセットしていない場合、「Error」画面が表示されます。「Error」画面が表示された場合は、正しい再セットアップ用CD/DVD-ROMをセットし直してください。

```
Windows XP再セットアップ
=====
パソコンを再起動します。
再セットアップ用CD/DVD-ROMをドライブから取り出してください。
そのあと、Enterキーを押してください。
再起動後は、マニュアル『ユーザーズマニュアル』に記載されている
「8.Windows XPの設定をする」以降の作業をしてください。
```

6 上の画面が表示されたら、CD/DVDドライブから「再セットアップ用CD/DVD-ROM」を取り出して、【Enter】を押します
【Enter】を押すと、自動的にパソコンが再起動します。

7 パソコンが再起動して「Windowsへようこそ」の画面が表示されたら、「8. Windows XPの設定をする」(p.196)以降の操作を行ってください

「13. バックアップしたデータを復元する」(p.203)の操作まで終われば、再セットアップの作業は完了です。

☑チェック!!

手順4で左の画面が表示されずにWindowsが起動してしまったら、「再セットアップ用CD/DVD-ROM(1枚目)」をセットしたまま、「スタート」-「電源オプション」-「再起動」の順にクリックしてください。

☑チェック!!

- ・再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。再セットアップ中に表示される画面でご確認ください。
- ・ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は画面からの指示がない限り、再セットアップ用CD/DVD-ROMを取り出したり電源スイッチを押したりしないでください。再セットアップ中に数回ピーブ音(ピーという音)が鳴ることがありますが、これは再セットアップの処理が正しく進んでいることを示すもので、故障ではありません。
- ・再セットアップをはじめたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後まで行ってください。やむを得ず中断してしまった場合は、いったんパソコン本体の電源を切り、このページの手順3以降のすべての手順をやり直してください。

☑チェック!!

左の画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常に行われていません。このページの手順3から操作をやり直してください。

付 録

パソコンのお手入れ

パソコンは精密機械なので、日頃のお手入れが欠かせません。マウスやキーボードも、こまめに清掃することで長く快適に使用できます。

日頃のお手入れのしかた

準備するもの

軽い汚れのとき



乾いたきれいな布を用意します

汚れがひどいとき



水かぬるま湯を含ませて、よくしぼった布を用意します

その他、こんなものがあると便利です。

- ・OA用クリーニングキット
- ・やわらかい歯ブラシ
- ・中性洗剤
- ・掃除機、など

電源を切って、電源ケーブルを外す

お手入れの前には、かならず、パソコンの周辺機器やパソコンの電源を切ってください。電源ケーブルはコンセントから抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電することがあります。

✓チェック!!

- ・OA 機器用クリーニングキットも汚れをふきとるのに便利です。OA 機器用クリーニングキットについては、ご購入元またはNECにお問い合わせください。
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や揮発性の有機溶剤を含む化学ぞうきんは、使わないでください。キーボードを傷めたり、故障の原因になります。

📖参照

NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』

清掃する

図はイメージです。このパソコンに標準で添付されている機器の構成は、お買い上げのモデルによって異なります。

パソコン本体
やわらかい布でふいてください。

汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

パソコンの内部

長期間使うと、ほこりがたまるので、定期的に清掃してください。パソコン内部の清掃については、ご購入元または NEC にお問い合わせください。

ディスプレイ
やわらかい布でふいてください。

化学ぞうきんやぬらした布は使わないでください。

キーボード
やわらかい布でふいてください。

汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

キーのすきまからゴミなどが入ったときは、掃除機などで吸い出します。

ゴミが取れないときは、ご購入元または NEC にお問い合わせください。

マウス
やわらかい布でふいてください。

汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

電源ケーブル

電源ケーブルのプラグを長期間コンセントに接続したままにすると、プラグにほこりがたまる場合があります。定期的にやわらかい布でふいて、清掃してください。

✓チェック!!

水やぬるま湯は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないください。故障の原因になります。

📖参照

NECのお問い合わせ先 『121ware ガイドブック』

リモコン (TV モデルのみ)

やわらかい布でふいてください。

汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

ボタンのすきまからゴミなどが入ったときは、掃除機などで吸い出します。

ゴミが取れないときは、ご購入元または NEC にお問い合わせください。

✓チェック!!

光センサーマウスには、ボールやローラーがないので、クリーニングの必要はありません。

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスのご相談は、ご購入元、NEC121 コンタクトセンターの故障診断・修理受付窓口で承っています。詳しくは、『121wareガイドブック』をご覧ください。

✓チェック!!

ご購入元、NEC121 コンタクトセンターなどに本機の修理を依頼される場合は、設定したパスワードは解除しておいてください。

消耗品 / 消耗部品について

本製品には、消耗品と消耗部品が含まれています。

安定してご使用いただくためには、定期的な保守による部品交換が必要になります。

特に長時間連続して使用する場合には、安全等の観点から早期の部品交換が必要です。

消耗品と消耗部品は次のとおりです。

種類	種類の内容説明	該当品または部品(代表例)
消耗品	使用頻度や使用量により消耗の進行が異なります。お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。 保証期間内であっても有償となります。	フロッピーディスク媒体 CD-ROM媒体 DVD-ROM媒体 バッテリー、乾電池等
消耗部品	使用頻度や経過時間、使用環境によって摩耗、劣化の進行に大きな差が生じ、修理による再生ができなくなる部品です。 本体の保証期間内であっても部品代は有償となる場合があります。詳しくは、121コンタクトセンターの故障診断・修理受付窓口にご相談ください。	ディスプレイ、ハードディスクドライブ、CD/DVDドライブ、フロッピーディスクドライブ、キーボード、マウス、ファン

- ・記載部品は代表例です。機種により構成部品が異なります。詳しくはこのPARTの仕様一覧を参照ください。
- ・消耗部品の交換時期の目安は、1日8時間のご使用で約5年です。
(ご使用になる頻度や条件により差が生じます。また、上記の目安時期前に交換が必要となることがあります。)
- ・本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、PC本体、オプション製品については製造打切後6年です。

譲渡、廃棄、改造について

この製品を譲渡するには

この製品を第三者に譲渡する場合は、所定の条件にしたがってください。また、譲渡を受ける場合には、所定の手続きにしたがって、お客様登録を行ってください。

譲渡するお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)する場合は以下の条件を満たす必要があります。

1. 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること(本体に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)

第三者に譲渡(売却)する製品をお客様登録している場合は、121ware(ワンツワンウェア)登録センター(TEL:0120-469-121)までご連絡のうえ、必ず登録削除の手続きをお願いします。

譲渡を受けたお客様へ

NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」での登録をお願いします。<http://121ware.com/my/>にアクセスし、「新規登録」でログインID(121コミュニケーションID)を取得した後に、保有商品情報の「新規・追加登録」で登録できます。

インターネットに接続できない方は、お客様登録に必要な以下の事項を記入し、官製はがきまたは封書でお送りください。

記載内容

1. 本体型番および保証書番号(本体背面、側面または保証書に記載の型番および製造番号)
2. あなたの氏名、住所、電話番号、Eメールアドレス
3. 中古購入された場合はその購入先、購入日

宛先

〒183-8501 東京都府中市日新町 1-10(NEC 府中事業場)
121ware 登録センター係行

✓チェック!!

パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをおすすめします。

ハードディスクに一度記憶されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。市販のソフト(別売)などを使うとデータを消去できます。

このパソコンを廃棄するには

このパソコンの所有者が個人の場合 (一般廃棄物として廃棄)

廃棄方法に関しては、市町村等の各自治体にお問い合わせください
(2003年5月現在)。

このパソコンの所有者が事業者の場合 (産業廃棄物として廃棄)

当社は資源有効利用促進法に基づき、積極的に当社の回収・リサイクルシステムにしたがって、資源の有効利用につとめていますので、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください。

<http://www.nec.co.jp/eco/ja/recycle/renrakusaki.html>

パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

パソコンを使っていくと、ハードディスクにお客様が作成、使用した重要なデータが記録されていきます。

そのため、このパソコンを譲渡または廃棄するときに、これらの重要なデータ内容を消去することが必要となります。ところが、ハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、実はそれほど簡単なことではありません。

一般に「データを消去する」という場合、次の操作を指します。

- ・データを「ごみ箱」に捨てる
- ・「削除」操作を行う
- ・「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ・ソフトウェアで初期化(フォーマット)する
- ・再セットアップを行い、工場出荷状態に戻す

これらの操作を行うと、パソコン内部では、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更され、データが見えなくなっているだけという状態になります。

つまり、データは一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSから、それらのデータを読み出す処理ができなくなっただけで、本来のデータはハードディスク内に残っているのです。

データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があり、悪意のある人によって、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

✓チェック!!

添付されたマニュアルに記載されている方法以外で機器を改造された場合、その機器を引き取ることができない場合があります。

お客様が廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータの流出トラブルを回避するために、ハードディスクに記録された全データをお客様の責任において消去することが非常に重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアまたはサービス(共に有償)を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁氣的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

また、ハードディスク上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。詳しくは「この製品を譲渡するには」をご覧ください。

このパソコンの改造


添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、このパソコンを改造・修理しないでください。

記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外となる場合があります。

アプリケーションのサポート窓口一覧

アプリケーションの製造元各社のサポート窓口一覧です。

下記のアプリケーションについて質問・相談がある場合は、各々の窓口までお問い合わせください。
添付されているアプリケーションは、モデルにより異なります。

-  **チェック!!** ・年末、年始および各社の休業日は、サポートを休ませていただく場合があります。
・お問い合わせの際は、電話番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

 **参照** NECのパソコンやソフトウェア、周辺機器について  「ばそガイド」・「NECのサービス＆サポート」

アプリケーション名	サポート窓口
Microsoft® Office XP Personal(Office XPモデル) ・Microsoft® Word(Office XPモデル) ・Microsoft® Excel(Office XPモデル) ・Microsoft® Outlook® (Office XPモデル) Microsoft® Office XP Service Pack 1(Office XPモデル) Microsoft® Office XP Service Pack 2(Office XPモデル) Microsoft® Bookshelf® Basic 3.0(Office XPモデル) Office XP ステップ バイ ステップ インタラクティブ(Office XPモデル) Microsoft® Outlook® Plus!2.0	「Office XP Personal」パッケージにあるマニュアルを参照の上、マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。 URL: http://support.microsoft.com/default.aspx?LN=JA
BIGLOBEインターネット無料体験 BIGLOBEインターネット接続ツール(BIGLOBEでインターネット) ・BIGLOBEサインアップナビ ・BIGLOBEかんたん接続ナビ	NEC BIGLOBEカスタマーサポート ・ サービス内容 / 事務手続き関係 BIGLOBEインフォメーションデスク Tel:0120-86-0962(フリーダイヤル) 03-3947-0962(携帯・PHS・CATV電話の場合) 毎日 午前9時～午後10時 ・ 操作方法 / 環境設定関係 BIGLOBEサポートデスク Tel:0120-68-0962(フリーダイヤル) 03-3941-0962(携帯・PHS・CATV電話の場合) 24時間365日受付 ただし、午前0時～午前9時までのお問い合わせは、「緊急のトラブル対応」のみとなります。 URL: http://www.biglobe.ne.jp/ URL: http://support.biglobe.ne.jp/ URL: http://support.biglobe.ne.jp/ask.html (「お問い合わせフォーム」をご利用ください)
@niftyでインターネット	ニフティ株式会社 ・ @nifty入会センター 入会案内 Tel:0120-816-042(携帯・PHS・海外の場合:03-5753-2374) ・ @niftyサービスセンター テクニカルサポート / @niftyサービス内容案内 Tel:0120-818-275(携帯・PHS・海外の場合:03-5753-2373) (ナビダイヤル日本全国8.5円 / 3分:0570-000-881) ・ @niftyインフォメーションセンター パスワード再発行 / 各種手続き / 個人会員の解約 Tel:0120-842-210(携帯・PHS・海外の場合:03-5471-5806) 毎日 午前9時～午後9時(ただしビルの電源工事などによる休みを除く) URL: http://www.nifty.com/supinfo/

アプリケーション名	サポート窓口
DIONサインアップ	KDDIカスタマーサービスセンター DIONに関するお問い合わせ 毎日 午前9時～午後9時 ・サービス内容に関するお問い合わせ Tel:0077-7192(無料) メールでのお問合せはホームページから URL: http://www.dion.ne.jp/cs/ ・接続・設定などに関するお問い合わせ Tel:0077-7084(無料) ADSLサービスについては24時間受付中!(「フレッツ・ADSLコース」については、お問い合わせ内容によってはお答えできない場合がありますのでご了承ください。) メールでのお問合せはホームページから URL: http://www.dion.ne.jp/cs/
Fresh Voice	Fresh Voiceサポートデスク 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町3丁目23番地スタウトビル3F Fresh Voiceでのサポート 月～土曜日 午前10時～午後8時 電話・メールでのサポート 月～金曜日 午前10時～午後8時(ただし祝祭日、年末年始を除く) ボイス電話番号:7405001 Tel:03-5822-2877 E-mail: fv@anets.co.jp URL: http://community.freshvoice.net/faq/mailform.html
OCNスタートパック	OCNスタートパックヘルプデスク TEL:0120-047747 月～金曜日 午前9時～午後9時 土・日曜日・祝祭日 午前9時～午後5時 E-mail: info@ocn.ad.jp
ODN(Open Data Network)	ODNサポートセンター ・簡単インターネットコースサービス案内 Tel:0088-86(無料) ・簡単インターネットコース接続サポート Tel:0088-85(無料) 毎日 午前9時～午後6時(年中無休) URL: http://www.odn.ne.jp/ E-mail: odn-support@odn.ad.jp ・快適ブロードバンドコースサービス案内 Tel:0088-222-375(無料) ・快適ブロードバンドコース接続サポート Tel:0088-228-325(無料) 毎日 午前9時～午後6時(年中無休) URL: http://www.odn.ne.jp/adsl/ E-mail: info-adsl@odn.ad.jp
So-net簡単スターター	So-netインフォメーションデスク Tel:0570-00-1414(全国共通) 携帯・PHSの場合 札幌 011-711-3765 仙台 022-256-2221 東京 03-3446-7555 名古屋 052-819-1300 大阪 06-6577-4000 広島 082-286-1286 福岡 092-624-3910 毎日 午前9時～午後9時 Fax:03-3446-7557 URL: http://www.so-net.ne.jp/support/ E-mail: info@so-net.ne.jp
かるがるネット	サポートセンター 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-1-1 京橋第三長岡ビル2F Tel:03-3537-1325 Fax:03-3537-1326 月～金曜日 午前10時～午後6時 URL: http://www.karugaru.net/ E-mail: info@karugaru.net

アプリケーション名	サポート窓口
東京電話インターネットサインアップナビ	東京電話インターネット・インフォメーションセンター お問い合わせ、サポート Tel:0081-1588(無料) Tel:0120-719-033(無料) 毎日 午前9時～午後9時(年中無休) URL: http://www.dup.ttcn.ne.jp E-mail: dup-info@ttcn.ne.jp
筆王 3Dフィッシュ アクアリウム	NECインターチャネル株式会社 バンドルソフトユーザーサポートセンター Tel:03-5767-1386 月～金曜日 午前10時～午後6時(ただし祝祭日を除く)
BeatJam ホームページミックス	ジャストシステムサポートセンター 東京 03-5412-3980 大阪 06-6886-7160 月～金曜日 午前10時～午後7時(特別休業日を除く) 土・日・祝祭日 午前10時～午後5時(特別休業日を除く) URL: http://support.justsystem.co.jp/
BIGLOBEネットプリントサービス BIGLOBE IP電話	NEC BIGLOBEカスタマーサポート URL: http://support.biglobe.ne.jp/ask.html (「お問い合わせフォーム」をご利用ください)
BIGLOBEツールバー	BIGLOBEサーチ事務局 E-mail: search@bcs.biglobe.ne.jp
bitcast browser もじぞう	株式会社インフォシティ Fax:03-5469-5621 URL: http://www.infocity.co.jp/ E-mail: support@infocity.co.jp
NETGAMECENTER Cyber囲碁 Epoch Online Gunbound Helbreath	NETGAMECENTER ユーザーサポートセンター E-mail: gate-support@terrac.co.jp
DVD-MovieAlbumSE	松下電器産業株式会社 お客様相談センター Tel:0120-878-365 毎日 午前9時～午後8時 URL: http://panasonic.jp/support/cn/
DVD MovieWriter VideoStudio	ユーリードシステムズ株式会社 製品のサポートを受けられる際には、シリアルNO.が必要になります。 あらかじめご準備ください。 また、電話によるお問い合わせは、新製品発売時期や時間帯などによって繋がりにくくなります。その際には、ユーリードシステムズ株式会社のサポートページをご覧になれるか、サポートページ内に用意されております「お問い合わせフォーム」をご利用の上お問い合わせください。 ・インターネットによるお問い合わせ URL: http://www.ulead.co.jp/tech/tech.htm 「お問い合わせフォーム」は上記ページよりアクセスしていただけます。 ・電話によるお問い合わせ Tel:03-5491-5662 月～金曜日 午前10時～12時 午後1時～5時(ただし祝日、年末年始を除く)
i-フィルター(VALUESTAR FZ)	デジタルアーツ株式会社ユーザーサポート Tel:03-5485-1334 Fax:03-5485-1337 月～金曜日 午前10時～午後6時(ただし祝祭日を除く) URL: http://www.daj.co.jp/support/ E-mail: support@daj.co.jp
JWord	株式会社アクセスポート JWordサポートチーム URL: http://www.jword.jp/help/ E-mail: support@jword.jp

アプリケーション名	サポート窓口
Norton AntiVirus	<p>・ 技術的なお問い合わせ シマンテックテクニカルサポートセンター URL:http://www.symantecstore.jp/oem/nec Tel:03-5836-2621 月～金曜日 午前10時～12時 午後1時～5時(ただし祝祭日、年末年始を除く) FAX:03-5836-2623 上記サポートセンターをご利用いただくためには、シマンテックホームページにてカスタマーIDの取得が必要です。 電話によるサポートは製品のご使用を開始されてから90日間となります。それ以降は、有償サポートをご購入いただくことでサポートを受けていただくことが可能となります。</p> <p>・ カスタマーID取得、および購入前の一般的なご質問に関するお問い合わせ コンシューマ・カスタマーサービスセンター Tel:03-5836-2654 月～金曜日 午前10時～12時、午後1時～5時(ただし祝祭日、年末年始を除く) FAX:03-5836-2655</p>
RecordNow DX	<p>イーゼーシステムズジャパン株式会社 ESJカスタマーセンター Tel:03-5643-8724 月～金曜日 午前10時～午後5時30分(ただし祝祭日、年末年始及び特別休業日を除く) FAX:03-5643-8737 E-mail:recordmxj@support.easy.co.jp</p>
WinDVD 4	<p>インタービデオジャパンテクニカルサポート Tel:03-5447-0576 月～金曜日 午前9時30分～12時 午後1時30分～午後5時(ただし休業日、祝祭日、年末年始を除く) FAX:03-5447-6689 月～金曜日 午前9時30分～12時 午後1時30分～午後5時(ただし休業日、祝祭日、年末年始を除く) URL:http://www.intervideo.co.jp E-mail:support@intervideo.co.jp ・ お問い合わせの前に インタービデオジャパンのウェブサイトでは、24時間いつでもご利用いただけるように「よくあるご質問(FAQ)」ページを用意しています。お問い合わせの前に、必ずご覧ください。また、お使いのコンピュータのモデル名と合わせてご連絡をお願いします。</p>
駅すばあと	<p>株式会社ヴァル研究所 ユーザーサポートセンター 〒166-8565 東京都杉並区高円寺北2-3-17 高円寺NKビル Tel:03-5373-3522 Fax:03-5373-3523 月～金曜日 午前10時～12時 午後1時～5時(ただし祝祭日を除く) URL:http://ekiworld.net/</p>
オンラインラボ工房 百年プリント@コニカ(店頭受け取り)	<p>コニカ オンラインラボサポートセンター Tel:0120-201-990 月～金曜日 午前9時～午後5時(ただし祝祭日を除く) E-mail:info@konica-lab.net</p>
家庭の医学(VALUESTAR FZ)	<p>株式会社時事通信社出版局デジタルコンテンツグループ Tel:03-3591-8690 月～金曜日 午前10時～午後5時(ただし祝祭日を除く) URL:http://book.jiji.com/igaku/</p>
クイズマスター(VALUESTAR FZ) 現代用語の基礎知識(VALUESTAR FZ)	<p>NEC CD-ROMソフトユーザーサポートセンター 〒111-0051 東京都台東区蔵前3-1-9 ニキョービル Tel:03-5821-1339 Fax:03-5821-1615 月～金曜日 午前10時～午後6時(ただし祝祭日を除く)</p>
葦衛門デジブック	<p>トリワークスカスタマーサポートセンター Tel:03-5468-5258 Fax:03-5468-1250 月～金曜日 午前10時～午後5時(ただし夏期、年末年始、祝祭日を除く) E-mail:support-n@triworks.com</p>

アプリケーション名	サポート窓口
携帯マスター9	<p>・ 技術的なお問い合わせ ジャングルユーザーサポートセンター Tel:03-5280-9264 Fax:03-5280-9266 月～金曜日 午前10時～12時 午後1時～5時(ただし休業日、夏期休暇、祝祭日、年末年始を除く) URL:http://www.junglejapan.com/ktai/nec/ 携帯マスター用NEC純正ケーブルご利用以外はサポート外となります。 携帯電話自体の機能や使い方に関するご質問はサポート外となります。 無料サポートは最初にサポートをお受けになった日付から起算して90日間となります。それ以降は、製品がサポート対象である限り、有償サポートを受けていただくことが可能となります。</p>
ステップアップ英会話(VALUESTAR FZ)	<p>株式会社 創育 サポートセンター Tel:03-3793-8663 Fax:03-3794-0277 月～金曜日 午前10時～12時 午後1時～5時(ただし休業日、祝日を除く) URL:http://www.soiku.co.jp/support/</p>
スーパーバズルポブル(VALUESTAR FZ)	<p>株式会社サイバーフロント ユーザーサポートセンター Tel:052-779-6549 月～金曜日 午前11時～12時 午後1時～5時(ただし祝祭日を除く)</p>
スーパーマッブル・デジタル(VALUESTAR FZ)	<p>昭文社 Super Mapple Digital Ver.3 ユーザーサポート係 E-mail:smdv3@mapple.co.jp メールでのみサポートをお受けいたします。</p>
てきばき家計簿マム3(VALUESTAR FZ) ボケットレシビ(VALUESTAR FZ)	<p>テクニカルソフト株式会社 ユーザーサポート係 〒701-0145 岡山市今保668-3 Tel:東京03-3564-6370 大阪06-6633-1162 岡山086-245-4770 Fax:086-244-6010 月～金曜日 午前10時～午後5時(ただし休業日を除く) URL:http://www.softnet.jp/ E-mail:support@softnet.co.jp</p>
ファミリーテンプレート&素材集(VALUESTAR FZ)	<p>JCNランドサポートセンター FAX:03-5950-4920</p>
リアルシミュレーションゴルフ(VALUESTAR FZ)	<p>トワイライトエクスプレス ユーザーサポート Tel:03-5979-7496 Fax:03-5979-7497 月～金曜日 午後1時～午後4時(ただし祝祭日を除く) E-mail:support@twilight.co.jp</p>

ここに記載されていないアプリケーションについては、以下へお問い合わせください(ソフトチョイス対応アプリケーションやオンラインサービスは除きます。それぞれのサポート窓口へお問い合わせください。ソフトチョイス対応アプリケーションのお問い合わせ先については、「ソフトナビゲーター」の「このソフトについて」ボタンをクリックして表示される画面を、オンラインサービスのサポート窓口については接続したホームページをご覧ください)。

- ・ まずは「121ware.com」で探す
 URL <http://121ware.com>(121ware.com サポート)
- ・ 答えが見つからない場合は NEC 121 コンタクトセンターへ
 フリーコール Tel:0120-977-121 9:00～17:00(祝日を除く)
 Tel:03-3768-2337(東京)(通話料お客様負担)
 土・日も受付をしております。
 相談窓口は、「購入」、「使い方」、「故障診断・修理」の3つに分かれています。
 電話音声ガイドを確認になり、「使い方」のご相談「2」を押してください。
 また、登録番号の確認を行いますので、お客様が所有している121wareお客様登録番号をお手元に用意してからおかけください。

仕様一覧

VX900/6F、VX100/6F

型名	VX900/6F		VX100/6F	
型番	PC-VX9006F		PC-VX1006F	
CPU	HT テクノロジ*1 インテル® Pentium® 4 プロセッサ 3GHz		HT テクノロジ*1 インテル® Pentium® 4 プロセッサ 2.40GHz	
クロック周波数	3.00GHz		2.40GHz	
キャッシュメモリ	1次	12Kμ命令実行トレース*2/8KBデータ(CPU内蔵)		
	2次	512KB(CPU内蔵)		
バスクロック	システムバス	800MHz		
	メモリバス	320MHz		
チップセット	Intel社製 Intel® 865G / Intel® ICH5			
メモリ(メインRAM)	標準容量	512MB(DDR SDRAM/DIMM、PC2700対応)	256MB(DDR SDRAM/DIMM、PC2700対応)	
	スロット数	2スロット(DIMMSロット)[空きスロット1]		
	最大容量	2GB*3		
表示機能	ビデオRAM	128MB DDR(グラフィックボード上に実装)		
	グラフィックアクセラレータ	nVidia®社製 GeForce4™ Ti4800	ATI®社製 RADEON™ 9100	
	解像度・表皮色 (別売の外付けディスプレイ接続時)	640×480ドット	最大1,677万色*4	最大1,677万色*6
		800×600ドット	最大1,677万色*4	最大1,677万色*6
		1,024×768ドット	最大1,677万色*4	最大1,677万色*6
		1,280×768ドット	最大1,677万色*4	最大1,677万色*6
		1,280×1,024ドット	最大1,677万色*5	最大1,677万色*6
1,400×1,050ドット		最大1,677万色*5	最大1,677万色*6	
1,600×1,200ドット	最大1,677万色*5	最大1,677万色*6		
サウンド機能	音源 / サラウンド機能	PCM録音再生機能(ステレオ/モノラル、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8-48KHz、全二重化対応)、MIDI音源機能(ソフトウェアMIDI[XG、XG-Lite、GM、GS演奏モード対応、DLS2対応*7])、マイクノイズ除去機能*8、3Dボジショナルサウンド		
	スピーカ	添付の液晶ディスプレイに内蔵	-	
	サウンドチップ	ADI社製 AD1981B搭載		
通信機能	FAXモデム*9	データ通信:最大56Kbps*10(K56flex™、V.90対応)/FAX通信:最大14.4Kbps(V.17)、Resume On Ring機能対応		
	LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応		
	ワイヤレスLAN	5GHz/2.4GHzワイヤレスLAN(IEEE802.11a/b 準拠)*11	-	
入力装置	キーボード	PS/2小型キーボード(109キーレイアウト準拠、ワンタッチスタートボタン付き)		
	マウス	光センサーPS/2マウス(スクロール機能付き)*12		
	リモコン	赤外線リモコン*13		
フロッピーディスクドライブ	-【別売、専用オプション(PC-VP-WU14)*14】			
ハードディスクドライブ*15	約250GB*16(Ultra ATA-100)		約160GB*17(Ultra ATA-100)	
CD/DVDドライブ*18*19*20*21*22	DVDマルチプラスドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW)内蔵(バッファアンダーランエラー防止機能付き)*23			
	速度	DVD-RAM読出し:3倍速*24、DVD-RAM書換え:3倍速*24*25、DVD+R書込み:最大4倍速、DVD+RW書換え:最大2.4倍速、DVD-R書込み:最大4倍速*26、DVD-RW書換え:最大2倍速*27、DVD読出し:最大12倍速、CD読出し:最大32倍速、CD-R書込み:最大24倍速、CD-RW書換え:最大12倍速*28		
映像関連機能*32	MPEGボード	ハードウェアMPEG2リアルタイムエンコーダ/デコーダボード		
	テレビチューナ	音声多重対応、受信チャンネル*29:VHF(1~12ch)、UHF(13~62ch)		
	データ放送受信	地上波データ放送(ビットキャスト、ADAMS)、文字多重放送、字幕放送		
	映像合成表示機能	DirectShow®により任意のサイズで合成表示可能(全画面表示可能) SmartVision*30使用時:240×180ドット以上(縦横比3:4固定)でサイズ変更可能 bitcast browser*31使用時は160×120ドット以上(縦横比3:4固定)でサイズ変更可能		
	高画質機能	ゴーストリデュース、3次元Y/C分離、デジタルノイズリダクション、タイムベースコレクタ		
	テレビ録画機能	SmartVision*30でMPEG2(高画質モード:720×480ドット(8Mbps CBR)、標準画質モード:720×480ドット(4Mbps VBR)、長時間録画モード:352×480ドット(2Mbps VBR))、MPEG1(ユーザ設定モード:352×240ドット(1.152Mbps CBR))の録画可能 bitcast browser*31でAVI(240×180ドット(30.6Mbps))、WMV8(240×180ドット(0.33Mbps))の録画可能		
	最長録画時間(高画質モード)	約61時間50分	約36時間40分	
	最長録画時間(標準画質モード)	約120時間30分	約71時間30分	
	最長録画時間(長時間録画モード)	約229時間10分	約136時間10分	

VX900/6F、VX100/6F

型名		VX900/6F	VX100/6F
スロット	メモリスティック	1スロット*33*34	
	SDメモリーカード	1スロット(MMC対応*35)*33	
	PCカード	Type x2 (Type x1スロットとしても使用可)、PC Card Standard準拠、CardBus対応	
	AGP	1スロット(空きスロット0)*36	
	PCI	3スロット(ハーフx3)[空きスロット2]	
インターフェイス	USB	コネクタ4ピンx9*37(本体x5*38、液晶ディスプレイx4)[USB 2.0*39*40]	コネクタ4ピンx5*37(本体x5)[USB 2.0*39*40]
	IEEE1394(DV)	4ピンx2*41	
	パラレル	D-sub25ピンx1	
	シリアル	D-sub9ピンx1	
	ディスプレイ(アナログ)	ミニD-sub15ピンx1*42*43	-*45
	ディスプレイ(デジタル)	DVI-D(24ピン)*43*44	DVI-H(29ピン)*45
	PS/2	ミニDIN6ピンx2*46	
	FAXモデム	RJ11モジュラコネクタx2(LINEx1、TELEPHONEx1)	
	LAN	RJ45コネクタx1	
	ワイヤレスLAN	IEEE802.11a/b 準拠	-
サウンド関連インターフェイス	光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力	角形x1*47*48、丸形x1*47*49	
	ライン入力	ステレオミニジャックx1(本体実装:入力インピーダンス 10K、入力レベル1Vrms[最大2Vrms]、TVボード実装:入力インピーダンス 47K、入力レベル2Vrms)	
	ライン出力	ステレオミニジャックx1 出力レベル 1Vrms、出力インピーダンス47K *50	ステレオミニジャックx1 出力レベル 1Vrms、出力インピーダンス47K
	マイク入力	ステレオミニジャックx1(マイク入力インピーダンス10k 入力レベル5mVrms、バイアス電圧3.7V)	
	ヘッドフォン出力	ライン出力と共用(対応ヘッドフォンインピーダンス 16 -100「推奨32」*63、出力電力 5mW/32)	
	オーディオ入力端子(L/R)	1系統(前面:入力インピーダンス 47K、入力レベル2Vrms)	
	映像関連インターフェイス	TVアンテナ入力	F型同軸x1
ビデオ入力		Sビデオ・コンボジットビデオ共用端子x1(背面x1*51*52、コンボジットビデオ端子x1(前面x1)*52)	
ビデオ出力(TV-OUT)		Sビデオ・コンボジットビデオ共用x1(背面x1)*62*64	
ベイ	5型ベイ:1スロット(CD/DVDドライブで占有済)[空きスロット0]、内蔵3.5型ベイ:2スロット(ハードディスクドライブで1スロット占有済)[空きスロット1]		
電源	AC100V±10%、50/60Hz		
消費電力	標準	約125W	約82W
	最大	239W	217W
エネルギー消費効率*53	P区分 0.00039		P区分 0.00049
電波障害対策	VCCI ClassB		
温湿度条件	10~35、20~80%(ただし結露しないこと)		
外形寸法	本体(突起部・ラジエータ部除く)	194(W)x392(D)x390(H)mm*54	
	本体(突起部・ラジエータ部含む)	194(W)x450(D)x390(H)mm*54	
	本体(スタビライザ設置時)	284(W)x450(D)x390(H)mm*54	
	キーボード	382(W)x176(D)x42(H)mm	
	リモコン	43(W)x153(D)x33(H)mm(スティック含む)	
質量	本体	約16kg	
	キーボード	約900g	
	マウス	約90g	
	リモコン	約90g*55	
インストールOS	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack1*56		
サポートOS	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack1*57		
主な添付品	マニュアル、電源ケーブル、回線ケーブル、ビデオ変換コネクタx2(Sビデオ コンボジットビデオ)、ワイヤレスLAN外付けアンテナ、リモコン、リモコン用受信ユニット、乾電池(単四アルカリ:2本)	マニュアル、電源ケーブル、回線ケーブル、ビデオ変換コネクタx2(Sビデオ コンボジットビデオ)、ディスプレイ出力変換ケーブル(DVI アナログRGB)、リモコン、リモコン用受信ユニット、乾電池(単四アルカリ:2本)	

VX900/6F、VX100/6F

型名	VX900/6F	VX100/6F
ディスプレイ	F17R1A *58*59	-
画面サイズ	17型 (デジタルTFT液晶)	
テレビチューナー	-	
インターフェイス	DVI-D、USB 2.0×4*39*40、ヘッドフォン出力×1	
表示寸法	アクティブ表示エリア：337.9mm × 270.3mm	
画素ピッチ	0.264mm	
水平走査周波数	-	
垂直走査周波数	-	
輝度	250cd/m ²	
コントラスト比 (標準)	350:1	
視野角 (標準)	上 30° 下 5°	
表示解像度	640×480ドット*60*61、800×600ドット *60*61、1,024×768ドット*61、1280× 1024ドット	
表示色	約1617万色	
消費電力	約55W	
外形寸法	397.3 (W) × 208.6 (D) × 402.5 (H) mm	
質量	約6.0kg	
ディスプレイプロセッサ	GENESIS製 gm5120	
備考	ステレオスピーカ	

上記の内容は本体のハードウェアの仕様であり、オペレーティングシステム、アプリケーションによっては、上記のハードウェアの機能をサポートしていない場合があります。

- * 1: ソフトウェアやドライバがHTテクノロジーに対応している必要があります。各ソフトウェアメーカー、周辺機器メーカーにお問い合わせください。
- * 2: 最大12,000のデコード済みマイクロ命令をキャッシュすることにより、命令デコードに要する時間を不要にします。
- * 3: 増設RAMサブボード(PC2700対応-DDR333MHzメモリ)[1024MB]を2枚実装する必要があります。
- * 4: グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。本体に添付のディスプレイではディザリングにより1,619万色となります。
- * 5: グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。本体に添付のディスプレイでは表示できません。
- * 6: グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。
- * 7: DLSは「DownLoadable Sounds」の略です。DLSを使うと、カスタム・サウンド・セットをSoundMAXシンセサイザにロードできます。
- * 8: ノイズ除去機能によって、音声入力信号から周辺雑音を取り除かれ、クリーンでクリアな信号がアプリケーションに渡されます。
- * 9: 回線状態によっては、通信速度が変わる場合があります。また、内蔵FAXモデムは一般電話回線のみに対応しています。
- * 10: 最大56Kbpsはデータ受信時の速度です。データ送信時は最大33.6Kbpsになります。
- * 11: 通信速度:802.11b 最大11Mbps、802.11a 最大54Mbps。ただし通信速度はそれぞれの規格による速度(理論値)です。また、接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。IEEE802.11b(2.4GHz)とIEEE802.11a(5GHz)は互換性はありません。5GHz無線ワイヤレスLANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。
- * 12: 添付のキーボードにあるマウス専用ポートに接続します。
- * 13: リモコンの電池寿命はご使用の環境条件や方法により異なりますがアルカリ電池で最大100時間(マウスカーソルモード時)です。また、使用可能な距離はご使用の環境条件や方法により異なりますが約3mです。
- * 14: 2モード(720KB/1.44MB)に対応しています(ただし、720KBモードのフォーマットは不可です)。
- * 15: 1GB=10億バイトの換算値です。
- * 16: Windows®のシステムからは、容量がCドライブ:約216GB、Dドライブ:約3.73GB、残り:再セットアップ用として認識されます。
- * 17: Windows®のシステムからは、容量がCドライブ:約129GB、Dドライブ:約3.73GB、残り:再セットアップ用として認識されます。
- * 18: 12cm CD、DVD以外は使用出来ません。ハート型等の特殊形状をしたCDは故障の原因となりますので使用しないでください。
- * 19: コピーコントロールCDなどの一部の音楽CDでは、再生や音楽CDの作成が出来ない場合があります。
- * 20: メディアの種類、フォーマット形式によって読み取り性能が出ない場合があります。また、記録状態が悪い場合など、読み取りできない場合があります。
- * 21: 映像ソフトの再生は、ソフトウェアによるMPEG2再生方式です。NTSCのみ対応しております。Regionコード「2」、「ALL」以外のDVD-Videoの再生は行えません。再生するDVDディスクおよびビデオCDの種類によってはコマ落ちる場合があります。リニアPCM(96KHz/24bit)で記録されている20KHz以上の音声信号は再生できません。DVDレコーダで記録されたDVDで、書き込み形式により再生できないものがあります。そのような場合はDVDレコーダの取扱説明書などをご覧ください。
- * 22: 設定した書き込み・書き換え速度を実現するには、書き込み・書き換え速度に応じたメディアが必要になります。
- * 23: バッファアンダーラン防止機能付。内周と外周の書き込み速度を切り替え、安定した高速書き込みを実現します。また、記録メディア毎に最適な書き込み速度を自動制御する、ディスクエラー低減機能もサポート。なお、ライティングソフトウェアが表示する書き込み予想時間と異なる場合があります。
- * 24: DVD-RAM Ver.2 (片面4.7GB)の速度です。また、カートリッジ式のメディアは使用できませんので、カートリッジ無し、あるいはメディア取り出し可能なカートリッジ式でメディアを取り出してご利用ください。
- * 25: DVD-RAM Ver.1 (片面2.6GB)の書き換えはサポートしていません。

- * 26: DVD-R は、DVD-R for General Ver.2.0 に準拠したメディアの書込に対応しています。
- * 27: DVD-RW は、DVD-RW Ver.1.1 に準拠したメディアの書込に対応しています。
- * 28: Ultra Speed CD-RW メディアはご使用になれません。
- * 29: 本製品はCATVの一部周波数にも対応しておりますが、ケーブルテレビ会社によりサービス内容に違いがあるため、接続に関しては、ご利用のケーブルテレビ会社にご相談ください。
- * 30: 本体にプリインストールされている、地上波放送受信・録画のソフトウェア名称です。
- * 31: 本体にプリインストールされている、テレビ・ビットキャスト受信のソフトウェア名称です。
- * 32: 録画時間は映像の内容およびご利用状況によって前後する場合があります。
- * 33: メモリースティックスロットとSDメモリーカードスロットは共用です。メモリースティックとSDメモリーカードを同時に使用することはできません。
- * 34: マジックゲート対応メモリースティックの著作権保護機能には対応しておりません。また、メモリースティック PRO には対応しておりません。
- * 35: 「マルチメディアカード(MMC)」もご利用できます。使用音楽などの著作権保護データには「SDメモリーカード」をご利用ください。
- * 36: グラフィックアクセラレータボードで占有済みです。
- * 37: 1ポートはリモコン用受信ユニットで占有します。
- * 38: 1ポートは液晶ディスプレイに接続します。
- * 39: 接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、本インターフェイスに対応している必要があります。
- * 40: USB 1.1 対応の周辺機器も利用できます。USB 2.0 で動作するにはUSB 2.0 対応の周辺機器が必要です。動作確認済み機種についてはインターネット(<http://121ware.com/nsserver/> 各シリーズページ(VALUESTAR TX) 「接続情報」)をご覧ください。
- * 41: 接続する周辺機器によっては対応していない場合があります。動作確認済み機種についてはインターネット(<http://121ware.com/nsserver/> 各シリーズページ(VALUESTAR TX) 「接続情報」)をご覧ください。
- * 42: ディスプレイとの接続には、AGPグラフィックアクセラレータ上のディスプレイインターフェイスを利用する必要があります。I/Oプレート部に搭載のアナログコネクタは利用できません。
- * 43: デジタル・アナログのディスプレイコネクタにそれぞれディスプレイを接続することで、マルチモニタ表示が可能です。
- * 44: 本機のDVI端子は添付のディスプレイのみ動作確認をおこなっております。
- * 45: デジタルRGBのディスプレイをご利用する場合、AGPグラフィックアクセラレータ上に搭載されているDVI-Iコネクタをご使用ください。アナログRGBのディスプレイをご利用する場合、AGPグラフィックアクセラレータ上に搭載されているDVI-Iコネクタに本体標準添付のDVI-アナログ変換ケーブルをご使用下さい。I/Oプレート部に搭載されているアナログコネクタはご利用いただけません。
- * 46: 本機のPS/2端子は添付のキーボードのみ動作確認をおこなっております。
- * 47: 光デジタルオーディオ出力端子に接続するオーディオ機器は48KHzのサンプリング周波数に対応している必要があります。また、一般のCDプレーヤー・MDデッキ類と同様に、SCMS(シリアルコピーマネジメントシステム)に準拠した信号を出力します。
- * 48: テレビ放送受信・録画のソフトウェア(SmartVision)における音声は出力できません。
- * 49: SmartVisionおよびWinDVD 4のTV出力時の音声を出力します。音声出力端子としても利用できます。
- * 50: ディスプレイ側のAudio端子を接続します。
- * 51: Sビデオ入力端子として利用できます。また、本体に添付のビデオ変換コネクタを接続することによりコンポジットビデオ入力端子として利用できます。
- * 52: 著作権保護のための信号が記録されている市販素材は、ハードディスク等へ録画することはできません。
- * 53: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
- * 54: 本機を横置きにしてのご使用はサポートしておりません。
- * 55: 乾電池の質量は含まれておりません。
- * 56: 添付のソフトウェアは、インストールされているOSでのみご利用できます。
- * 57: 別売のMicrosoft® Windows® XP Home Editionパッケージや別売のMicrosoft® Windows® XP Professionalパッケージをインストールおよび利用することはできません。
- * 58: 液晶ディスプレイでは、特性上明るさのむらや画面の一部に常時点灯/非点灯のドットが存在することがありますが、故障ではありません。
- * 59: ディスプレイの上にUSBカメラを設置することはできません。
- * 60: CRTディスプレイの場合はドットピッチです。
- * 61: 擬似的に画素を拡大して表示しているため文字などの線がぼやけて表示される場合があります。
- * 62: 著作権保護のための信号が記録されている市販素材、またはソフトウェアの種類によりビデオデッキ等へ録画することはできません。また、ビデオデッキ経由でのテレビ出力はできません(同方式でテレビに出力しているビデオ一体型テレビを含む)。
- * 63: 周波数特性を保證する値ではありません。
- * 64: Sビデオ出力端子として利用できます。また、本体に添付のビデオ変換コネクタを接続することによりコンポジットビデオ出力端子として利用できます。

VZ700/6F

型名		VZ700/6F		
型番		PC-VZ7006F		
CPU		HT テクノロジ*1 インテル® Pentium® 4 プロセッサ 2.40C GHz		
クロック周波数		2.40GHz		
キャッシュメモリ	1次	12K μ 命令実行トレース*2/8KBデ-タ (CPU内蔵)		
	2次	512KB (CPU内蔵)		
バスクロック	システムバス	800MHz		
	メモリバス	320MHz		
チップセット		Intel社製 Intel® 865G / Intel® ICH5		
メモリ (メインRAM)	標準容量	512MB (DDR SDRAM/DIMM、PC2700対応)		
	スロット数	2スロット (DIMMスロット) [空きスロット1]		
	最大容量	2GB*3		
表示機能	ビデオRAM	64MB (AGPボードに搭載)		
	グラフィックアクセラレータ	ATI®社製 RADEON™ 9100		
	解像度・表示色 (別売の外付けディスプレイ 接続時)	640×480ドット	最大1,677万色*4	
		800×600ドット	最大1,677万色*4	
		1,024×768ドット	最大1,677万色*4	
		1,280×768ドット	最大1,677万色*5	
1,280×1,024ドット		最大1,677万色*4		
1,600×1,200ドット	最大1,677万色*5			
サウンド機能	音源 / サラウンド機能	PCM録音再生機能 (ステレオ/モノラル、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート 8-48KHz、全二重化対応)、MIDI音源機能 (ソフトウェアMIDI [XG、XG-Lite、GM、GS 演奏モード対応、DLS2対応*6])、マイクノイズ除去機能*7、3Dボジョナルサウンド		
	スピーカ	添付の液晶ディスプレイに内蔵 (ステレオ (1W+1W))		
	サウンドチップ	ADI社製 AD1981B搭載		
通信機能	FAXモデム*8	データ通信：最大56Kbps*9 (K56flex™、V.90対応) / FAX通信：最大14.4Kbps (V.17)、Resume On Ring機能対応		
	LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応		
入力装置	キーボード	PS/2小型キーボード (109キーレイアウト準拠、ワンタッチスタートボタン付き)		
	マウス	光センサーPS/2マウス (スクロール機能付き)*10		
	リモコン	赤外線リモコン*11		
フロッピーディスクドライブ		- 【別売、専用オプション (PC-VP-WU14) *12】		
ハードディスクドライブ*13		約160GB*14 (Ultra ATA-100)		
CD/DVDドライブ*15*16*17*18*19		DVDマルチドライブ (DVD-RAM/R/RW)内蔵 (バッファアンダーランエラー防止機能付き)*20		
映像関連機能(地上波放送)*29	速度	DVD-RAM読出し：2倍速*21、DVD-RAM書換え：2倍速*21*22、DVD-R書込み：最大2倍速*23、DVD-RW書換え：1倍速*24、DVD読出し：最大10倍速、CD読出し：最大32倍速、CD-R書込み：最大12倍速、CD-RW書換え：最大8倍速*25		
	MPEGボード	ハードウェアMPEG2リアルタイムエンコーダ/デコーダボード		
	テレビチューナ	音声多重対応、受信チャンネル*26：VHF (1~12ch)、UHF (13~62ch)		
	データ放送受信	地上波データ放送 (ビットキャスト、ADAMS)、文字多重放送、字幕放送		
	映像合成表示機能	DirectShow® により任意のサイズで合成表示可能 (全画面表示可能) SmartVision*27使用時：240×180ドット以上 (縦横比3:4固定) でサイズ変更可能 bitcast browser*28使用時は160×120ドット以上 (縦横比3:4固定) でサイズ変更可能		
	高画質機能	ゴーストリデュース、3次元Y/C分離、デジタルノイズリダクション、タイムベースコレクタ		
	テレビ録画機能	SmartVision*27でMPEG2 (高画質モード：720×480ドット (8Mbps CBR)、標準画質モード：720×480ドット (4Mbps VBR)、長時間録画モード：352×480ドット (2Mbps VBR))、MPEG1 (ユーザ設定モード：352×240ドット (1.152Mbps CBR)) の録画可能、bitcast browser*28でAVI (240×180ドット (30.6Mbps))、WMV8 (240×180ドット (0.33Mbps)) の録画可能		
	最長録画時間(高画質モード)	約36時間40分		
	最長録画時間(標準画質モード)	約71時間30分		
	最長録画時間(長時間録画モード)	約136時間		
スロット	メモリスティック	1スロット*30*31		
	SDメモリーカード	1スロット*30 (MMC対応)*32		
	PCカード	Type II×2 (Type I×1スロットとしても使用可)、PC Card Standard準拠、CardBus対応		
	AGP	1スロット [空きスロット0]		
	PCI	3スロット (ハーフ×3) [空きスロット2]		

VZ700/6F

型名		VZ700/6F
インターフェイス	USB	コネクタ4ピン×9 (本体×5*33*34、液晶ディスプレイ×4) [USB 2.0*35*36]
	IEEE1394 (DV) *37	4ピン×2
	パラレル	D-sub25ピン×1
	シリアル	D-sub9ピン×1
	ディスプレイ (デジタル)	DVI-I (29ピン) *38
	PS/2	ミニDIN6ピン×2*39
	FAXモデム	RJ11モジュラコネクタ×2 (LINE×1、TELEPHONE×1)
	LAN	RJ45コネクタ×1
サウンド関連インターフェイス	光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力	角形×1*40*41、丸形×1*40*42
	ライン入力	ステレオミニジャック×2 (本体実装: 入力インピーダンス 10K、入力レベル1Vrms[最大2Vrms]、TVボード実装: 入力インピーダンス 47K、入力レベル2Vrms)
	ライン出力	ステレオミニジャック×1*43 (出力レベル 1Vrms、出力インピーダンス47K)
	マイク入力	ステレオミニジャック×1 (マイク入力インピーダンス10k 入力レベル5mVrms、バイアス電圧3.7V)
	ヘッドフォン出力	ライン出力と共用 (対応ヘッドフォンインピーダンス 16 -100 「推奨32」*44、出力電力 5mW/32)
	オーディオ入力端子 (L/R)	1系統(前面: 入力インピーダンス 47K、入力レベル2Vrms)
映像関連インターフェイス	TVアンテナ入力	F型同軸×1
	ビデオ入力	Sビデオ・コンポジットビデオ共用端子×1 (背面×1)*45*46、Sビデオ端子×1 (前面×1)*46、コンポジットビデオ端子×1 (前面×1)*46
	ビデオ出力 (TV・OUT)	Sビデオ・コンポジットビデオ共用端子×1*47*48*49
ベイ		5型ベイ: 1スロット (CD/DVDドライブで占有済) [空きスロット0]、内蔵3.5型ベイ: 2スロット (ハードディスクドライブで1スロット占有済) [空きスロット1]
電源		AC100V±10%、50/60Hz
消費電力	標準	約81W
	最大	219W
エネルギー消費効率*50		P区分 0.0005
電波障害対策		VCCI ClassB
温湿度条件		10~35、20~80% (ただし結露しないこと)
外形寸法	本体 (突起部除く)	194 (W) × 450 (D) × 390 (H) mm (ラジエータ部含む) *51 194 (W) × 392 (D) × 390 (H) mm (ラジエータ部除く) *51
	本体 (スタビライザ設置時)	284 (W) × 450 (D) × 390 (H) mm
	キーボード	382 (W) × 176 (D) × 42 (H) mm
	リモコン	43 (W) × 153 (D) × 33 (H) mm (スティック含む)
質量	本体	約16kg
	キーボード	約900g
	マウス	約90g
	リモコン	約90g*52
インストールOS		Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack1 *53
サポートOS		Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack1 *54
主な添付品		マニュアル、電源ケーブル、回線ケーブル、リモコン、リモコン用受信ユニット*55、ビデオ変換コネクタ×2 (Sビデオ コンポジットビデオ)、乾電池 (単四アルカリ: 2本)
ディスプレイ		F17R1A
	画面サイズ	17型 (高解像度デジタルTFT液晶)
	インターフェイス	USB 2.0×4*35*36、ヘッドフォン出力×1
	表示寸法	アクティブ表示エリア: 337 (W) × 270 (H) mm
	画素ピッチ	0.264mm
	表示解像度	640×480ドット*56、800×600ドット*56、1,024×768ドット*56、1,280×1,024ドット
	消費電力	約55W
	外形寸法	398 (W) × 209 (D) × 403 (H) mm
	質量	約6.0kg
	ディスプレイプロセッサ	GENESIS製 gm5120
備考		ステレオスピーカ

上記の内容は本体のハードウェアの仕様であり、オペレーティングシステム、アプリケーションによっては、上記のハードウェアの機能をサポートしていない場合があります。

- * 1: ソフトウェアやドライバがHTテクノロジーに対応している必要があります。各ソフトウェアメーカー、周辺機器メーカーにお問い合わせください。
- * 2: 最大 12,000 のデコード済みマイクロ命令をキャッシュすることにより、命令デコードに要する時間を不要にします。
- * 3: 増設 RAM サブボード (PC2700 対応・DDR333MHz メモリ) [1024MB] を 2 枚実装する必要があります。
- * 4: グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。本体に添付のディスプレイではディザリングにより 1,619 万色となります。
- * 5: グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。本体に添付のディスプレイでは表示できません。
- * 6: DLS は「DownLoadable Sounds」の略です。DLS を使うと、カスタム・サウンド・セットを SoundMAX シンセサイザにロードできます。
- * 7: ノイズ除去機能によって、音声入力信号から周辺雑音を取り除かれ、クリーンでクリアな信号がアプリケーションに渡されます。
- * 8: 回線状態によっては、通信速度が変わる場合があります。また、内蔵 FAX モデムは一般電話回線のみに対応しています。
- * 9: 最大 56Kbps はデータ受信時の速度です。データ送信時は最大 33.6Kbps になります。
- * 10: 添付のキーボードにあるマウス専用ポートに接続します。
- * 11: リモコンの電池寿命はご使用の環境条件や方法により異なりますがアルカリ電池で最大 100 時間 (マウスカーソルモード時) です。また、使用可能な距離はご使用の環境条件や方法により異なりますが約 3m です。
- * 12: 2 モード (720KB/1.44MB) に対応しています (ただし、720KB モードのフォーマットは不可です)。
- * 13: 1GB=10 億バイトの換算値です。
- * 14: Windows® のシステムからは、容量が C ドライブ: 約 136GB、D ドライブ: 約 3.7GB、残り: 再セットアップ用として認識されます。
- * 15: 12cm CD、DVD 以外は使用出来ません。ハート型等の特殊形状をした CD は故障の原因となりますので使用しないでください。
- * 16: コピーコントロール CD などの一部の音楽 CD では、再生や音楽 CD の作成ができない場合があります。
- * 17: メディアの種類、フォーマット形式によって読み取り性能が出ない場合があります。また、記録状態が悪い場合など、読み取りできない場合があります。
- * 18: 映像ソフトの再生は、ソフトウェアによる MPEG2 再生方式です。NTSC のみ対応しております。Region コード「2」、「ALL」以外の DVD-Video の再生は行えません。再生する DVD ディスクおよびビデオ CD の種類によってはコマ落ちする場合があります。リニア PCM (96KHz/24bit) で記録されている 20KHz 以上の音声信号は再生できません。DVD レコーダで記録された DVD で、書き込み形式により再生できないものがあります。そのような場合は DVD レコーダの取扱説明書などをご覧ください。
- * 19: 設定した書き込み・書き換え速度を実現する為には、書き込み・書き換え速度に応じたメディアが必要になります。
- * 20: バッファアンダーラン防止機能付。内周と外周の書き込み速度を切り替え、安定した高速書き込みを実現します。また、記録メディア毎に最適な書き込み速度を自動制御する、ディスクエラー低減機能もサポート。なお、ライティングソフトウェアが表示する書き込み予想時間と異なる場合があります。
- * 21: DVD-RAM Ver.2 (片面 4.7GB) の速度です。また、カートリッジ式のメディアは使用できませんので、カートリッジ無し、あるいはメディア取り出し可能なカートリッジ式でメディアを取り出してご利用ください。
- * 22: DVD-RAM Ver.1 (片面 2.6GB) の書き換えはサポートしていません。
- * 23: DVD-R は、DVD-R for General Ver.2.0 に準拠したメディアの書き込みに対応しています。
- * 24: DVD-RW は、DVD-RW Ver.1.1 に準拠したメディアの書き込みに対応しています。
- * 25: Ultra Speed CD-RW メディアはご使用になれません。
- * 26: 本製品はCATVの一部周波数にも対応しておりますが、ケーブルテレビ会社によりサービス内容に違いがあるため、接続に関しては、ご利用のケーブルテレビ会社にご相談ください。
- * 27: 本体にプリインストールされている、地上波放送受信・録画のソフトウェア名称です。
- * 28: 本体にプリインストールされている、テレビ・ビットキャスト受信のソフトウェア名称です。
- * 29: 録画時間は映像の内容およびご利用状況によって前後する場合があります。
- * 30: メモリースティックスロットと SD メモリーカードスロットは共用です。メモリースティックと SD メモリーカードを同時に使用することはできません。
- * 31: マジックゲート対応メモリースティックの著作権保護機能には対応しておりません。また、メモリースティック PRO には対応しておりません。
- * 32: 「マルチメディアカード (MMC)」もご利用できます。使用音楽などの著作権保護データには「SD メモリーカード」をご利用ください。
- * 33: 1 ポートは液晶ディスプレイに接続します。
- * 34: 1 ポートはリモコン用受信ユニットで占有します。
- * 35: 接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、本インターフェイスに対応している必要があります。
- * 36: USB 1.1 対応の周辺機器も利用できます。USB 2.0 で動作するには USB 2.0 対応の周辺機器が必要です。動作確認済み機種についてはインターネット (<http://121ware.com/family/>) 各シリーズページ 「接続情報」をご覧ください。
- * 37: 接続する周辺機器によっては対応していない場合があります。動作確認済み機種についてはインターネット (<http://121ware.com/family/>) 各シリーズページ 「接続情報」をご覧ください。
- * 38: 本機の DVI 端子は添付のディスプレイのみ動作確認をおこなっております。
- * 39: 本機の PS/2 端子は添付のキーボードのみ動作確認をおこなっております。
- * 40: 光デジタルオーディオ出力端子に接続するオーディオ機器は 48KHz のサンプリング周波数に対応している必要があります。また、一般の CD プレーヤー・MD デッキ類と同様に、SCMS (シリアルコピーマネジメントシステム) に準拠した信号を出力します。
- * 41: テレビ放送受信・録画のソフトウェア (SmartVision) における音声は出力できません。
- * 42: SmartVision および WinDVD 4 の TV 出力時の音声を出力します。TV 出力用音声出力端子としても利用できます。
- * 43: ディスプレイ側の Audio 端子を接続します。
- * 44: 周波数特性を保証する値ではありません。
- * 45: Sビデオ入力端子として利用できます。また、本体に添付のビデオ変換コネクタを接続することによりコンポジットビデオ入力端子として利用できます。
- * 46: 著作権保護のための信号が記録されている市販素材は、ハードディスク等へ録画することはできません。
- * 47: SmartVision および WinDVD 4 の TV 出力時の映像が出力できます。
- * 48: 著作権保護のための信号が記録されている市販素材、またはソフトウェアの種類によりビデオデッキ等へ録画することはできません。また、ビデオデッキ経由でのテレビ出力はできません (同方式でテレビに出力しているビデオ一体型テレビを含む)。
- * 49: Sビデオ出力端子として利用できます。また、本体に添付のビデオ変換コネクタを接続することによりコンポジットビデオ出力端子として利用できます。
- * 50: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
- * 51: 本機を横置きにしてのご使用はサポートしていません。
- * 52: 乾電池の質量は含まれておりません。

- * 53: 添付のソフトウェアは、インストールされている OS でのみご利用できます。
- * 54: 別売の Microsoft® Windows® XP Home Edition パッケージや別売の Microsoft® Windows® XP Professional パッケージをインストールおよび利用することはできません。
- * 55: USB ポートに接続します。
- * 56: 擬似的に画素拡大して全画面(1,280 × 768 ドット)表示も可能です。その場合は、文字などの線がぼやけて表示される場合があります。

FAX モデムボード仕様一覧

機能概要

CPU I/F	PCIインターフェイス
NCU部	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤルパルス送出機能 ・リング検出機能
モデムチップセット部	<ul style="list-style-type: none"> ・115.2Kbpsまでのデータ・モデム・スループット V.90 K5.6flex V.34 V.32bis V.32、V.22bis、V.22、V.21 V.42LAPMおよびNMP4エラー訂正 V.42bisおよびMNP5データ圧縮 ・最高14.4Kbpsのファックス・モデム送受信速度 V.17、V.29、V.27ter、V.21チャンネル2 ・HayesATコマンドセット AT Sレジスタ ・回線品質モニタリングおよびオートリトレイン ・受信ライン信号品質に基づく自動ライン・スピード選択 ・フロー制御およびスピード・バッファリング ・パラレル非同期データ ・自動ダイヤルおよび自動アンサー ・トーンおよびパルスダイアリング（DTMFトーン、ダイヤルパルス制御）

FAX 機能

項目	規格
交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
適用回線	加入電話回線
同期方式	半二重調歩同期方式
通信速度	14,400/12,000/9,600/7,200/4,800/2,400/300bps 注
通信方式	ITU-T V.17/V.29/V.27ter/V.21ch2
変調方式	TCM:14,400/12,000/9,600/7,200bps QAM:9,600/7,200bps DPSK:4,800/2,400bps FSK:300bps
送信レベル	-10~-15dBm(出荷時 -15dBm)
受信レベル	-10~-40dBm
制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド(CLASS 1)

注 回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

データモデム機能

項目	規格
適用回線	加入電話回線
同期方式	全二重調歩同期方式
通信速度	送受信: 33,600/31,200/28,800/26,400/24,000/21,600/19,200/16,800/14,400/12,000/9,600 7,200/4,800/2,400/1,200/300bps 注 受信のみ: 56,000/54,667/54,000/53,333/52,000/50,667/50,000/49,333/48,000/46,667/46,000 45,333/44,000/42,667/42,000/41,333/40,000/38,667/38,000/37,333/36,000/34,667 34,000/33,333/32,000/30,667/29,333/28,000bps 注
通信規格	K56flex ITU-T V.90/V.34/V.32/V.32bis/V.22/V.22bis/V.21
変調方式	PCM: 56,000/54,667/54,000/53,333/52,000/50,667/50,000/49,333/48,000/46,667/46,000 45,333/44,000/42,667/42,000/41,333/40,000/38,667/38,000/37,333/36,000/34,667 34,000/33,333/32,000/30,667/29,333/28,000bps TCM: 33,600/31,200/28,800/26,400/24,000/21,600/19,200/16,800/14,400/12,000/9,600 7,200/4,800/2,400bps QAM: 9,600/4,800/2,400/1,200bps DPSK: 1,200bps FSK: 300bps
エラー訂正	ITU-T V.42(LAPM) MNP class4
データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5
送信レベル	-10~-15dBm(出荷時-15dBm)
受信レベル	-10~-40dBm
制御コマンド	HayesATコマンド準拠

注 回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

NCU機能

項目	規格
適用回線	加入電話回線
ダイヤル方式	パルスダイヤル(10/20PPS) トーンダイヤル(DTMF)
NCU形式	AA(自動発信/自動着信型) MA(手動発信/自動着信型) MM(手動発信/手動着信型) AM(自動発信/手動着信型)
制御コマンド	HayesATコマンド準拠 EIA-578拡張ATコマンド(CLASS 1)

ATコマンド *については、このパソコンの電子マニュアル「ばそガイド」-「パソコンの設定」-「ハードウェア情報」をご覧ください。

* DTE(パソコンなどの端末機器)から電話回線に対してこのコマンドを送ることで自動発信を行うことができる。

LAN 仕様一覧

ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T使用時：1,000Mbps 100BASE-TX使用時：100Mbps 10BASE-T使用時：10Mbps
伝送路	1000BASE-T使用時：UTPカテゴリ5e,6 100BASE-TX使用時：UTPカテゴリ5 10BASE-T使用時：UTPカテゴリ3,4,5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式
ステーション台数	最大1,024台/ネットワーク
ステーション間距離/ ネットワーク経路長*	1000BASE-T：最大約200m/ステーション間 100BASE-TX：最大約200m/ステーション間 10BASE-T：最大約500m/ステーション間 最大100m/セグメント

* リピータの台数など、条件によって異なります。

ワイヤレスLAN 仕様一覧

本機能は5GHz / 2.4GHzデュアル対応ワイヤレスLAN モデルのみの機能です。

5GHz ワイヤレスLAN

項 目	規 格
通信速度	54M/48M/36M/24M/18M/12M/6M (bps) (自動切替)*1
準拠規格	IEEE802.11a (5GHzワイヤレスLAN 標準プロトコル) ARIB STD-T71
変調方式	OFDM方式
無線チャンネル	34ch、38ch、42ch、46ch
暗号化機能	64bit、128bit、152bit (WEP/AES自動選択)*2
認証機能	IEEE802.1x*3
RF周波数帯域	5GHz帯域 (5.15 ~ 5.25GHz)

* 1：IEEE802.11a 規格による速度(理論値)であり、実効速度とは異なります。

実効速度は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーション、OS などの使用条件によって異なります。

* 2：ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bit、128bitです。

* 3：WindowsXPのみサポート

2.4GHz ワイヤレスLAN

項 目	規 格
通信速度	11M/5.5M/2M/1M (bps) (自動切替)*1
準拠規格	IEEE802.11b (2.4GHzワイヤレスLAN 標準プロトコル) ARIB STD-T66
変調方式	DSSS方式
無線チャンネル	1 ~ 13ch (5GHz/2.4GHzデュアル対応ワイヤレスLAN)
暗号化機能	64bit、128bit (WEP)*2
認証機能	IEEE802.1x*3
RF周波数帯域	2.4GHz帯域 (2.4 ~ 2.4835GHz)

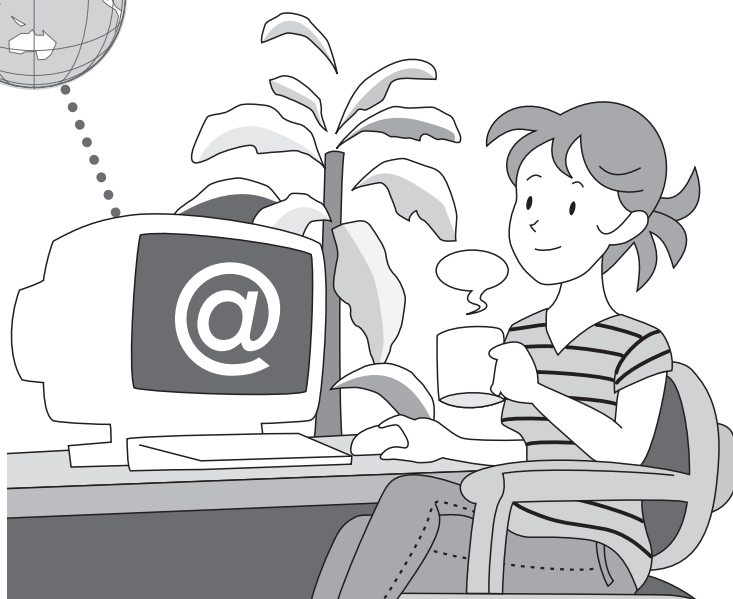
* 1：IEEE802.11b 規格による速度(理論値)であり、実効速度とは異なります。

実効速度は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーション、OS などの使用条件によって異なります。

* 2：ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bitです。

* 3：WindowsXPのみサポート

ここからはじめる インターネット & メール

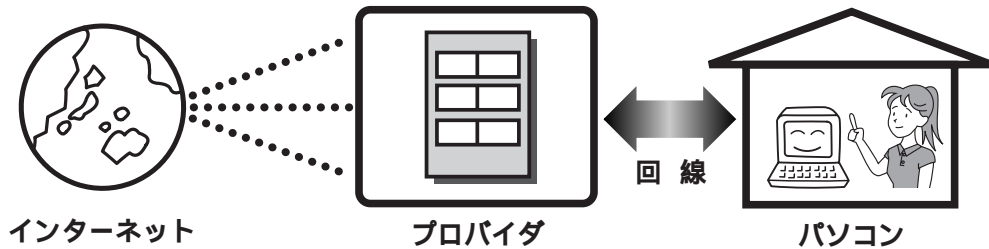


これからインターネットをはじめたい、すでにインターネットを利用している、ブロードバンドを楽しみたい…など、インターネットの利用状況や目的はさまざまで、「インターネットをはじめたいけれど、何をすればいいのかわからない」、「どんなインターネット接続サービスがあるのか知りたい」、「インターネットにうまくつながらない」など、インターネットについて「知りたいこと」や「困ったこと」も人それぞれです。


ここでは、インターネットをはじめる前に必要な準備やインターネットが利用できるまでの流れをわかりやすく説明しています。

インターネットにはどうやってつながるの？

パソコンをインターネットにつなぐには、プロバイダに加入する必要があります。



「インターネット無料体験」について

このパソコンには、気軽にインターネットを無料体験¹できるソフト「インターネット無料体験」が入っています。体験を開始した日から14日間無料²で体験できるため、これからインターネットをはじめたい方や楽しみたい方におすすです。デスクトップにある (インターネット無料体験)をダブルクリックすると、専用ソフトが起動します。

また、インターネット無料体験を始めるには、添付のモジュラーケーブルを使ってパソコンを電話回線に接続する必要があります。詳しくは、「インターネット回線に接続する」(p.241)をご覧ください。

- 1 電話料金は別途かかります。
- 2 有効期限は2006年3月31日までです。



インターネットが利用できるまでのステップ

パソコンでインターネットが利用できるまでのステップは、おおよそ次の通りです。インターネット回線の種類は何か、プロバイダに加入しているかどうかなどにより、この後の手続きや設定は異なります。ここから先は、インターネットの利用状況に合わせて読み進めてください。

これからインターネットを始めたい

すでにインターネットを始めている

入会する前にインターネットを体験してみたい

Yes

「インターネット無料体験」を利用しよう

このパソコンには、気軽にインターネットを無料体験(電話代別)できるソフト「インターネット無料体験」が入っています。
「インターネット無料体験」について(p.235)

No

インターネット回線の申し込みとプロバイダへの加入手続きをする

インターネット回線の申し込みとプロバイダへの加入手続きをします。サービスの種類によっては、プロバイダへの加入手続きが不要だったり、プロバイダと回線事業者の両方への加入手続きが必要になります。プロバイダまたは回線事業者に確認してください。

「インターネット回線を申し込む(p.237)」「プロバイダに加入する(p.239)」

パソコンをインターネット回線に接続して、インターネット接続の設定をする

申し込みや加入手続きが済んで、ユーザIDなどのインターネット接続に必要な情報やモデムなどのネットワーク機器が揃ったら、パソコンをインターネット回線に接続します。接続が終わったら、パソコンでインターネット接続の設定を行います。

「インターネット回線に接続する(p.241)」「インターネット接続の設定を行う(p.242)」

インターネットに接続!

接続と設定が終わったら、いよいよインターネットに接続します。もしもインターネットにうまくつながらないときは、接続や設定が行われているかどうかをもう1度確認してください。

「インターネットに接続する(p.243)」「インターネットこんなトラブル」(p.243)


セキュリティ対策は万全に

インターネットには危険がいっぱい。コンピュータウイルスに感染したり、不正侵入されたりしないようにしっかりセキュリティ対策をしましょう。

「セキュリティについて(p.243)」



電子マニュアル「ばそガイド」について

このパソコンには、画面上で見るマニュアル「ばそガイド」が入っています。デスクトップにある  (ばそガイド) をダブルクリックすると表示されます。

「ばそガイド」の使い方を調べるができます



インターネットにうまくつながらないなどのトラブルを解決する方法や、よくあるエラーメッセージとその対処法について説明しています

インターネット回線を申し込む

インターネット回線ってなに？

パソコンとインターネットをつなぐ回線のことで、一般の電話回線のほか、ケーブルテレビのケーブルや光ファイバーなどがあります。回線の種類によって、インターネットにつながる速度や利用できるサービスはさまざまです。

アナログ回線

一般の電話回線(アナログ回線)を使ったインターネット回線のこと。パソコン本体に蔵のモデムを使います。

- ・ パソコンを電話回線につなぐだけで利用できる
- ・ すぐにインターネットが利用できる(オンラインサインアップの場合)
- × インターネットにつないでいるときには、電話をかけられない
- ・ インターネットにつながる速度が遅い(またはつながりにくい)

ISDN回線 (アイ・エス・ディー・エヌ)

一般の電話回線(アナログ回線)をデジタル化したインターネット回線のこと。

- ・ インターネットと電話が同時に利用できる
- × ・ TA(ターミナルアダプタ)などのISDN対応機器が必要
- ・ 現在アナログ回線を使っている場合は、ISDN回線への切り替え工事が必要

ADSL (エー・ディー・エス・エル)

一般の電話回線(アナログ回線)を使った高速なインターネット回線のこと。

- ・ 一般の電話回線をADSL用に切り替えるだけで利用できる
- ・ サービスを提供している会社が多く、サービス内容など選択肢が多い
- × ・ 一部利用できない地域がある
- ・ 利用できるまでに時間がかかることがある(約1週間~1カ月)

CATV (ケーブルテレビ)

ケーブルテレビの、ケーブルを使った高速なインターネット回線のこと。

- ・ ケーブルテレビにすでに加入している場合は、比較的安く、簡単に利用できる
- × ・ ケーブルテレビのサービスが提供されていない地域では利用できない。また、サービスが提供されていても、建物の状況などにより利用できないことがある。

FTTH (エフ・ティー・ティー・エイチ)

光ファイバーを使った高速なインターネット回線のこと。

- ・ 現在提供されているインターネット回線の中では、スピードは1番
- × ・ サービスを提供している地域やプロバイダが少ない
- ・ 料金が比較的高い



ブロードバンドってなに？

ブロードバンドとは「広帯域」の意味で、これまで主流だったアナログモデムにくらべて、10~1,000倍以上の速さでインターネットに接続できるサービスのこと。サイズの大きなファイルをダウンロードしたり、画像がいっぱいのホームページを表示するのに時間が短くてすむほか、ほとんどが常時接続(定額料金でインターネットを24時間使い放題)のため、いつでも好きなだけインターネットを楽しめます。今もっとも注目されているのは、ADSLやCATV、FTTHの3種類のサービスです。

プロバイダに加入する

プロバイダってなに？

パソコンをインターネットにつないでくれる会社のこと。NECの「BIGLOBE(ビッグロブ)」もプロバイダの1つです。インターネットを使う目的や利用時間に合わせて、さまざまなサービス内容や料金体系を設定しています。

プロバイダに加入するにはどうしたら？


プロバイダに加入するには、主に次のような方法があります。

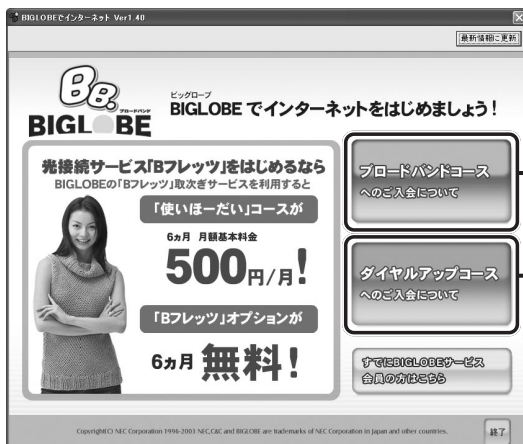
1. パソコンを電話回線につないで、このパソコンに入っている専用の登録ソフトを使って申し込む
2. パソコンショップや電器店、書店などに置いてあったり、パソコン雑誌に付いている、加入用CD-ROMを使って申し込む
3. 申し込み用紙を店頭でもらったり、プロバイダから取り寄せて、電話窓口や郵送、FAXで申し込む

1～2の電話回線を使ってパソコンからプロバイダに加入する方法をオンラインサインアップといい、ほとんどの場合この方法でプロバイダに加入します。

このパソコンには、1の方法でプロバイダに加入するためのソフトがいくつか用意されています。加入できるプロバイダの種類が多く、インターネットが利用できるまでの期間が短くて済むため、これからプロバイダに加入する場合は、次に紹介する方法で申し込むことをおすすめします。

NECおすすめのプロバイダ「BIGLOBE(ビッグロブ)」に加入する場合


デスクトップにある (BIGLOBEでインターネット) をダブルクリックして表示される画面で加入手続きが行えます。



ブロードバンドコースへ入会ご希望の方は、ここをクリック

ダイヤルアップコースへ入会ご希望の方は、ここをクリック

BIGLOBE以外のプロバイダに入会する場合

デスクトップにある  (インターネットを始めよう) をダブルクリックして表示される画面で加入手続きが行えます。



加入できるプロバイダは、次の通りです。(ここからBIGLOBEに加入することもできます)

DION、ODN、So-net、東京電話、OCN、@nifty、かるがるネット



「BIGLOBE(ビッグローブ)」について

「プロバイダの種類やサービスがいろいろありすぎて、どれを選べばよいのかわからない」そんなときにはNECおすすめのプロバイダ「BIGLOBE(ビッグローブ)」がおすすめ。ブロードバンド対応サービスをはじめとして、サービス内容が充実しており、入会時のうれしいおトクな特典がいっぱいです。きっとあなたにぴったりなサービスが見つかります。詳しくは、『はじめよう！ブロードバンドインターネット活用ブック』をご覧ください。



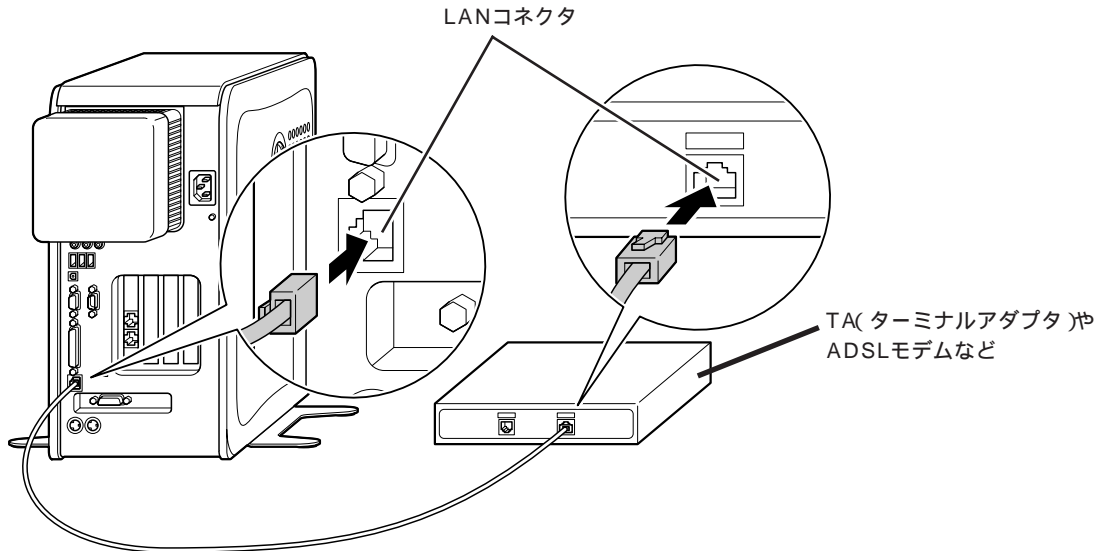
申し込む前に確認

「利用したいサービスが見つかったので、すぐに申し込みたい」でもちょっとまって！インターネットを利用する場所や建物の状況、パソコンの設置場所などによっては、利用できないサービスがあります。申し込む前に、自分の住んでいる地域でサービスが利用できるかどうかをプロバイダや事業者などに問い合わせてください。また、集合住宅の場合はオーナーまたは管理組合の承諾が必要となる場合がありますので、こちらも確認してください。

インターネット回線に接続する

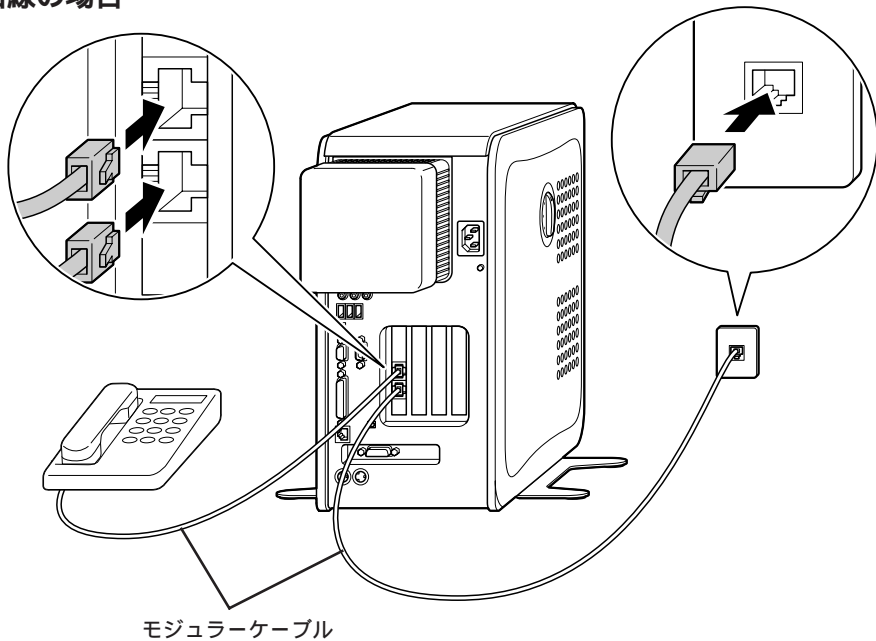
プロバイダへの加入手続きが済んだら、パソコンをインターネット回線につなぎます。回線の種類によって、つなぎ方や必要な機器はさまざまです。詳しくは、ネットワーク機器のマニュアルやプロバイダのホームページなどをご覧ください。アナログ回線に接続する場合は、添付のモジュラーケーブルを使って接続します。

ISDN回線やブロードバンドの場合



📖 参照 LANコネクタにつなぐ PART5の「LANコネクタ」

アナログ回線の場合





📖 参照 モジュラーコネクタにつなぐ PART5の「モジュラーコネクタ」

インターネット接続の設定を行う


プロバイダへの加入手続きが完了してインターネットに接続するために必要な情報や機器がすべて揃っている場合や、すでにインターネットを利用してこのパソコンでも同じ設定でインターネットを利用したい場合は、パソコンやネットワーク機器をインターネットに接続できるように設定します。




「BIGLOBE(ビッグロブ)」に入会した場合

NECおすすめのプロバイダ「BIGLOBE(ビッグロブ)」に「BIGLOBEでインターネット(デスクトップの (BIGLOBEでインターネット)をダブルクリックして表示される画面)で入会した場合は、申し込み時にインターネット接続の設定が完了しています。次の「インターネットに接続する(p.243)へ進んでください。また、すでにBIGLOBEサービス会員の方は、デスクトップの (BIGLOBEでインターネット)をダブルクリックして表示される画面で「すでにBIGLOBEサービス会員の方はこちら」から「インターネット・メールの設定をする」から設定を行えるようになっています。

ADSLでインターネットに接続する場合

 「ばそガイド」「パソコンの設定」「インターネットの設定」「インターネット接続設定例」またはADSLモデムなどネットワーク機器のマニュアルをご覧になり、パソコンとADSLモデムなどのネットワーク機器にインターネット接続の設定を行ってください。

ダイヤルアップ接続(アナログ回線やISDN回線)でインターネットに接続する場合


 「ばそガイド」「パソコンの設定」「インターネットの設定」「インターネット接続設定例」またはネットワーク機器のマニュアルをご覧になり、パソコンやネットワーク機器にインターネット接続の設定を行ってください。

その他の方法(CATVやFTTHなど)でインターネットに接続する場合

ネットワーク機器のマニュアルやプロバイダ(または事業者)の資料やホームページなどを参考にして、パソコンやネットワーク機器にインターネット接続の設定を行ってください。



見慣れない用語が出てきたら

プロバイダや事業者から送られてくる資料やマニュアルだけを読んで接続や設定をしようとすると、見慣れない用語や説明が出てきてとまどうことがあります。パソコンの接続や設定を行うときは、必ずこのパソコンに添付のマニュアルも合わせてご覧ください。 「ばそガイド」「用語集」にもヒントがあります。

インターネットに接続する

インターネット接続の設定が完了したら、いよいよインターネットに接続します。

ダイヤルアップ接続やADSLでインターネットに接続する場合

「ばそガイド」『パソコンの設定』『インターネットの設定』『インターネット接続設定例』とプロバイダ(または事業者)から送られてきた書類などをご覧ください。

その他の回線(CATVやFTTHなど)でインターネットに接続する場合

ネットワーク機器のマニュアル、プロバイダ(または事業者)から送られてきた書類などでインターネットに接続する方法を確認してください。

インターネットこんなトラブル

うまくインターネットにつながらない...

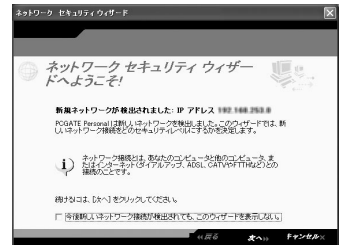
「ばそガイド」『トラブル解決Q&A』『インターネット/通信』には、インターネットに関する初歩的なQ&Aを説明しています。

また、「ばそガイド」『インターネットのトラブル解決』には、インターネット接続に必要な設定例やよくあるエラーメッセージとその解決方法の説明があります。

その他にも、ダイヤルアップ接続でインターネットにつながらない場合に、内蔵モデムに関する問題を確認できるモデム診断ツールが用意されています。

見たこともない画面が表示された...

はじめてインターネット接続の設定を行ったり、設定を変更したときに、次のような画面が表示されることがあります。これは、このパソコンに入っている「PCGATE Personal」というソフトがインターネットやネットワークの設定が変更されたときに表示する画面です。詳しくは、「ばそガイド」『ウイルスとトラブルの予防』の「不正アクセスからパソコンを守るには」をご覧ください。



セキュリティについて

インターネットにつながるようになったら、必ず行ってほしいのがセキュリティ対策。このパソコンには、コンピュータウイルスや不正侵入からパソコンを守るソフトが入っています。

詳しくは、「ばそガイド」『ウイルスとトラブルの予防』をご覧ください。

索引

英数字

【121ware】ボタン	61, 139
121ware.com (ワントゥワンウェア)	46, 154
121コンタクトセンター	155
121ポップリンク	39
AC電源コネクタ	134
ADSL	96, 239
AGPスロット	135
AGPボード	116, 135
BIGLOBE	55, 240
BIOSセットアップメニュー	149
CardBus	80
CATV	239
CD/DVDドライブ	60, 62, 132
CD/DVDプレーヤボタン	137, 139
CD/ハードディスクアクセスランプ	133
CD-R	62, 141
CD-ROMの出し方	63
CD-ROMの入れ方	65
CD-RW	62, 141
DDR SDRAM DIMM	121
DVD-R	62, 141
DVD-RAM	62, 141, 142
DVD-ROM	62, 141
DVD-RW	62, 141
DVD-Video	62, 141
DVD+R	62, 141
DVD+RW	62, 141
DVI-Iコネクタ	135, 136
DV端子	77
FAXモデム仕様一覧	231
Fnキー	138
IEEE1394コネクタ	77, 133
ISDN	239
LANコネクタ	96, 135
LAN仕様一覧	233
NECオンラインお客様登録	47, 54
【NumLock】	31, 61, 137
Nキーロールオーバー	140
Office XP Service Pack	42
Operating System not found	167
PCIスロット	112, 134
PCIボード	112

PCカード	80
PCカードイジェクトボタン	81, 84, 133
PCカードスロット	80, 133
PS/2キーボードコネクタ	135
PS/2マウスコネクタ	135
RecordNow DX	142, 206
SDメモリーカード	86, 133
S映像入力端子	93, 134, 135
USB	71
USBコネクタ	71, 133, 135
VHF/UHFアンテナ端子	134
Windowsキー	138
Windowsタスクマネージャ	159

ア行

アース端子	6, 23, 134
アースの接続	6
アフターケア	214
アプリケーション	173
アプリケーションキー	138
アプリケーションのサポート窓口一覧	218
【インターネット】ボタン	61
インターネット	234
ウイルス	152
映像入力端子	92, 133, 135
オーディオ機器	90, 92
お手入れ	212
音声出力端子	92, 135
音声入力端子	92, 93, 134, 135
音量の調節	61, 66, 94

カ行

改造	217
ガイドラベル	139
キーの名称	137
キーのロック	138
キーボード	11, 137, 161
休止状態	145, 169
強制終了	139, 159
結露	3
コピーコントロールCD	62, 142
ごみ箱	54
コンセント	6, 24

コンピュータウイルス 152

サ行

再セットアップ 166, 183
 再セットアップ用CD/DVD-ROM 205
 サイドカバー 108
 【サポート】ボタン 139
 システムの復元 189
 周辺機器 68, 176
 周辺機器の取り外し 70
 終了オプション 50
 仕様一覧 223
 使用許諾契約 30
 省電力機能 50, 145, 169
 譲渡 215
 消耗品 214
 消耗部品 214
 シリアルコネクタ 104, 134
 スタート 54
 スタートメニュー 56
 スタビライザ 9, 133
 スタンバイ状態 145, 169
 清掃 213
 セーフモード 166, 186
 セキュリティの設定 102
 セットアップ 28
 【ソフト】ボタン 61
 ソフトナビゲーター 58

タ行

ダイヤルオープナー 109
 タスクバー 54
 タスクマネージャ 159
 地上波TV&データボード 134
 通風孔 4, 136
 ディスクトレイイジェクトボタン 60, 132
 ディスプレイ 14, 28, 135
 デジタルカメラ 81, 87
 デジタルビデオカメラ 77
 デスクトップ 44, 54
 デュアルメモリスロット 86, 133
 デュアルメモリスロットアクセスランプ 133
 電源 6, 24, 28

電源ケーブルの接続 24
 電源スイッチ 24, 48, 60, 61, 132
 電源の状態 145
 電源ランプ 28, 60, 133
 電源を入れる 28, 48
 電源を切る 49
 電話回線への接続 103
 電話回線用モジュラーコネクタ 103, 134
 電話機用モジュラーコネクタ 103, 134
 電話サポート 155
 トラブルチェックシート 249

ナ行

内蔵ハードディスク 127
 ネットワーク 96

ハ行

ハードディスク上のデータ消去 216
 廃棄 216
 パスワード 32, 178
 ばそガイド 54, 59, 61, 153, 156
 パソコンのお手入れ 212
 パソコンの接続 7
 バックアップ 41, 187
 パラレルコネクタ 104, 137
 光デジタルオーディオ (S/PDIF) ... 90, 135
 ファミリーリング 37
 フォーマット 86, 143
 フリーズ 159
 ブロードバンド 96, 238
 補修用性能部品 214
 保守サービス 214
 保証書 2, 215
 ボトムカバー 116, 122
 ボリュームボタン 61, 66, 139
 本体の各部の名称 132

マ行

マイクロフォン端子 94, 135
 マウス 13, 161
 マウスの接続 13
 マルチユーザー 179
 【メール】ボタン 61

メモリ	120
メモリスティック	86, 133
モジュラーコネクタ	103, 134

ラ行

ラジエーター	136
例外エラー	174
ログオフ	56
ログオン	178



ワ行

ワイヤレスLAN	98
ワイヤレスLANアンテナコネクタ	135
ワイヤレスLAN仕様一覧	233
ワンタッチスタートボタン	139

お問い合わせ、修理のご依頼／ご相談の前に

お問い合わせにお答えするときや、修理のご依頼／ご相談をお受けする際には、あなたのパソコンの構成やトラブルの具体的な状態をお知らせいただく必要があります。このトラブルチェックシートに記入してから、お問い合わせしていただくと、よりの確で迅速なお答えが可能になります。ぜひ、ご記入ください。なお、「ばそガイド」の画面上部にある「パソコンの情報」というボタンをクリックし、表示された画面で「詳細表示」をクリックすると、詳細情報が表示されますので参考にしてください。

トラブルチェックシート 1


あなたのパソコンの構成	
ハードウェア	
本体	
型名（型名は本体背面または側面に表示されています）	
製造番号（保証書番号）	
メモリの容量	MB(メガバイト)
メモリの容量を調べるには、  「ばそガイド」の画面上部にある「パソコンの情報」というボタンをクリックしてください。	
ハードディスクの容量(Cドライブ)	GB(ギガバイト)
ハードディスクの空き領域(Cドライブ)	GB(ギガバイト)
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには、  「ばそガイド」の画面上部にある「パソコンの情報」というボタンをクリックしてください。	
周辺機器	品名・型名（メーカー名）
ディスプレイ	ディスプレイセットモデル 型名： （型名はディスプレイの背面または底面に記載されています）
プリンタ	
増設ハードディスク	
PCIボード	
その他の周辺機器	
ソフトウェア	
OSのバージョン	
Windows® XP Home Edition	Windows® XP Professional
トラブルが起きたときに起動していたアプリケーションソフトと発売メーカー	

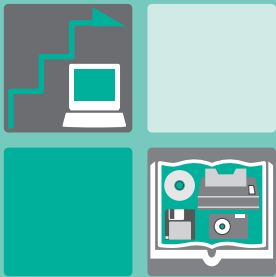
トラブルチェックシート 2

具体的なトラブルの内容	
どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。 (例：ワードパッドで入力したり、印刷すると突然止まってしまう。)	
画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？ メッセージや番号を書いてください。 (例：「このプログラムは不正な処理を行ったので強制終了されます。終了しない場合は、プログラムの製造元に連絡してください。」とひんばんに表示される。)	
そのトラブルはどんなときに起きましたか？ アプリケーション名、操作の状況なども詳しく記入してください。	
パソコンを起動するたびに起きる そのアプリケーションを起動する たびに起きる 特定の操作を行うと起きる はじめて起きた	(例：複数のソフトウェアを同時に使っていると、 止まってしまう。)
その他に気づいたことがあれば書いてください。 トラブルに気がついた時期や、お問い合わせの前に試してみたことなども、記入して下さい。 (例：エラーメッセージが出ている状態で電源スイッチを押して、何回か電源を切った。)	

修理のご依頼 / ご相談をされるときは・・・

パソコン本体の修理を行う際に、やむを得ずハードディスクの内容を初期化することがあります。修理をご依頼される前に、あらかじめ、お客様ご自身が作成された文書ファイルや送受信メールなどの大切なデータはバックアップを取っておいてください。

大切なデータのバックアップは取っておりますか？
バックアップ済み
まだバックアップしていない まだバックアップを取っていない場合は、「バックアップ-NX」を使ってバックアップを取ることをおすすめします。詳しくは、  「ばそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」の「バックアップ-NX」をご覧ください。



ユーザーズマニュアル

VALUESTAR

このマニュアルは再生紙
(古紙率:表紙50%、本文100%)
を使用しています。

初版 2003年5月

NEC

P

853-810601-137-A

Printed in Japan

